

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 報 告 書

令和2年 3月
近 江 八 幡 市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的.....	1
2 実施概要.....	1
3 報告書の見方.....	2
II 調査結果	3
II-1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1 調査対象者の属性.....	3
2 家族や生活状況について.....	7
3 からだを動かすことについて.....	17
4 食べることについて.....	32
5 毎日の生活について.....	39
6 地域での活動について.....	48
7 たすけあいについて.....	63
8 健康について.....	79
9 認知症について.....	91
10 その他.....	99
II-2 生活機能評価等に関する分析	117
1 生活機能評価.....	117
2 日常生活評価.....	131
3 社会参加評価.....	133
資料編	137
調査票見本.....	137

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、令和3年度を初年度とする「第8期近江八幡市総合介護計画」（近江八幡市高齢者福祉計画及び近江八幡市介護保険事業計画）を策定するにあたり、市民の普段の生活や健康などを把握するとともに、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2 実施概要

（1）調査対象

令和元年11月末日現在で、市内在住の65歳以上の方の中から無作為抽出
（要介護認定を受けていない方（一般高齢者）及び要支援1、要支援2の方）

（2）調査方法

郵送配布・郵送回収

（3）調査期間

令和2年 1月10日（金） ～ 1月27日（月）

（4）回収結果

調査対象区分	発送数	有効回収数	有効回収率
① 一般高齢者	3, 615	2, 515	69.6%
② 要支援1	191	126	66.0%
③ 要支援2	194	140	72.2%
合 計	4, 000	2, 781	69.5%

3 報告書の見方

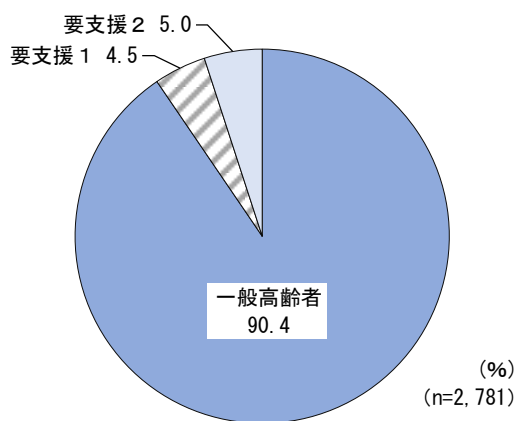
- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単一回答であっても合計値が100.0%にならない場合がある。また、項目同士を合算する際は、回答数を合算した上で割合を算出しているため、図表上の数値（割合）を合算した値と異なる場合がある。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表中に以下の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示している。
- ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 5 LA% (5 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを5つ以内で選択する場合
- ※特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問である。
- (5) 一部、平成28年度実施の前回調査結果を掲載し、比較を行っている。

Ⅱ 調査結果

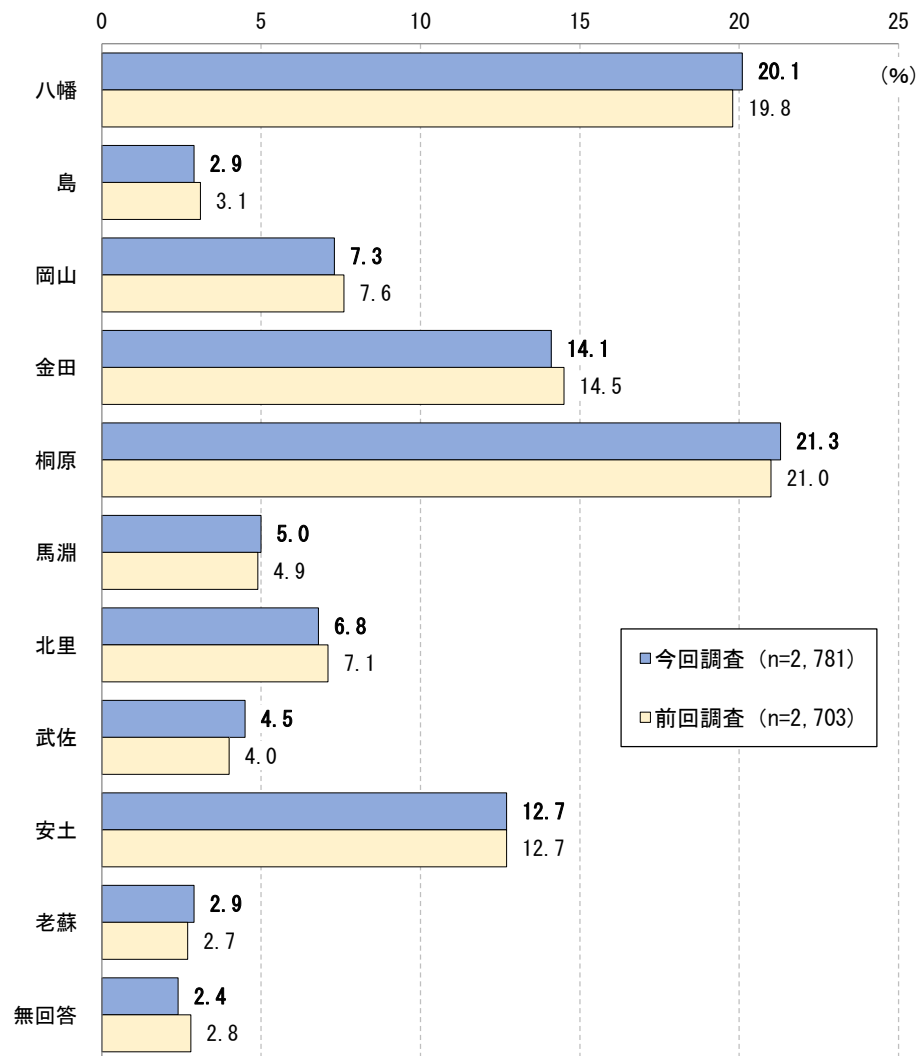
Ⅱ-1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 調査対象者の属性

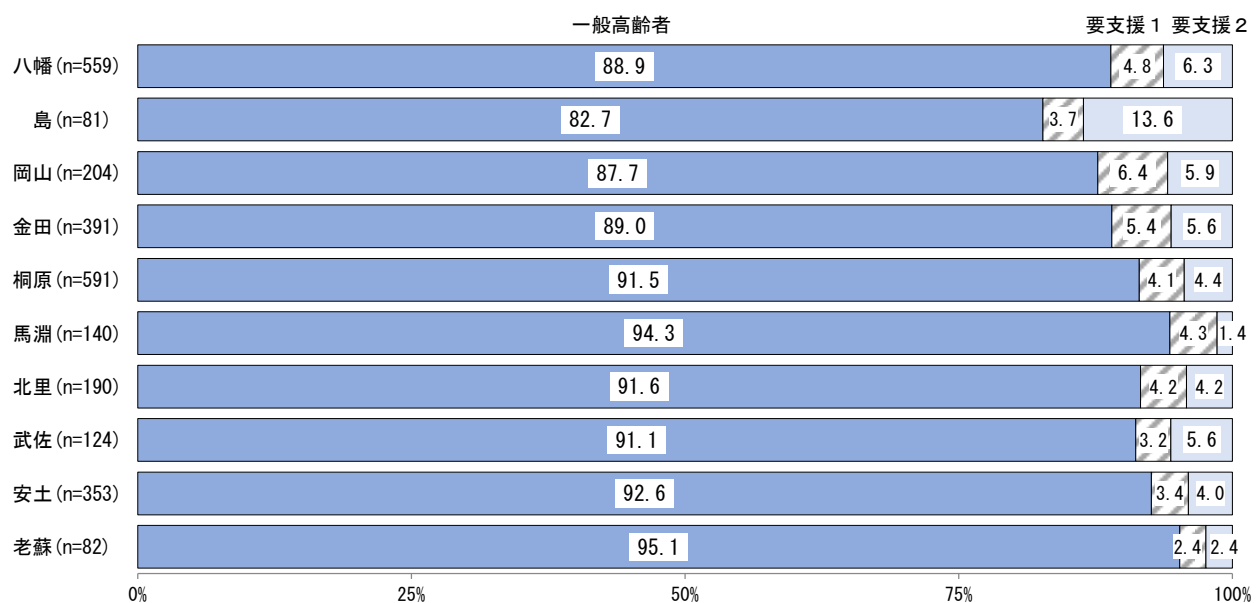
(1) 調査対象者区分（要介護認定）



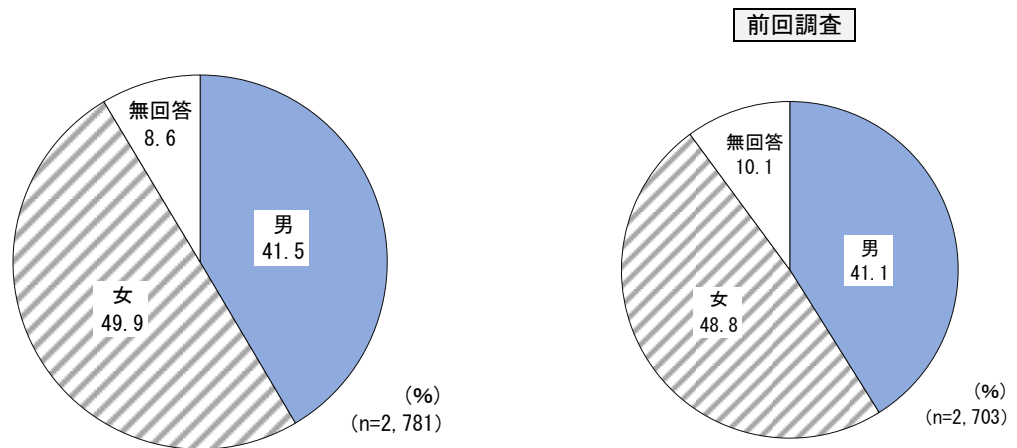
(2) 住まい(学区)



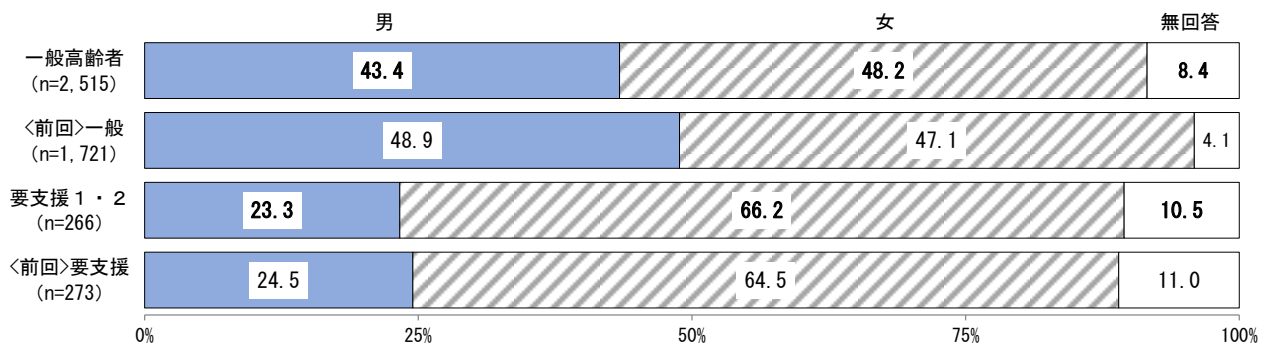
【学区別 要介護認定】



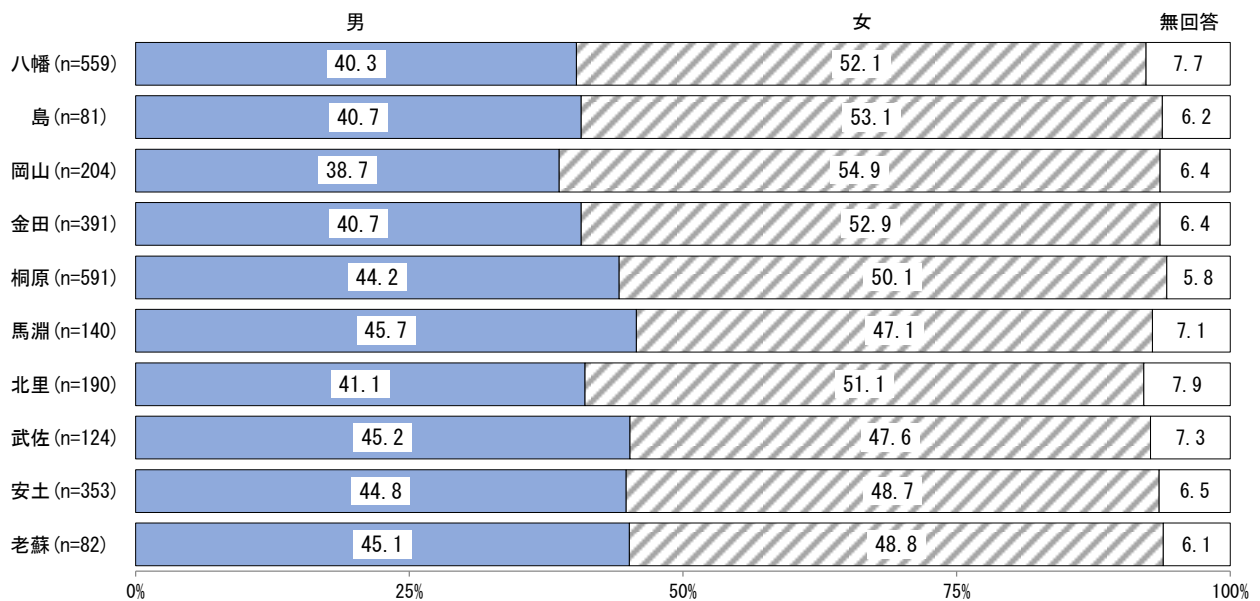
(3) 性別



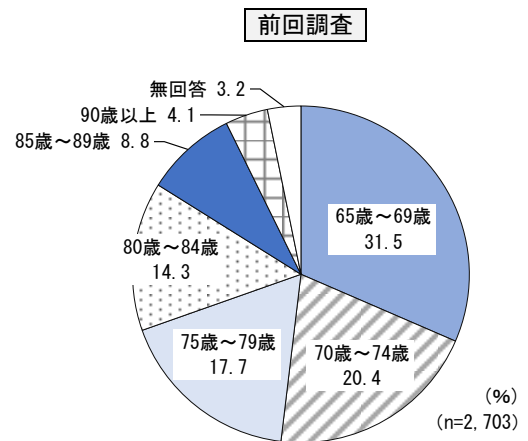
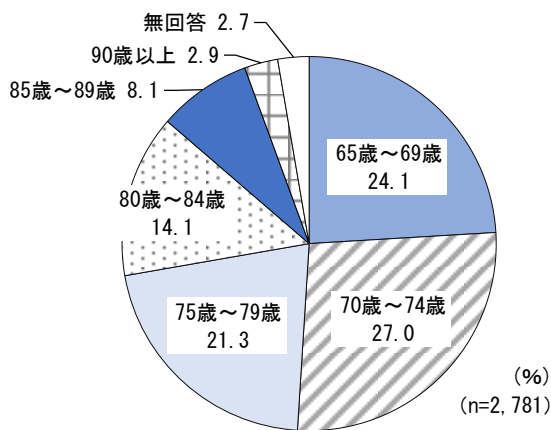
【要介護認定別 性別】



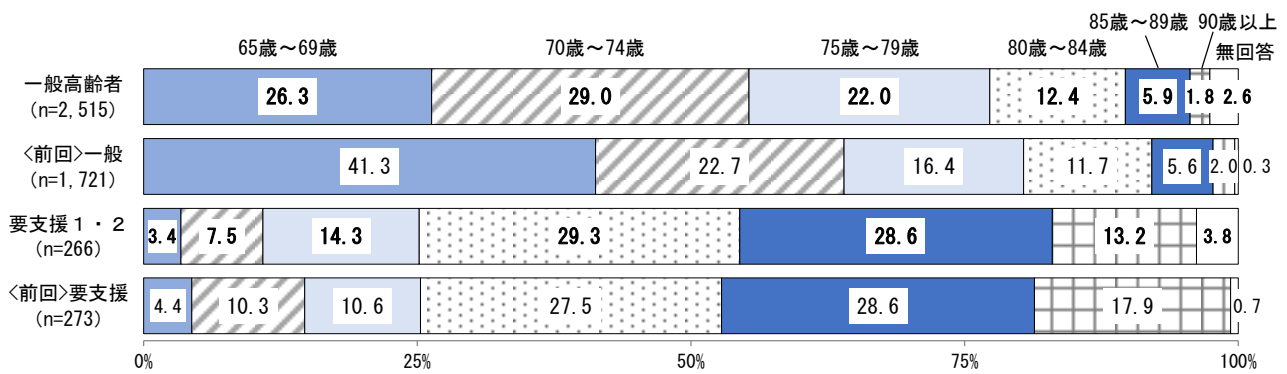
【学区別 性別】



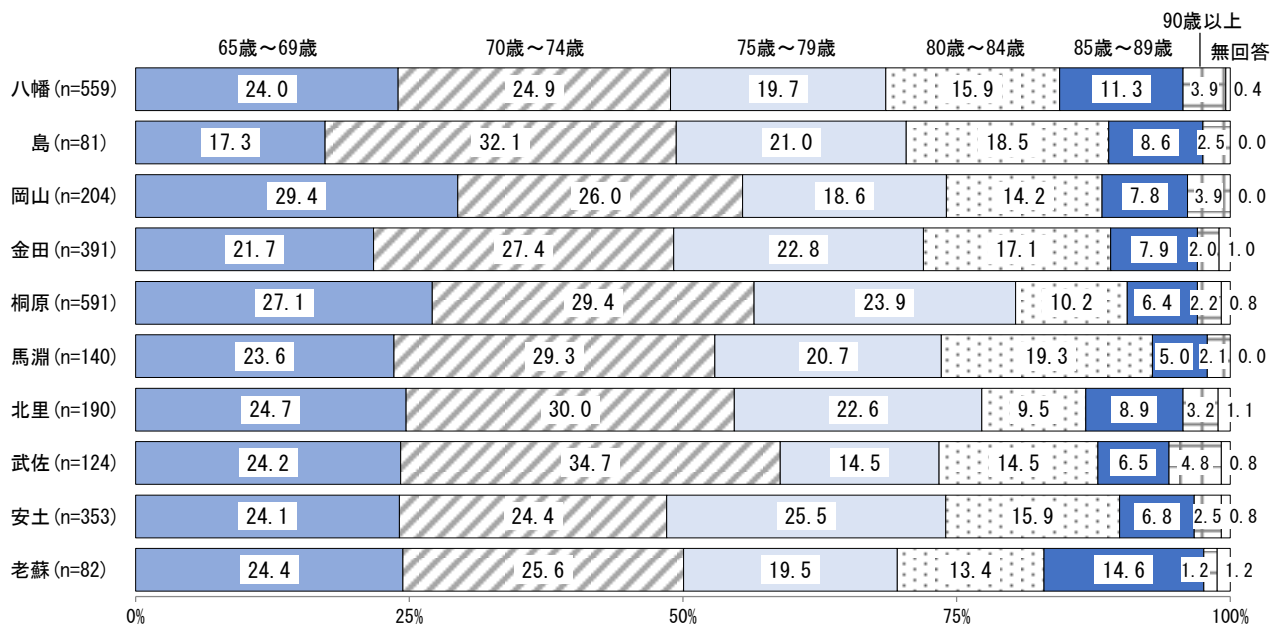
(4) 年齢



【要介護認定別 年齢】



【学区別 年齢】



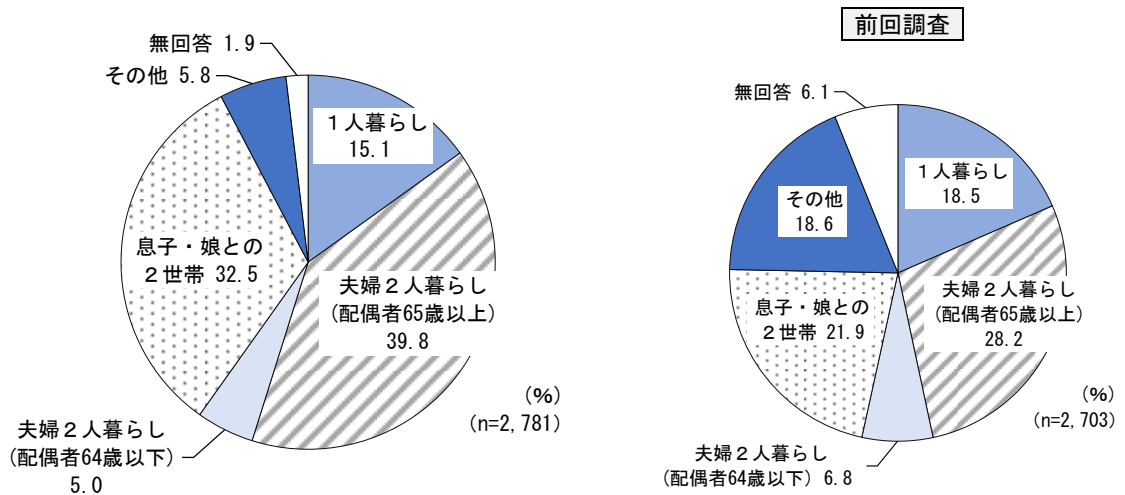
2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

問 1(1) 家族構成をお教えてください

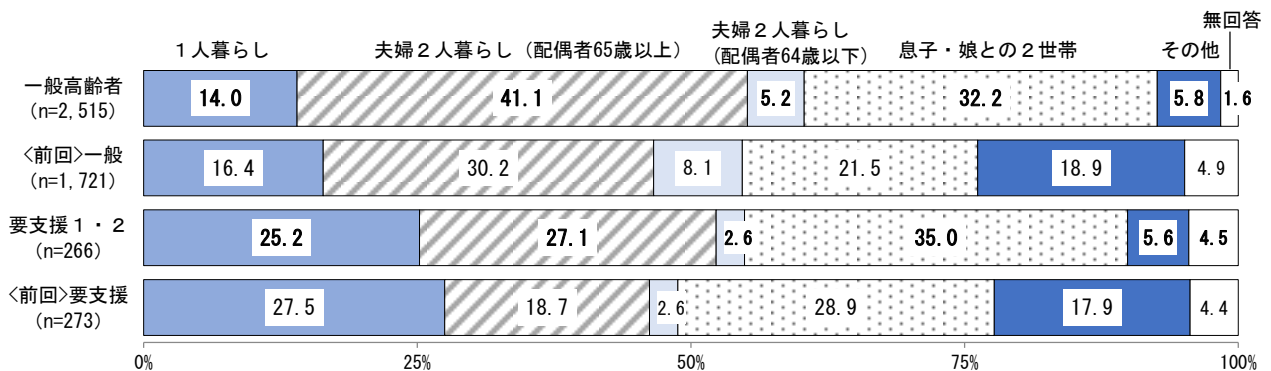
家族構成としては、「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 39.8%と最も多く、次いで「息子・娘との 2 世帯」が 32.5%、「1 人暮らし」が 15.1%となっている。

前回調査と比べると、「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」（前回 28.2%）が 11.6 ポイント増えている。



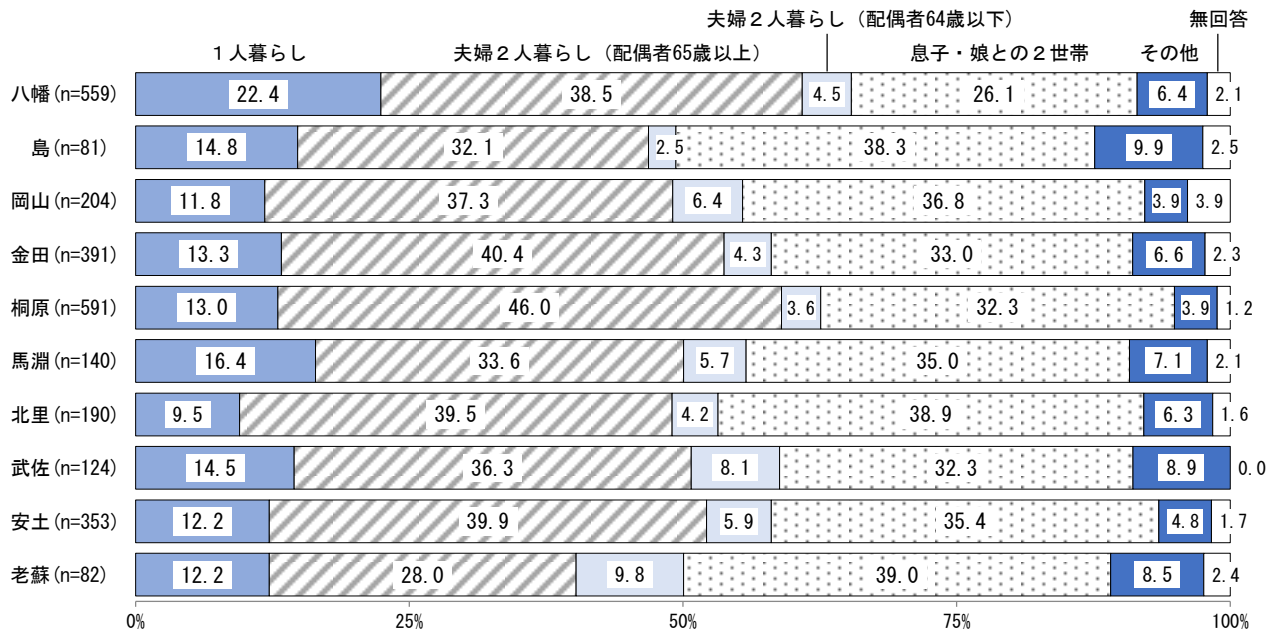
要介護認定別にみると、要支援 1・2 では、「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 27.1%となっており、前回調査（18.7%）から 8.4 ポイント増えている。

【要介護認定別 家族構成】



学区別にみると、「1人暮らし」が八幡学区で22.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が桐原学区で46.0%と、それぞれ最も高くなっている。

【学区別 家族構成】

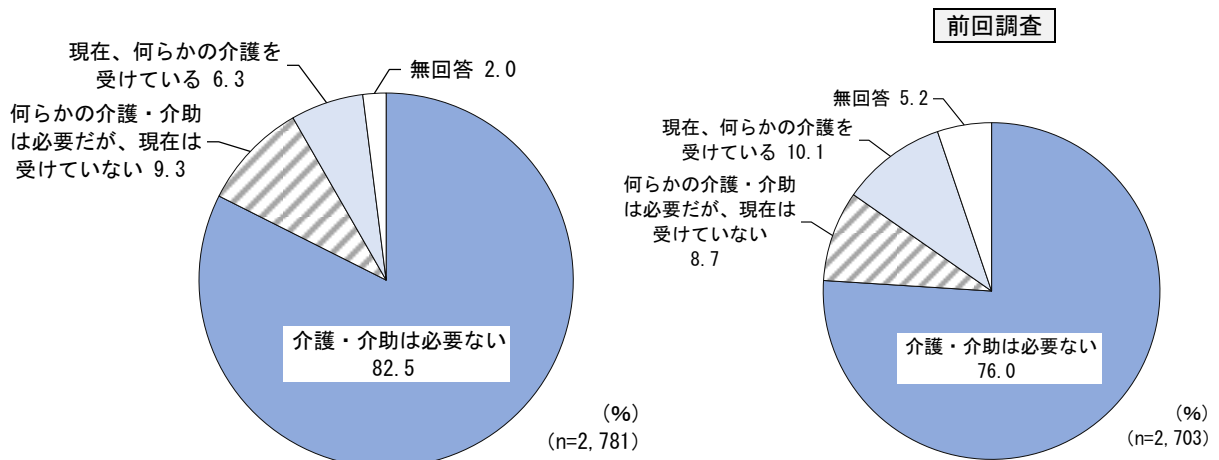


(2) 介護・介助の状況

① 介護・介助の必要性

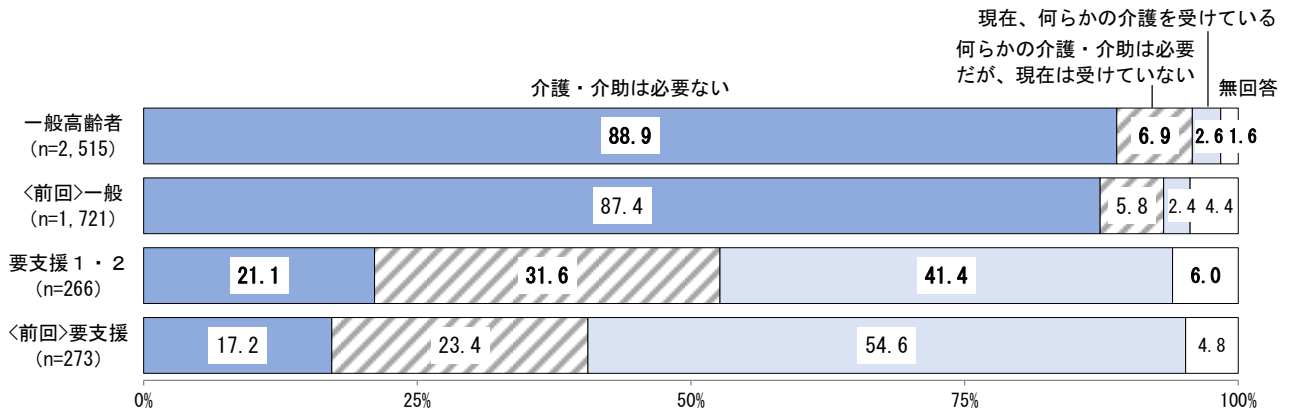
問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

介護・介助の必要性としては、「現在、何らかの介護を受けている」が6.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.3%となっている。これらを合わせると、介護・介助が必要という割合は1割台（15.6%）みられ、前回調査（18.8%）から3.2ポイント減っている。



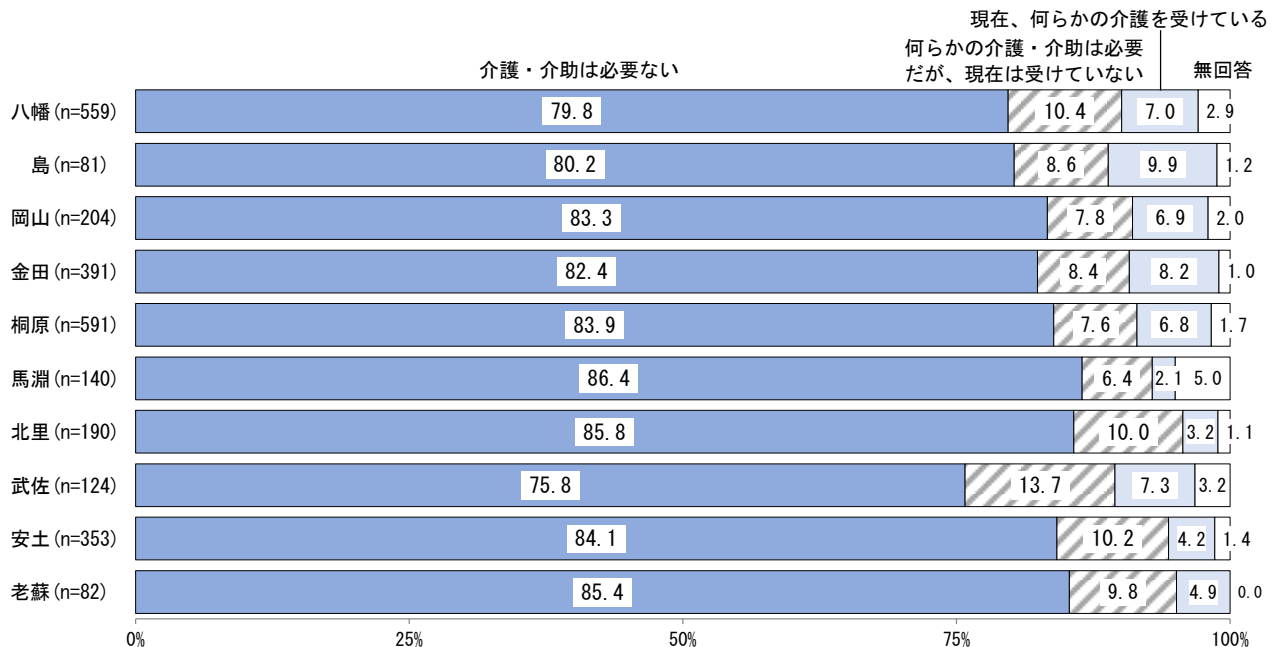
要介護認定別にみると、要支援１・２では、「現在、何らかの介護を受けている」が 41.4%と最も多いものの、前回調査（54.6%）からは 13.2 ポイント減っている。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は 31.6%となっており、こちらは前回（23.4%）から 8.2 ポイント増えている。

【要介護認定別 介護・介助の必要性】



学区別にみると、介護・介助が必要という割合が、武佐学区で 21.0%と最も高く、次いで島学区で 18.5%、八幡学区で 17.4%となっている。

【学区別 介護・介助の必要性】

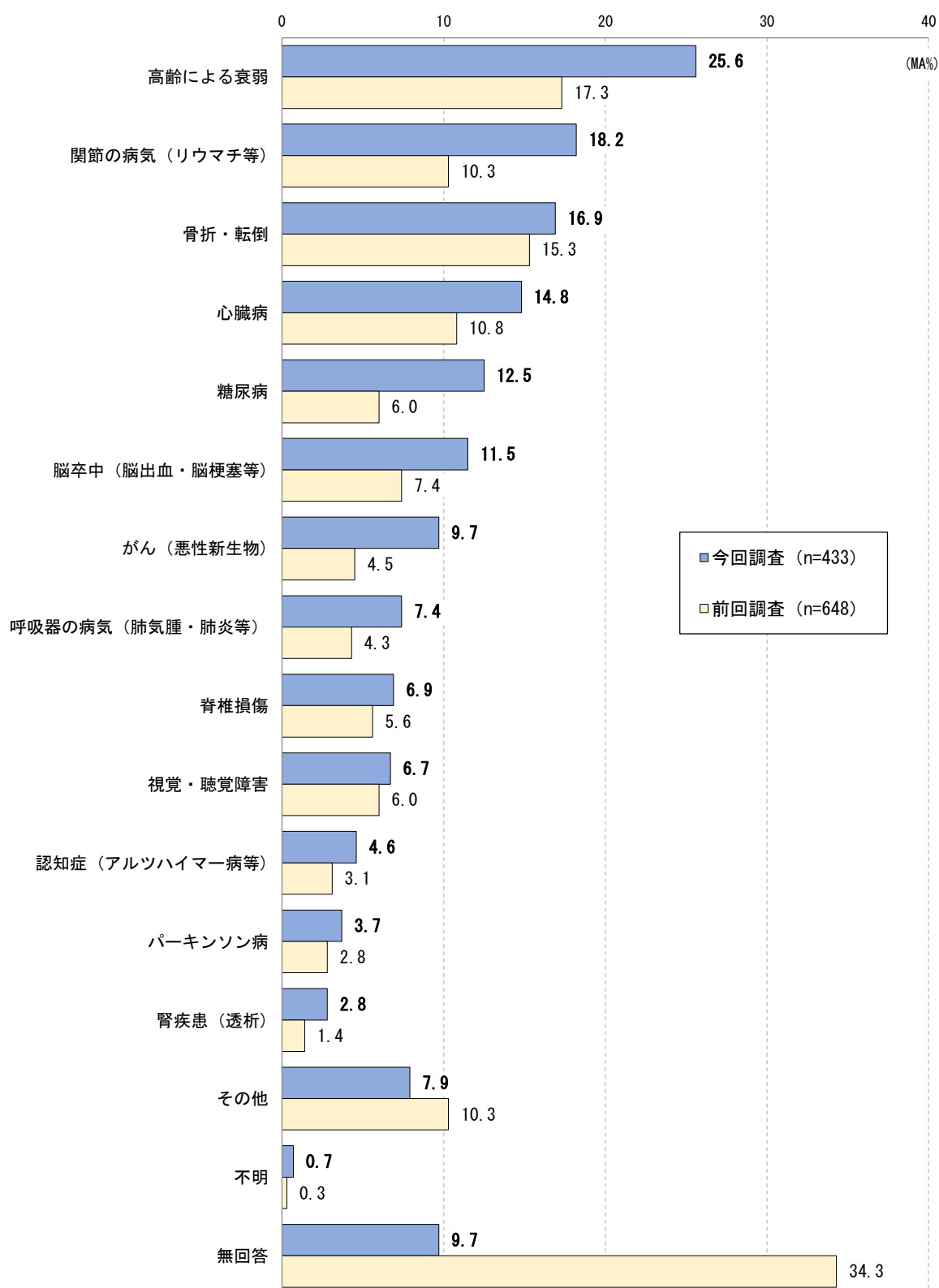


②介護・介助が必要になった原因

【問1(2)で何らかの介護・介助が必要と回答の方のみ】

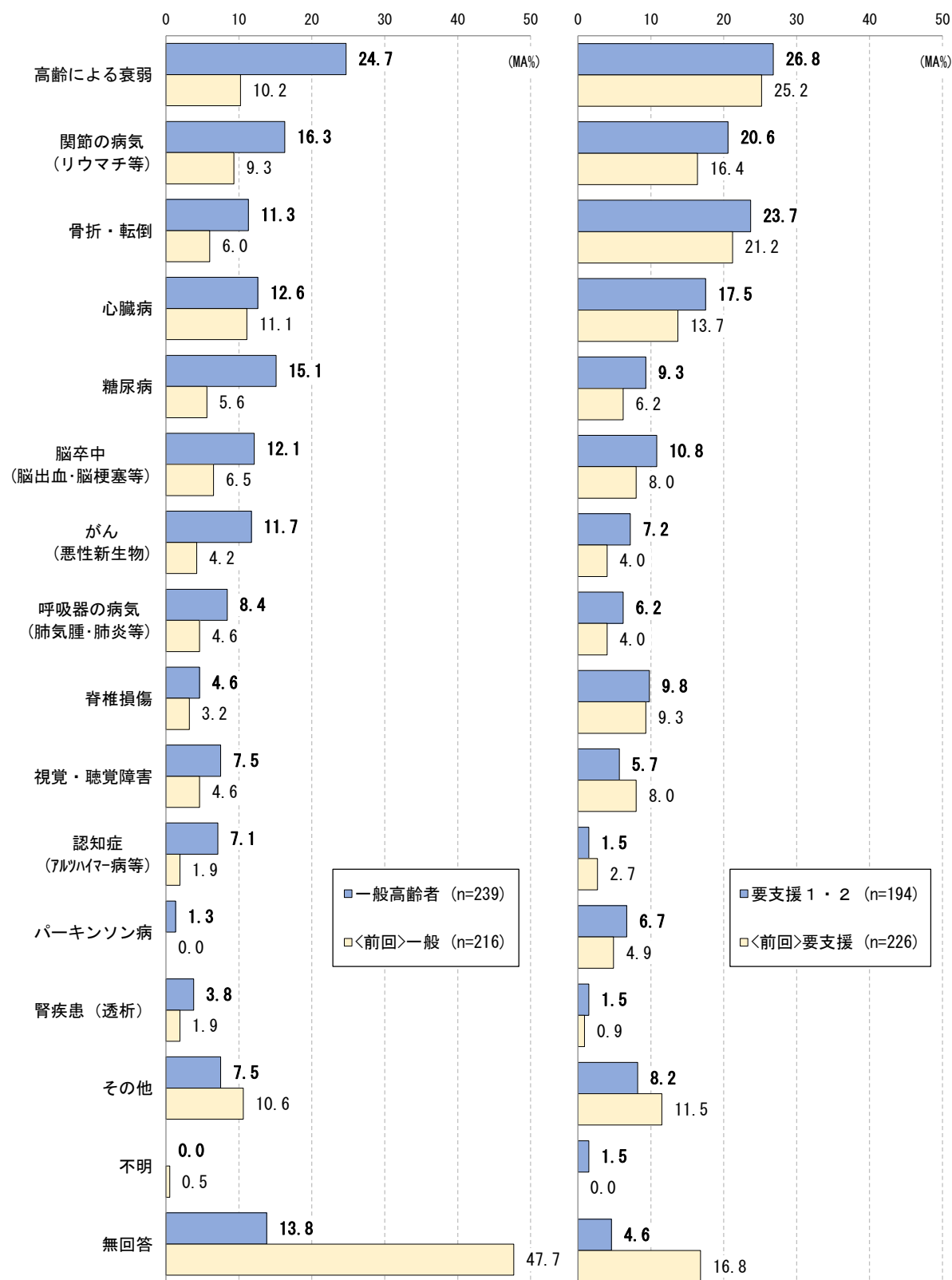
問1(2)① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

介護・介助が必要になった原因としては、「高齢による衰弱」が25.6%と最も多く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」が18.2%、「骨折・転倒」が16.9%、「心臓病」が14.8%、「糖尿病」が12.5%となっている。



要介護認定別にみても「高齢による衰弱」が最も多く、一般高齢者で24.7%、要支援1・2で26.8%となっている。これに続くのが、一般高齢者では「関節の病気（リウマチ等）」で16.3%、要支援1・2では「骨折・転倒」で23.7%となっている。

【要介護認定別 介護・介助が必要になった原因】

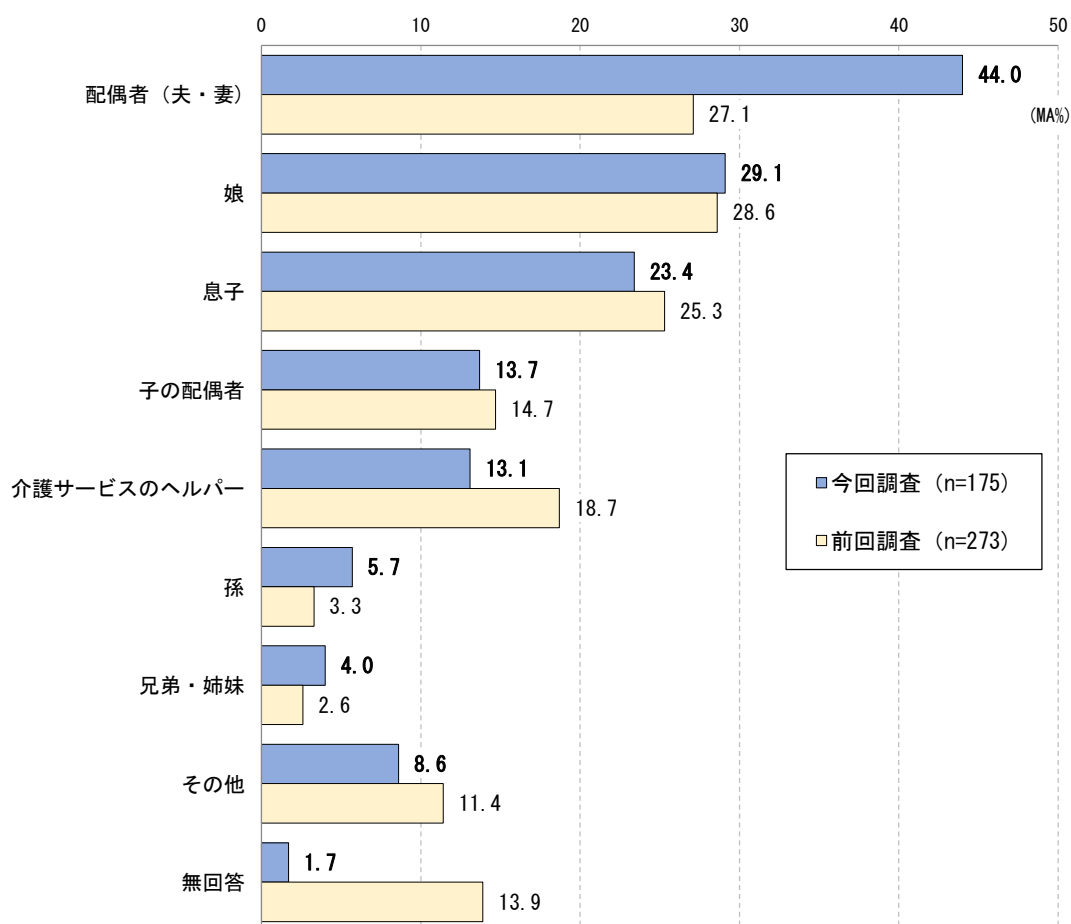


③介護・介助者の続柄等

【問1(2)で「現在、何らかの介護を受けている」と回答の方のみ】

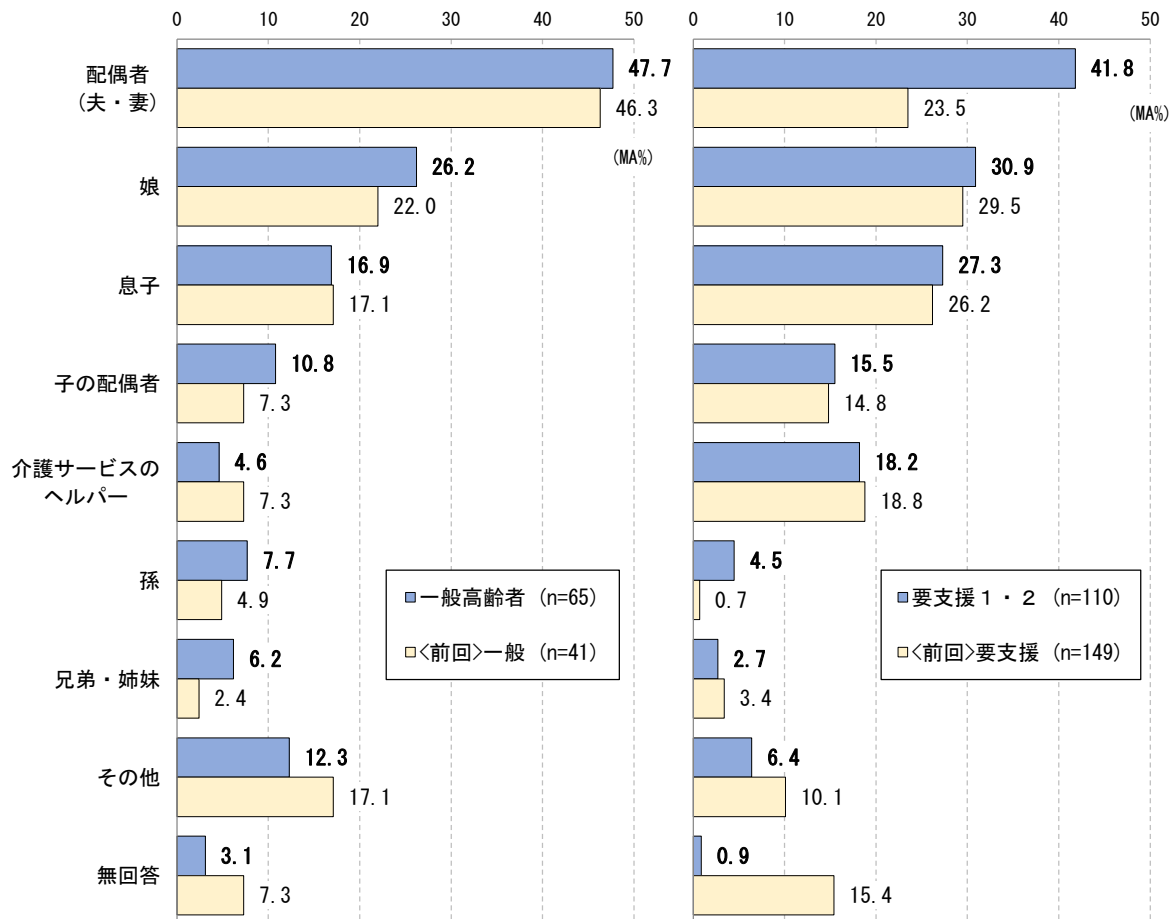
問1(2)② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

介護・介助者としては、「配偶者（夫・妻）」が44.0%と最も多く、前回調査（27.1%）から大きく増えている。また、これに続くのが、「娘」で29.1%、「息子」で23.4%となっている。



要介護認定別にみると、要支援１・２では、「配偶者（夫・妻）」が 41.8%と最も多く、前回調査（23.5%）から大きく増えており、「娘」が 30.9%、「息子」が 27.3%と続いている。また、「介護サービスのヘルパー」が、一般高齢者で 4.6%に対し、要支援１・２では 18.2%と高い。

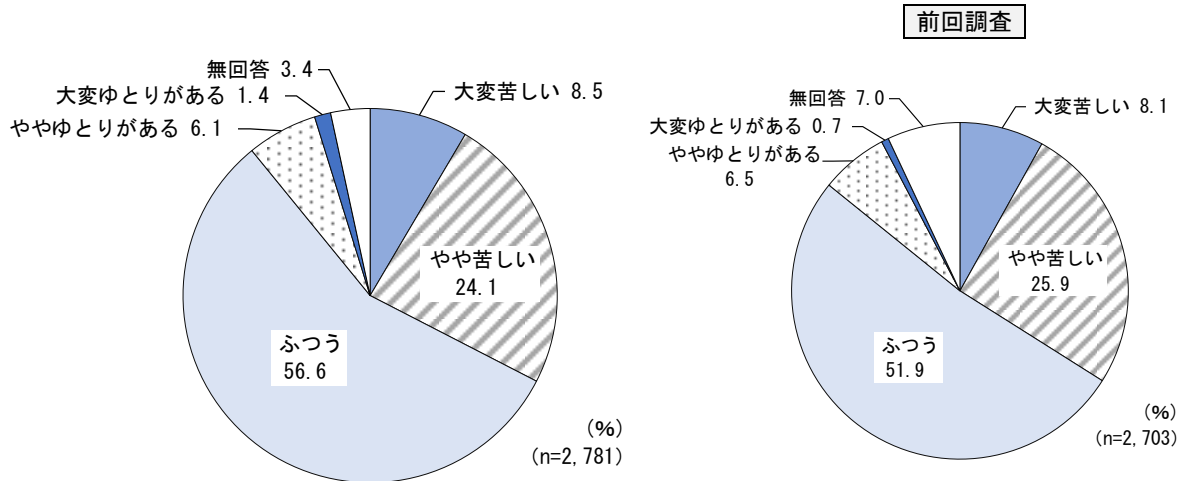
【要介護認定別 介護・介助者の続柄等】



(3) 暮らしの状況

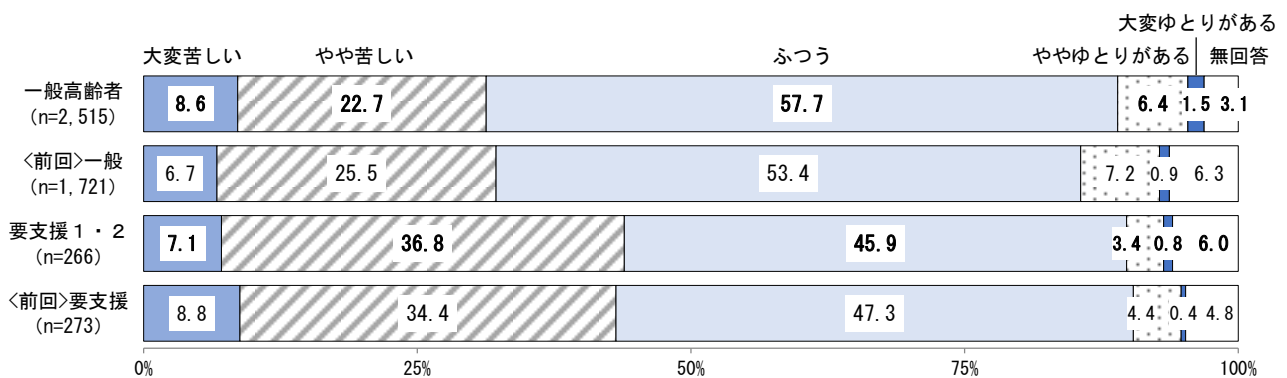
問1(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の暮らしの状況としては、「大変苦しい」が 8.5%、「やや苦しい」が 24.1%となっており、合わせると、経済的に苦しいという割合が3割台（32.5%）みられ、前回調査（34.0%）から 1.5 ポイント減っている。



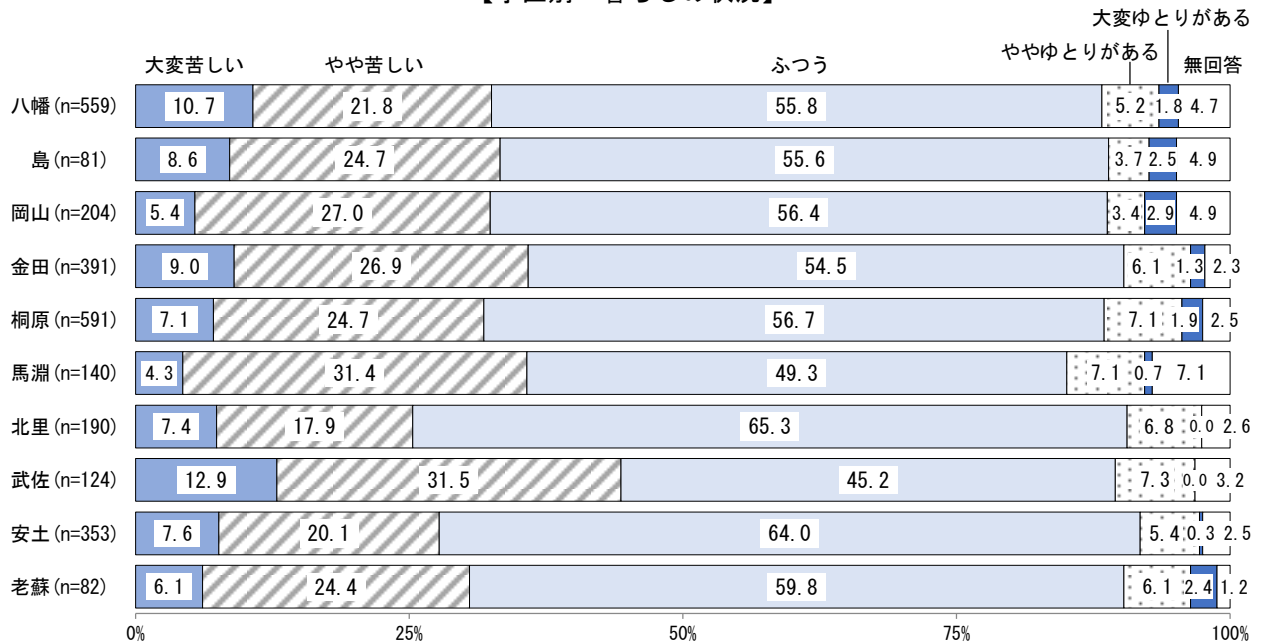
要介護認定別にみると、要支援1・2では、経済的に苦しいという割合が 44.0%みられ、前回調査(43.2%)から微増(0.8ポイント増)となっているものの、「大変苦しい」(今回 7.1%、前回 8.8%)は 1.7 ポイント減っている。

【要介護認定別 暮らしの状況】



学区別にみると、経済的に苦しいという割合が、武佐学区で 44.4%と最も高く、次いで金田学区で 35.8%、馬淵学区で 35.7%となっている。一方、ゆとりがあるという割合（「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」の計）は、いずれの学区も 1 割未満となっている。

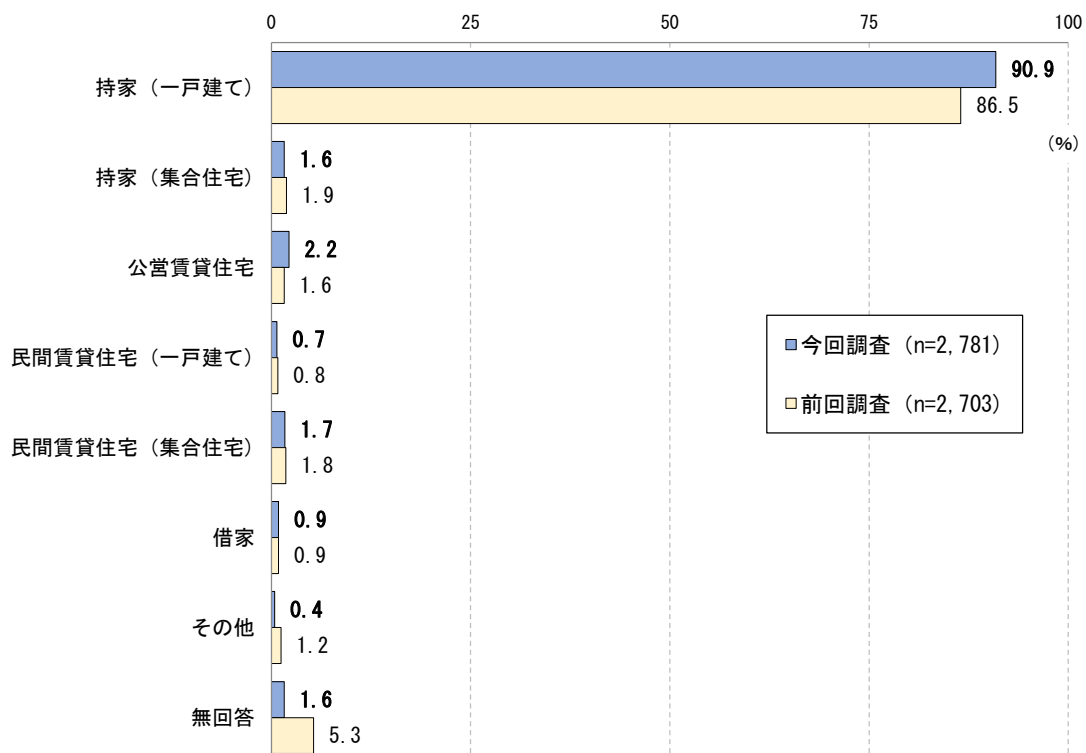
【学区別 暮らしの状況】



(4) 住居形態

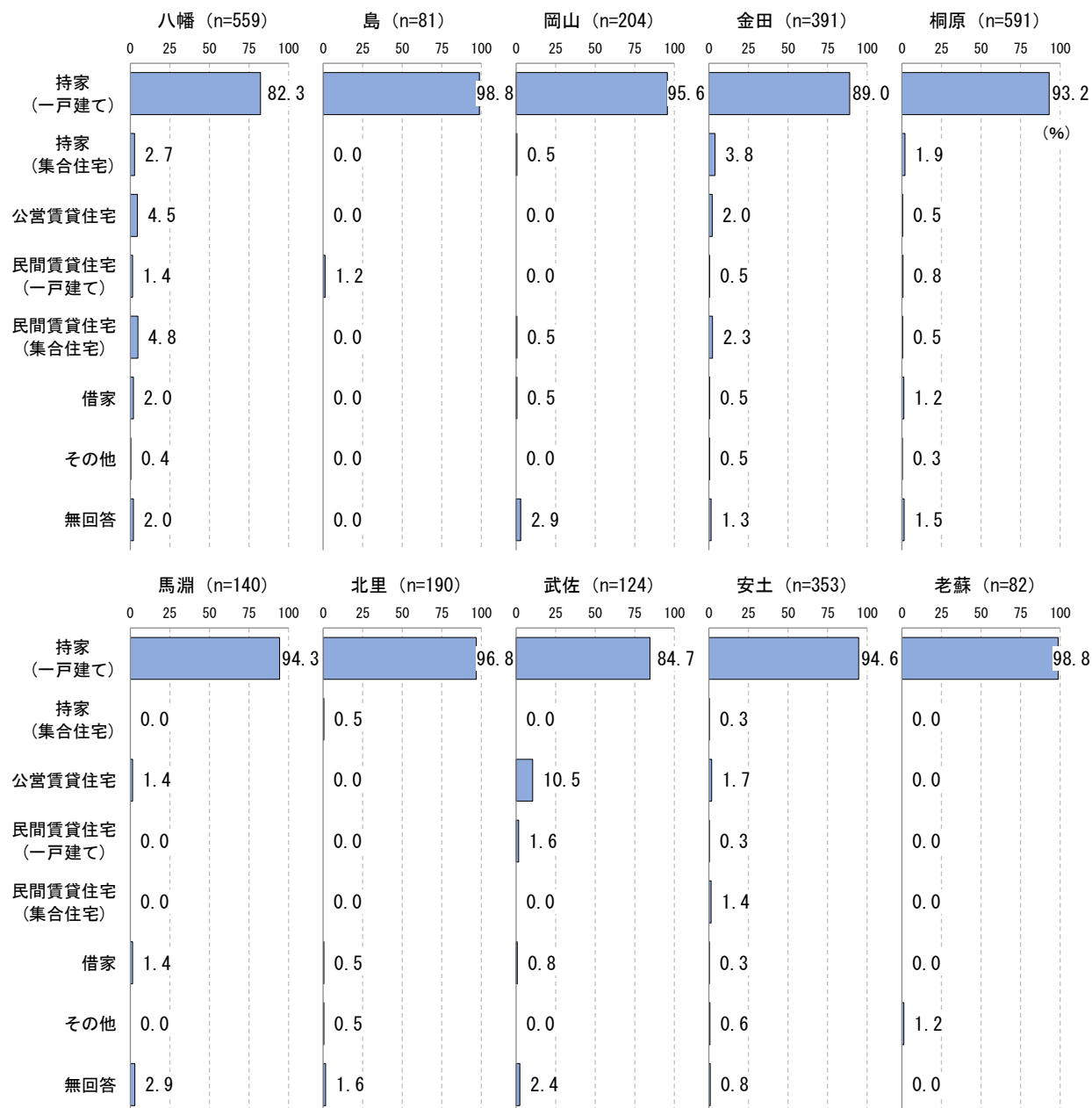
問 1(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住居形態としては、「持家（一戸建て）」が 9 割台（90.9%）を占めており、前回調査（86.5%）から 4.4 ポイント増えている。



学区別にみると、いずれの学区も「持家（一戸建て）」が8～9割台を占めている。一方、「公営賃貸住宅」が武佐学区で約1割（10.5%）と高い。

【学区別 住居形態】

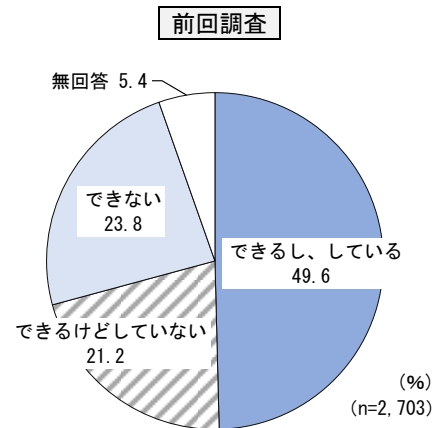
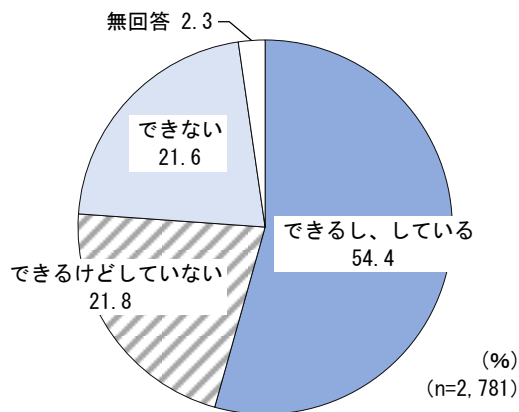


3 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

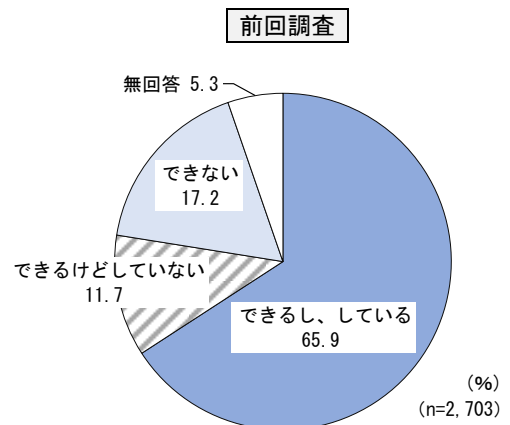
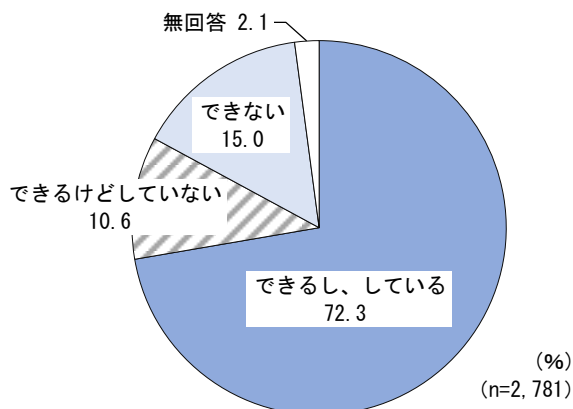
問 2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できない」は2割台（21.6%）となっている。



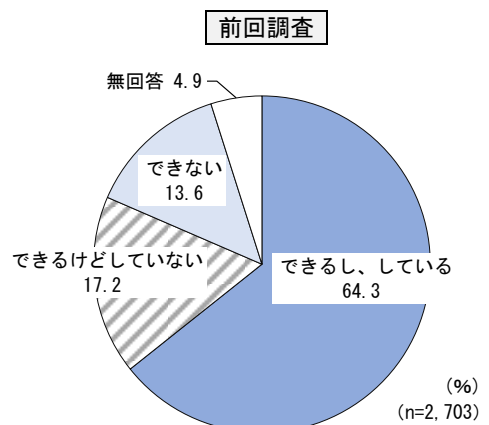
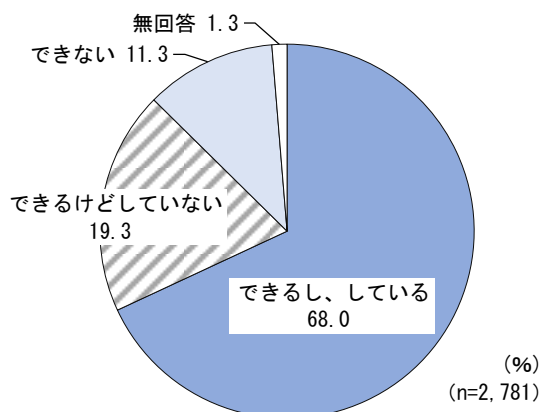
問 2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが「できない」は1割台（15.0%）となっている。



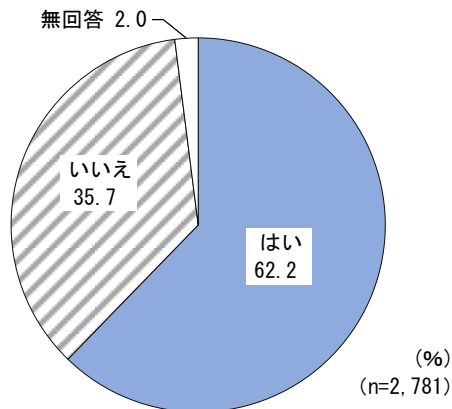
問 2(3) 15分位続けて歩いていますか

15分位続けて歩くことが「できない」は1割台（11.3%）となっている。



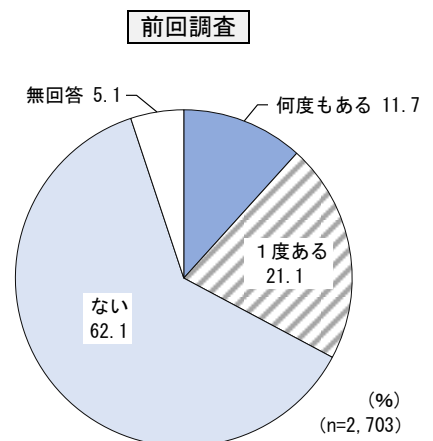
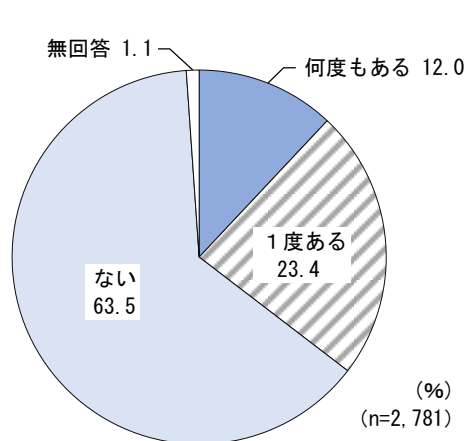
問 2(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うという割合（「はい」）は6割台（62.2%）となっている。



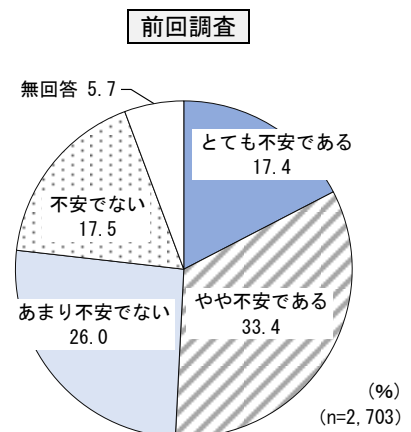
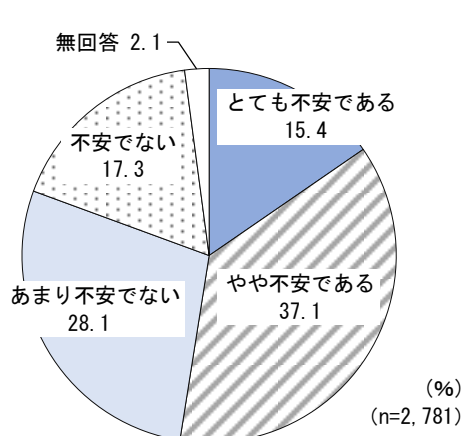
問 2(5) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか

過去 1 年間に転んだ経験が「何度もある」が 12.0%、「1 度ある」が 23.4%となっており、合わせると、転んだ経験があるという割合が3割台（35.4%）みられる。



問 2(6) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対して「やや不安である」が 37.1%と最も多く、「とても不安である」（15.4%）を合わせると、不安があるという割合が半数以上（52.5%）を占めている。

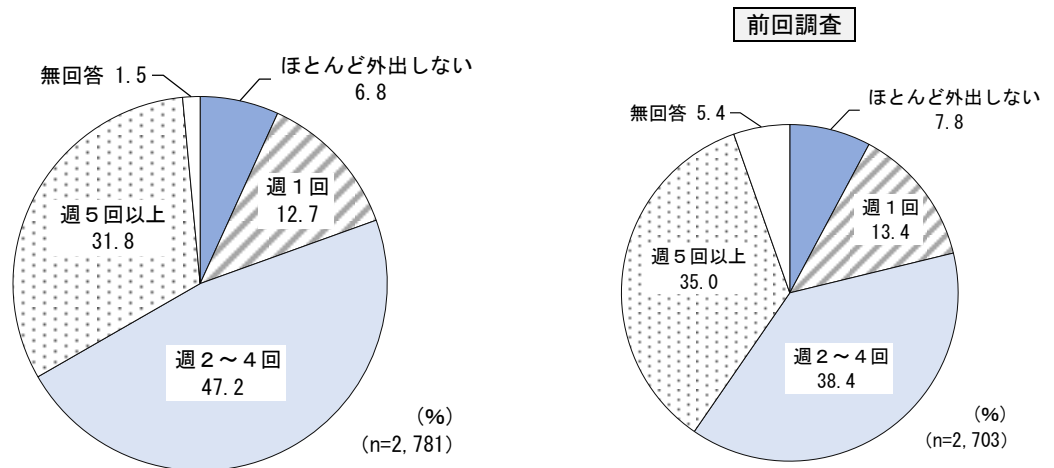


(2) 外出状況

①外出頻度

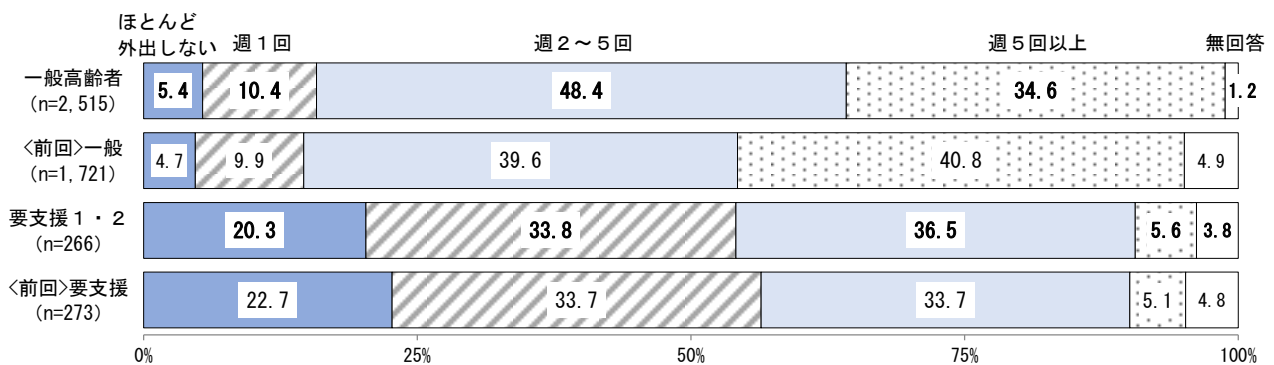
問 2(7) 週に 1 回以上は外出していますか

1 週間あたりの外出の頻度としては、「週 2～4 回」が 47.2%と最も多く、次いで「週 5 回以上」が 31.8%となっている。一方、週 1 回以下の割合は約 2 割（19.5%）みられ、前回調査（21.2%）から 1.7 ポイント減っている。



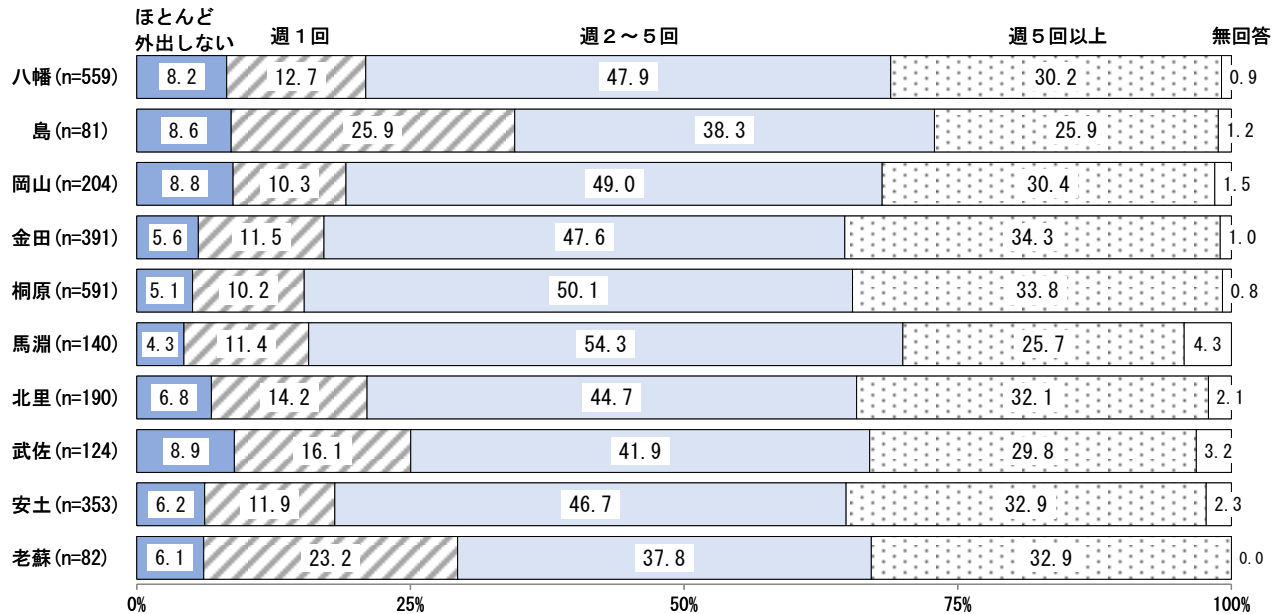
要介護認定別にみると、週 1 回以下の割合が、一般高齢者で 1 割台（15.8%）みられるのに対し、要支援 1・2 では 54.1%と、前回調査（56.4%）と同様に半数以上を占めている。

【要介護認定別 外出頻度】



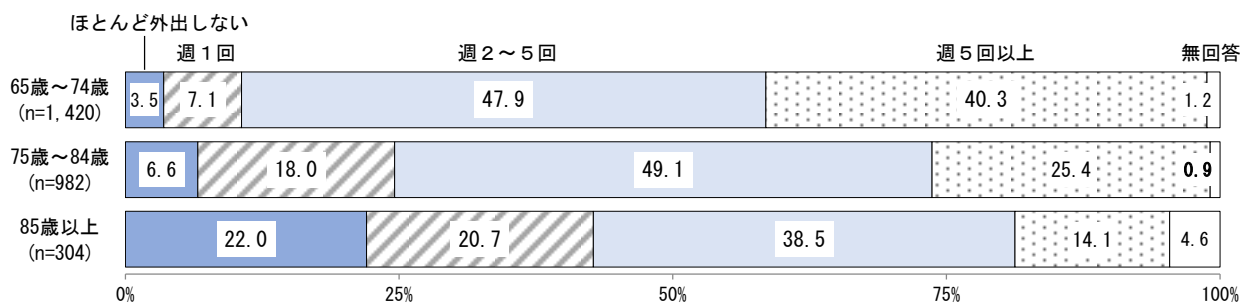
学区別にみると、週1回以下の割合が、島学区で34.6%と最も高く、次いで老蘇学区で29.3%、武佐学区で25.0%となっている。

【学区別 外出頻度】



年齢別にみると、週1回以下の割合が、65歳～74歳で1割台（10.6%）、75歳～84歳で2割台（24.6%）に対し、85歳以上では4割台（42.8%）を占めている。

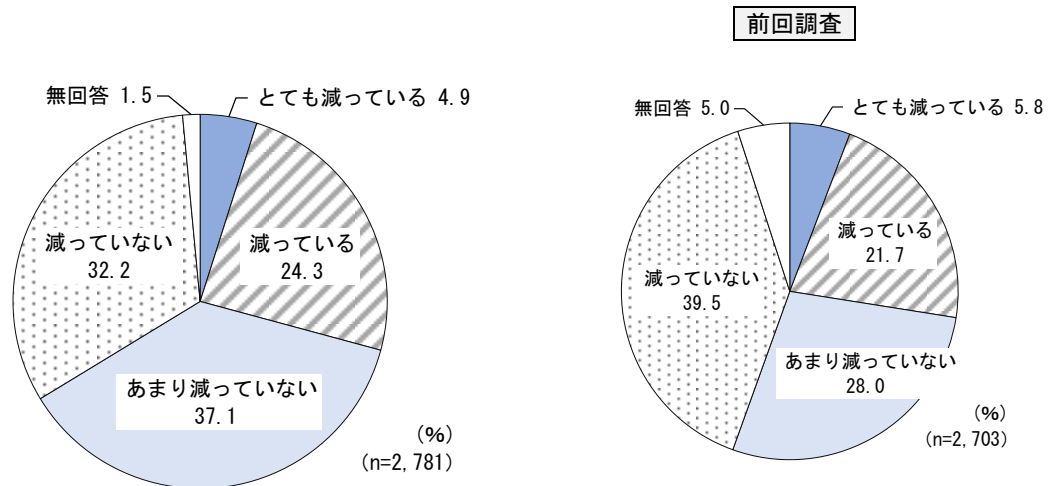
【年齢別 外出頻度】



②外出回数の減少度合い

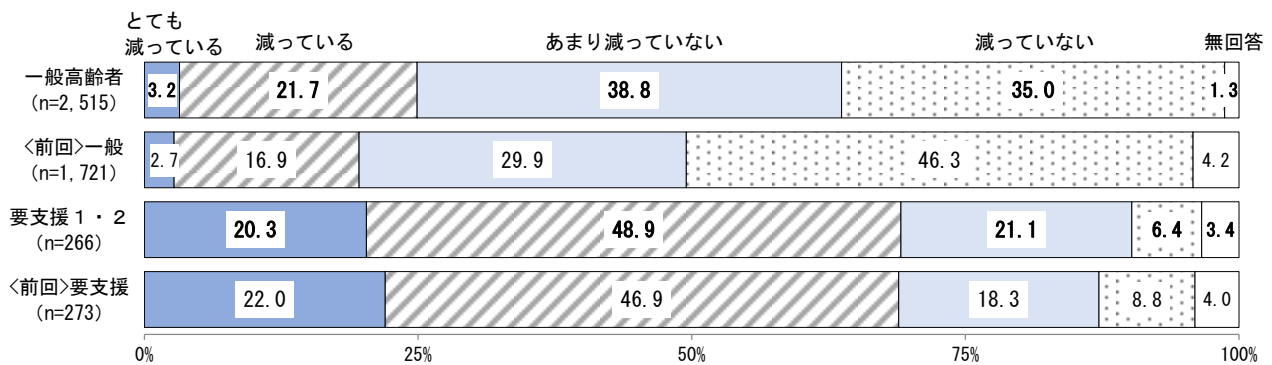
問 2(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

昨年と比べて外出の回数が「とても減っている」が 4.9%、「減っている」が 24.3%となっており、合わせると、外出回数が減っているという割合が約 3 割（29.1%）みられ、前回調査（27.5%）から 1.6 ポイント増えている。



要介護認定別にみると、減っているという割合が、一般高齢者で 2 割台（24.9%）に対し、要支援 1・2 では約 7 割（69.2%）を占めており、前回調査（68.9%）と同程度となっている。

【要介護認定別 外出回数の減少度合い】

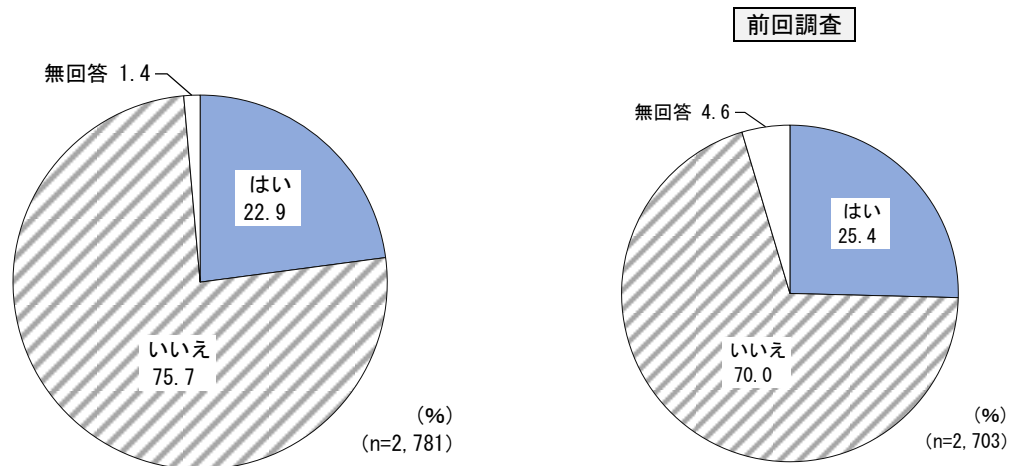


(3) 外出控えの状況

①外出控えの有無

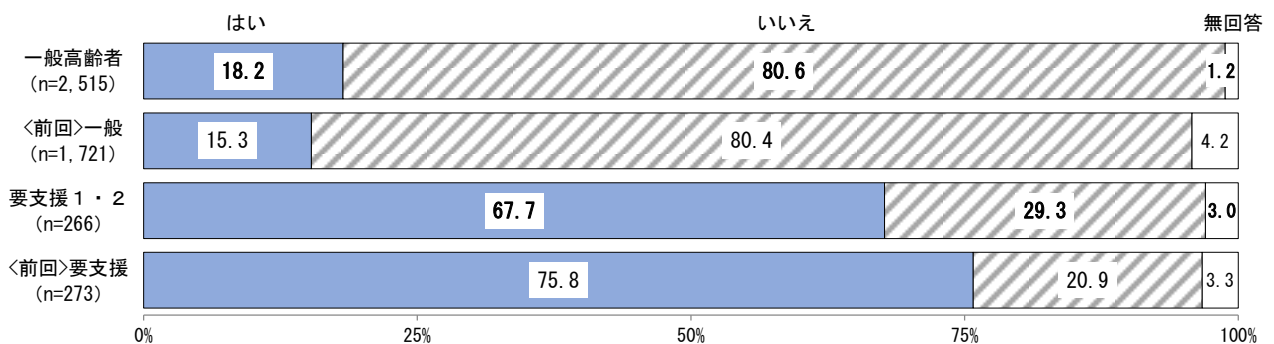
問 2(9) 外出を控えていますか

外出を控えているという割合（「はい」）は2割台（22.9%）となっており、前回調査（25.4%）から2.5ポイント減っている。



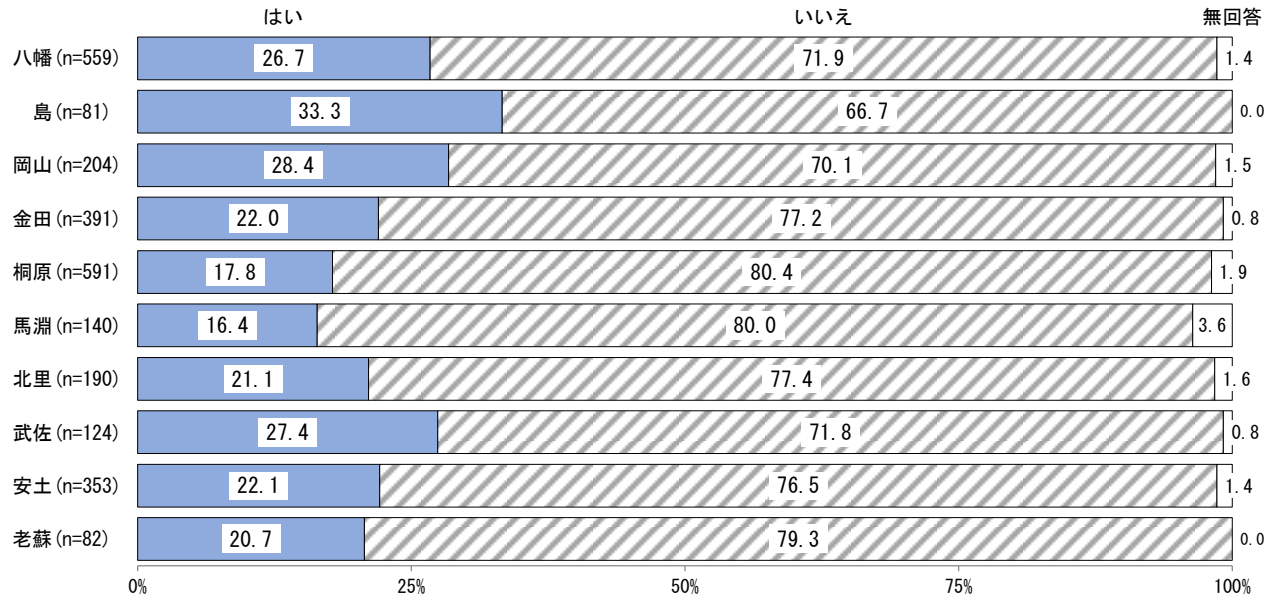
要介護認定別にみると、外出を控えているという割合が、要支援1・2で7割近く（67.7%）を占めているものの、前回調査（75.8%）からは8.1ポイント減っている。

【要介護認定別 外出控えの有無】



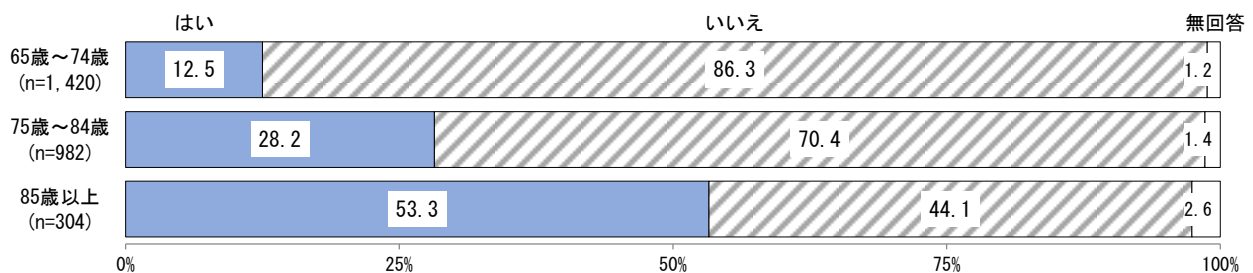
学区別にみると、外出を控えているという割合が、島学区で 33.3%と最も高く、次いで岡山学区で 28.4%、武佐学区で 27.4%、八幡学区で 26.7%となっている。

【学区別 外出控えの有無】



年齢別にみると、外出を控えているという割合が、65歳～74歳で1割台（12.5%）、75歳～84歳で2割台（28.2%）に対し、85歳以上では半数以上（53.3%）を占めている。

【年齢別 外出控えの有無】



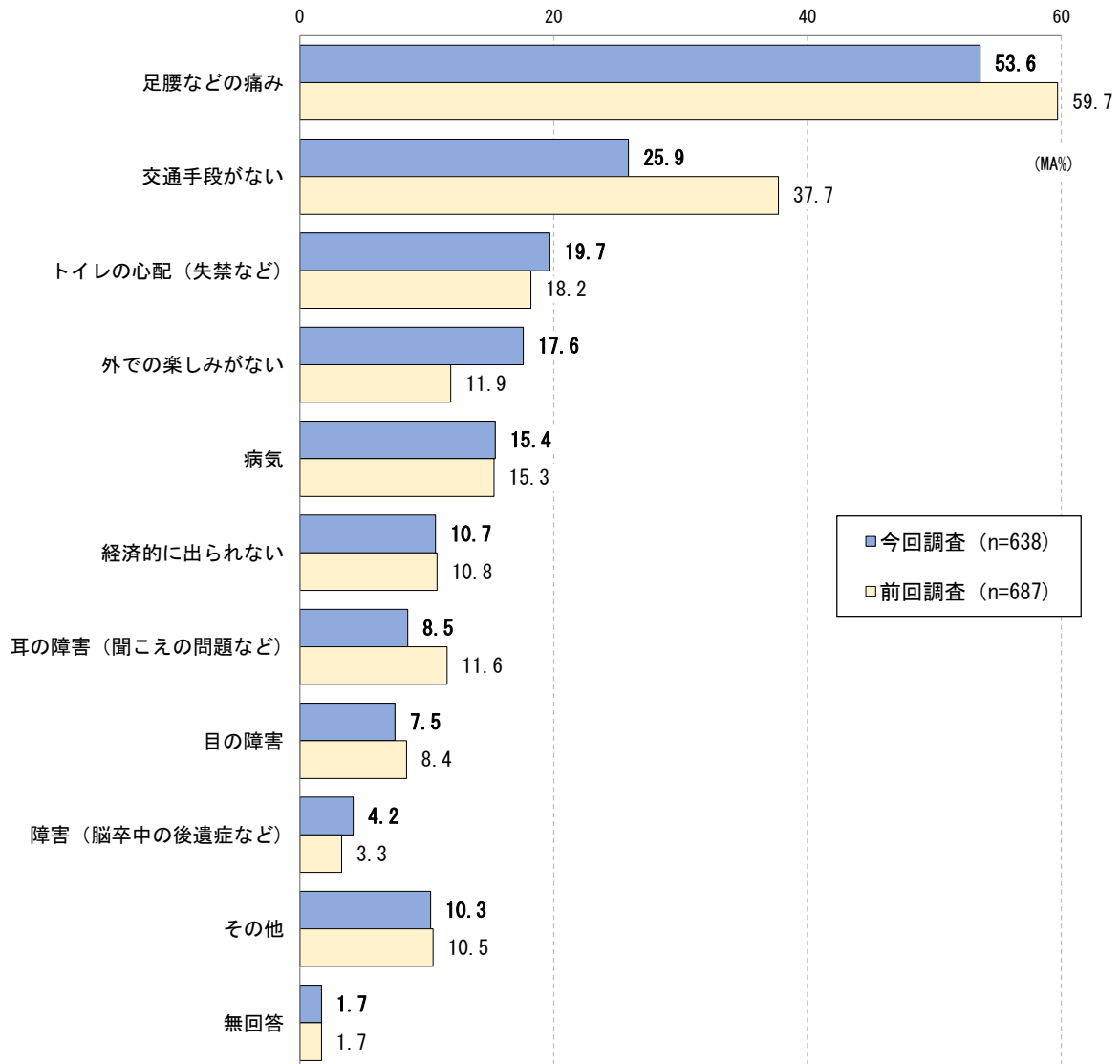
②外出を控えている理由

【問2(9)で「はい」と回答の方のみ】

問2(9)① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

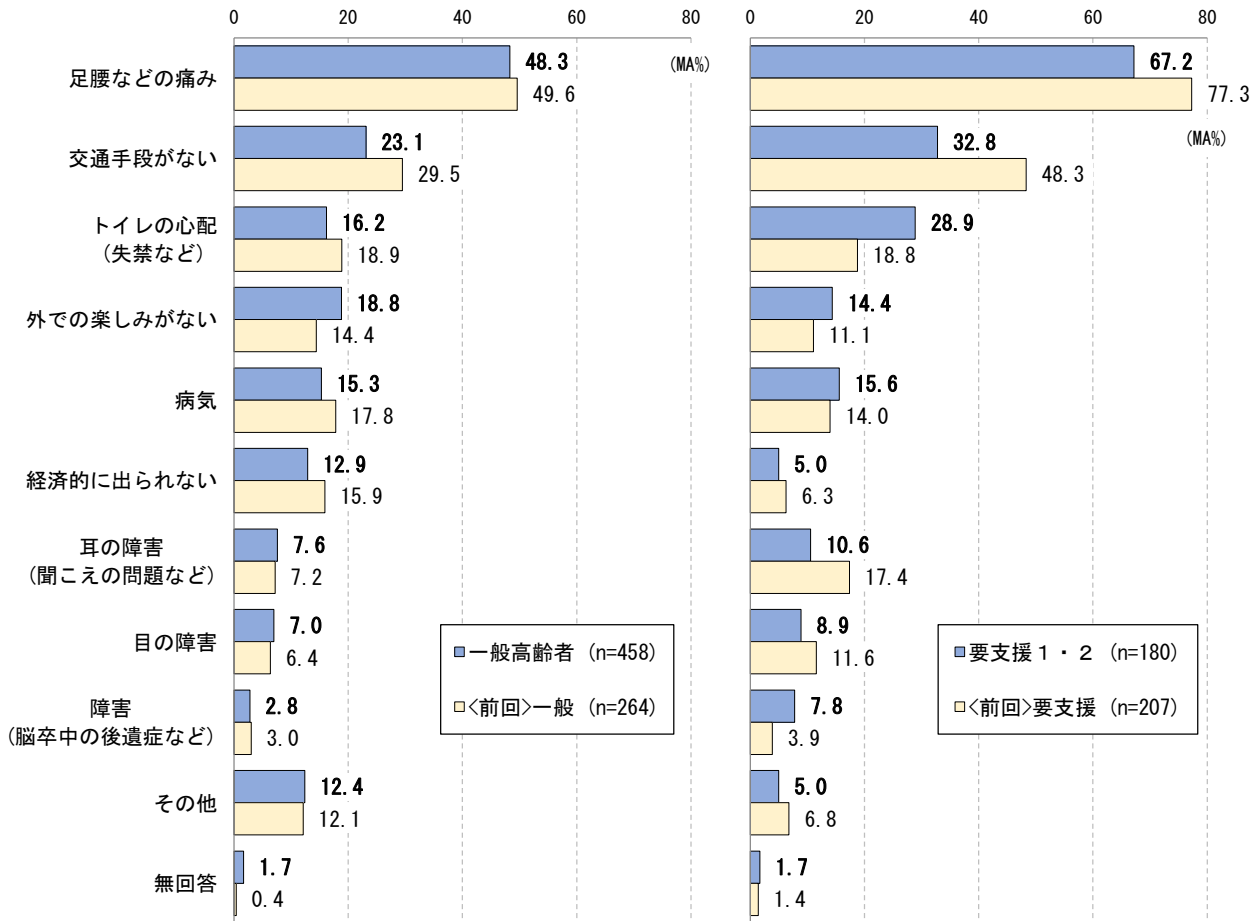
外出を控えているという人の理由としては、「足腰などの痛み」が53.6%と最も多く、次いで「交通手段がない」が25.9%、「トイレの心配（失禁など）」が19.7%、「外での楽しみがない」が17.6%となっている。

前回調査と比べると、「交通手段がない」（前回37.7%）が11.8ポイント減っているのに対し、「外での楽しみがない」（前回11.9%）が5.7ポイント増えている。



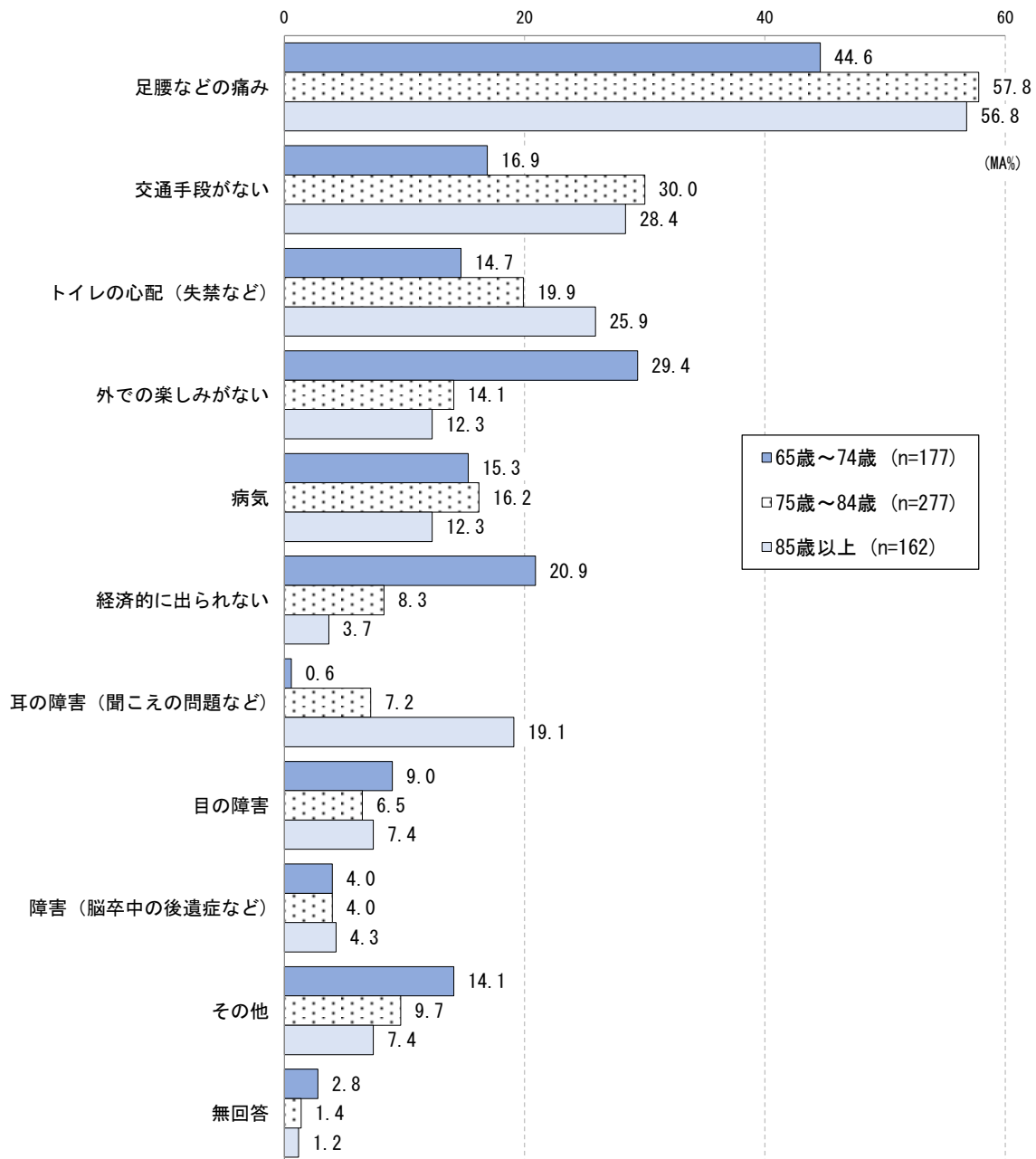
要介護認定別にみると、要支援1・2では、「足腰などの痛み」が67.2%と最も多く、次いで「交通手段がない」が32.8%となっているものの、ともに前回調査からは10～15ポイント減っている。一方、これらに続くのが、「トイレの心配（失禁など）」で28.9%となっており、こちらは前回調査から約10ポイント増えている。

【要介護認定別 外出を控えている理由】



年齢別にみると、いずれも「足腰などの痛み」が最も高く、65歳～74歳で44.6%、75歳～84歳で57.8%、85歳以上で56.8%となっている。また、これに続くのが、75歳以上では「交通手段がない」(75歳～84歳30.0%、85歳以上28.4%)、「トイレの心配(失禁など)」(75歳～84歳19.9%、85歳以上25.9%)となっているのに対し、65歳～74歳では「外での楽しみがない」(29.4%)、「経済的に出られない」(20.9%)が次いで多い。

【年齢別 外出を控えている理由】

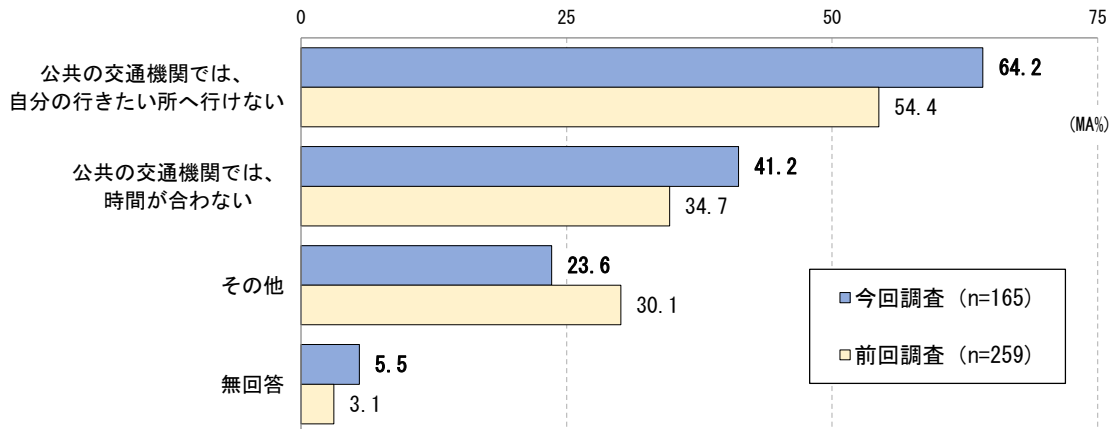


③交通手段がない理由

【問2(9)①で「交通手段がない」と回答の方のみ】

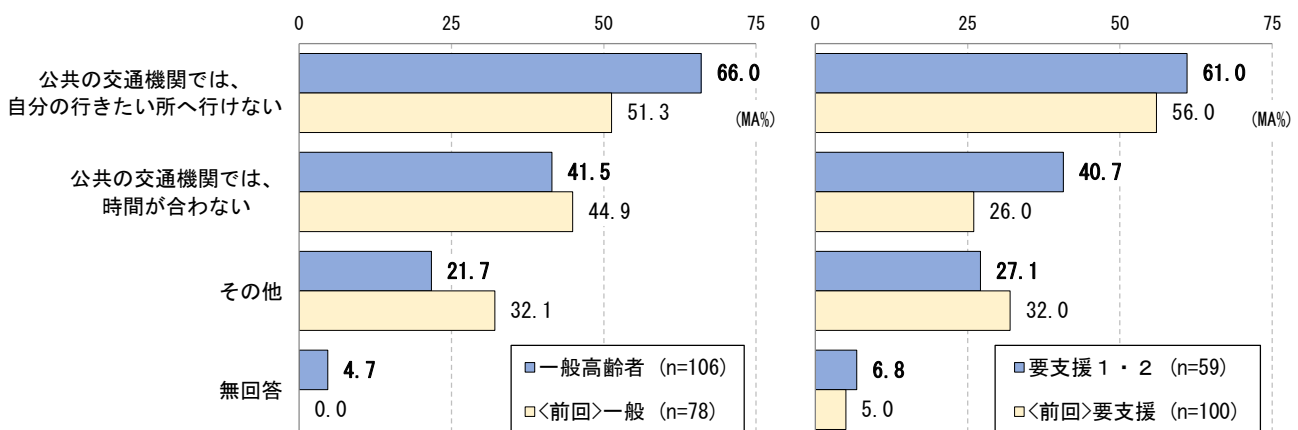
問2(9)② その理由は、次のどれですか（いくつでも）

外出を抑えている理由として“交通手段がない”と回答した人の理由としては、「公共の交通機関では、自分の行きたい所へ行けない」が64.2%と最も多く、前回調査（54.4%）から9.8ポイント増えている。



要介護認定別にみると、要支援1・2では、「公共の交通機関では、自分の行きたい所へ行けない」が61.0%、「公共の交通機関では、時間が合わない」が40.7%となっており、ともに前回調査から増加傾向にある。

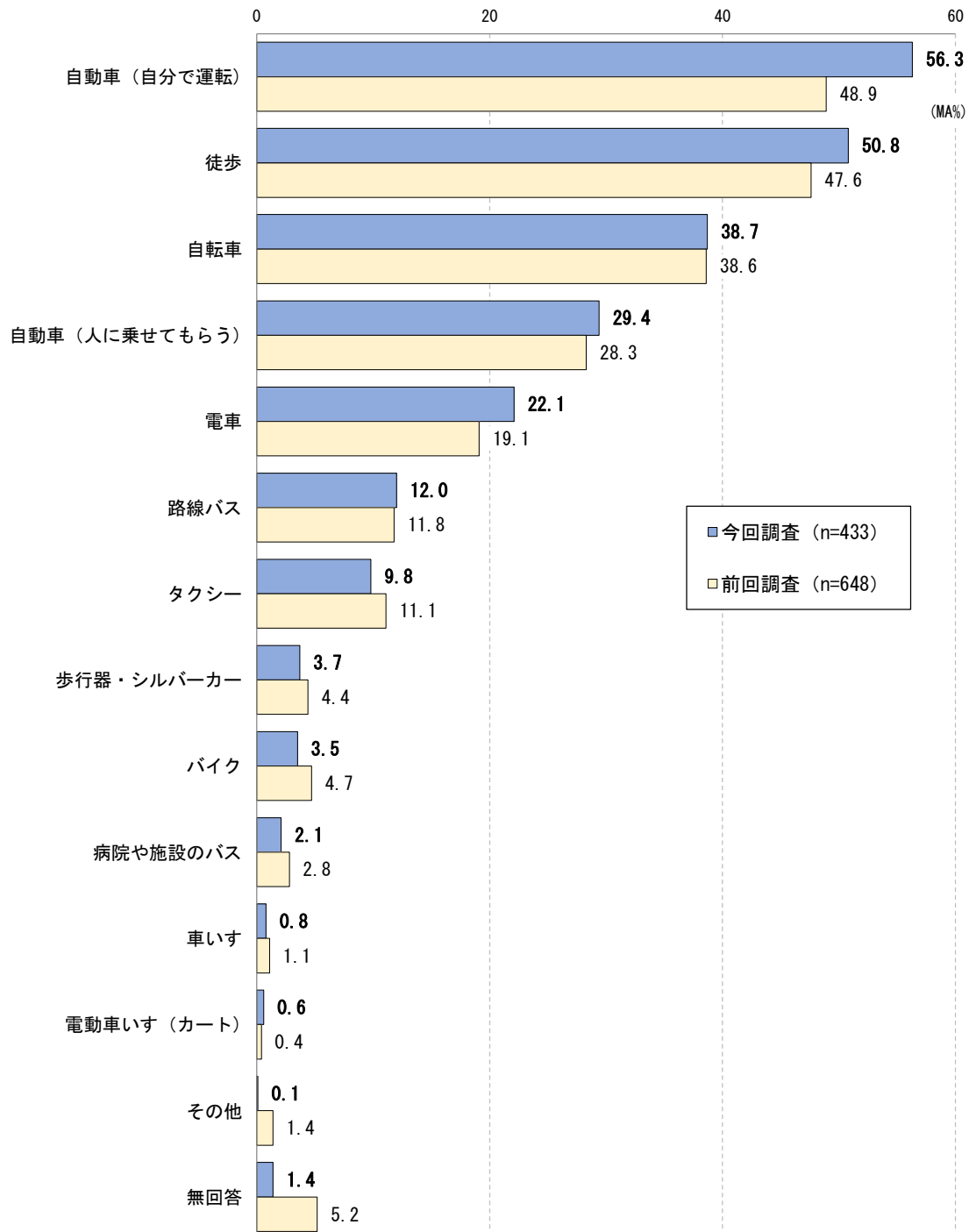
【要介護認定別 交通手段がない理由】



(4) 移動手段

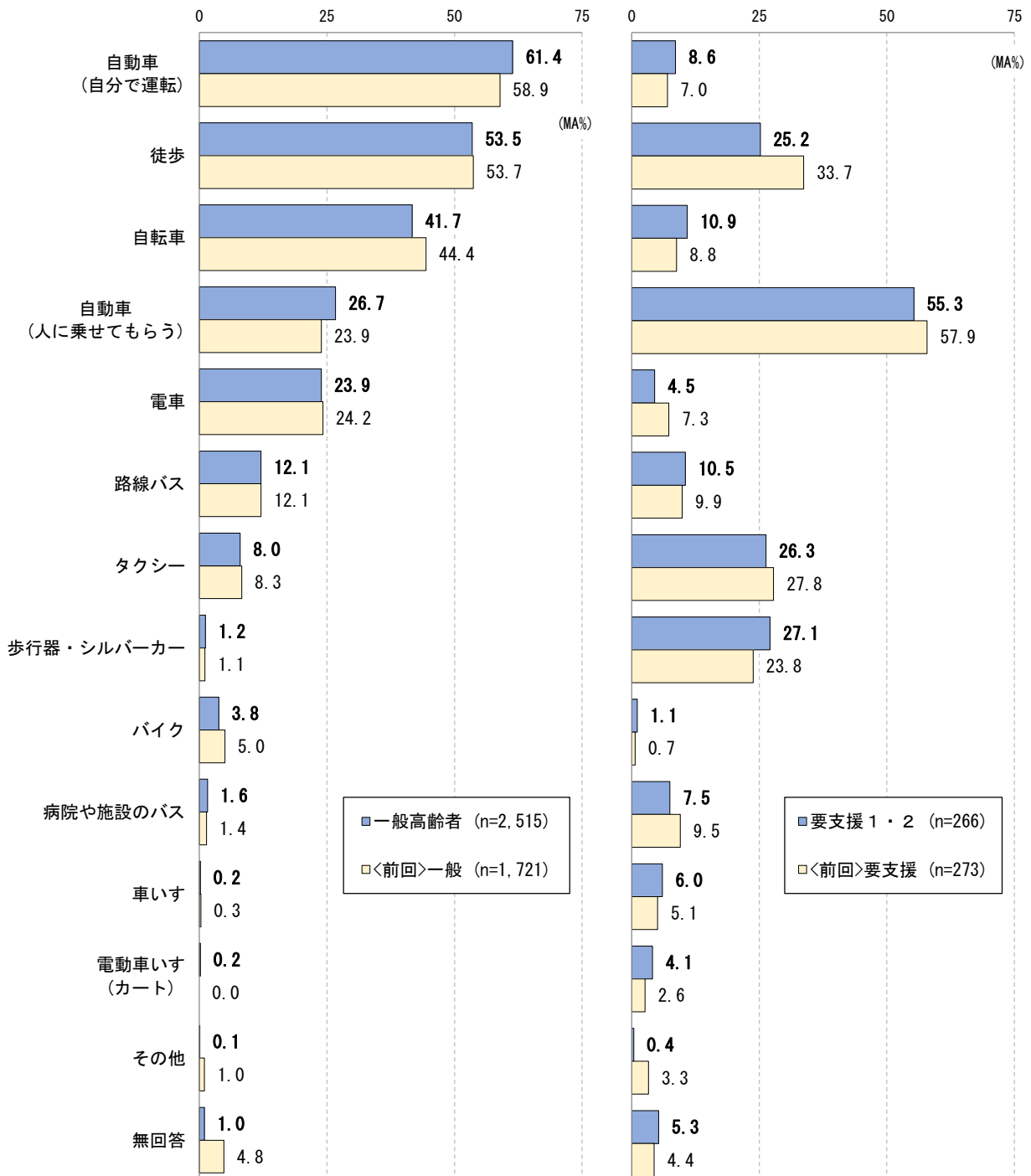
問 2(10) 外出する際の移動手段はなんですか (いくつでも)

外出する際の移動手段としては、「自動車(自分で運転)」が 56.3%と最も多く、前回調査(48.9%)から 7.4 ポイント増えている。また、これに続くのが、「徒歩」で 50.8%、「自転車」で 38.7%、「自動車(人に乗せてもらう)」で 29.4%となっている。



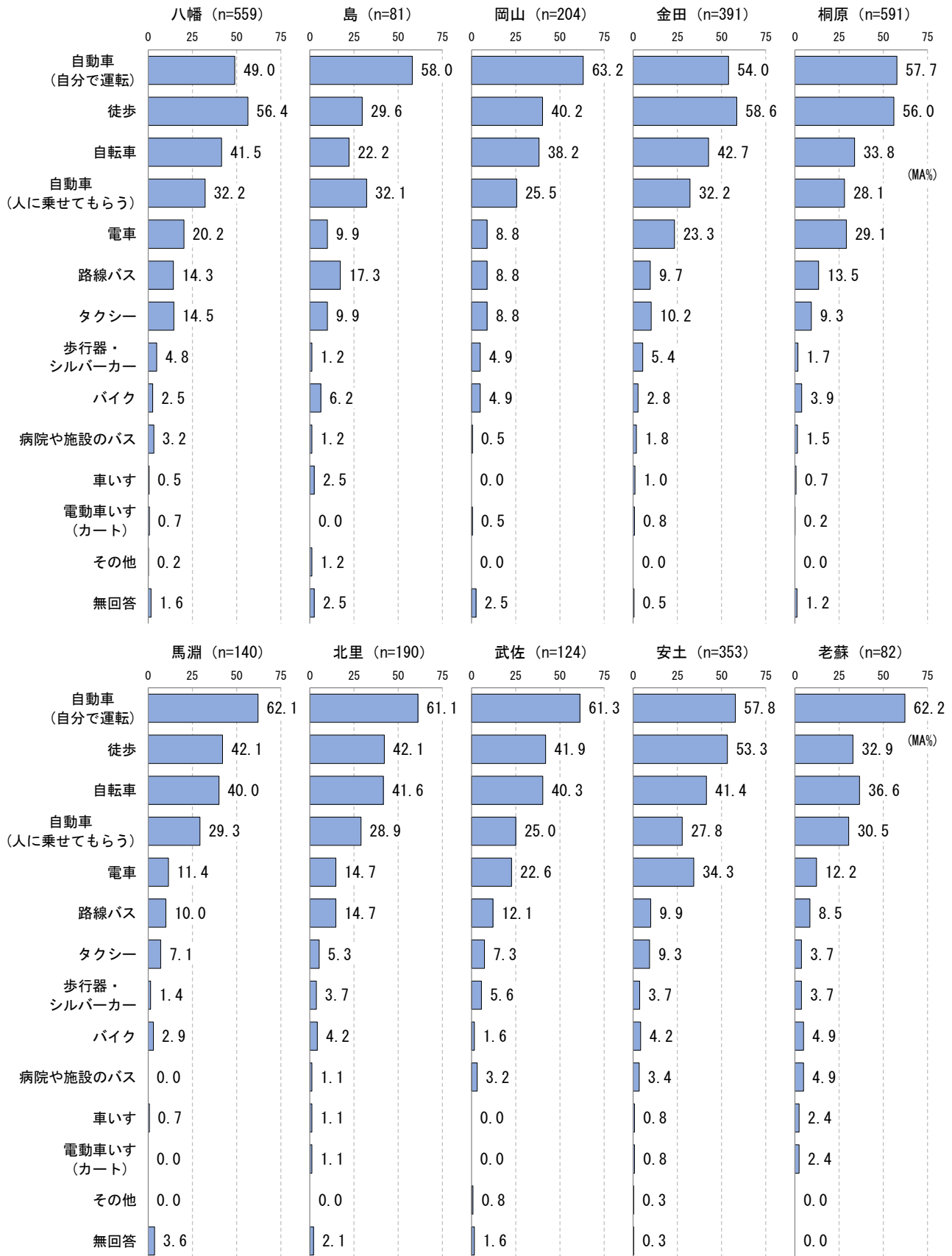
要介護認定別にみると、要支援1・2では、「自動車（人に乗せてもらう）」が55.3%と最も多く、次いで「歩行器・シルバーカー」が27.1%、「タクシー」が26.3%となっており、いずれも一般高齢者に比べて20～30ポイント程度高い割合となっている。

【要介護認定別 移動手段】



学区別にみると、概ねいずれの学区も「自動車（自分で運転）」が最も多くなっている。公共交通機関では、「電車」が安土学区で 34.3%、「路線バス」が島学区で 17.3%、「タクシー」が八幡学区で 14.5%と、それぞれ最も高い。

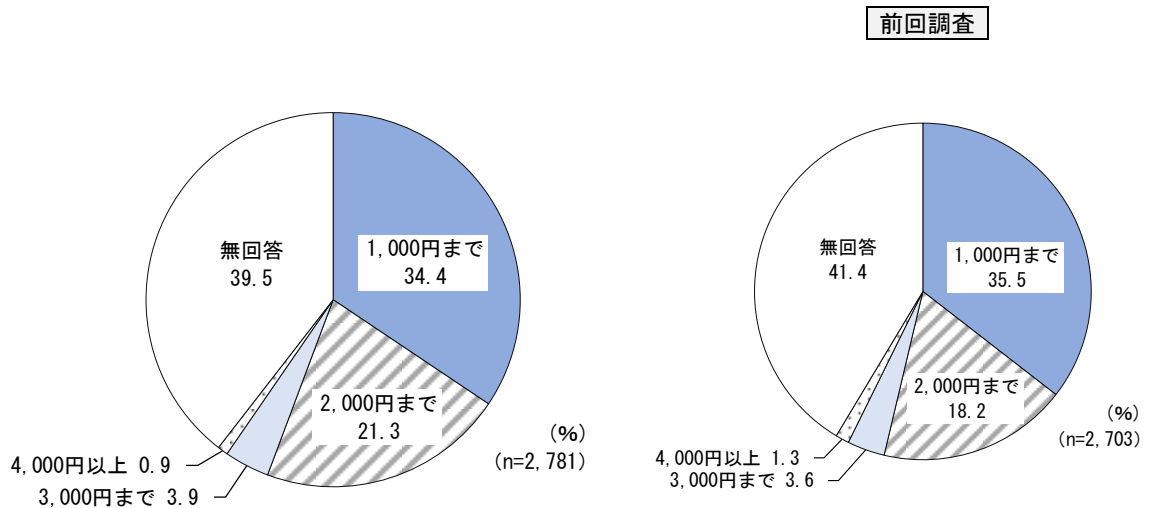
【学区別 移動手段】



(5) タクシー利用の許容額

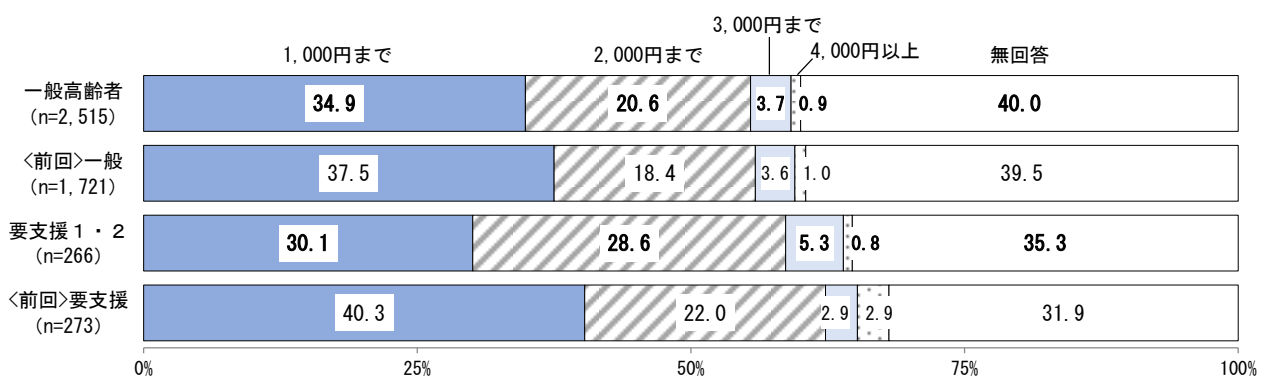
問 2(11) タクシーを週 1 回利用する場合、1 回（片道）いくらまで出費できますか

タクシーを週 1 回利用する場合に 1 回（片道）いくらまで出費額できるかたずねたところ、「1,000 円まで」が 34.4%と最も多くなっている。一方、1,000 円以上は合わせて 26.1%となっており、前回調査（23.1%）から 3.0 ポイント増えている。



要介護認定別にみると、2,000 円以上出費できるという割合が、一般高齢者で 25.2%に対し、要支援 1・2 では 34.6%と高く、前回調査（27.8%）からも 6.8 ポイント増えている。

【要介護認定別 タクシー利用の許容額】

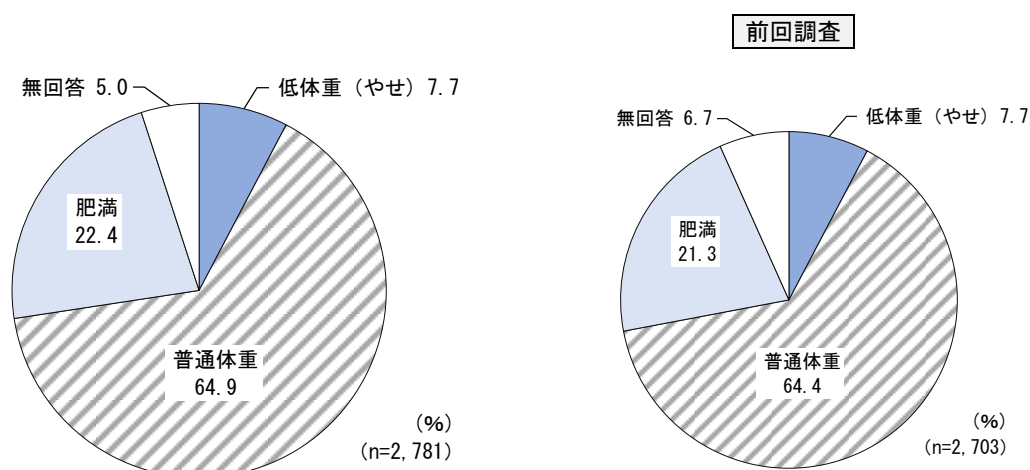


4 食べることに～

(1) BMI

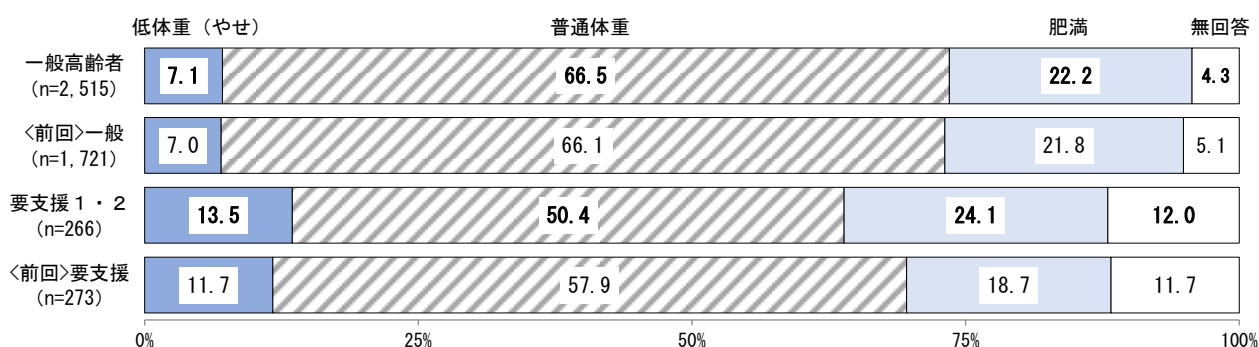
問3(1) 身長・体重

身長・体重から算出したBMI値をみると、「低体重（やせ）〔BMI：18.5未満〕」が7.7%（前回7.7%）、「肥満〔BMI：25以上〕」が22.4%（前回21.3%）となっており、前回調査と同程度となっている。



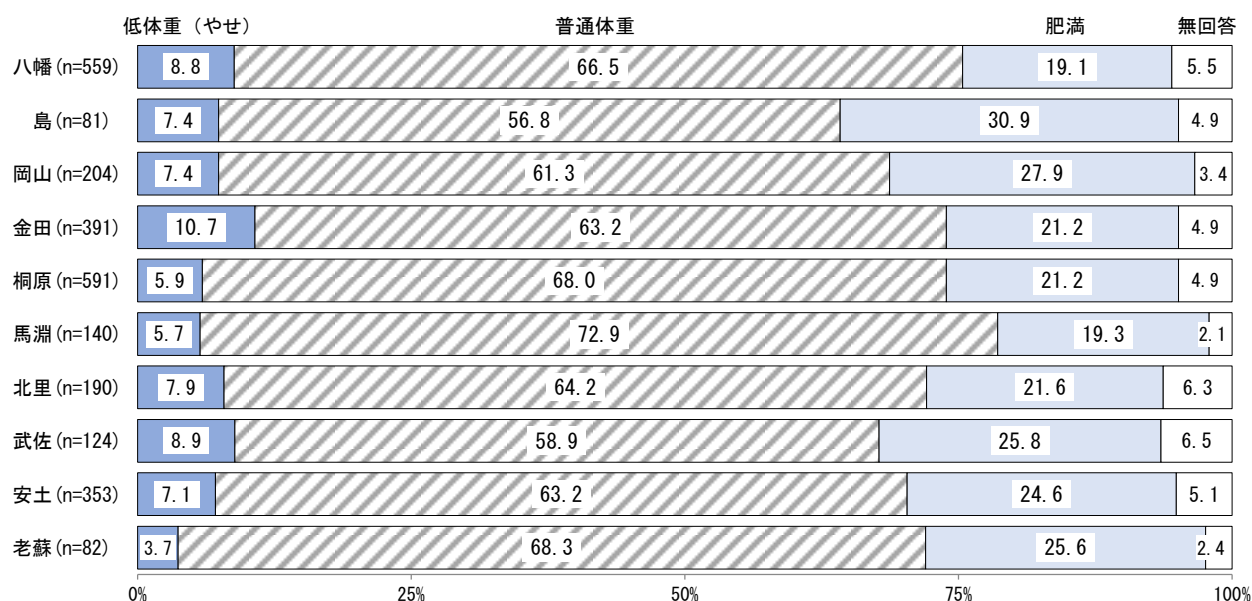
要介護認定別にみると、要支援1・2で、「低体重（やせ）」が13.5%（前回11.7%）、「肥満」が24.1%（前回18.7%）と、ともに前回調査より増えており、一般高齢者と比べても高い割合となっている。

【要介護認定別 BMI】



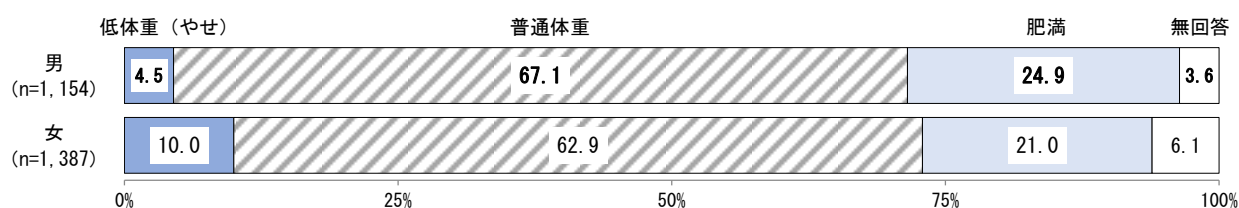
学区別にみると、「低体重（やせ）」が金田学区で 10.7%、「肥満」が島学区で 30.9%と、それぞれ最も高くなっている。

【学区別 BMI】



性別にみると、「低体重（やせ）」は女性（10.0%）、「肥満」は男性（24.9%）のほうが、それぞれ高くなっている。

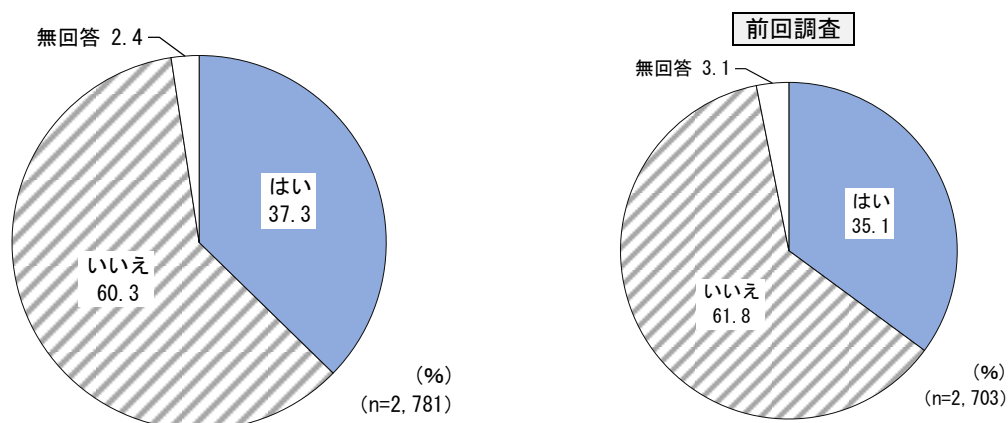
【性別 BMI】



（２）口腔機能の状況

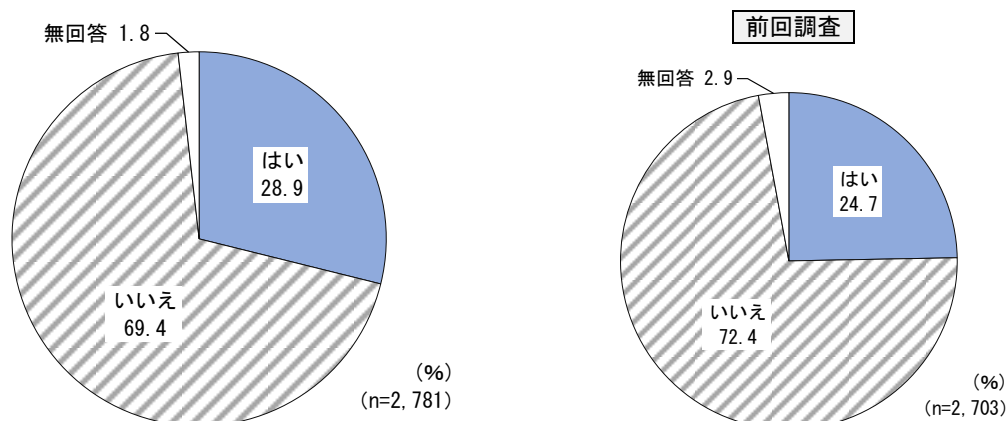
問 3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

固いものが食べにくくなったという割合（「はい」）は3割台（37.3%）となっている。



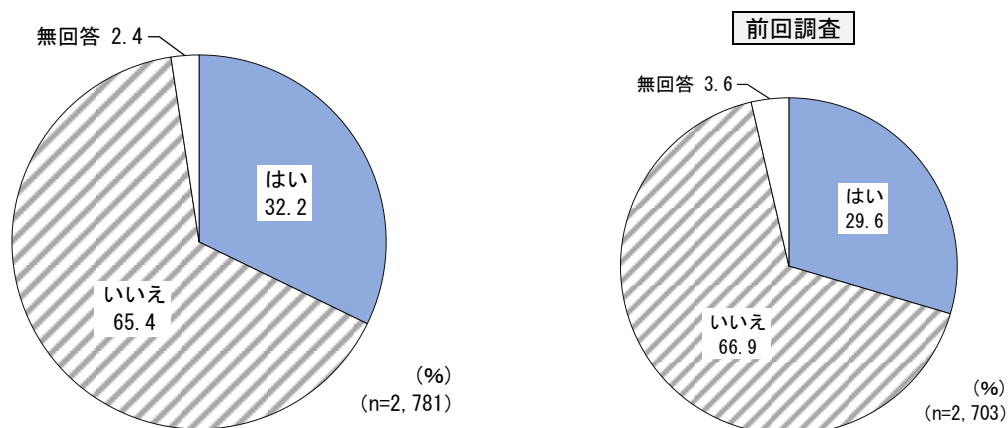
問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるという割合（「はい」）は2割台（28.9%）となっている。



問3(4) 口の渇きが気になりますか

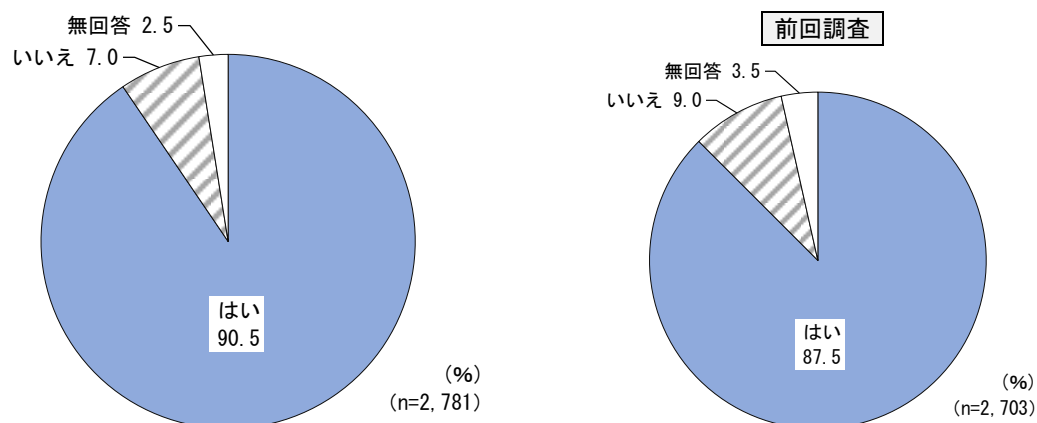
口の渇きが気になるという割合（「はい」）は3割台（32.2%）となっている。



(3) 口腔ケアの状況

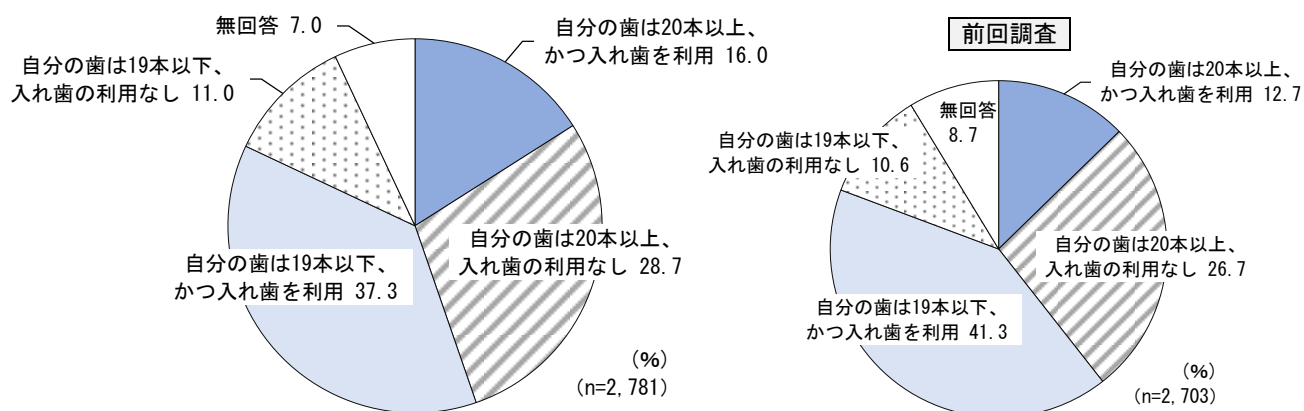
問3(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

歯磨きを毎日しているという割合（「はい」）は約9割（90.5%）となっている。



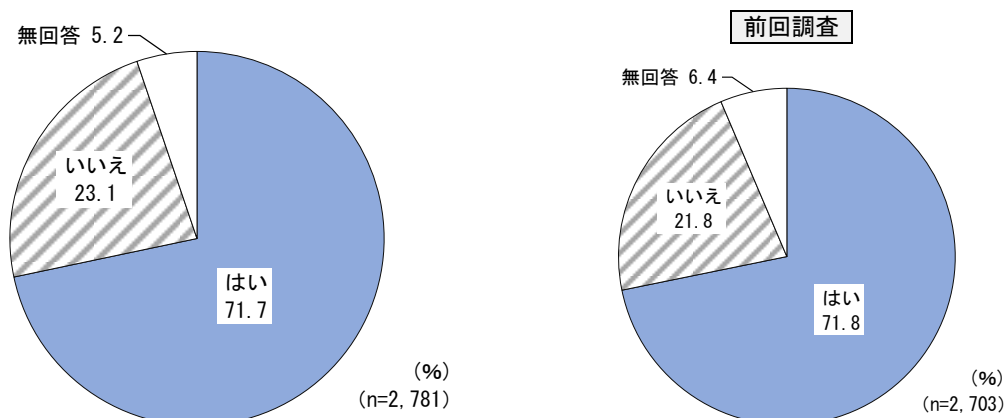
問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

歯の数と入れ歯の利用状況としては、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.3%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が28.7%となっている。



問3(6)① 噛み合わせは良いですか

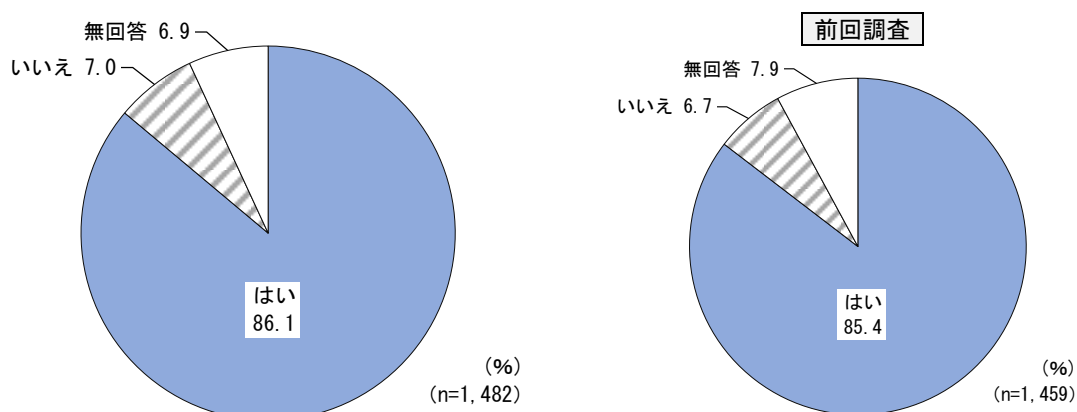
噛み合わせは良いという割合（「はい」）は、7割台（71.7%）となっている。



【問3(6)で入れ歯を利用していると回答の方のみ】

問3(6)② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

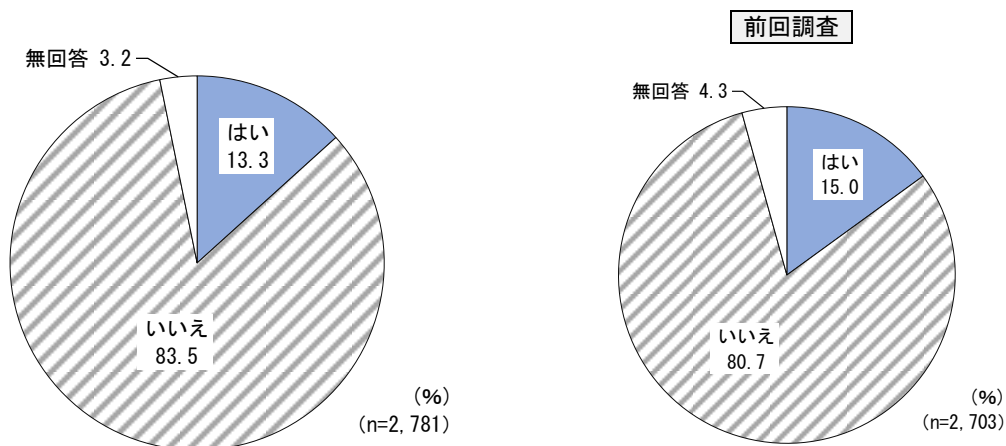
入れ歯を利用している人のうち、毎日手入れをしているという割合（「はい」）は8割台（86.1%）となっている。



(4) 体重減少の有無

問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

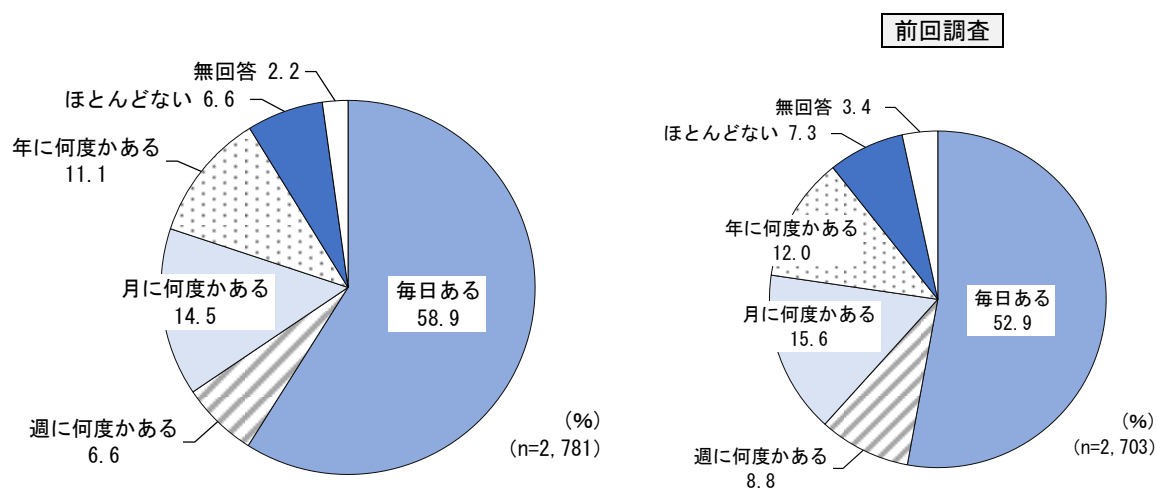
6か月間で2～3kg以上の体重減少があったという割合（「はい」）は1割台（13.3%）となっている。



(5) 共食の状況

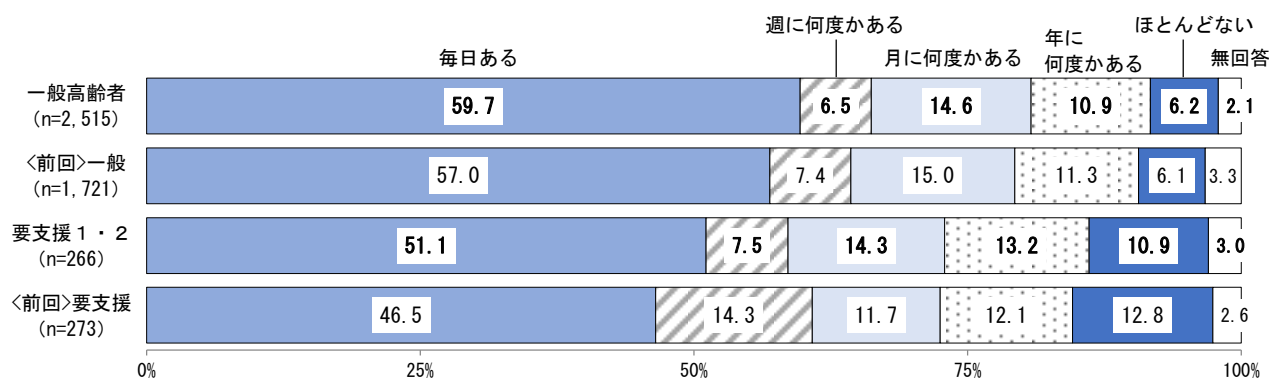
問3(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか

誰かと食事をともにする機会が「毎日ある」が6割近く（58.9%）を占めている。一方、月に数回以下の割合（「月に何度かある」「年に何度かある」「ほとんどない」の計）は3割台（32.3%）となっており、前回調査（34.9%）から2.6ポイント減っている。



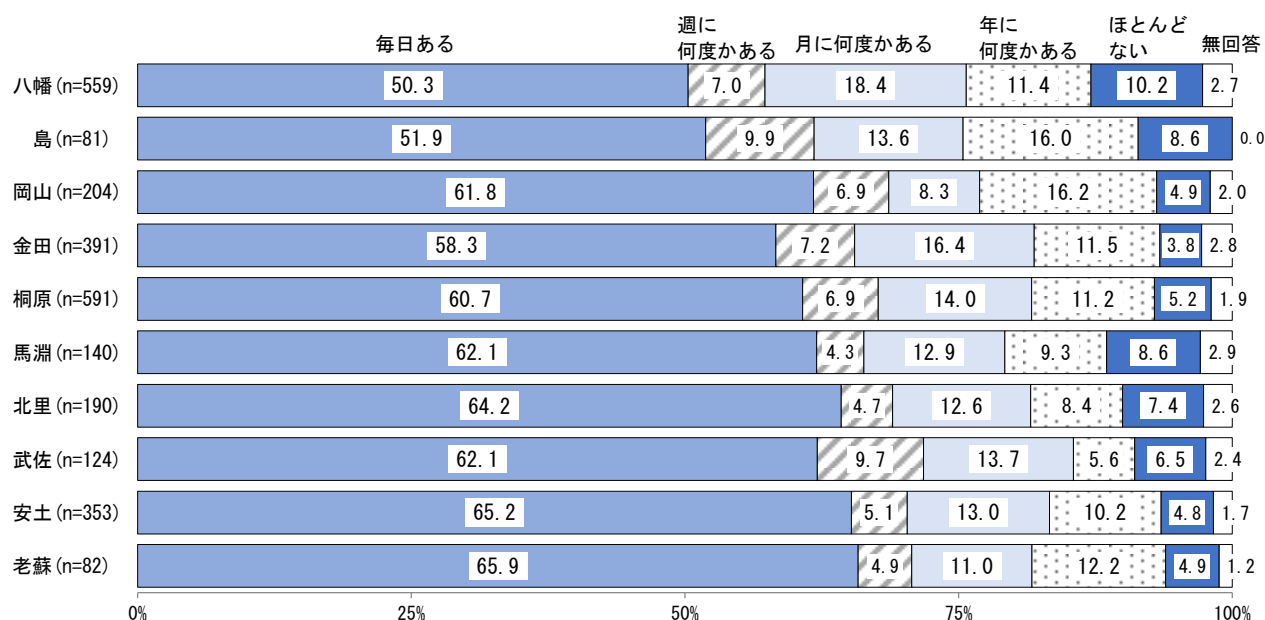
要介護認定別にみると、要支援１・２では、月に数回以下の割合が 38.3%となっており、前回調査（36.6%）から 1.7 ポイント増えている。

【要介護認定別 共食の状況】



学区別にみると、「毎日ある」がいずれの学区も半数以上を占めている。一方、月に数回以下の割合が、八幡学区で 40.1%、島学区で 38.3%と高くなっている。

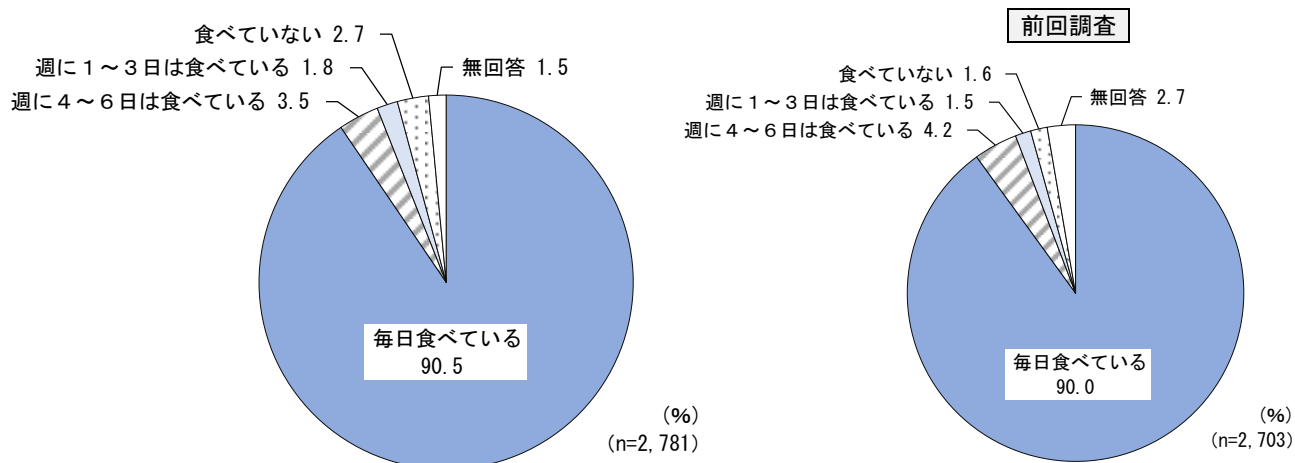
【学区別 共食の状況】



(6) 1日3食の状況

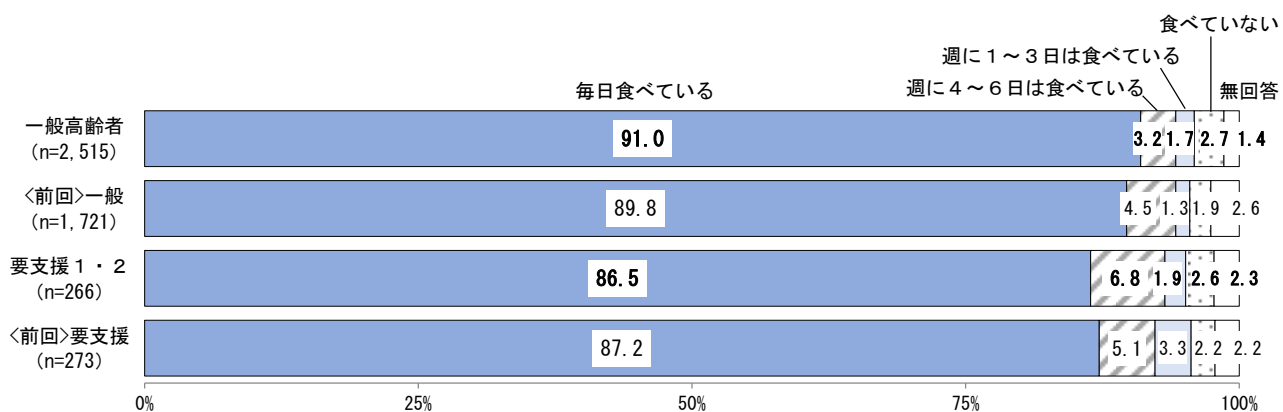
問3(9) 1日3食きちんと食べていますか

1日3食きちんと毎日食べているという割合は約9割(90.5%)となっており、前回調査(90.0%)と同程度となっている。



要介護認定別にみると、要支援1・2では、「毎日食べている」が86.5%となっており、前回調査(87.2%)と同程度となっている。

【要介護認定別 1日3食の状況】

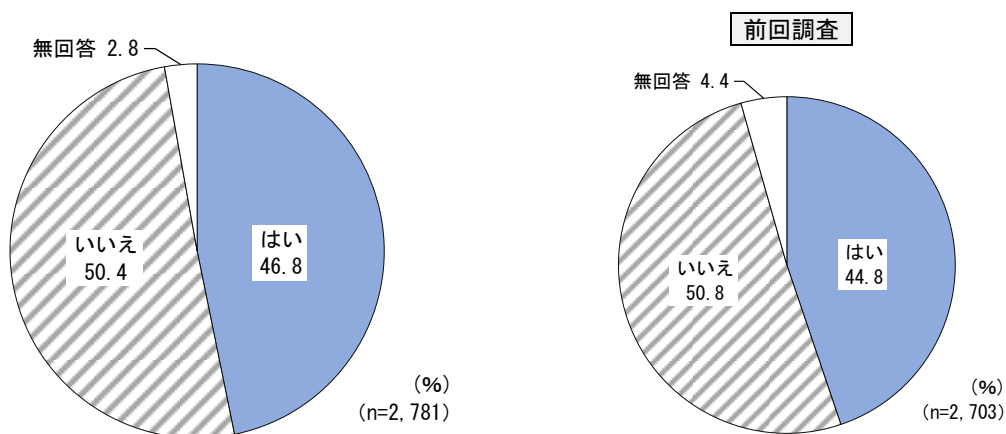


5 毎日の生活について

(1) 認知機能の状況

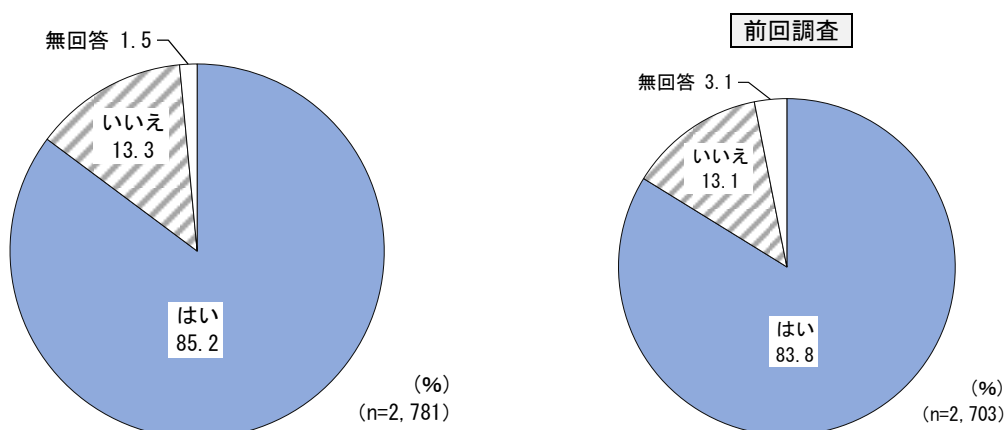
問 4(1) 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるという割合（「はい」）は4割台（46.8%）となっている。



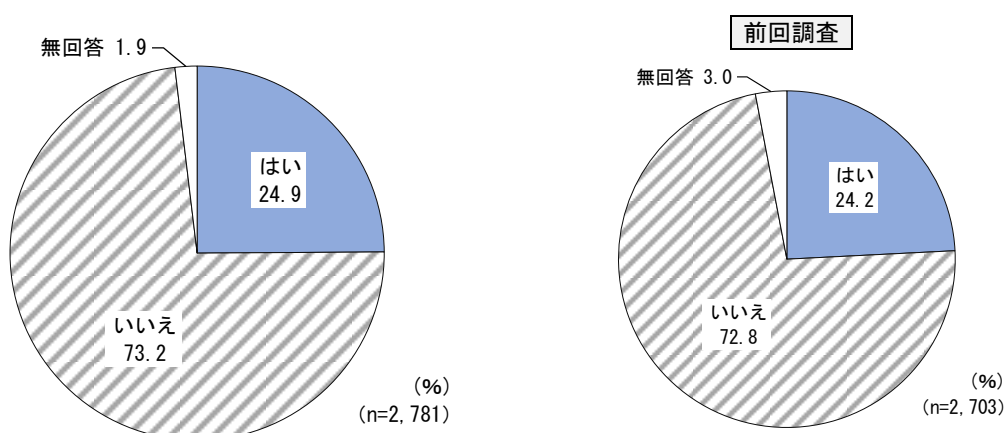
問 4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べてかけることをしているという割合（「はい」）は8割台（85.2%）となっている。



問 4(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

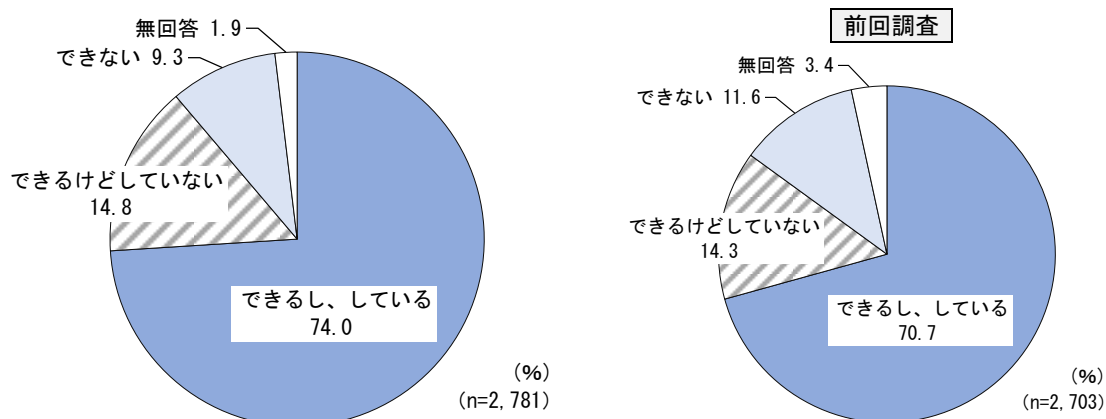
今日が何月何日かわからない時があるという割合（「はい」）は2割台（24.9%）となっている。



(2) 手段的日常生活動作の状況

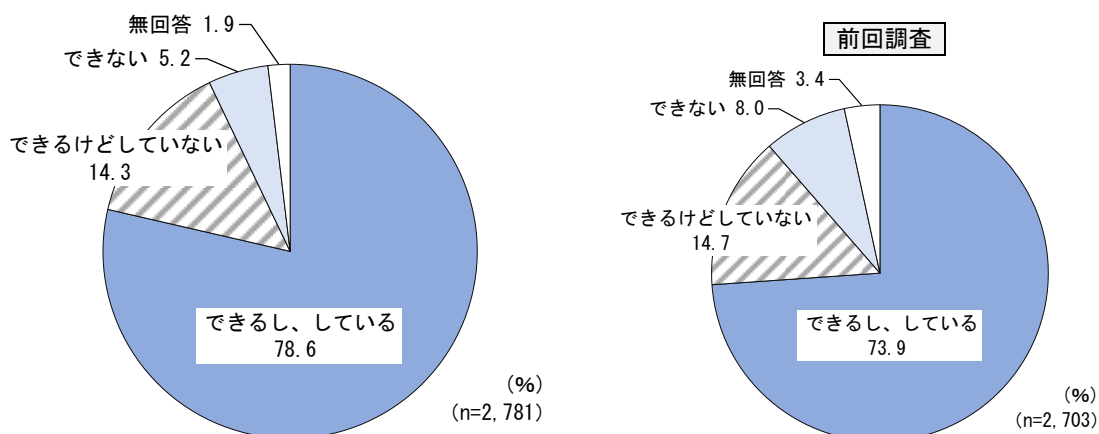
問 4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

1人での外出が「できない」は約1割（9.3%）となっている。



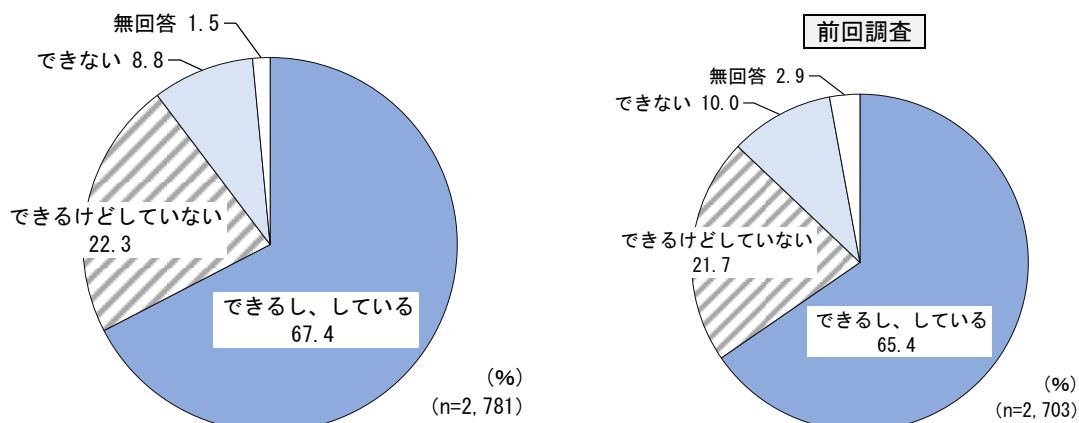
問 4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

食品・日用品の買い物が「できない」は5.2%となっている。



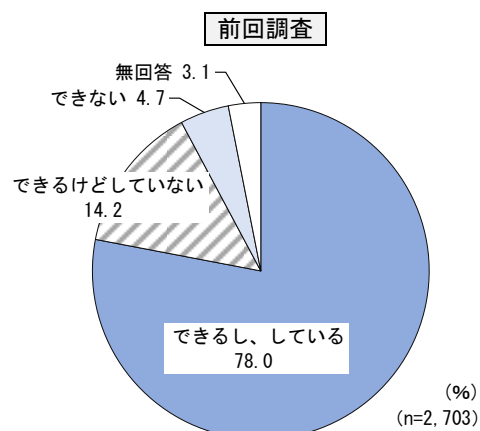
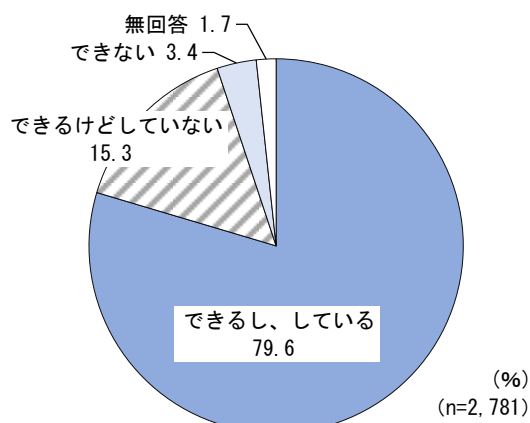
問 4(6) 自分で食事の用意をしていますか

食事の用意が「できない」は8.8%となっている。



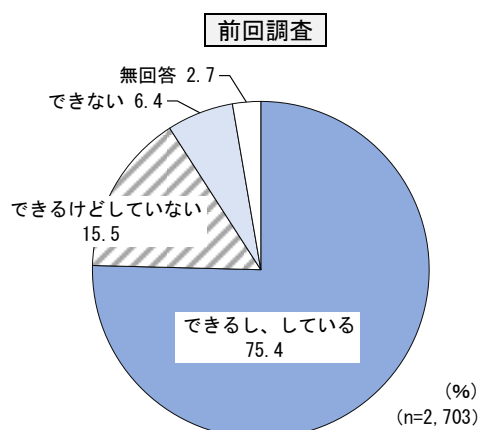
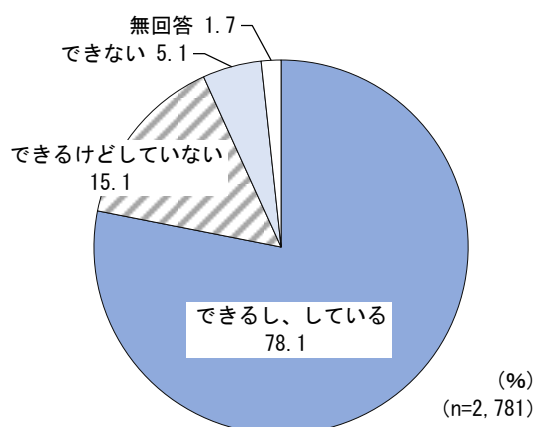
問 4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

請求書の支払いが「できない」は3.4%となっている。



問 4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

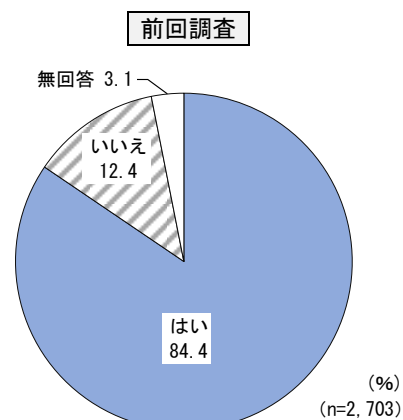
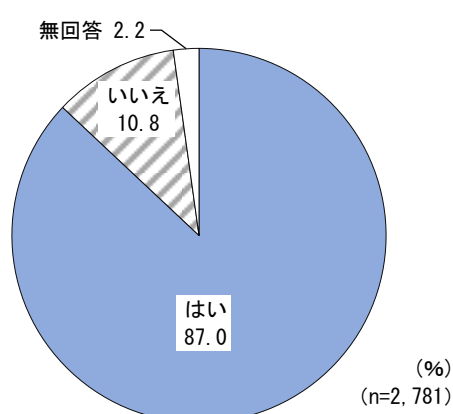
預貯金の出し入れが「できない」は5.1%となっている。



(3) 知的能動性の状況

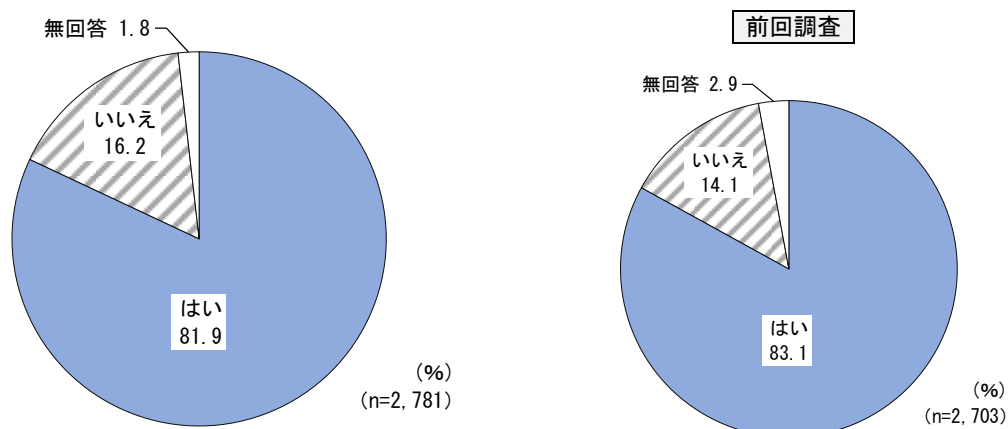
問 4(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

役所や病院などに出す書類が書けるという割合（「はい」）は8割台（87.0%）となっている。



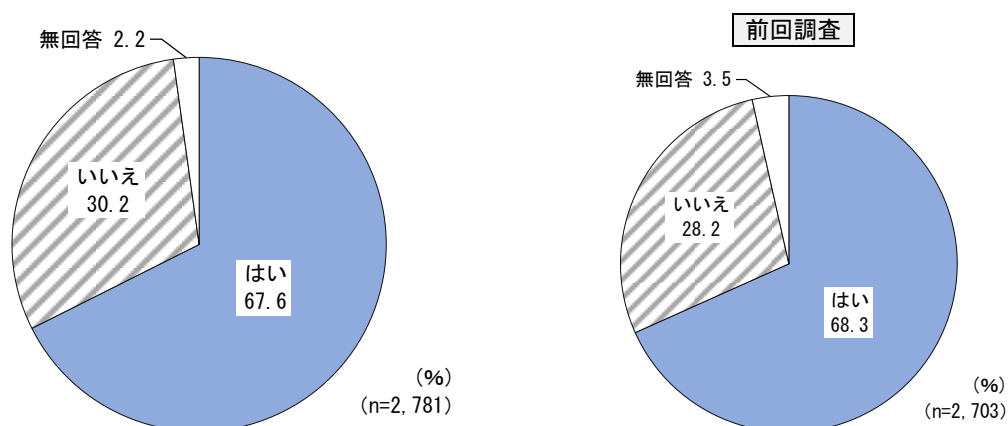
問 4(10) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいるという割合（「はい」）は8割台（81.9%）となっている。



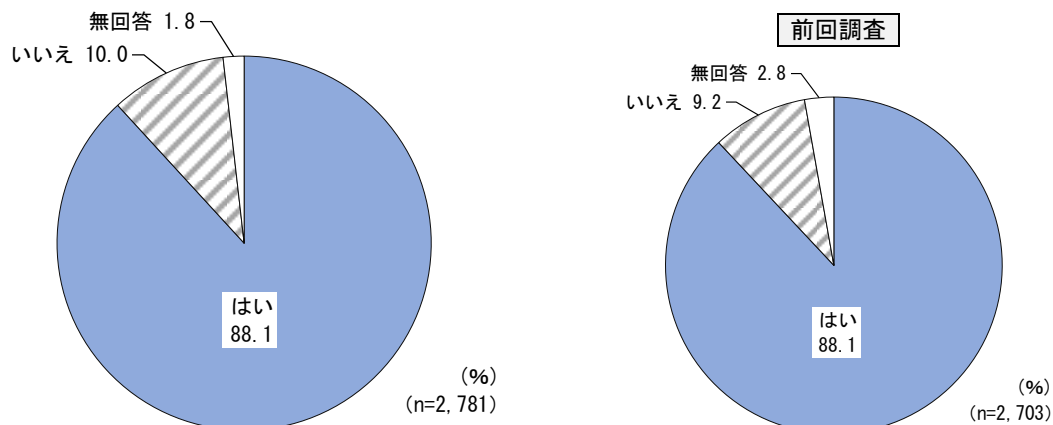
問 4(11) 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいるという割合（「はい」）は6割台（67.6%）となっている。



問 4(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

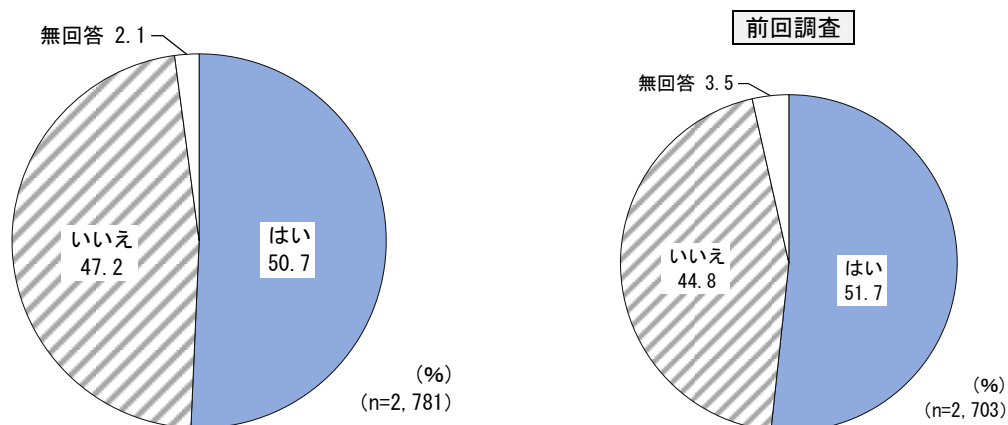
健康についての記事や番組に関心があるという割合（「はい」）は9割近く（88.1%）となっている。



(4) 他者との関わりの状況

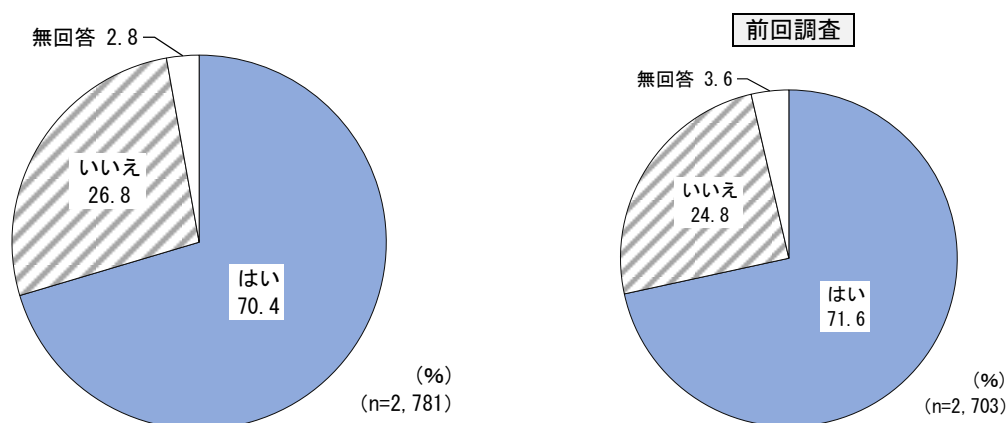
問 4(13) 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねているという割合（「はい」）は半数程度（50.7%）となっている。



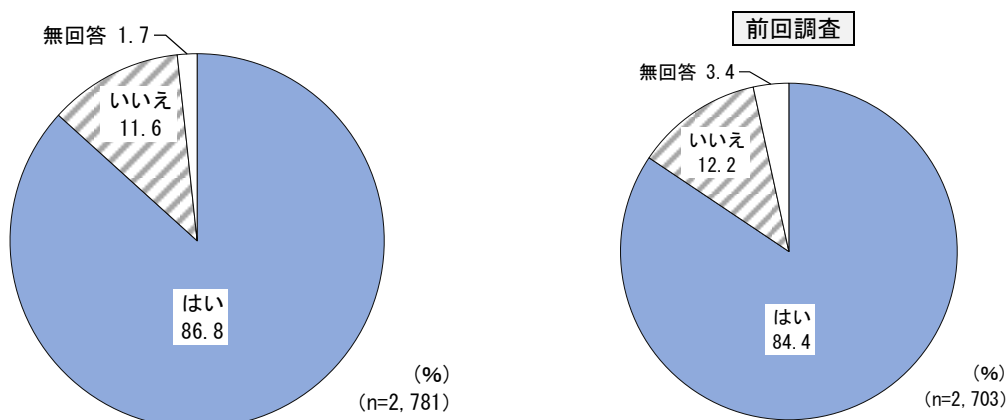
問 4(14) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっているという割合（「はい」）は約7割（70.4%）となっている。



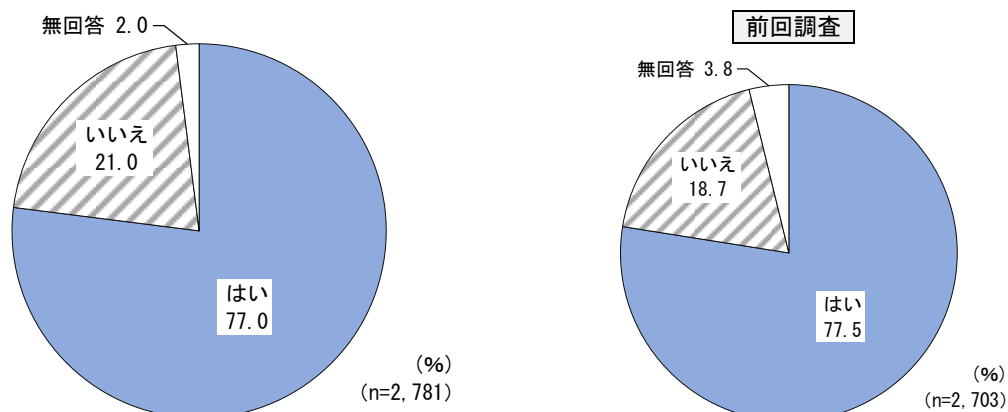
問 4(15) 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができるという割合（「はい」）は8割台（86.8%）となっている。



問 4(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に話しかけることがあるという割合（「はい」）は7割台（77.0%）となっている。

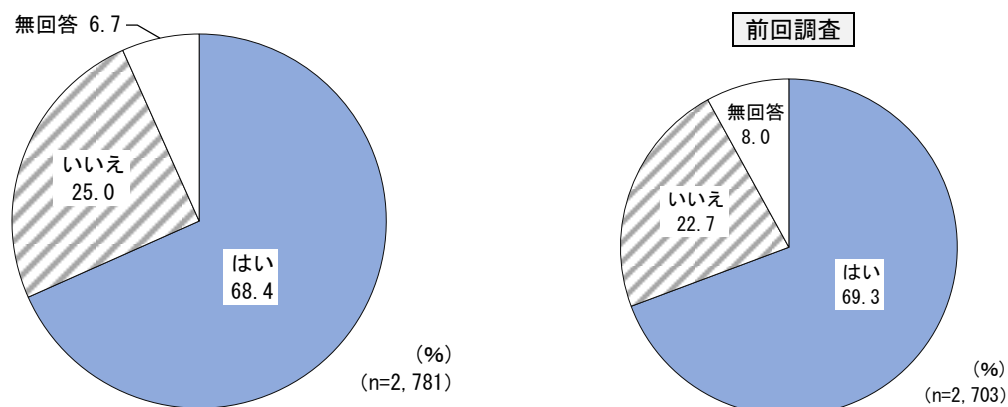


(5) 趣味や生きがいの有無

①趣味の有無

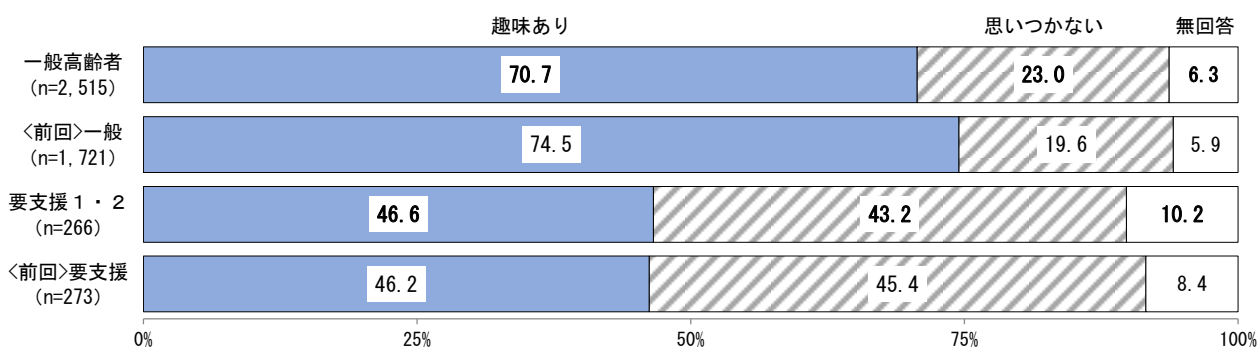
問 4(17) 趣味はありますか

趣味があるという割合（「趣味あり」）は7割近く（68.4%）となっており、前回調査（69.3%）と同程度となっている。



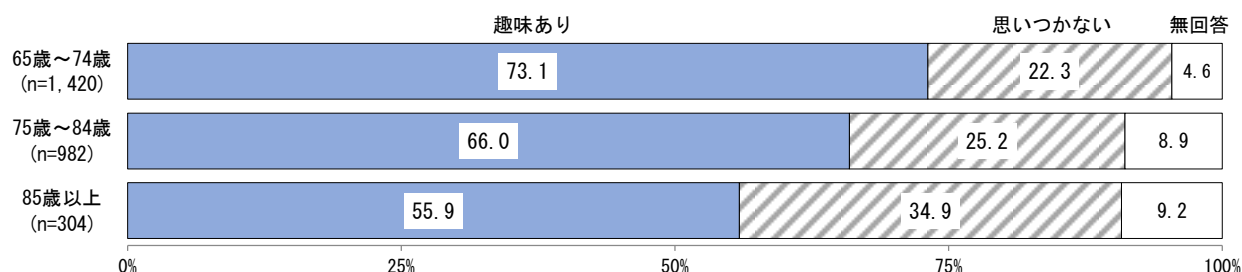
要介護認定別にみると、「趣味あり」が、一般高齢者で約7割（70.7%）に対し、要支援1・2では4割台（46.6%）にとどまっており、前回調査（46.2%）と同程度となっている。

【要介護認定別 趣味の有無】



年齢別にみると、「趣味あり」が、65 歳～74 歳で7割台（73.1%）を占めているものの、年齢が上がるにしたがって割合は低くなる傾向にあり、85 歳以上では5割台（55.9%）となっている。

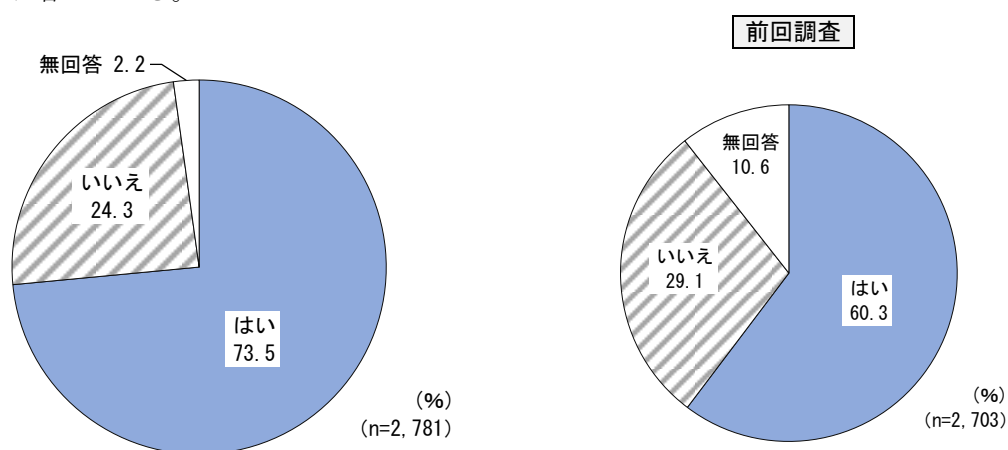
【年齢別 趣味の有無】



②生きがいの有無

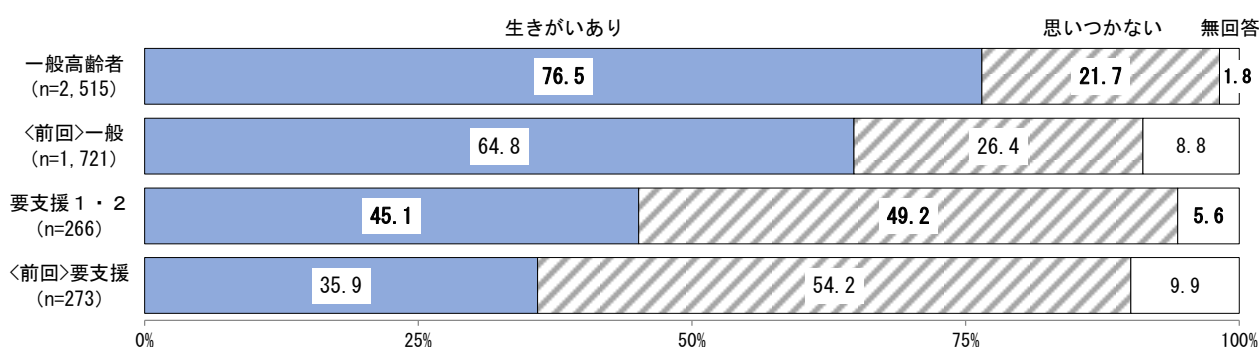
問4(18) 生きがいがありますか

生きがいがあるという割合（「生きがいあり」）は7割台（73.5%）となっており、前回調査（60.3%）から13.2ポイント増えている。



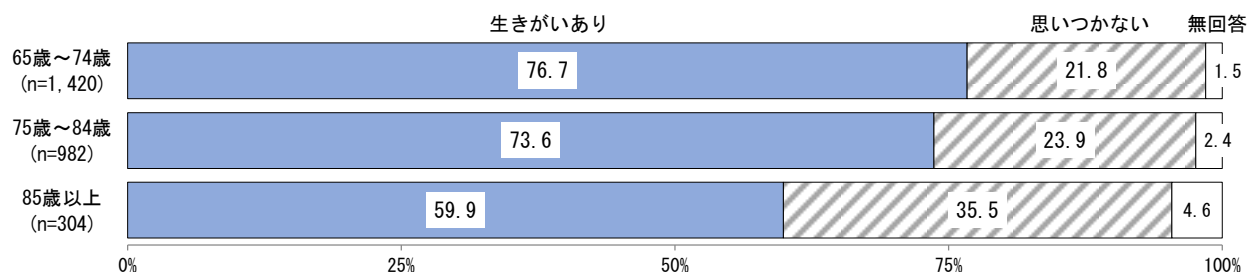
要介護認定別にみると、「生きがいあり」が、一般高齢者で7割台（76.5%）に対し、要支援1・2では4割台（45.1%）と低いものの、前回調査（35.9%）からは9.2ポイント増えている。

【要介護認定別 生きがいの有無】



年齢別にみると、「生きがいあり」が、65歳～74歳（76.7%）、75歳～84歳（73.6%）で7割台に対し、85歳以上では約6割（59.9%）と、10ポイント以上低くなっている。

【年齢別 生きがいの有無】

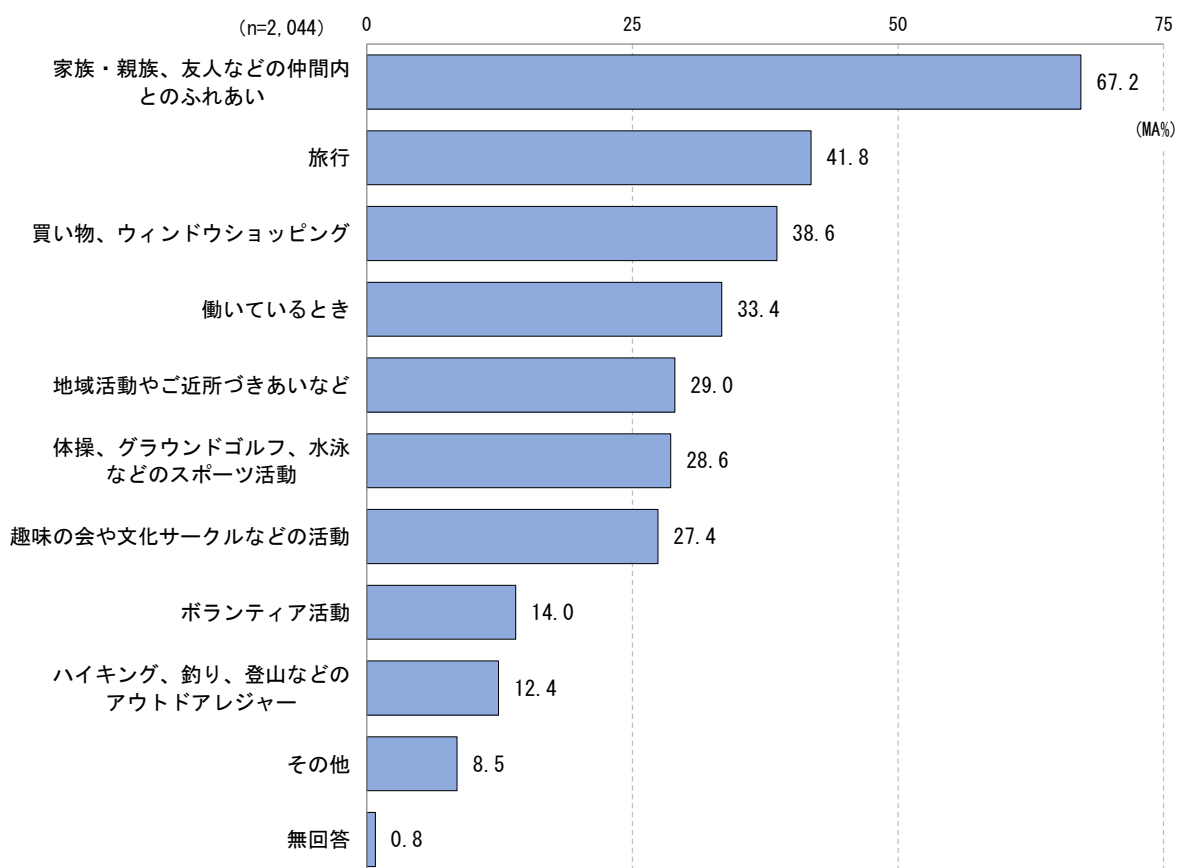


③生きがいを感じる場面

【問4(18)で「生きがいあり」と回答の方のみ】

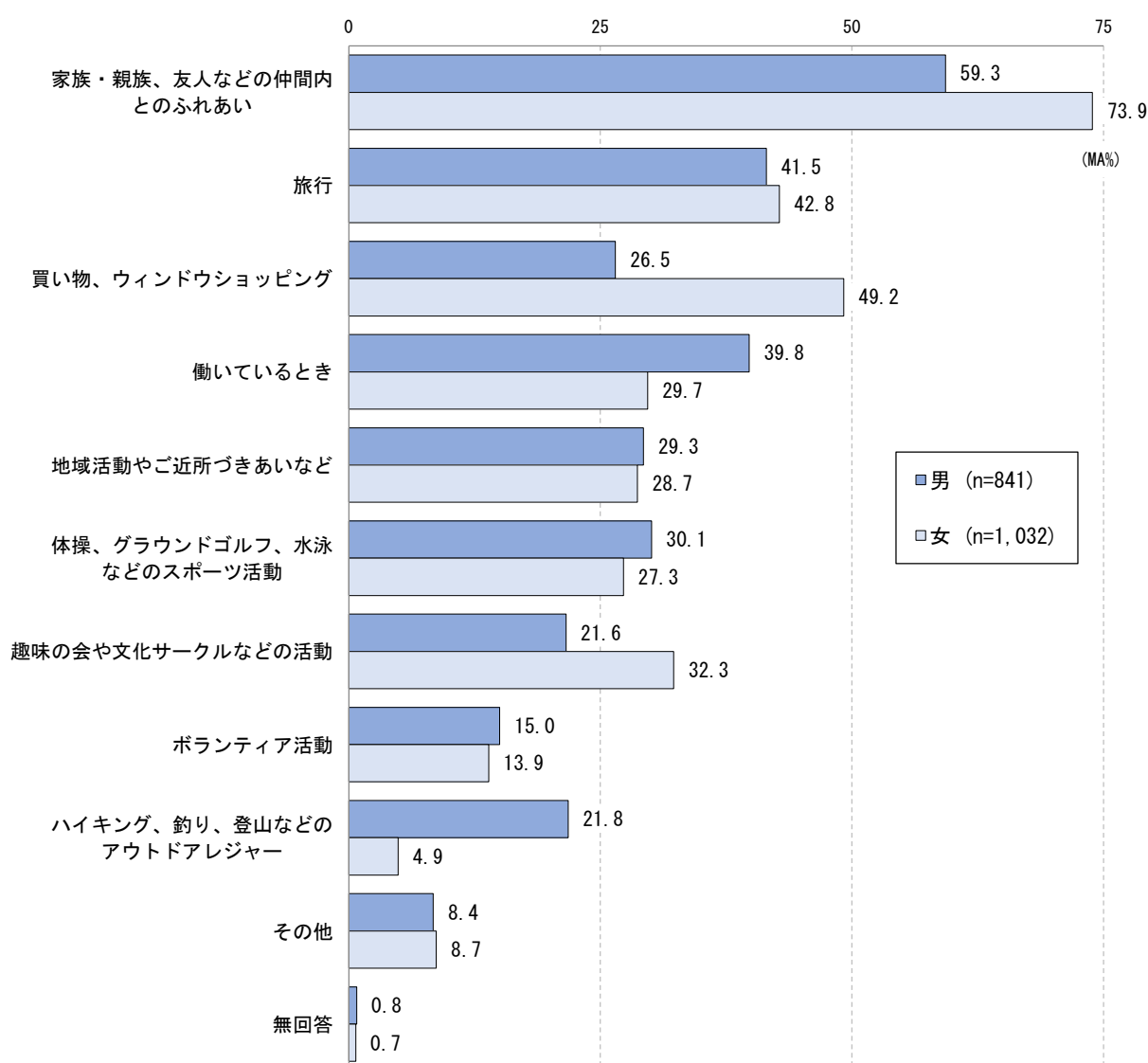
問4(18)① あなたが生きがいを感じるのはどのような時ですか（いくつでも）

生きがいがあるという人に、どのような時に感じるかたずねたところ、「家族・親族、友人などの仲間内とのふれあい」が67.2%と最も多く、次いで「旅行」が41.8%、「買い物、ウィンドウショッピング」が38.6%、「働いているとき」が33.4%となっている。



性別にみると、男女ともに「家族・親族、友人などの仲間内とのふれあい」が最も多くなっており、男性で59.3%に対し、女性では73.9%と高い。これに続くのが、男性では、「旅行」が41.5%、「働いているとき」が39.8%、「体操、グラウンドゴルフ、水泳などのスポーツ活動」が30.1%となっているのに対し、女性では、「買い物、ウィンドウショッピング」が49.2%、「旅行」が42.8%、「趣味の会や文化サークルなどの活動」が32.3%となっている。

【性別 生きがいを感じる場面】

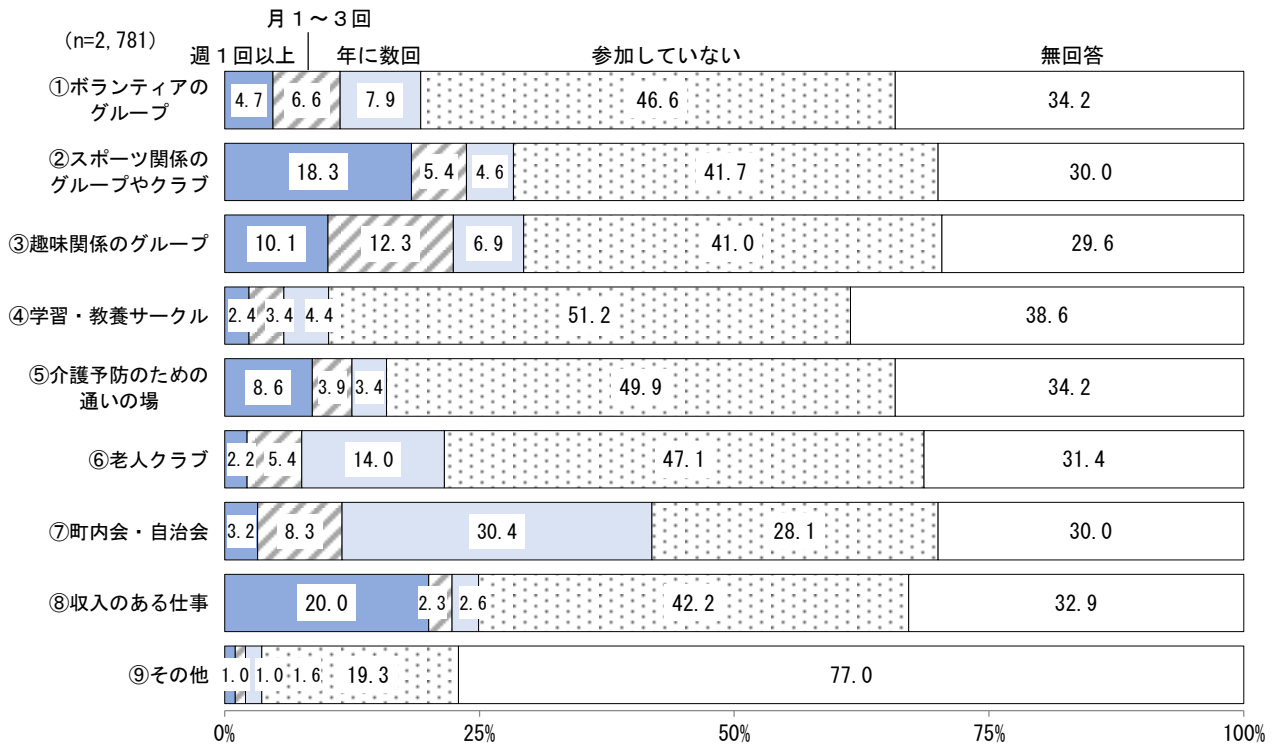


6 地域での活動について

(1) 地域の会・グループ等への参加状況

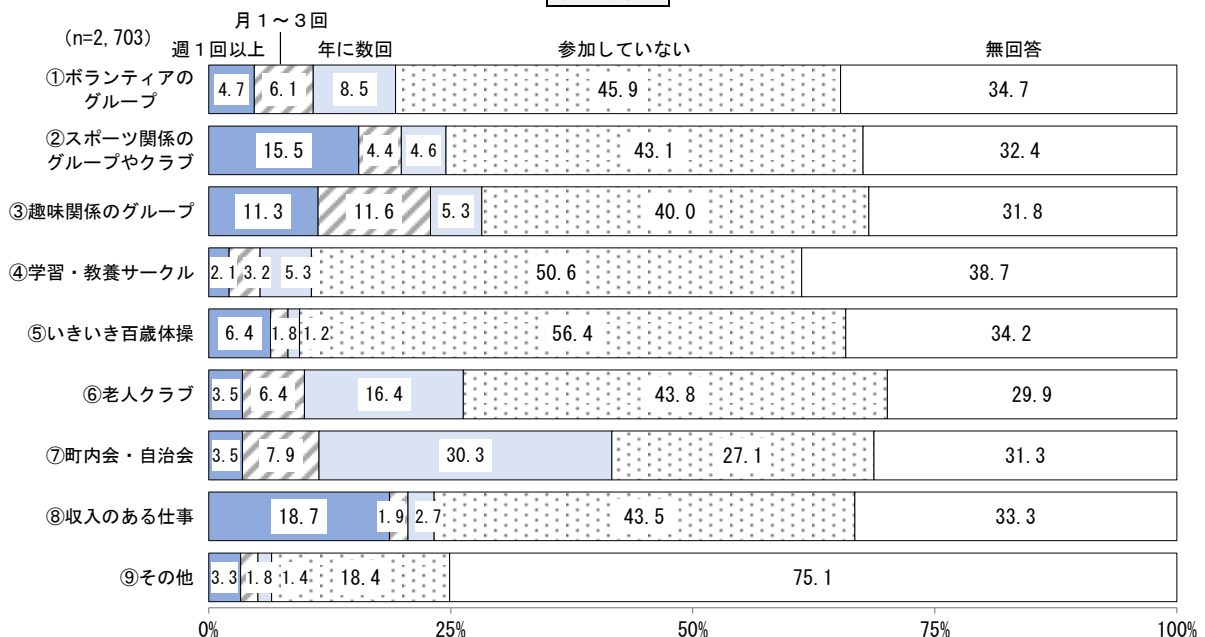
問 5(1) ①～⑨のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

地域の会・グループ等への参加状況として8項目についてたずねたところ、月に1回以上参加している割合(「週1回以上」「月1～3回」の計)が、『②スポーツ関係のグループやクラブ』で23.8%と最も多く、前回調査(19.9%)から3.9ポイント増えている。これに続くのが、『③趣味関係のグループ』で22.5%、『⑧収入のある仕事』で22.4%となっている。



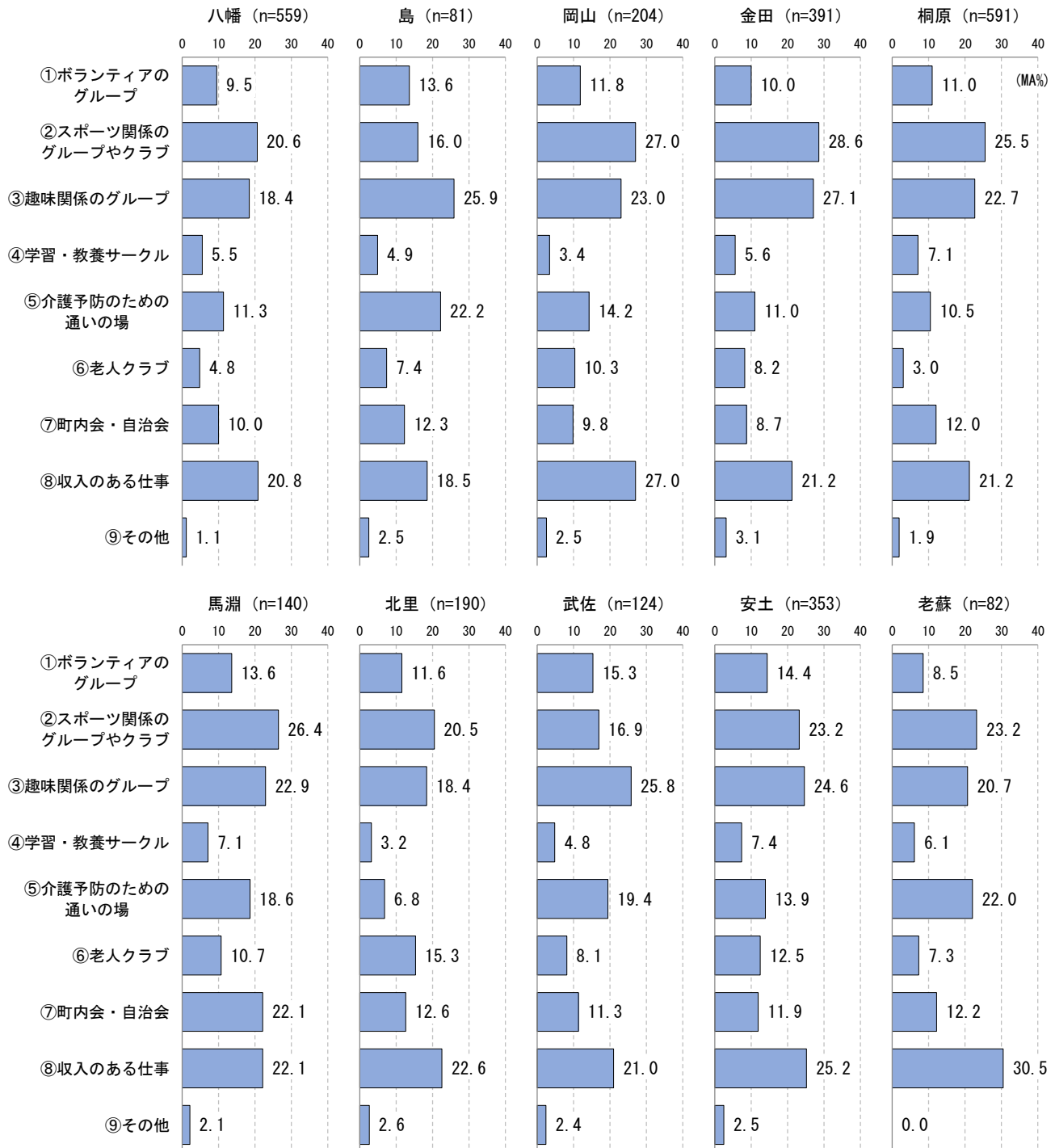
『⑤介護予防のための通いの場』: いきいき百歳体操、地域サロン、コミュニティカフェなど

前回調査



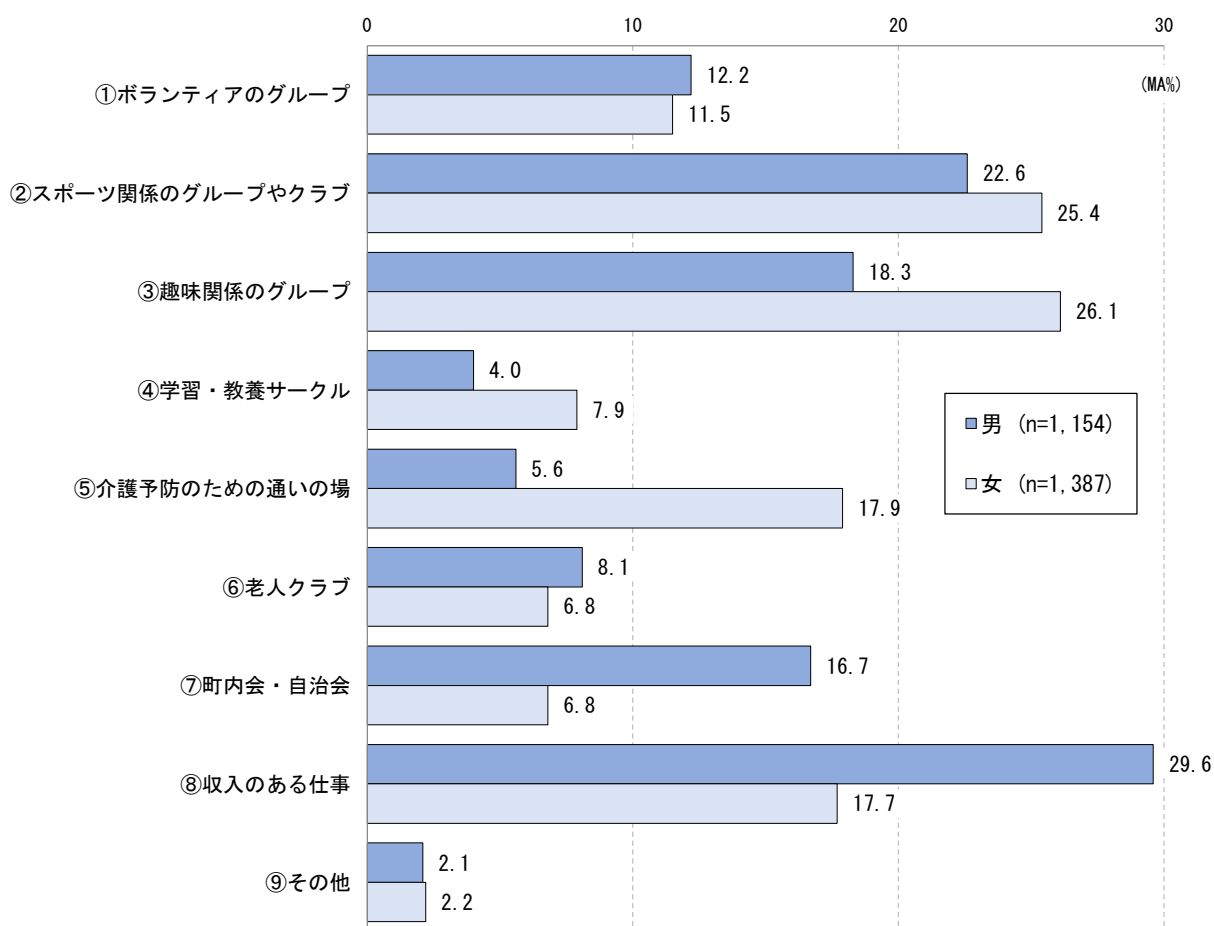
月に1回以上参加している割合について、学区別にみると、金田学区で『②スポーツ関係のグループやクラブ』が28.6%、『③趣味関係のグループ』が27.1%と、ともに学区間で最も高くなっている。また、『⑤介護予防のための通いの場』が島学区で22.2%、老蘇学区で22.0%、『⑦町内会・自治会』が馬淵学区で22.1%と高い。

【学区別 地域の会・グループ等への参加状況】 ※月に1回以上参加している割合



月に1回以上参加している割合について、性別にみると、男性では『⑧収入のある仕事』で29.6%、女性では『③趣味関係のグループ』で26.1%と最も多くなっている。また、『⑤介護予防のための通いの場』が男性で5.6%に対し、女性では17.9%、『⑦町内会・自治会』が女性で6.8%に対し、男性では16.7%と、それぞれ男女間で10ポイント前後の差がみられる。

【性別 地域の会・グループ等への参加状況】 ※月に1回以上参加している割合

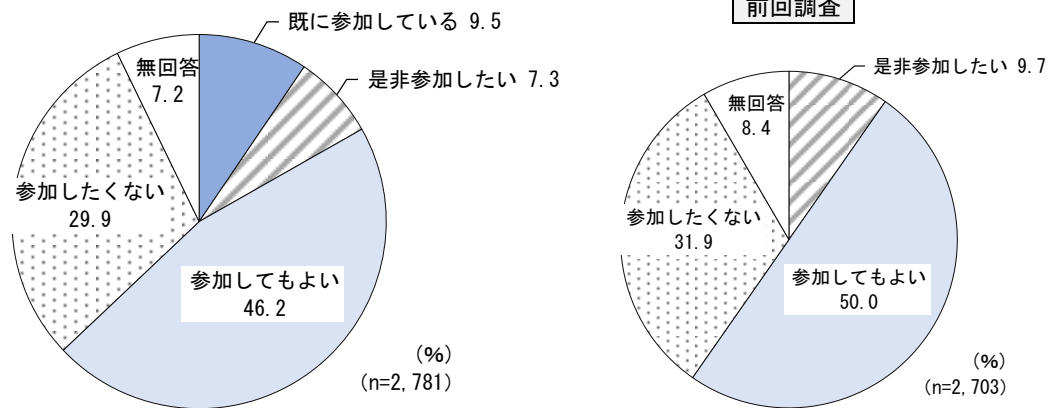


(2) 地域の会・グループ等への参加意向

①参加者としての参加

問 5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

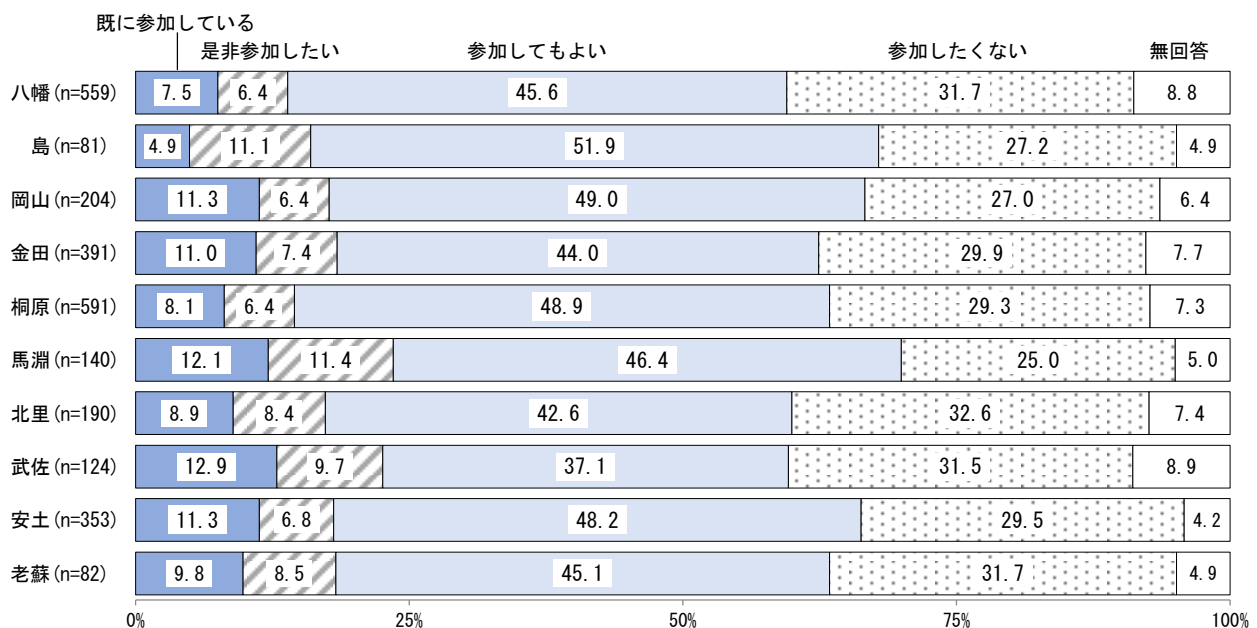
参加者としての活動への参加意向としては、「参加してもよい」が4割台（46.2%）と最も多く、「既に参加している」（9.5%）、「是非参加したい」（7.3%）を合わせると、参加意向がある割合は6割台（63.0%）となっている。



※「既に参加している」は今回調査からの新規選択肢

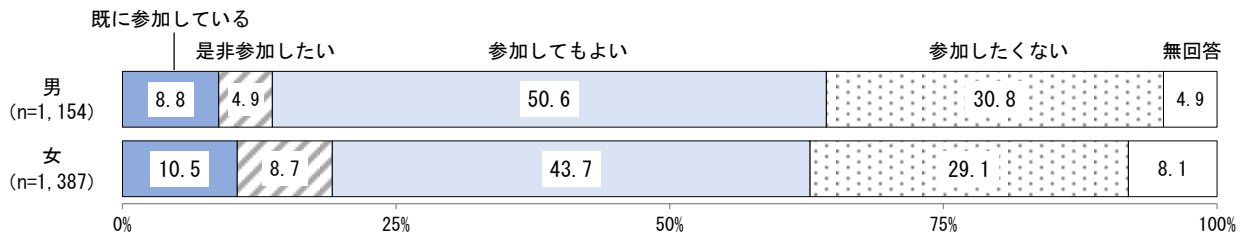
学区別にみると、参加者として参加意向がある割合が、馬淵学区で 70.0%と最も高く、次いで島学区で 67.9%、岡山学区で 66.7%、安土学区で 66.3%となっている。

【学区別 地域の会・グループ等への参加意向『参加者として』】



性別にみると、「既に参加している」または「是非参加したい」が、男性で 13.7%に対し、女性では 19.2%と高くなっている。

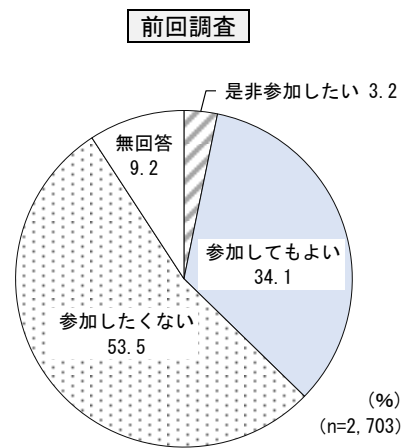
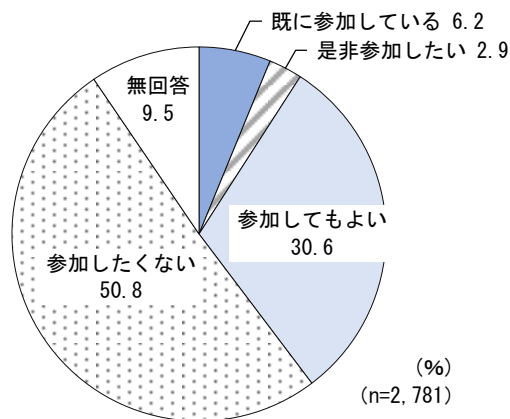
【性別 地域の会・グループ等への参加意向『参加者として』】



②企画・運営としての参加

問 5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

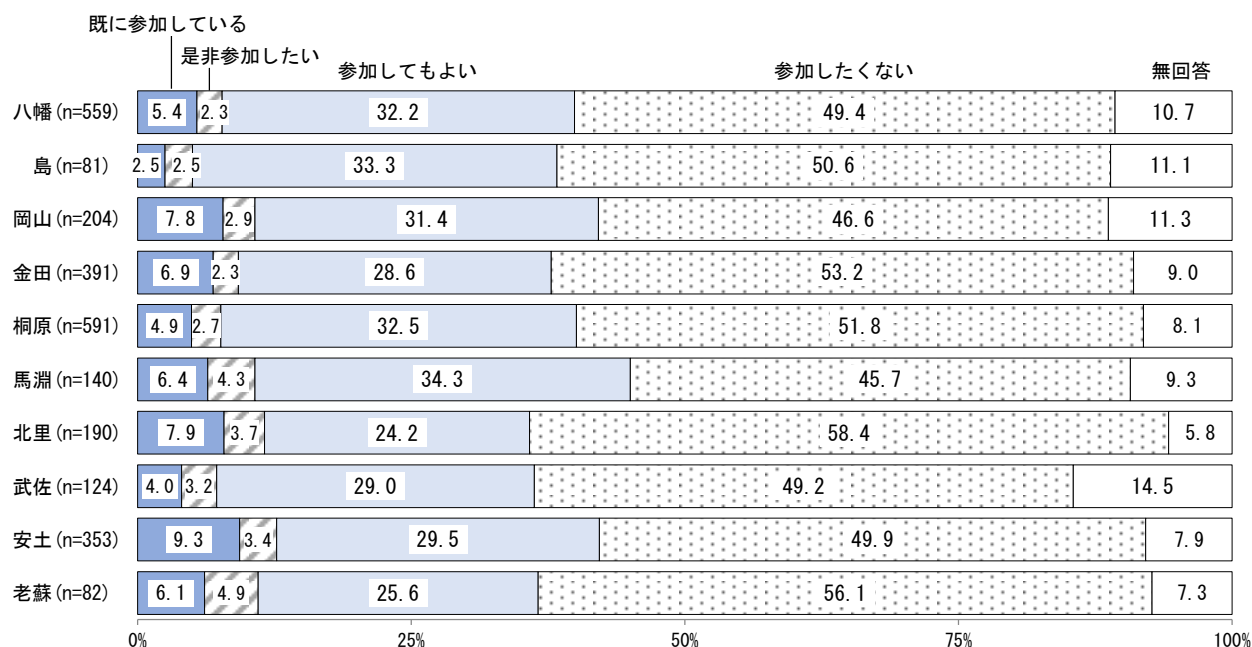
企画・運営として、活動への参加意向がある割合（「既に参加している」「是非参加したい」「参加してもよい」の計）は約 4 割（39.7%）となっている。



※「既に参加している」は今回調査からの新規選択肢

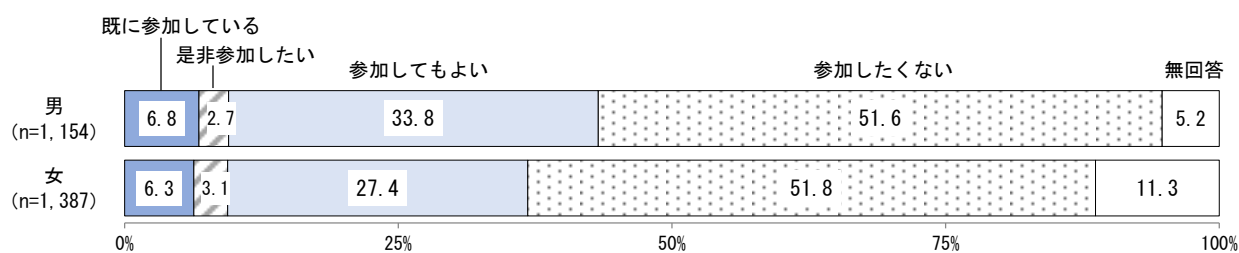
学区別にみると、企画・運営として参加意向がある割合が、馬淵学区で 45.0%と最も高く、次いで岡山学区、安土学区でともに 42.2%、桐原学区で 40.1%、八幡学区で 39.9%となっている。

【学区別 地域の会・グループ等への参加意向『企画・運営として』】



性別にみると、企画・運営として参加意向がある割合が、女性で 36.8%に対し、男性では 43.2%と高くなっている。

【性別 地域の会・グループ等への参加意向『企画・運営として』】

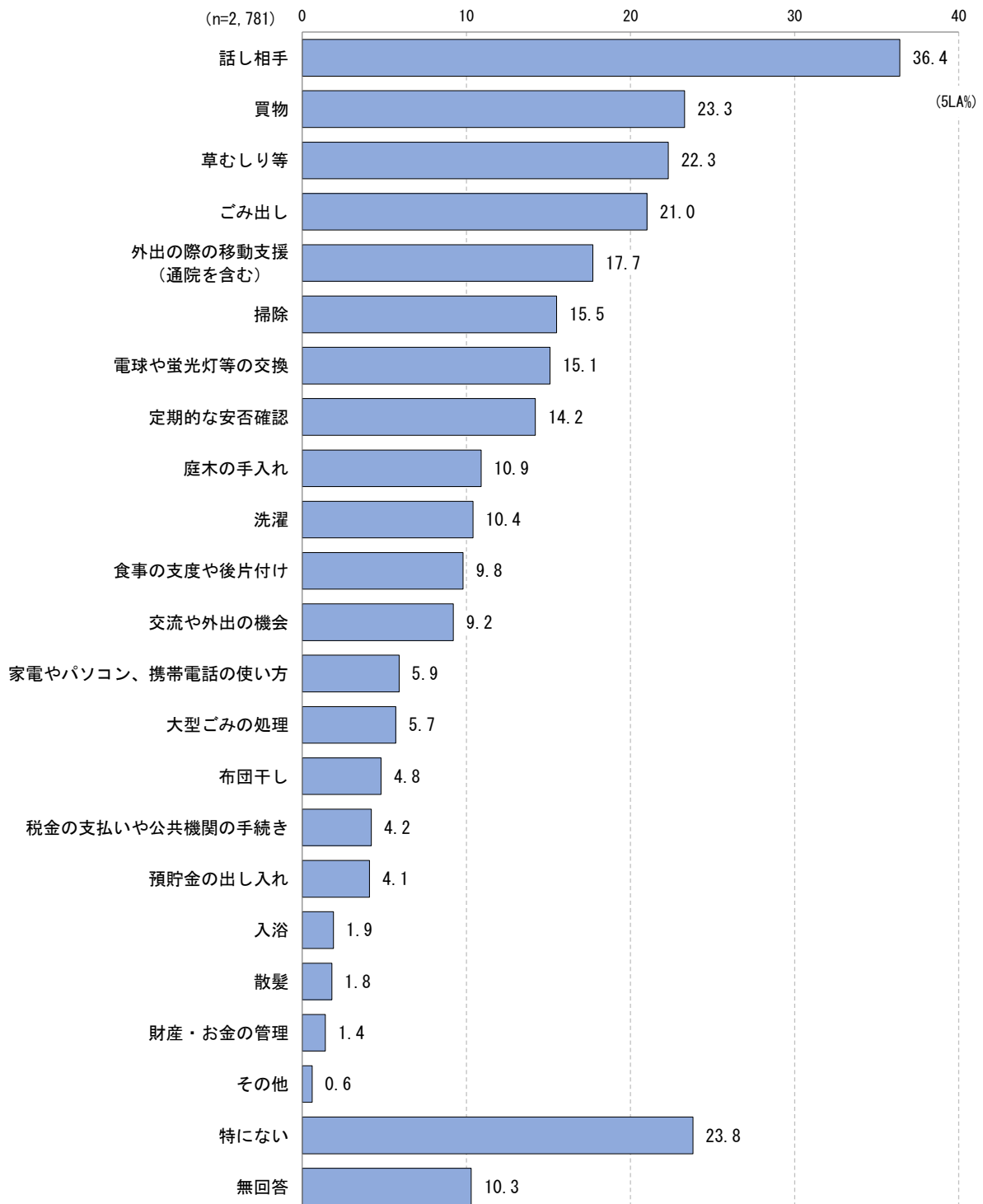


(3) 高齢者への手助けに対する意向

①自身が支援できる内容

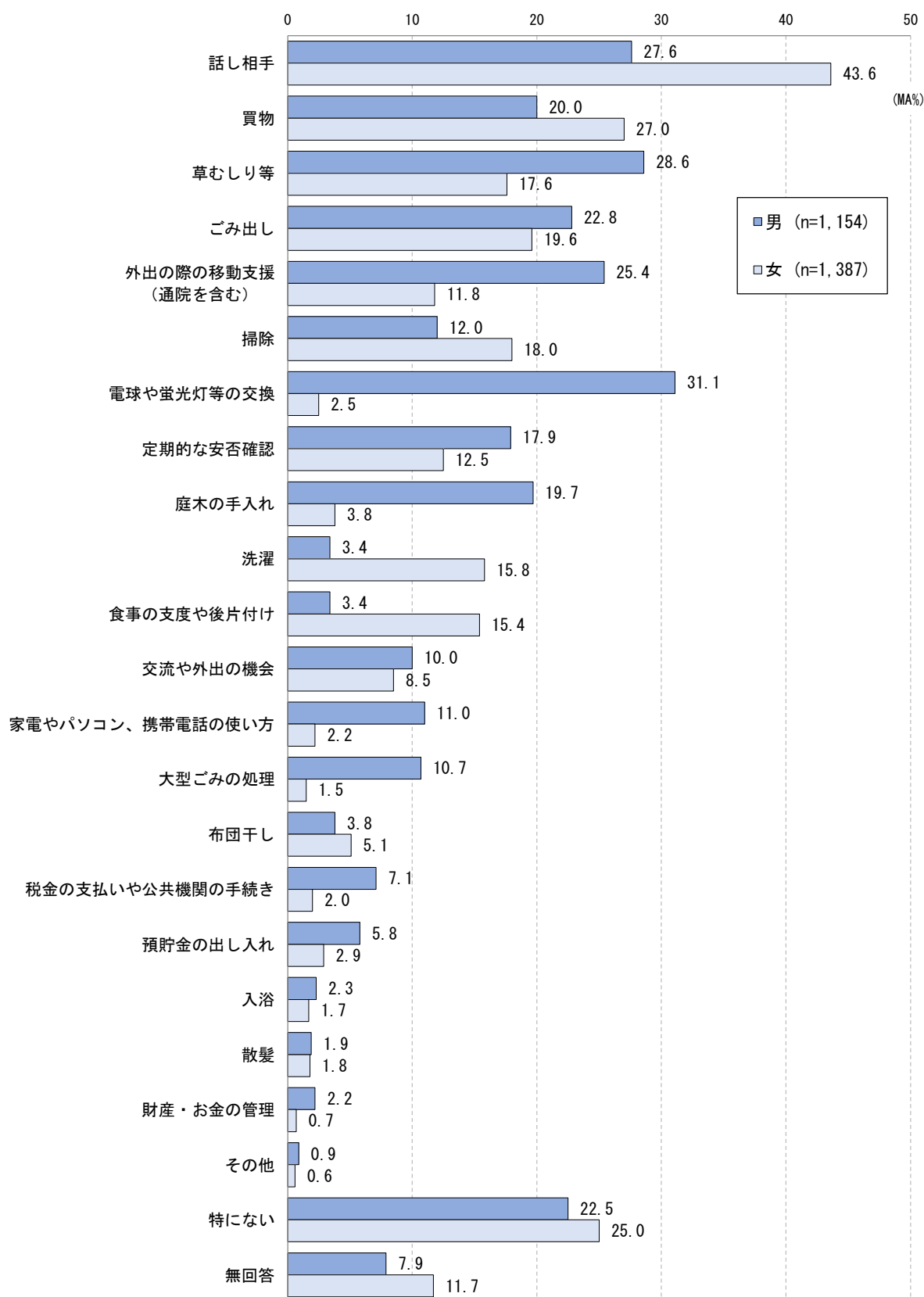
問 5(4) 次の項目で、あなた自身が生活行為ができにくくなっている高齢者に対する手助けとして支援できる内容はどれですか（あてはまるもの5つまでに○）

生活行為ができにくくなっている高齢者に対する手助けとして、自身が支援できる内容としては、「話し相手」が36.4%と最も多く、次いで「買物」が23.3%、「草むしり等」が22.3%、「ごみ出し」が21.0%、「外出の際の移動支援（通院を含む）」が17.7%となっている。一方、「特にない」は2割台（23.8%）みられる。



性別にみると、男性では、「電球や蛍光灯等の交換」が 31.1%と最も多く、次いで「草むしり等」が 28.6%、「話し相手」が 27.6%、「外出の際の移動手段（通院を含む）」が 25.4%となっている。一方、女性では、「話し相手」が 43.6%と最も多く、次いで「買物」が 27.0%、「ごみ出し」が 19.6%、「掃除」が 18.0%となっている。

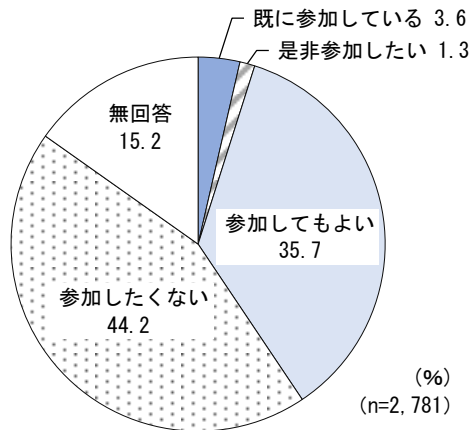
【性別 高齢者への手助けとして支援できる内容】



②支援活動への参加意向

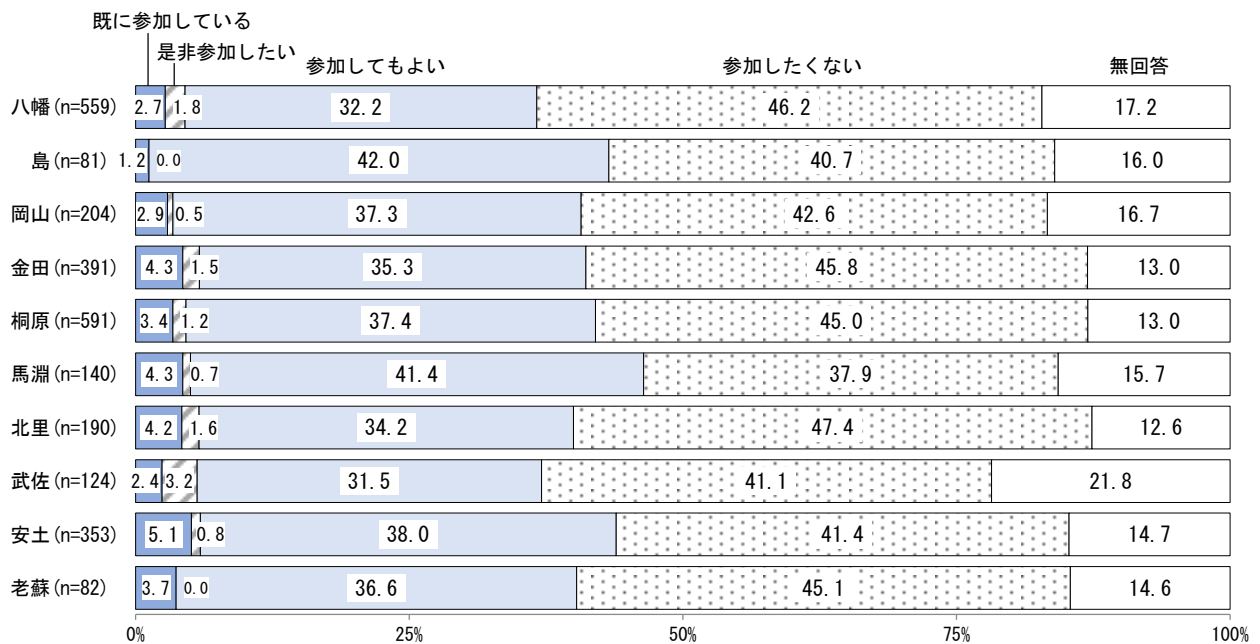
問 5 (5) (4) のような手助けとしての支援活動に参加してみたいと思いますか

高齢者に対する手助けとしての支援活動について、「既に参加している」が 3.6%、「是非参加したい」が 1.3%、「参加してもよい」が 35.7%となっており、合わせると、参加意向がある割合は約 4 割（40.6%）となっている。



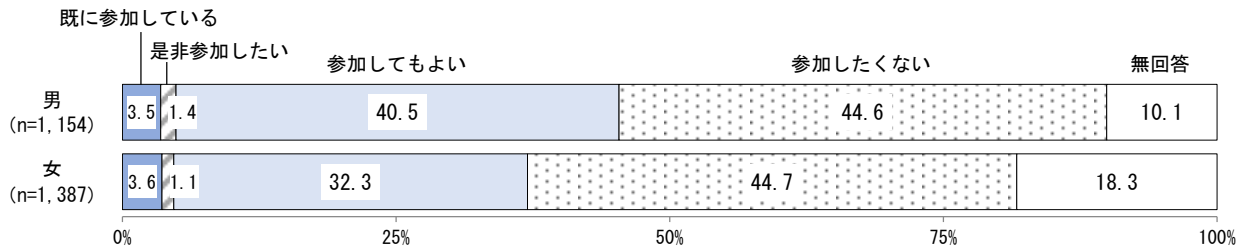
学区別にみると、参加意向がある割合が、馬淵学区で 46.4%と最も高く、次いで安土学区で 43.9%、島学区で 43.2%となっている。

【学区別 高齢者に対する支援活動への参加意向】



性別にみると、参加意向がある割合が、女性で 37.0%に対し、男性では 45.3%と高くなっている。

【性別 高齢者に対する支援活動への参加意向】

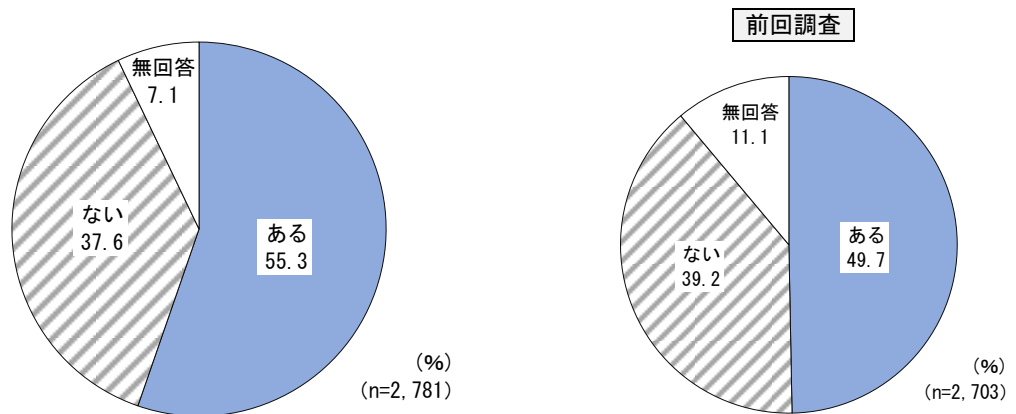


(4) 地域での居場所や通いの場の状況

①居場所や通いの場の有無

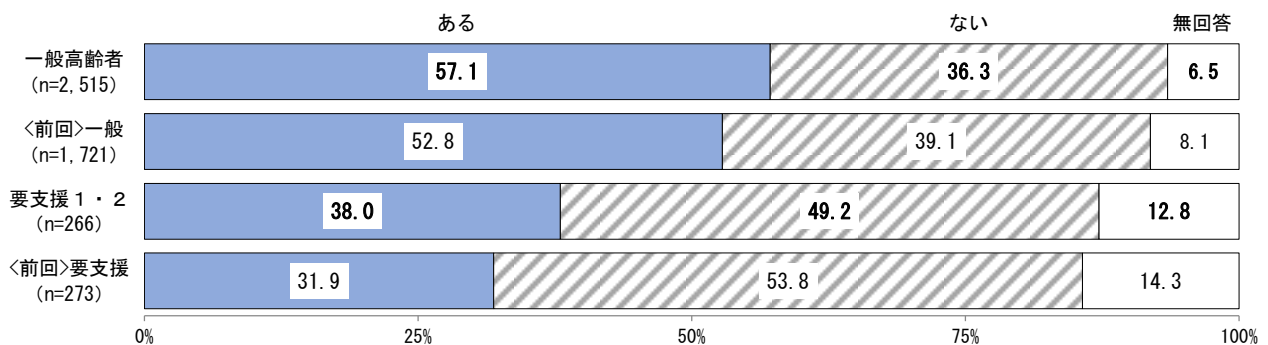
問 5(6) 身近に居場所・通いの場はありますか

身近に居場所や通いの場があるという割合は 5 割台 (55.3%) となっており、前回調査 (49.7%) から 5.6 ポイント増えている。



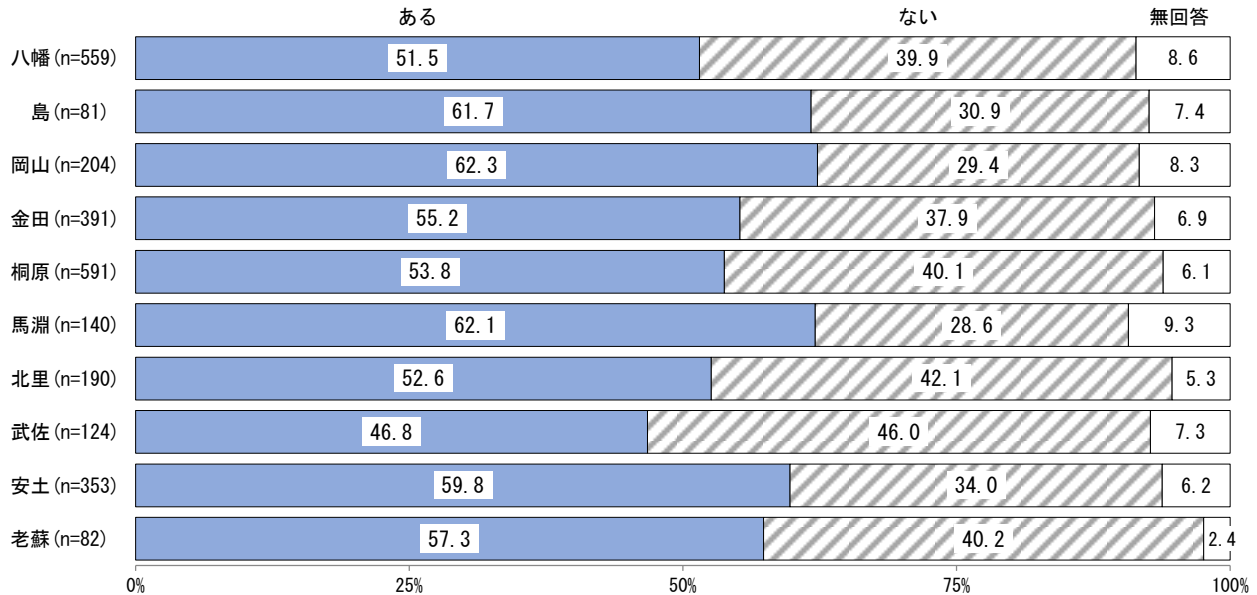
要介護認定別にみると、居場所や通いの場があるという割合が、一般高齢者で 57.1%に対し、要支援 1・2 では 38.0%と低いものの、前回調査 (31.9%) からは 6.1 ポイント増えている。

【要介護認定別 地域での居場所や通いの場の有無】



学区別にみると、居場所や通いの場があるという割合が、岡山学区で62.3%、馬淵学区で62.1%、島学区で61.7%と高く、次いで安土学区で59.8%となっている。一方、武佐学区では46.8%と最も低い。

【学区別 地域での居場所や通いの場の有無】



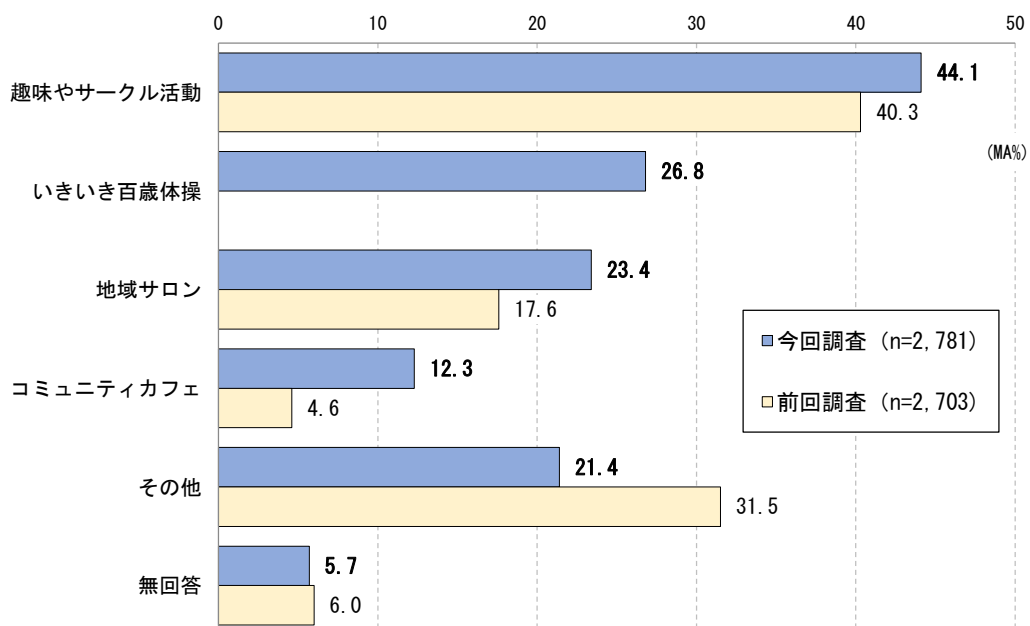
②具体的な居場所や通いの場

【問5(6)で「ある」と回答の方のみ】

問5(6)① それはどのような場ですか (いくつでも)

具体的な居場所・通いの場としては、「趣味やサークル活動」が44.1%と最も多く、次いで「いきいき百歳体操」が26.8%、「地域のサロン」が23.4%となっている。

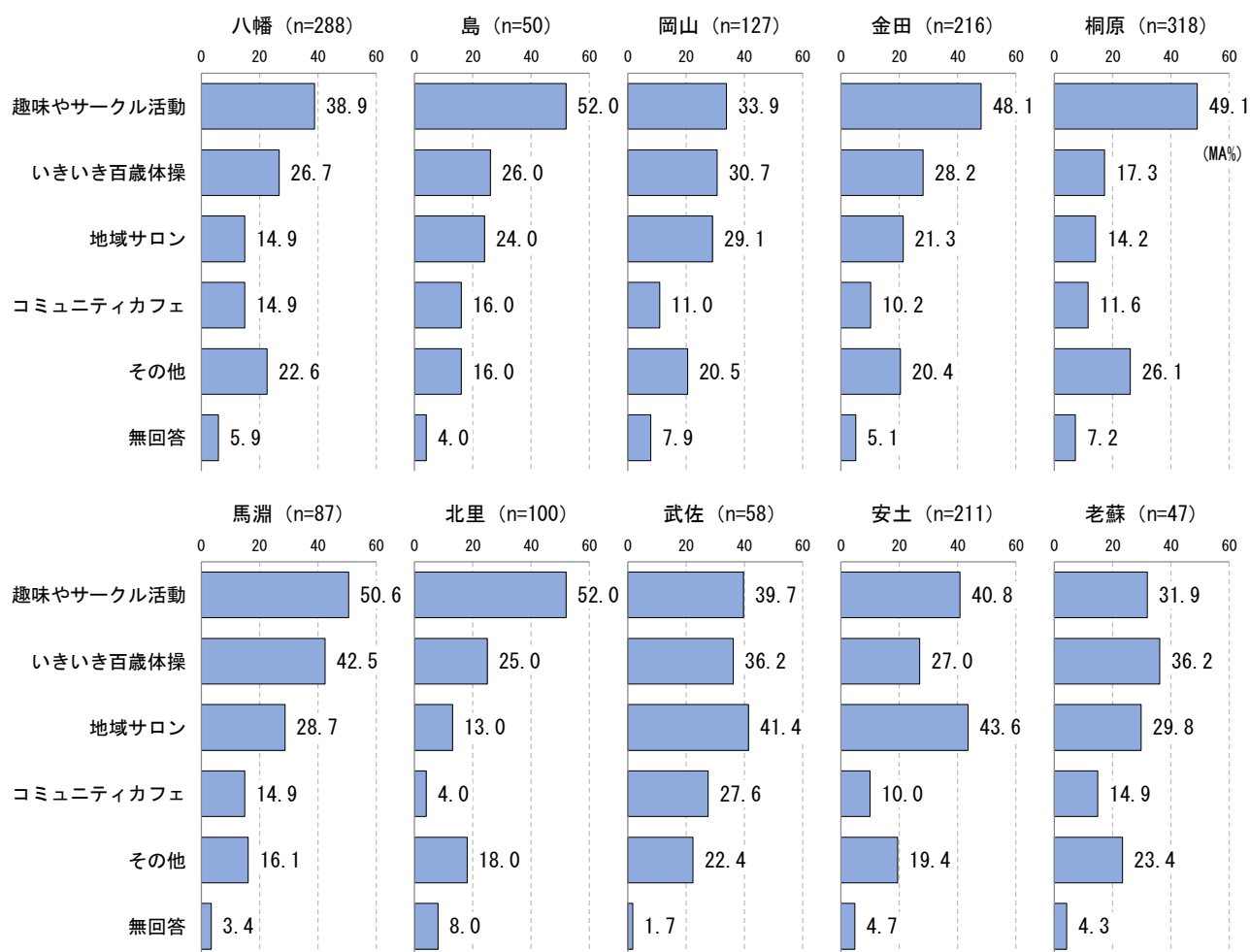
前回調査と比べると、概ねいずれの項目も5ポイント前後増えている。



※ 「いきいき百歳体操」は今回調査からの新規選択肢

学区別にみると、「趣味やサークル活動」が島学区、北里学区とともに 52.0%、「いきいき百歳体操」が馬淵学区で 42.5%、「地域サロン」が安土学区で 43.6%、「コミュニティカフェ」が武佐学区で 27.6%と、それぞれ学区間で最も高くなっている。

【学区別 具体的な居場所や通いの場】

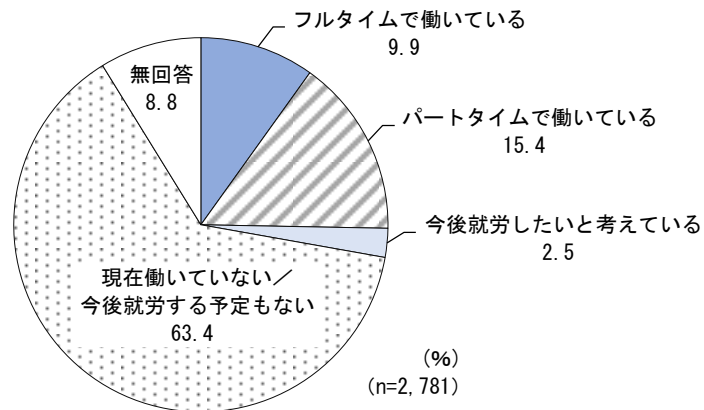


(5) 就労状況

①就労の有無

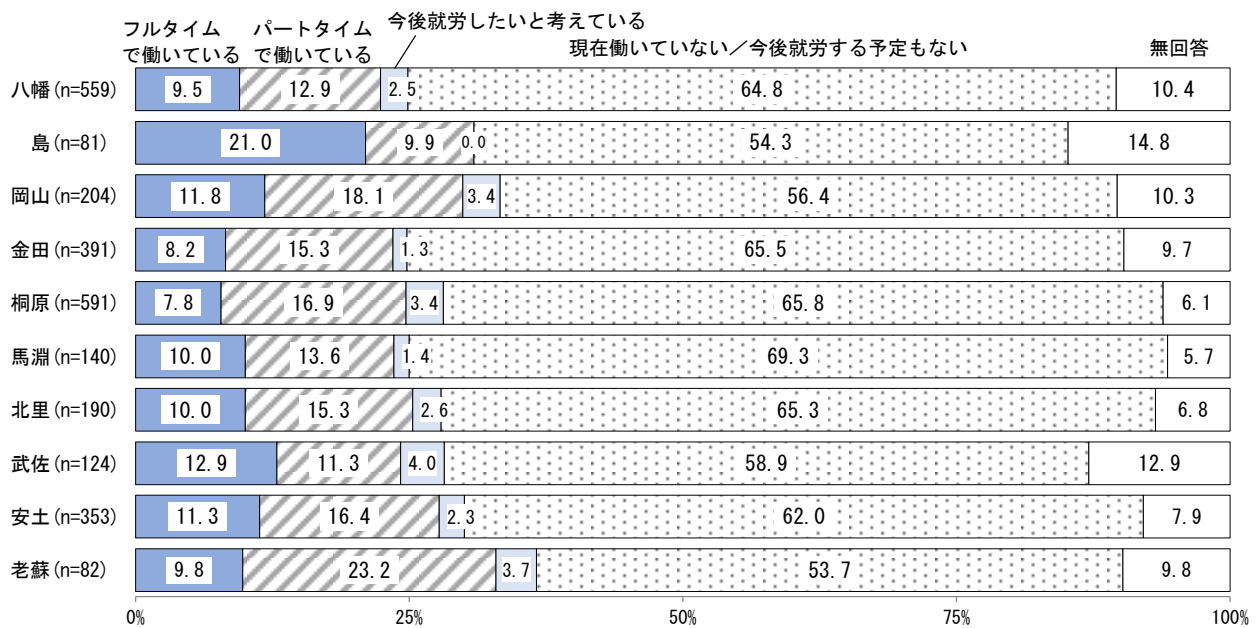
問 5(7) あなたは現在働いていますか

現在働いているかたずねたところ、「フルタイムで働いている」が 9.9%、「パートタイムで働いている」が 15.4%となっており、合わせると、働いている割合が 2 割台 (25.3%) となっている。



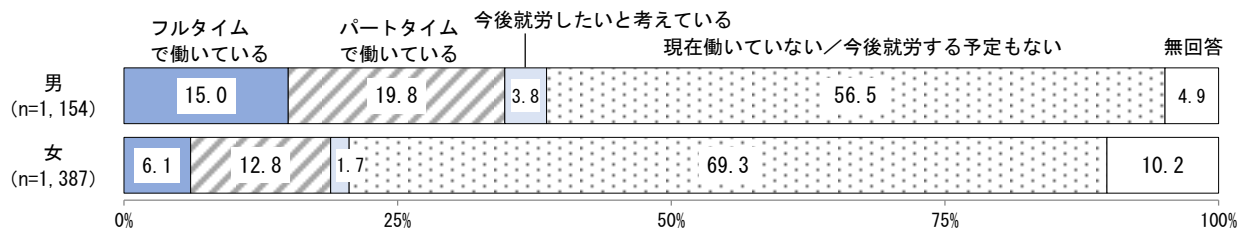
学区別にみると、現在働いている割合が、老蘇学区で 32.9%と最も高く、次いで島学区で 30.9%、岡山学区で 29.9%、安土学区で 27.8%となっている。

【学区別 就労の有無】



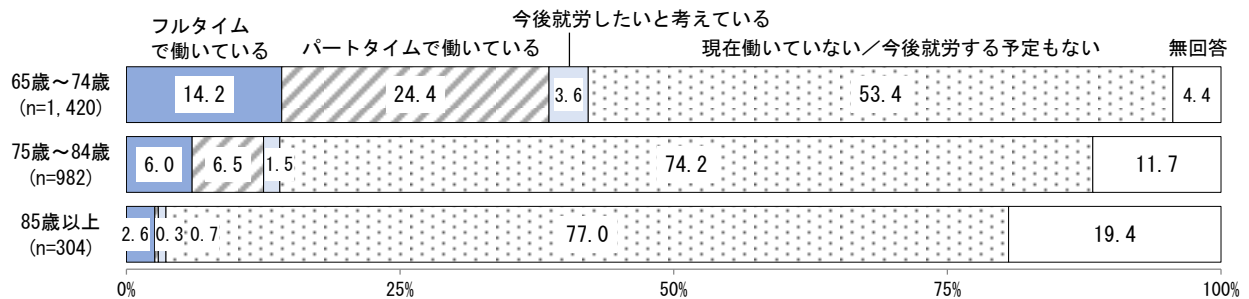
性別にみると、現在働いている割合が、男性で34.8%に対し、女性では18.9%と低い。

【性別 就労の有無】



年齢別にみると、現在働いている割合が、65歳～74歳で4割近く（38.6%）みられるのに対し、75歳～84歳では12.5%、85歳以上では3.0%となっている。

【年齢別 就労の有無】

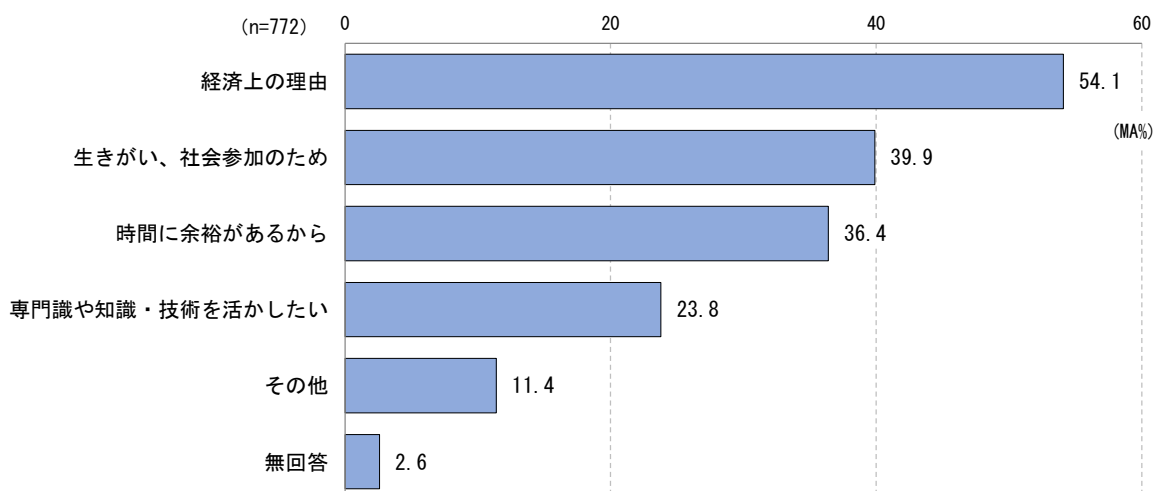


②働く理由

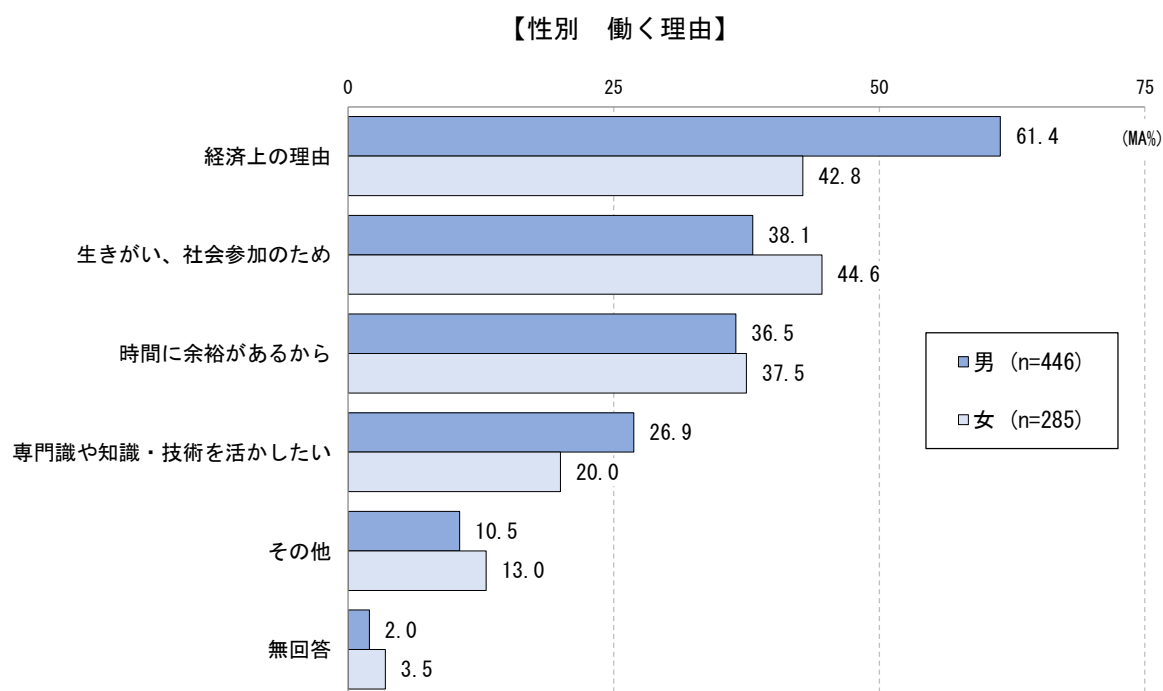
【問5(7)で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」「今後就労したいと考えている」のいずれかと回答の方のみ】

問5(7)① 働いている／今後就労したいと考える理由はなんですか（いくつでも）

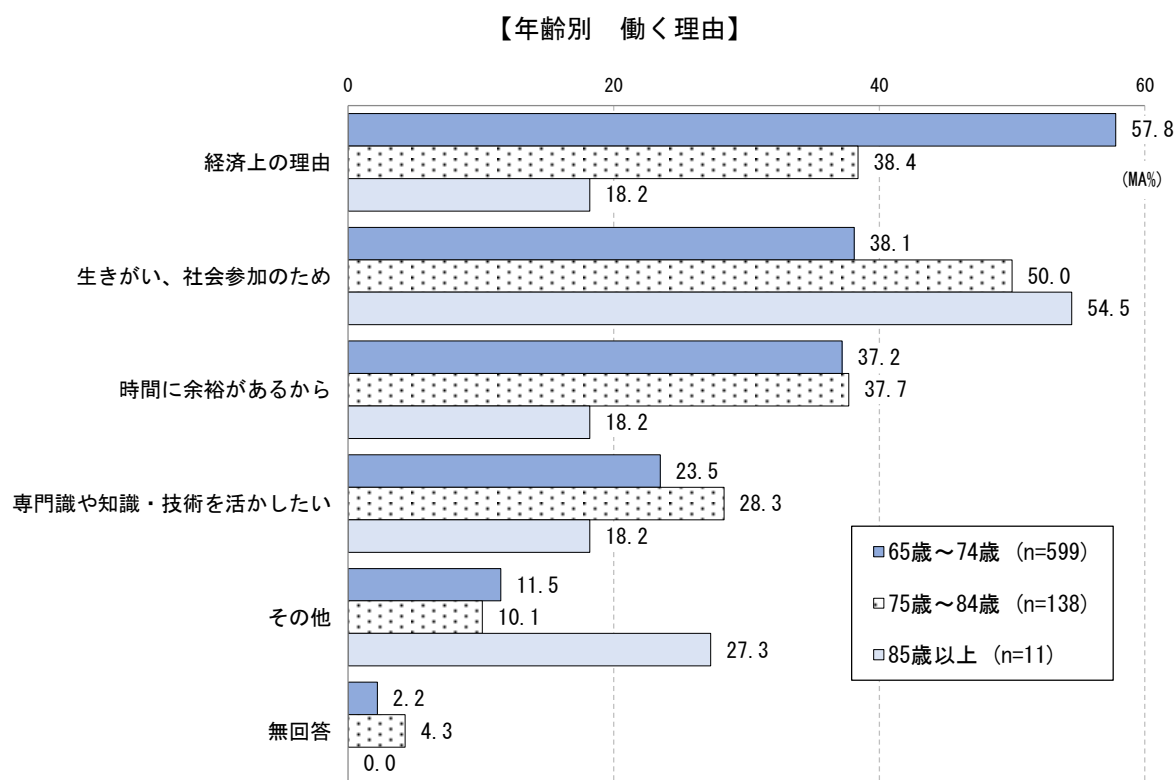
現在働いている、または今後就労したいと考えている人の理由としては、「経済上の理由」が54.1%と最も多く、次いで「生きがい、社会参加のため」が39.9%となっている。



性別にみると、男性では「経済上の理由」が 61.4%、女性では「生きがい、社会参加のため」が 44.6%と、それぞれ最も多くなっている。



年齢別にみると、65 歳～74 歳では「経済上の理由」が 57.8%と最も多くなっている。一方、75 歳～84 歳では「生きがい、社会参加のため」が 50.0%と最も多い。



7 たすけあいについて

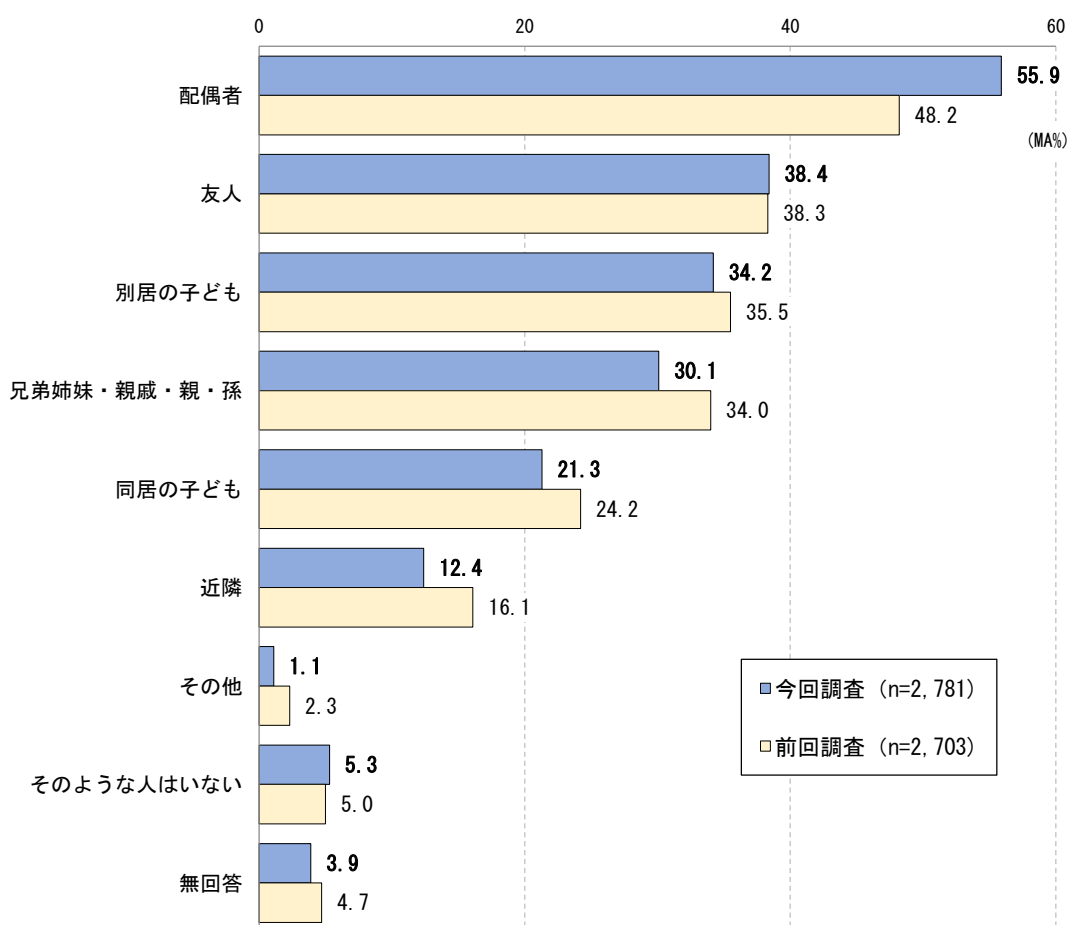
(1) 心配事や愚痴の相談状況

①心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 6(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

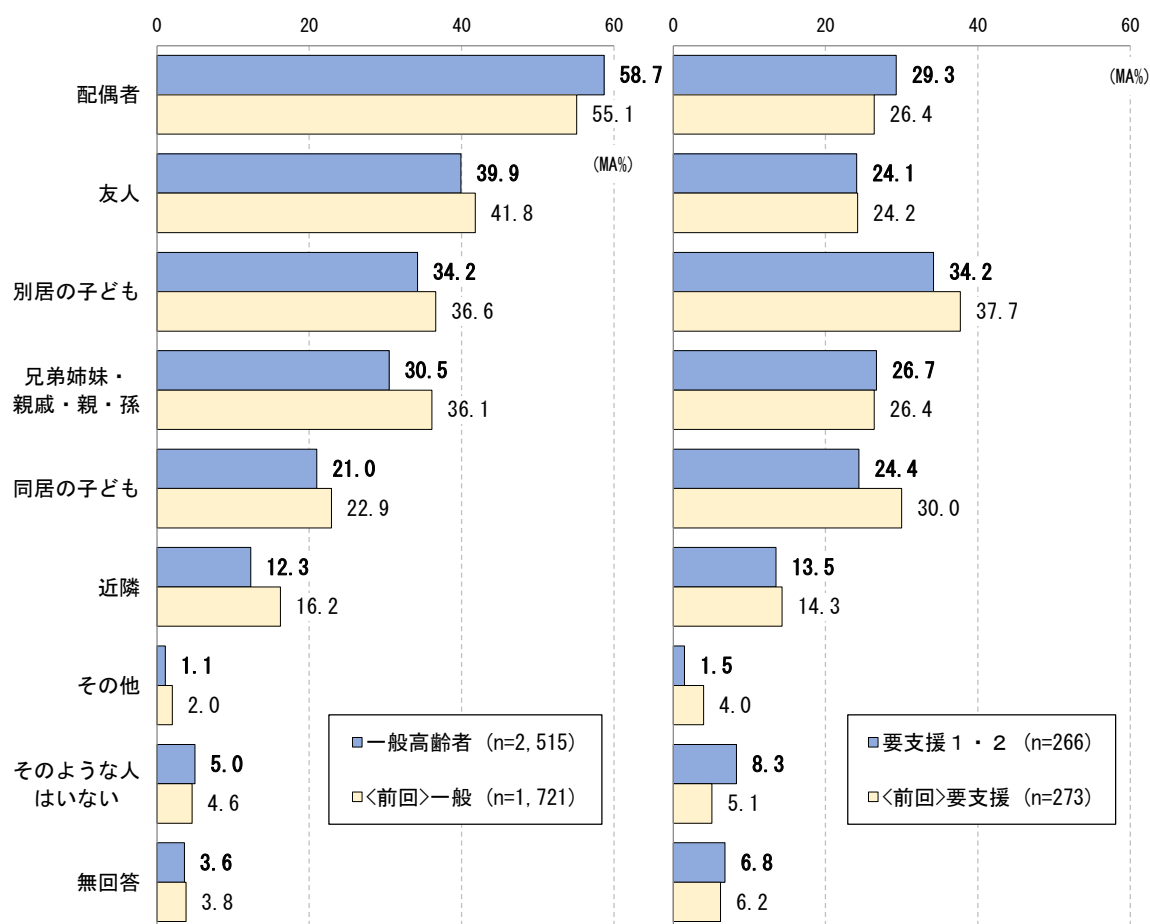
心配事や愚痴を聞いてくれる人としては、「配偶者」が 55.9%と最も多く、次いで「友人」が 38.4%、「別居の子ども」が 34.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 30.1%となっている。

前回調査と比べると、「配偶者」（前回 48.2%）が 7.7 ポイント増えているものの、多くの項目では減少傾向にある。



要介護認定別にみると、要支援1・2では、「別居の子ども」が34.2%と最も多くなっている。前回調査と比べると、子ども（同居及び別居）の割合は減り、配偶者が増えている。一方、「そのような人はいない」が8.3%みられ、前回調査（5.1%）から3.2ポイント増えている。

【要介護認定別 心配事や愚痴を聞いてくれる人】

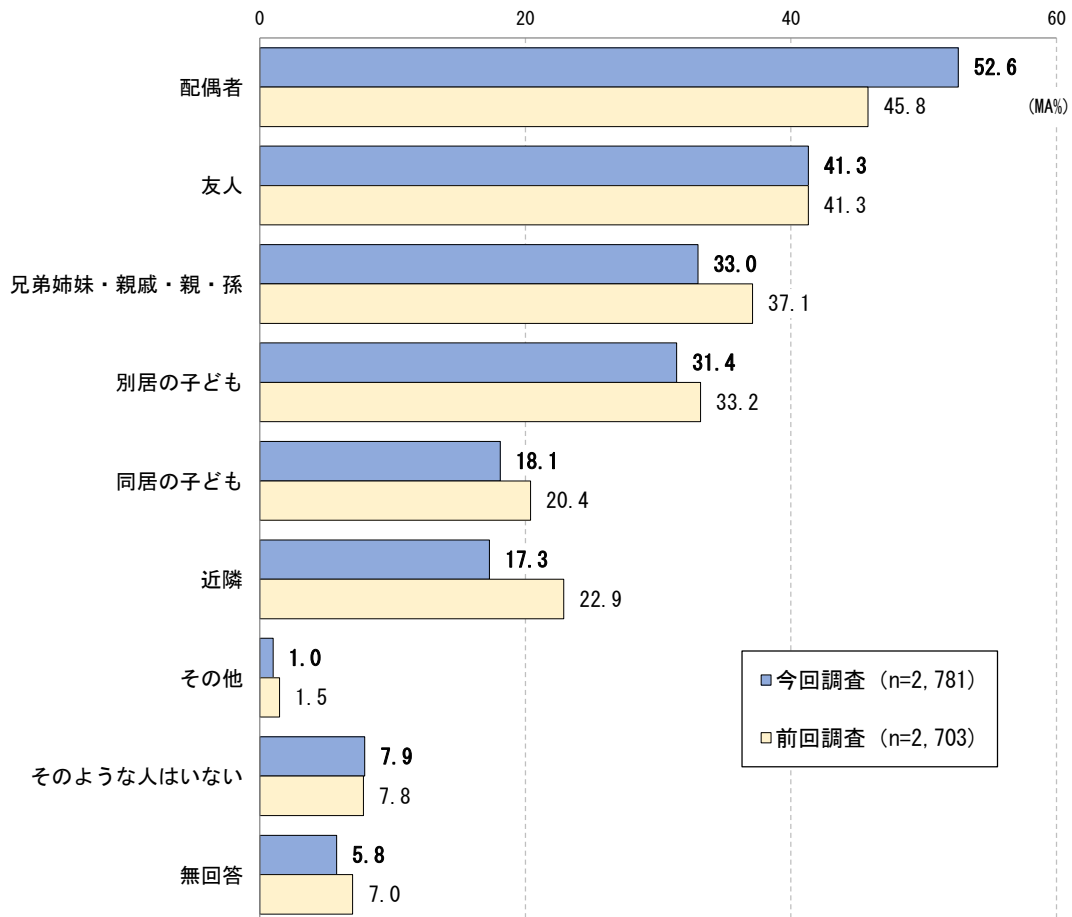


②心配事や愚痴を聞いてあげる人

問 6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）

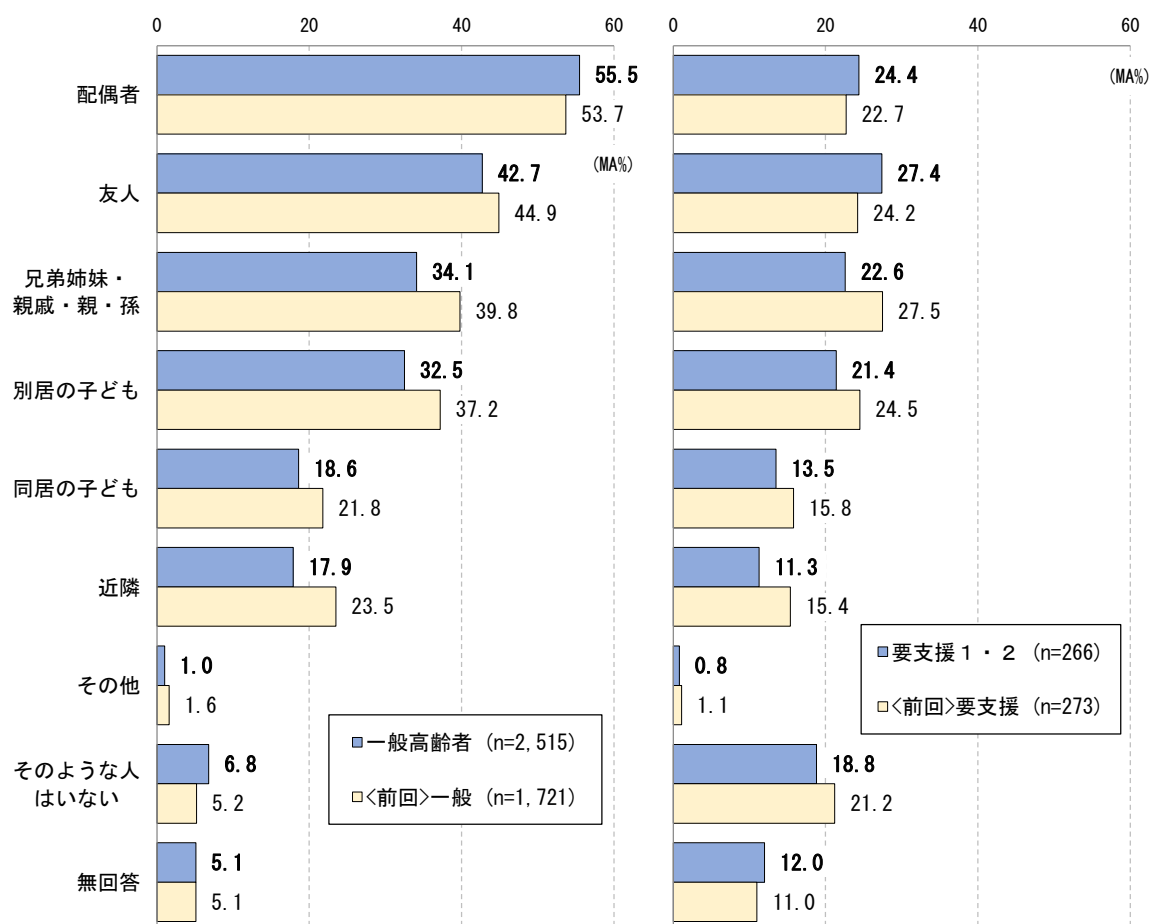
心配事や愚痴を聞いてあげる人としては、「配偶者」が 52.6%と最も多く、次いで「友人」が 41.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 33.0%、「別居の子ども」が 31.4%となっている。

前回調査と比べると、「配偶者」（前回 45.8%）が 6.8 ポイント増えているものの、そのほかの項目では概ね減少傾向にある。



要介護認定別にみると、要支援1・2では、「友人」が27.4%と最も多く、前回調査（24.2%）から3.2ポイント増えている。一方、「そのような人はいない」が18.8%と、一般高齢者（6.8%）に比べて10ポイント以上高いものの、前回調査（21.2%）からは2.4ポイント減っている。

【要介護認定別 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



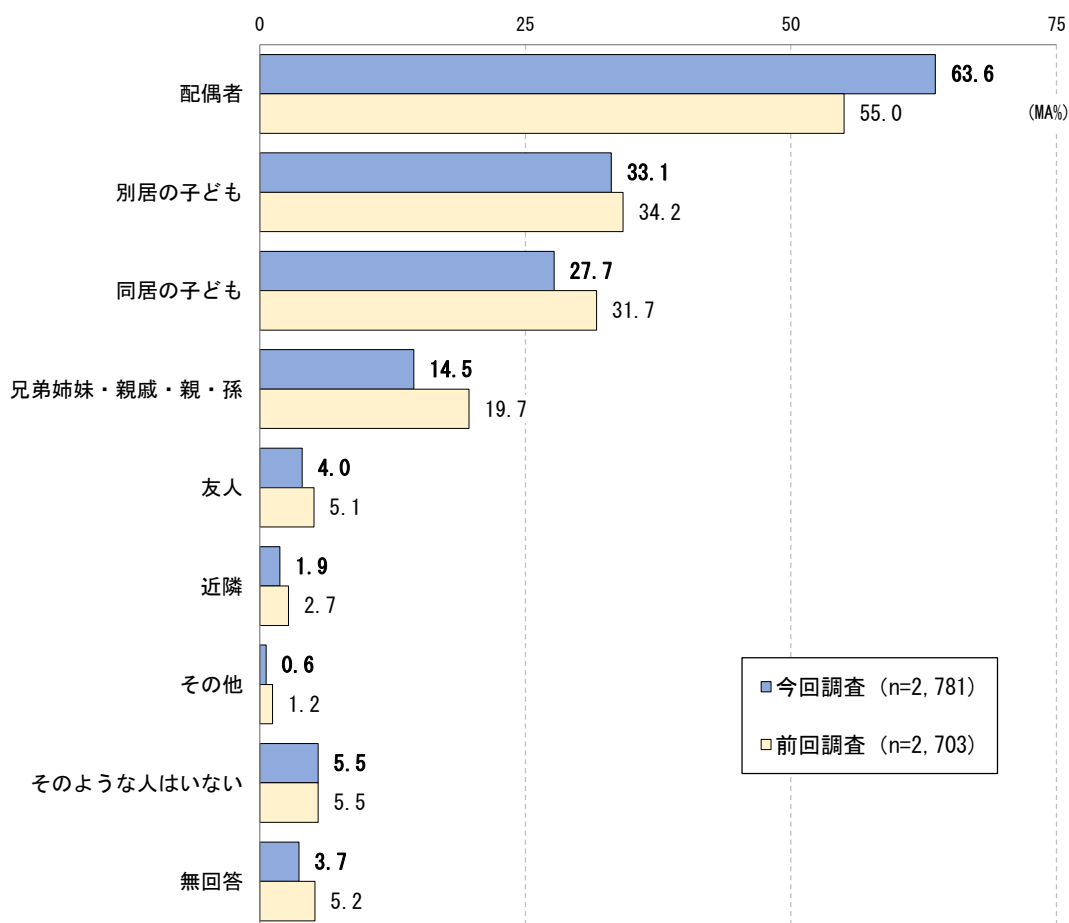
(2) 看病や世話が必要な場合の対応状況

①看病や世話をしてくれる人

問 6(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

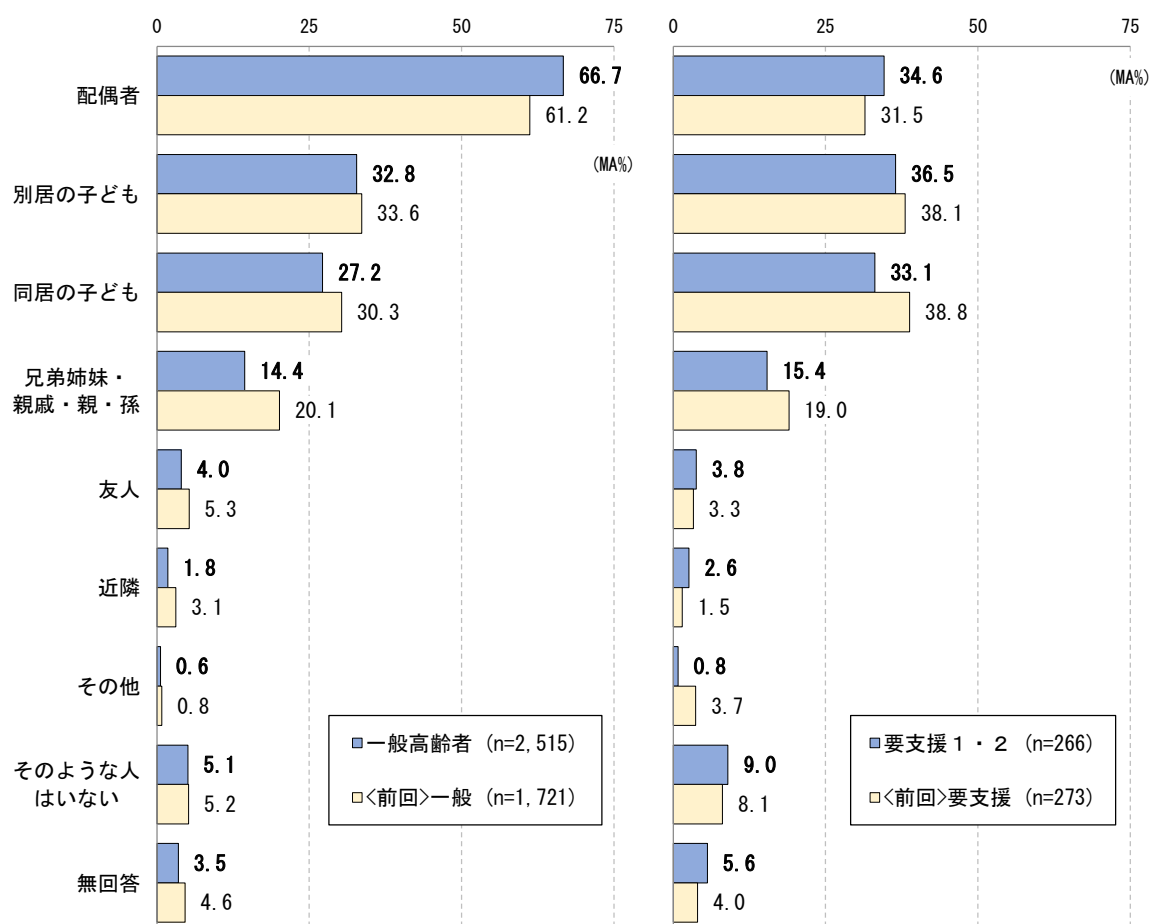
病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人としては、「配偶者」が 63.6%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 33.1%、「同居の子ども」が 27.7%となっている。

前回調査と比べると、「配偶者」（前回 55.0%）が 8.6 ポイント増えているものの、その他の項目はいずれも減少傾向にある。



要介護認定別にみると、要支援1・2では、「別居の子ども」が36.5%（前回38.1%）と最も多くなっているものの、「同居の子ども」（今回33.1%、前回38.8%）も含めて、前回調査から子どもの割合は減っている。これに対し、「配偶者」は34.6%と、前回調査（31.5%）から増えている。

【要介護認定別 看病や世話をしてくれる人】

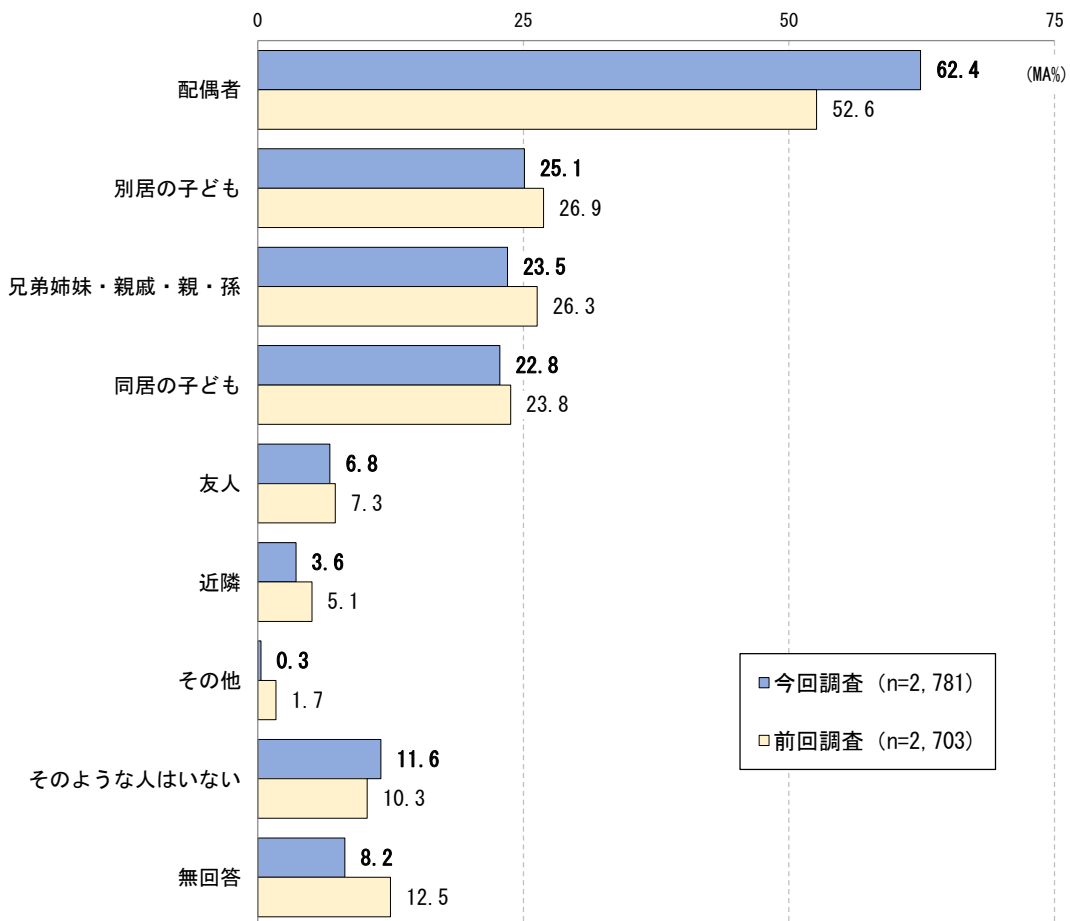


②看病や世話をしあける人

問 6(4) 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

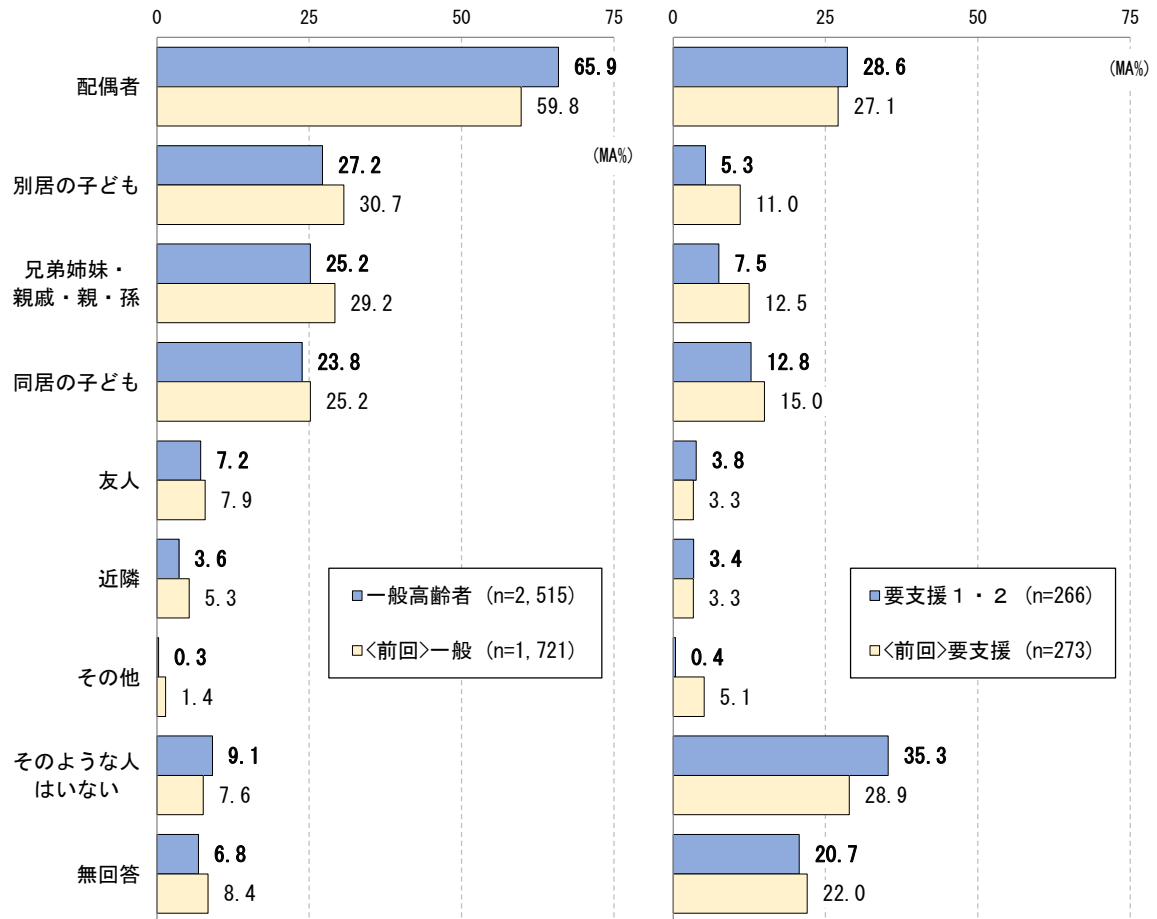
看病や世話をしあける人としては、「配偶者」が 62.4%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 25.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 23.5%、「同居の子ども」が 22.8%となっている。

前回調査と比べると、「配偶者」（前回 52.6%）が 9.8 ポイント増えているものの、そのほかの項目はいずれも減少傾向にある。



要介護認定別にみると、「そのような人はいない」が要支援1・2で3割台（35.3%）みられ、前回調査（28.9%）から6.4ポイント増えている。

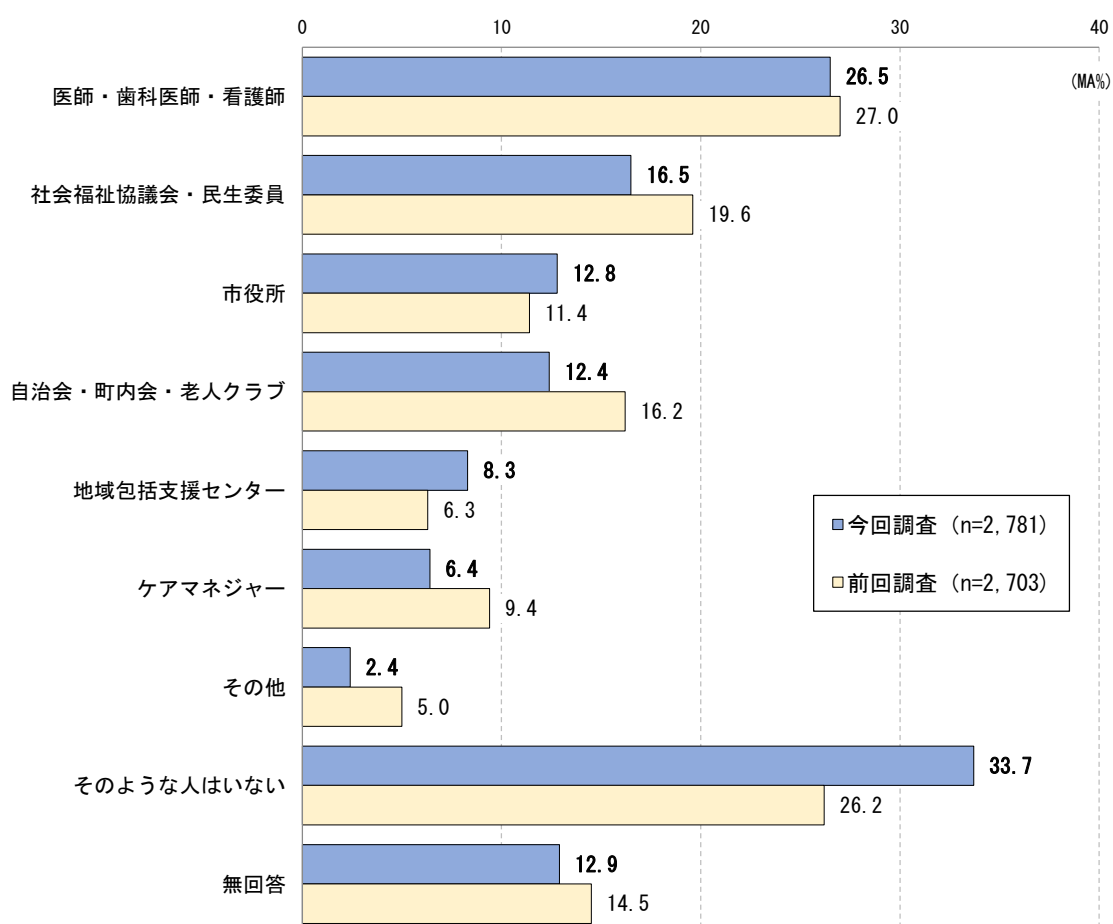
【要介護認定別 看病や世話をしあける人】



(3) 相談相手

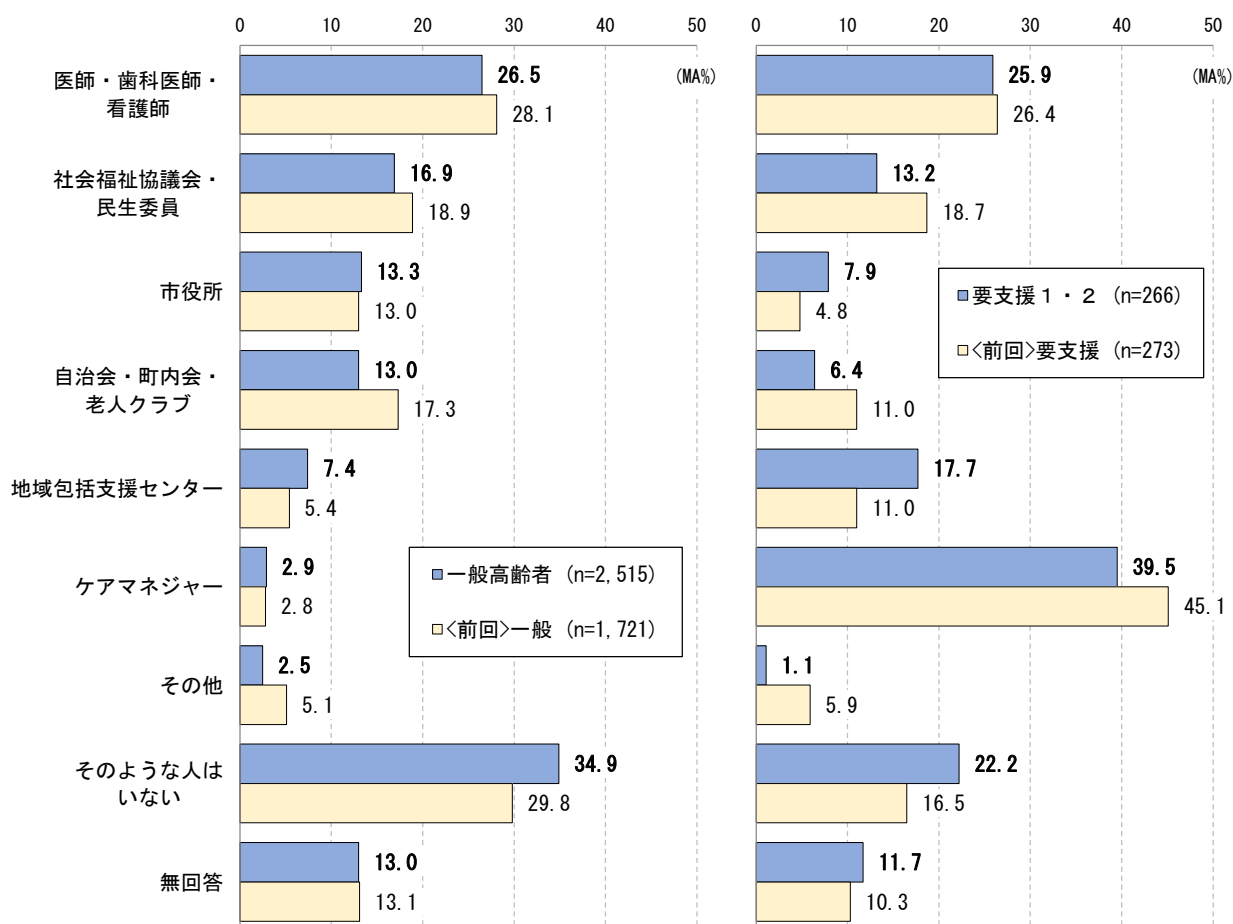
問 6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

家族や友人・知人以外の相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が 26.5%と最も多く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」が 16.5%、「市役所」が 12.8%、「自治会・町内会・老人クラブ」が 12.4%となっている。一方、「そのような人はいない」は3割台（33.7%）みられ、前回調査（26.2%）から 7.5 ポイント増えている。



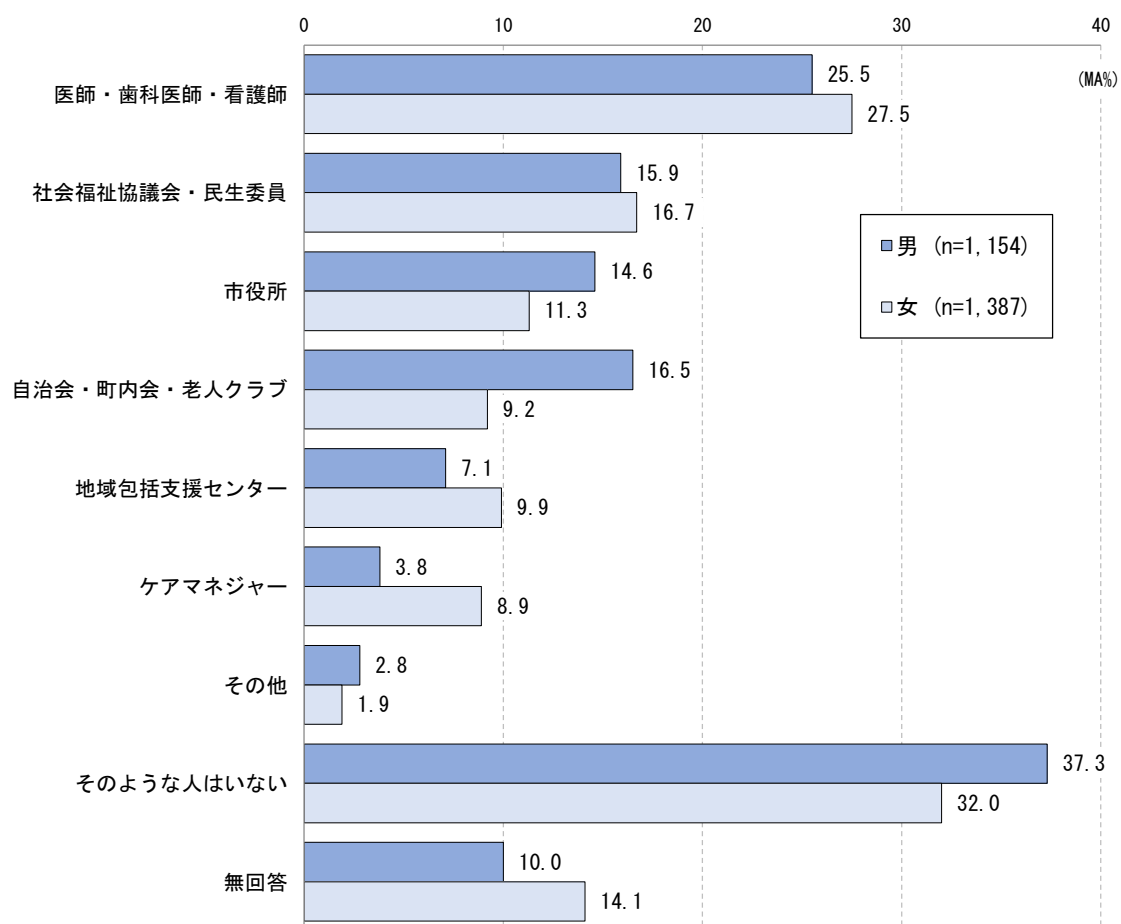
要介護認定別にみると、要支援１・２では、「ケアマネジャー」が39.5%と最も多いものの、前回調査（45.1%）から5.6ポイント減っている。一方、「そのような人はいない」は2割台（22.2%）みられ、前回調査（16.5%）から5.7ポイント増えている。

【要介護認定別 相談相手】



性別にみると、男女ともに「医師・歯科医師・看護師」が最も多く、男性で25.5%、女性で27.5%となっている。これに続くのが、男性では「自治会・町内会・老人クラブ」で16.5%、女性では「社会福祉協議会・民生委員」で16.7%となっている。一方、「そのような人はいない」は、女性で32.0%に対し、男性では37.3%と高い。

【性別 相談相手】

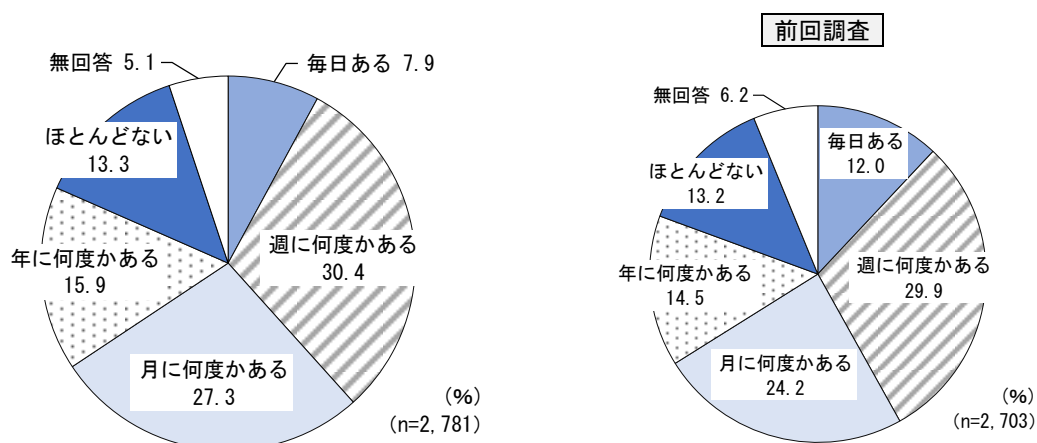


(4) 友人・知人との交流状況

①友人・知人と会う頻度

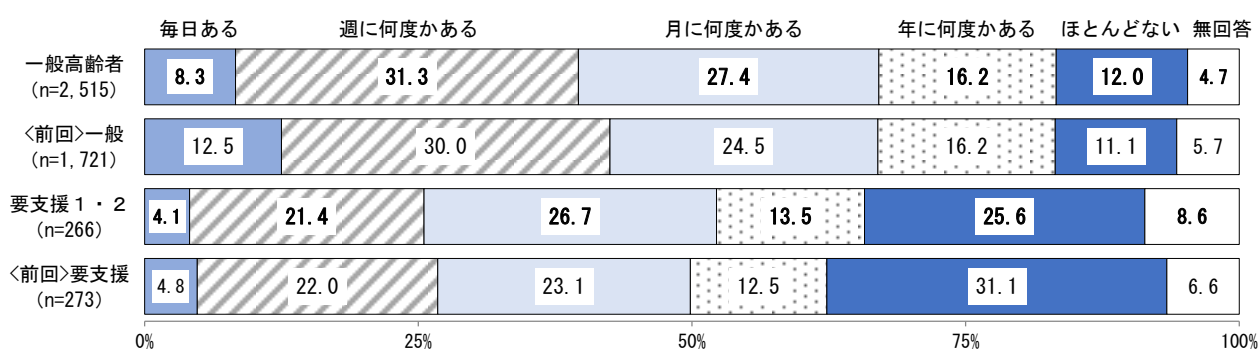
問 6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)

友人・知人と会う頻度としては、「週に何度かある」が30.4%と最も多く、次いで「月に何度かある」が27.3%となっている。一方、年に数回以下の割合（「年に何度かある」「ほとんどない」の計）は約3割（29.3%）となっており、前回調査（27.7%）から1.6ポイント増えている。



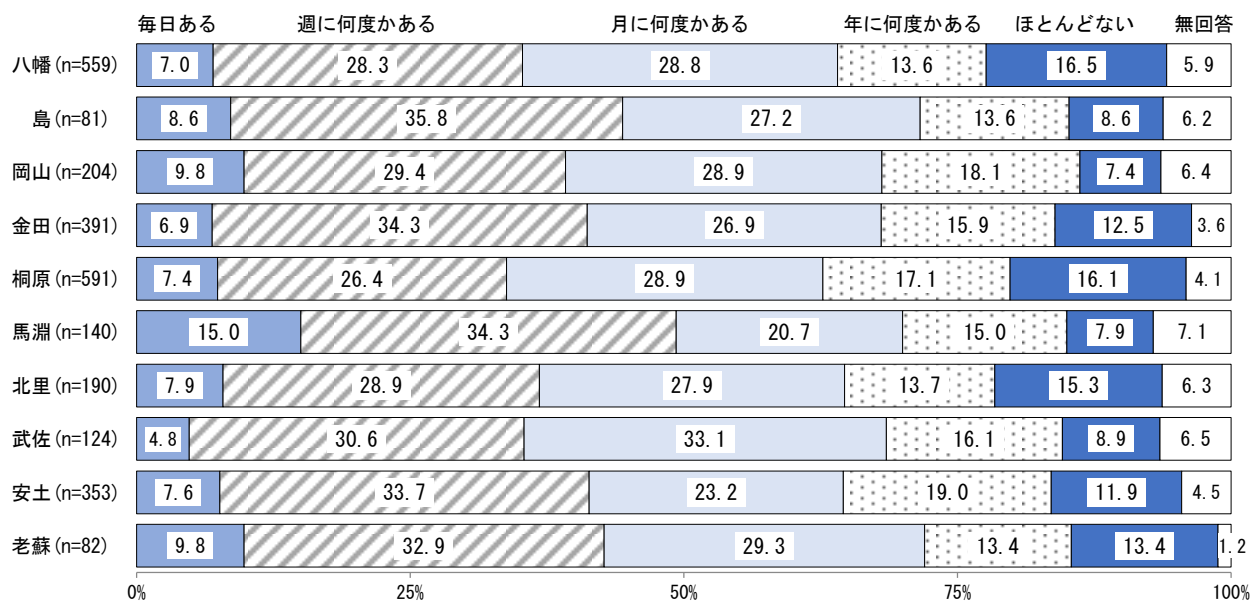
要介護認定別にみると、年に数回以下の割合が、一般高齢者で28.2%に対し、要支援1・2では39.1%と高いものの、前回調査（43.6%）からは4.5ポイント減っている。

【要介護認定別 友人・知人と会う頻度】



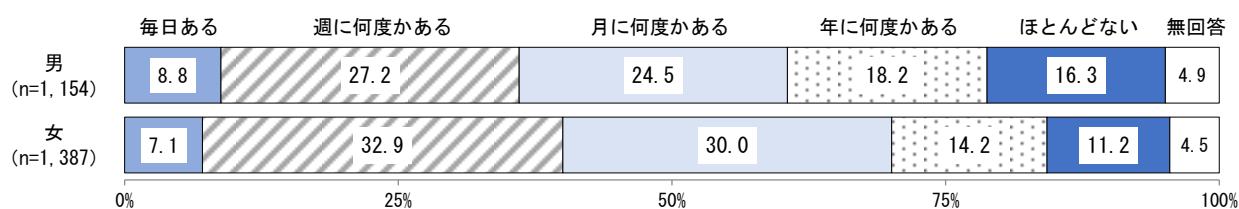
学区別にみると、年に数回以下の割合が、桐原学区で33.2%と最も高く、次いで安土学区で30.9%、八幡学区で30.1%となっている。一方、「毎日ある」が馬淵学区で15.0%と最も高い。

【学区別 友人・知人と会う頻度】



性別にみると、年に数回以下の割合が、女性で25.5%に対し、男性では34.5%と高くなっている。

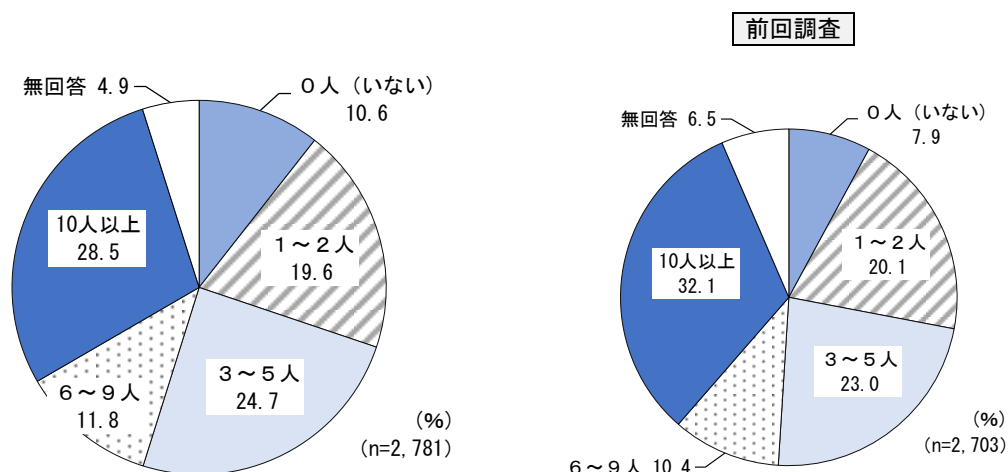
【性別 友人・知人と会う頻度】



② 1か月に会う友人・知人の人数

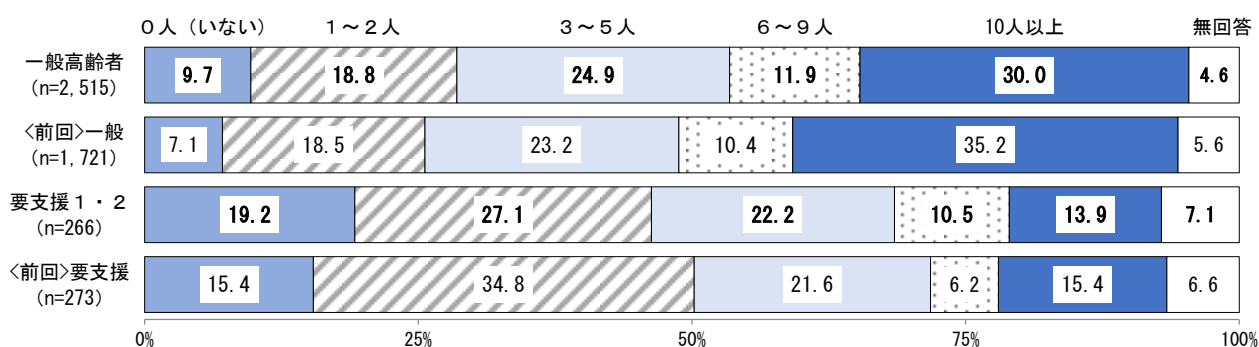
問 6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（※同じ人には何度会っても1人と数える）

直近1か月間に会った友人・知人の人数としては、「10人以上」が28.5%と最も多く、次いで「3～5人」が24.7%、「1～2人」が19.6%となっている。一方、「0人（いない）」は約1割（10.6%）みられ、前回調査（7.9%）から2.7ポイント増えている。



要介護認定別にみると、要支援1・2では、「1～2人」が27.1%と最も多くなっているものの、前回調査（34.8%）から7.7ポイント減っている。一方、「0人（いない）」は19.2%となっており、こちらは前回調査（15.4%）から3.8ポイント増えている。

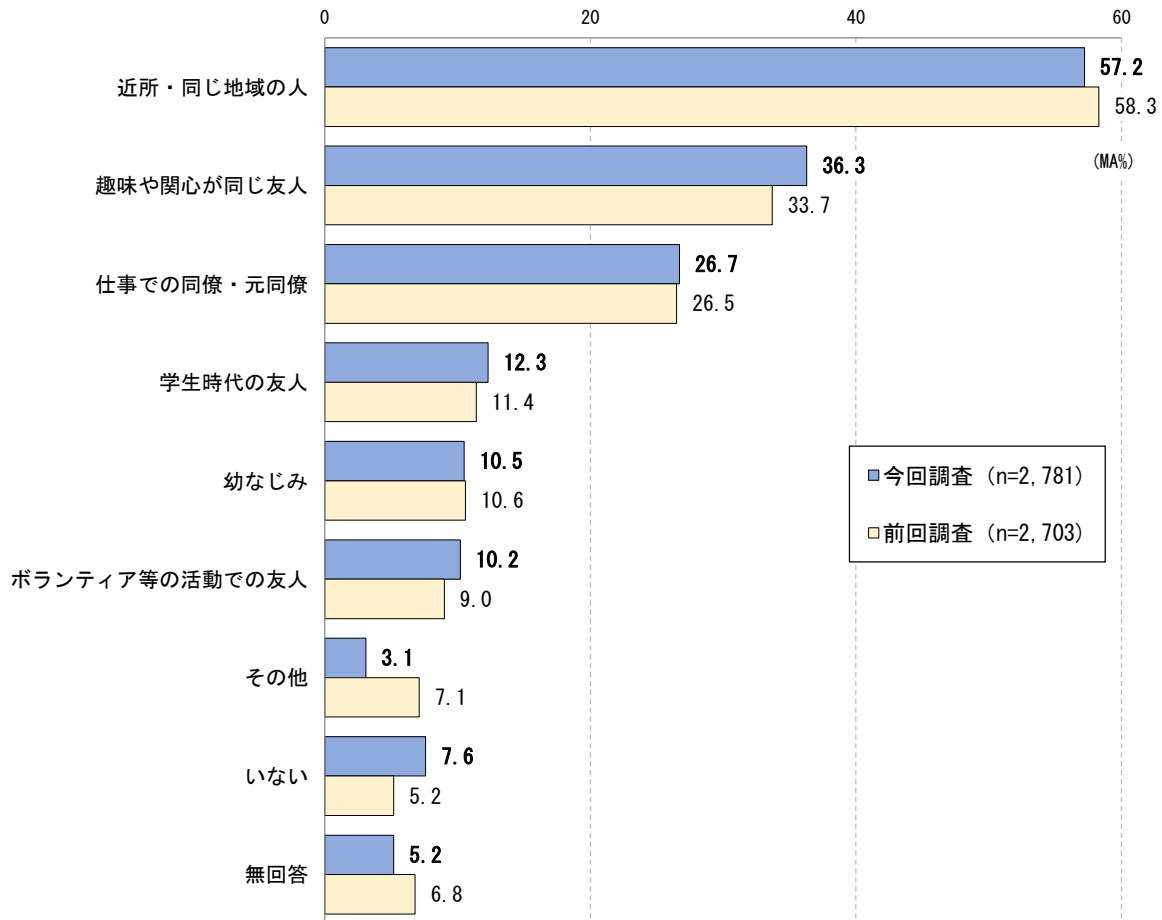
【要介護認定別 1か月に会う友人・知人の人数】



③友人・知人との関係

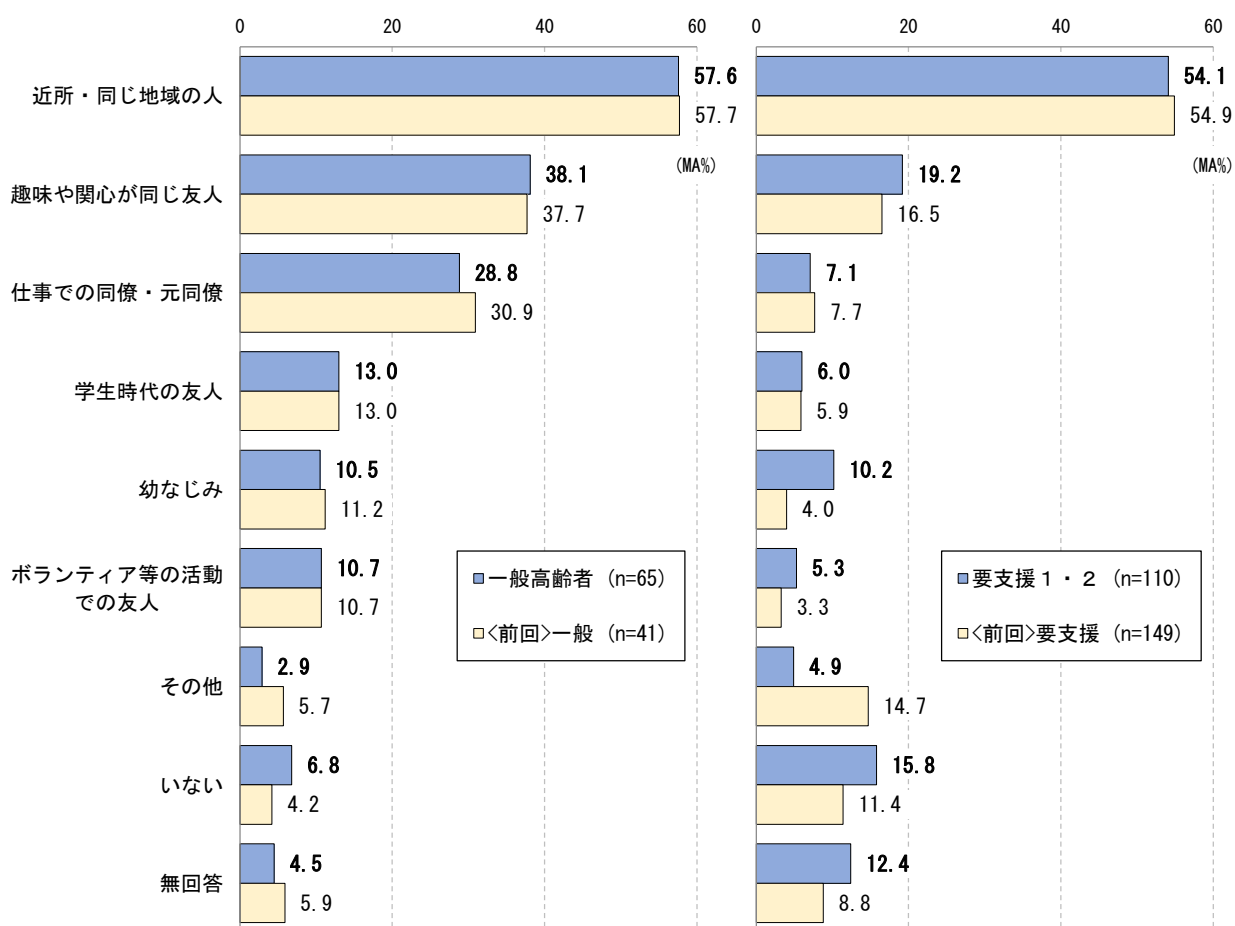
問 6(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

よく会う友人・知人との関係としては、「近所・同じ地域の人」が 57.2%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 36.3%、「仕事での同僚・元同僚」が 26.7%となっており、いずれも前回調査と同程度となっている。



要介護認定別にみると、ともに「近所・同じ地域の人」が最も多く、一般高齢者で 57.6%、要支援 1・2 で 54.1%となっており、それぞれ前回調査と同程度となっている。一方、「いない」が要支援 1・2 で 15.8%みられ、前回調査（11.4%）から 4.4 ポイント増えている。

【要介護認定別 友人・知人との関係】

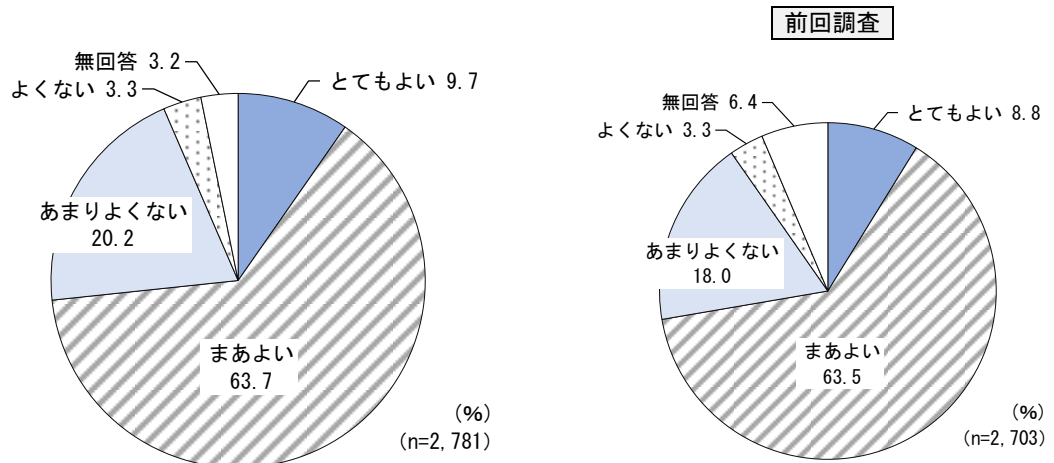


8 健康について

(1) 主観的健康観

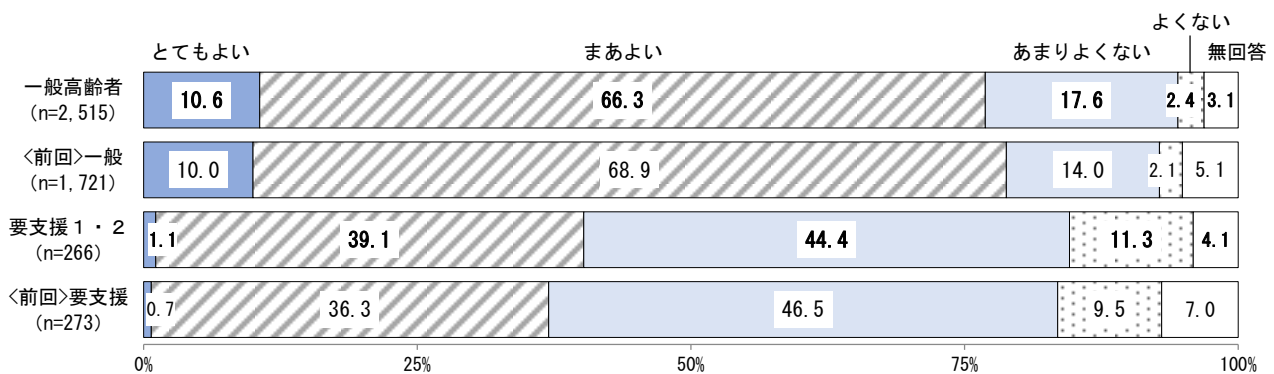
問 7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

現在の健康状態としては、「まあよい」が6割台（63.7%）を占めており、「とてもよい」が9.7%となっている。一方、「あまりよくない」が20.2%、「よくない」が3.3%となっており、合わせると、健康状態がよくないという割合は2割台（23.4%）となっており、前回調査（21.3%）から2.1ポイント増えている。



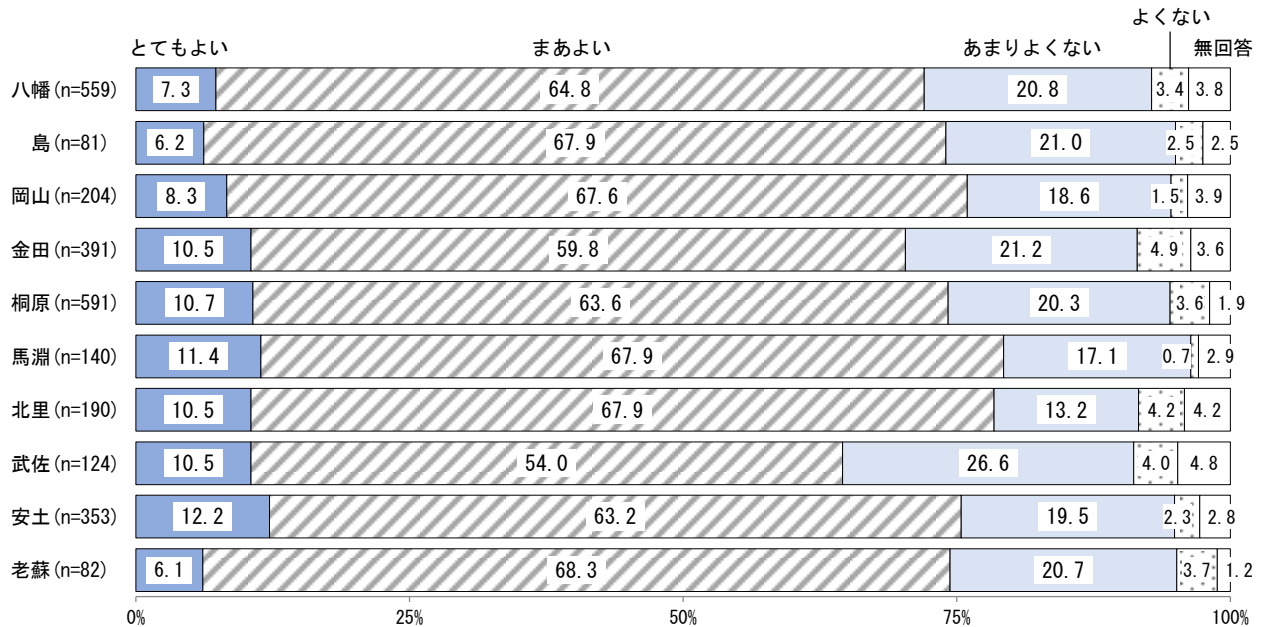
要介護認定別にみると、健康状態がよくないという割合が、一般高齢者で2割（20.0%）に対し、要支援1・2では半数以上（55.6%）を占めており、前回調査（56.0%）と同程度となっている。

【要介護認定別 主観的健康観】



学区別にみると、健康状態が良くないという割合が、武佐学区で 30.6%と最も高く、次いで金田学区で 26.1%、老蘇学区で 24.4%、八幡学区で 24.2%となっている。

【学区別 主観的健康観】

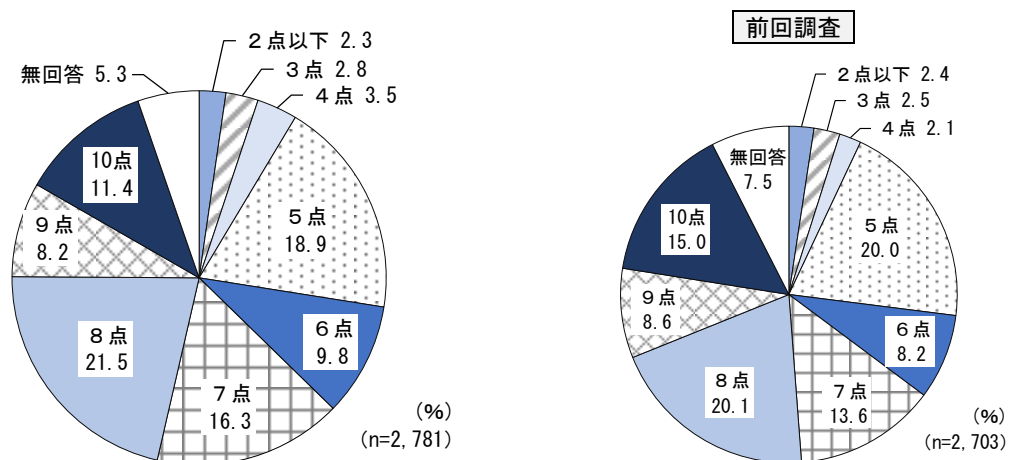


(2) 主観的幸福感

問 7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

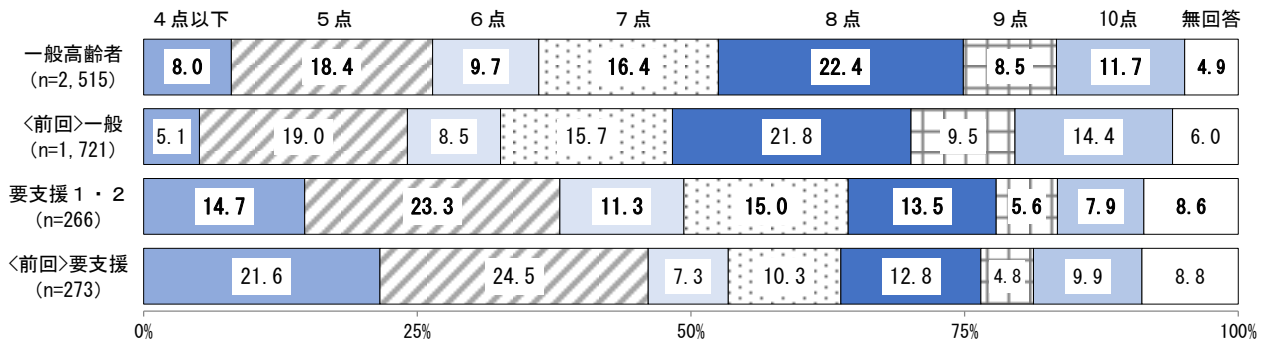
現在どの程度幸せかを10点満点でたずねたところ、「8点」が21.5%と最も高く、次いで「5点」が18.9%、「7点」が16.3%となっている。なお、平均点は6.9点となっている。

前回調査と比べると、「10点」(今回11.4%、前回15.0%)が3.6ポイント減っている。



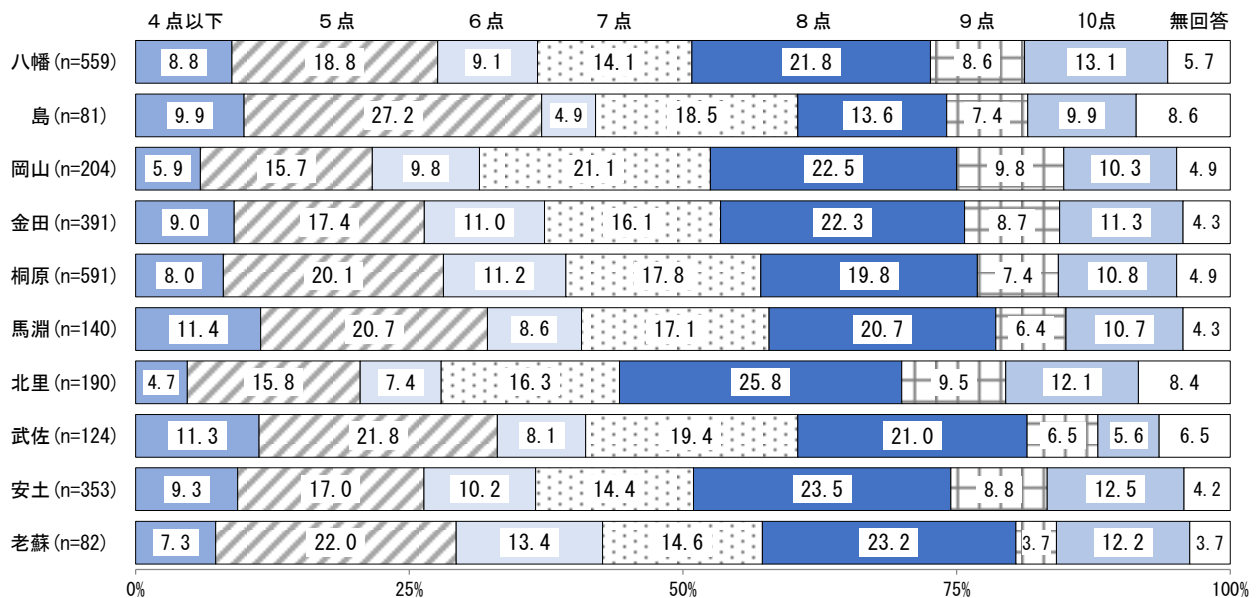
要介護認定別にみると、要支援１・２では、「５点」が 23.3%と最も多く、「４点以下」(14.7%)を合わせると、５点以下が４割近く（38.0%）を占めるものの、前回調査（46.2%）からは 8.2 ポイント減っている。

【要介護認定別 主観的幸福感】



学区別にみると、８点以上の割合が、北里学区で 47.4%と最も高く、次いで安土学区で 44.8%、八幡学区で 43.5%となっている。一方、５点以下の割合は、島学区で 37.0%と最も高く、武佐学区で 33.1%、馬淵学区で 32.1%となっている。

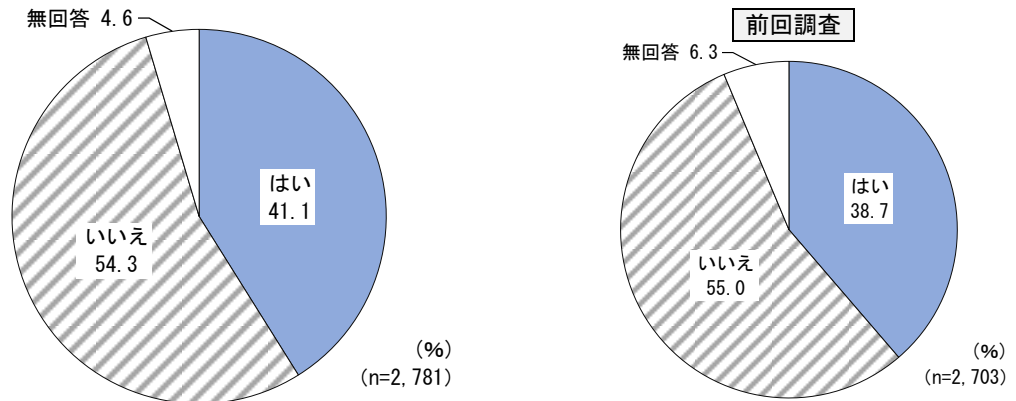
【学区別 主観的幸福感】



(3) ゆうつ感や物忘れの指摘、物事に対する興味の喪失感など

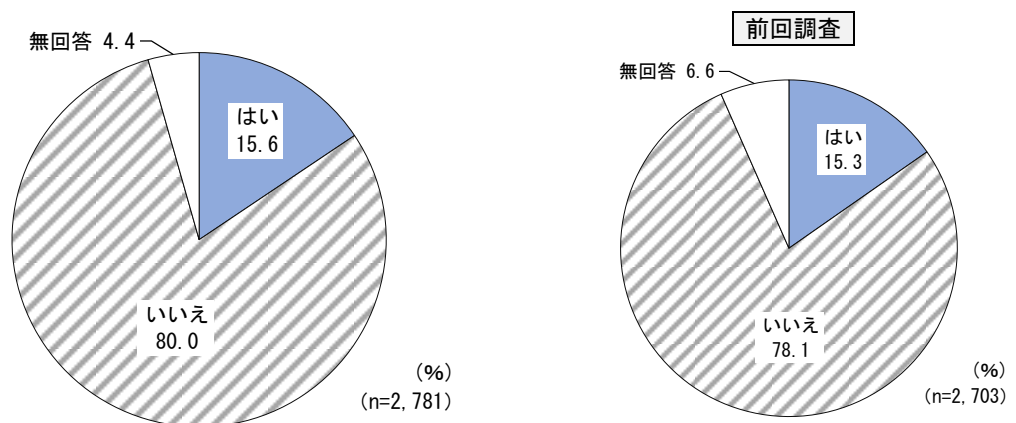
問 7(3) この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この 1 か月間にゆううつな気持ちになったりすることがあったという割合（「はい」）は 4 割台（41.1%）となっている。



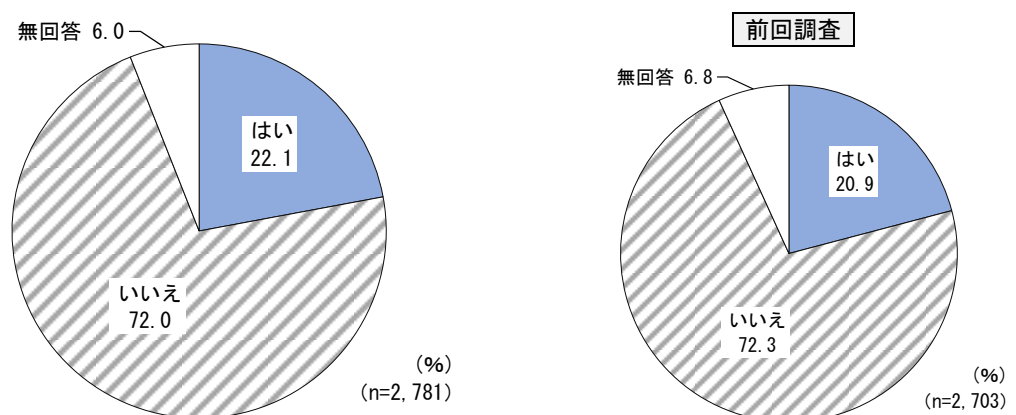
問 7(4) 周りの人から、「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか

周りの人から物忘れがあるとされるという割合（「はい」）は 1 割台（15.6%）となっている。



問 7(5) この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

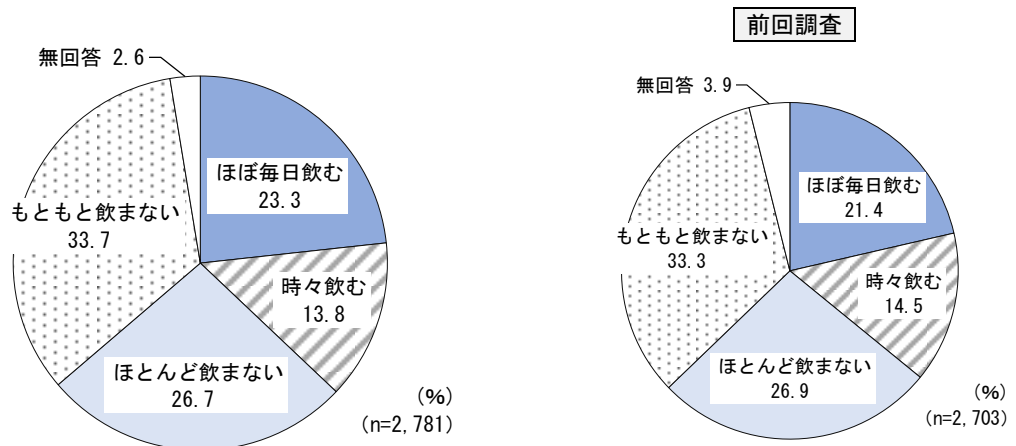
この 1 か月間に物事に対して興味がわかない感じがよくあったという割合（「はい」）は 2 割台（22.1%）となっている。



(4) 飲酒習慣の有無

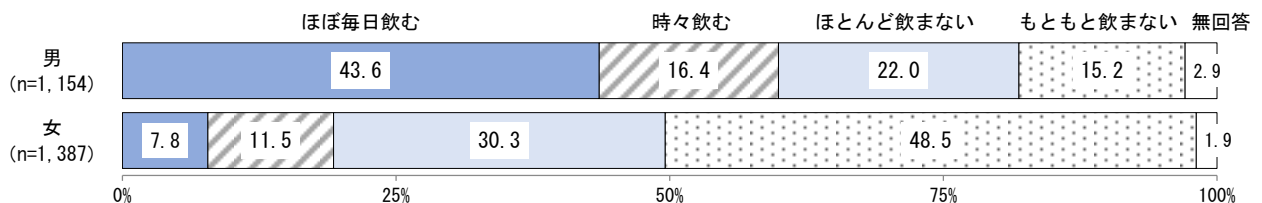
問 7(6) お酒は飲みますか

お酒について、「もともと飲まない」が 33.7%と最も多く、次いで多い「ほとんど飲まない」(26.7%)を合わせると、飲酒習慣がない割合が約6割(60.3%)を占めており、前回調査(60.2%)と同程度となっている。一方、「ほぼ毎日飲む」は 23.3%みられる。



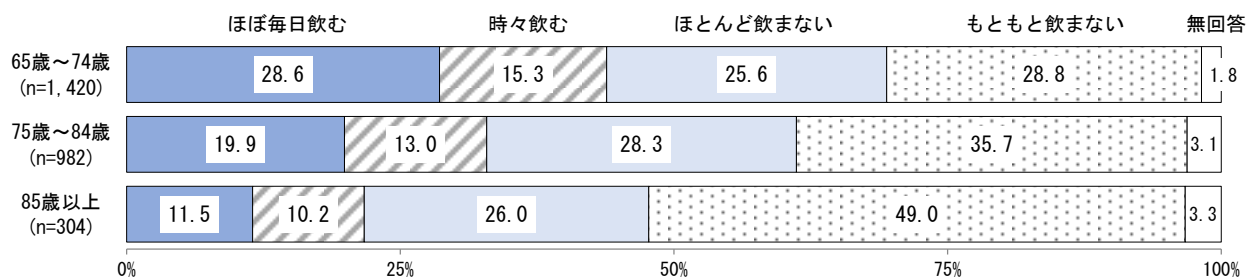
性別にみると、「ほぼ毎日飲む」が、女性で 7.8%に対し、男性では4割台(43.6%)を占めている。

【性別 飲酒習慣の有無】



年齢別にみると、「ほぼ毎日飲む」が、65歳～74歳で 28.6%と最も高く、年齢が上がるにしたがって割合は低くなる傾向にあり、85歳以上では 11.5%となっている。

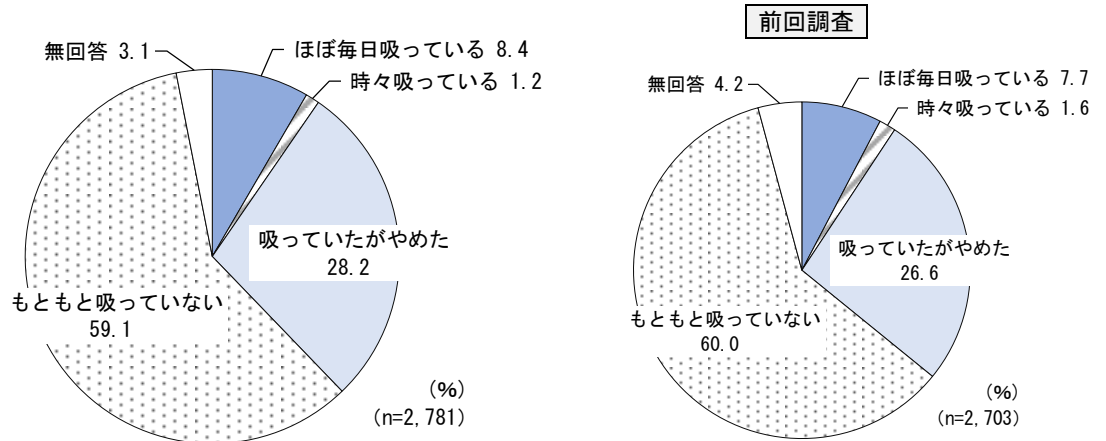
【年齢別 飲酒習慣の有無】



(5) 喫煙習慣の有無

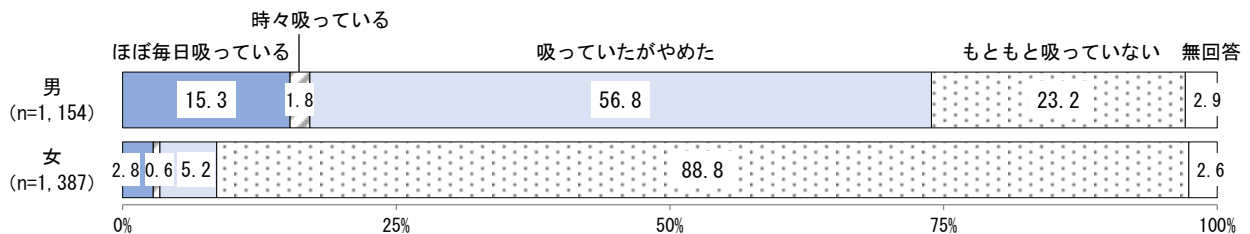
問 7(7) タバコは吸っていますか

タバコについて、「もともと吸っていない」が約6割(59.1%)を占めており、前回調査(60.0%)と同程度となっている。これに続くのが「吸っていたがやめた」で28.2%となっており、「ほぼ毎日吸っている」は8.4%みられる。



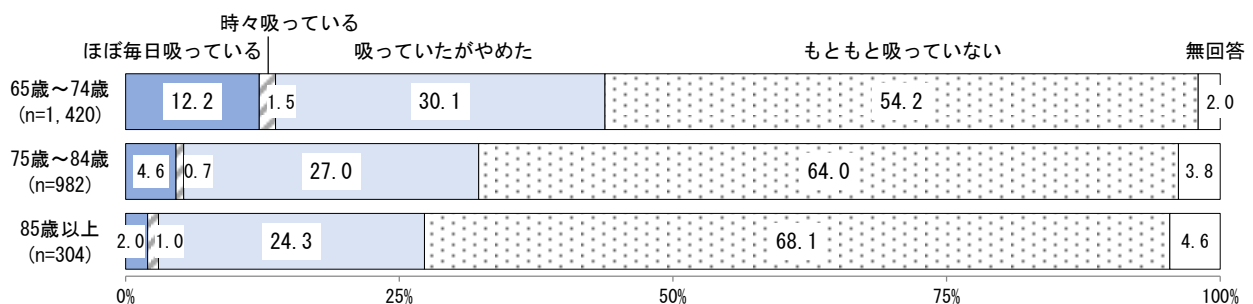
性別にみると、「ほぼ毎日吸っている」が、女性で2.8%に対し、男性では15.3%と高くなっている。

【性別 喫煙習慣の有無】



年齢別にみると、「ほぼ毎日飲む」が、65歳～74歳で12.2%と最も高く、年齢が上がるにしたがって割合は低くなる傾向にあり、85歳以上では2.0%となっている。

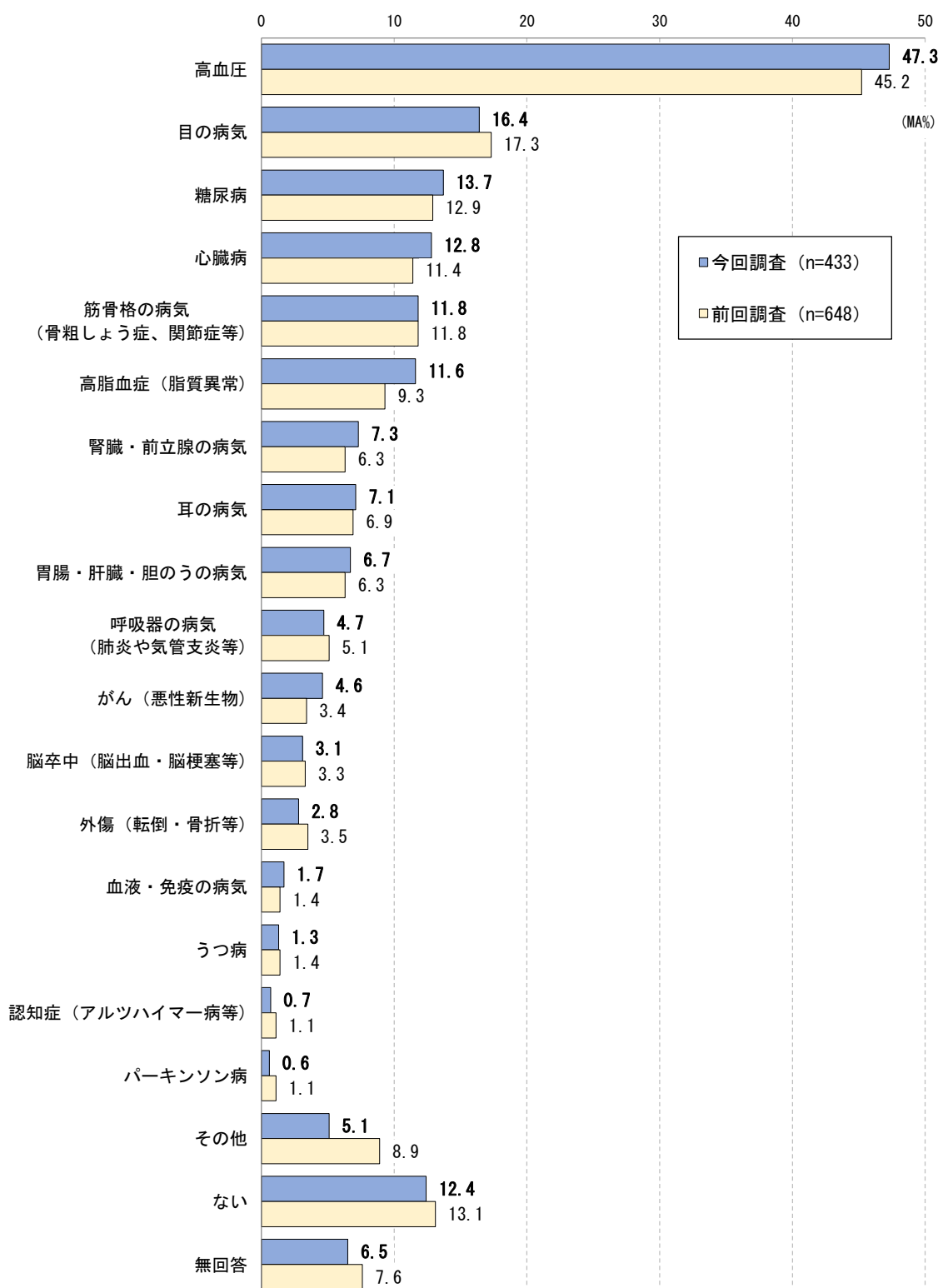
【年齢別 喫煙習慣の有無】



(6) 治療中や後遺症のある病気

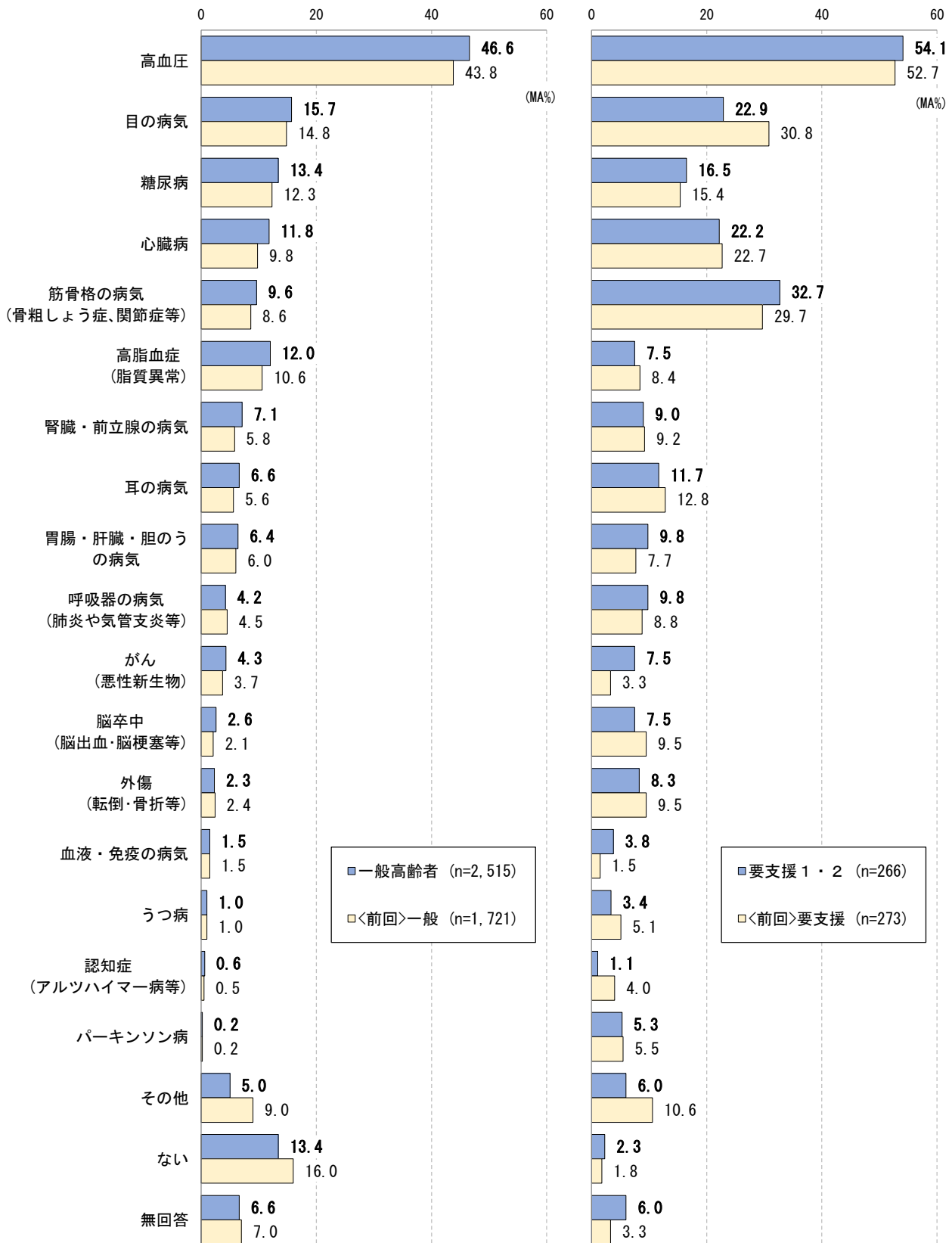
問 7(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

現在治療中または後遺症のある病気としては、「高血圧」が 47.3%と最も多く、次いで「目の病気」が 16.4%、「糖尿病」が 13.7%、「心臓病」が 12.8%、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が 11.8%、「高脂血症 (脂質異常)」が 11.6%となっており、いずれも前回調査と同程度となっている。

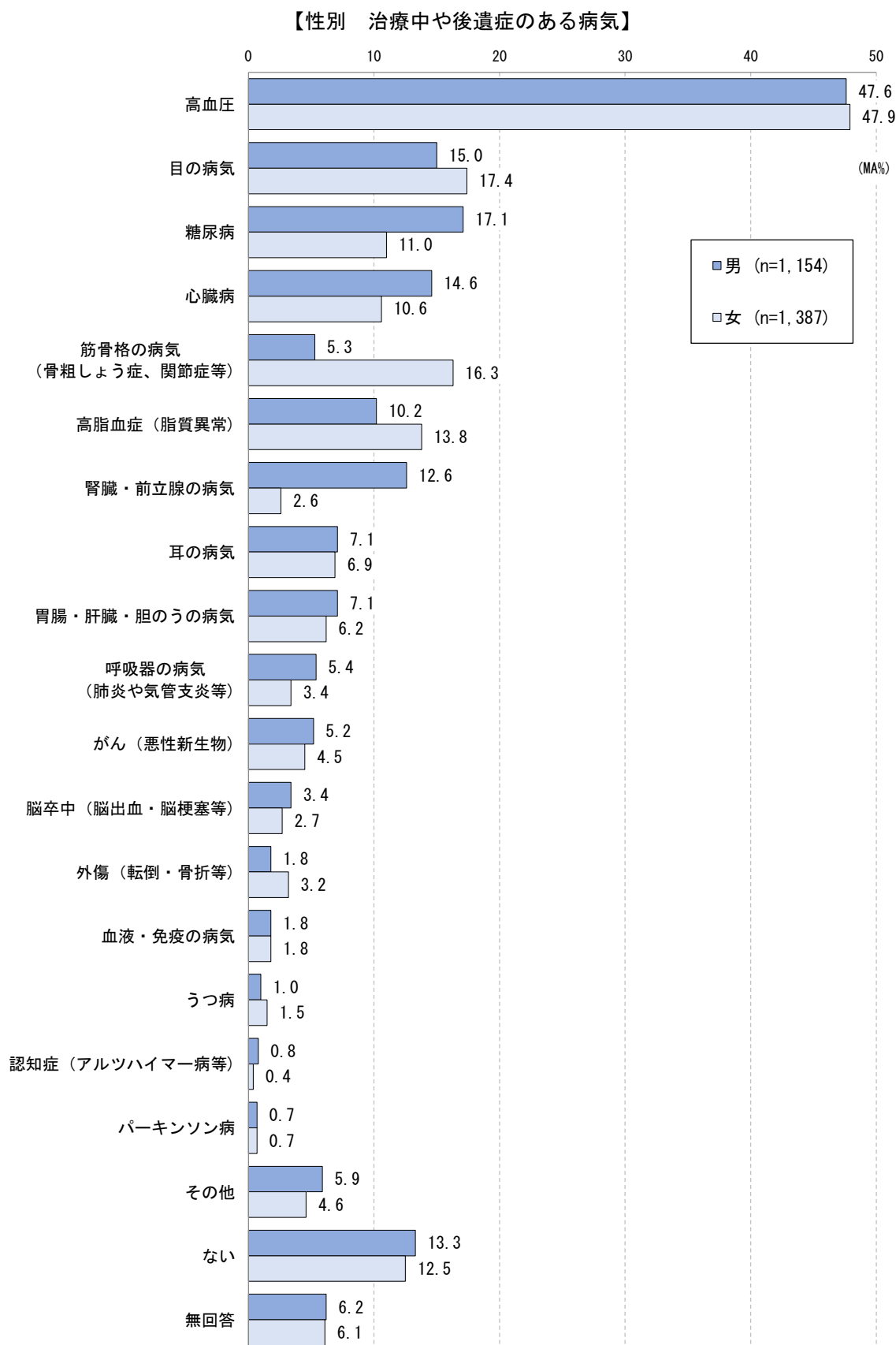


要介護認定別にみると、要支援1・2では、「高血圧」が54.1%（前回52.7%）と最も多く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が32.7%（29.7%）となっており、ともに前回調査から2～3ポイント程度増えている。また、これに続くのが、「目の病気」で22.9%、「心臓病」で22.2%、「糖尿病」で16.5%となっている。

【要介護認定別 治療中や後遺症のある病気】



性別にみると、男女ともに「高血圧」が最も多く、男性で 47.6%、女性で 47.9%となっている。これに続くのが、男性では「糖尿病」が 17.1%、「目の病気」が 15.0%、「心臓病」が 14.6%となっているのに対し、女性では「目の病気」が 17.4%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 16.3%、「高脂血症（脂質異常）」が 13.8%となっている。

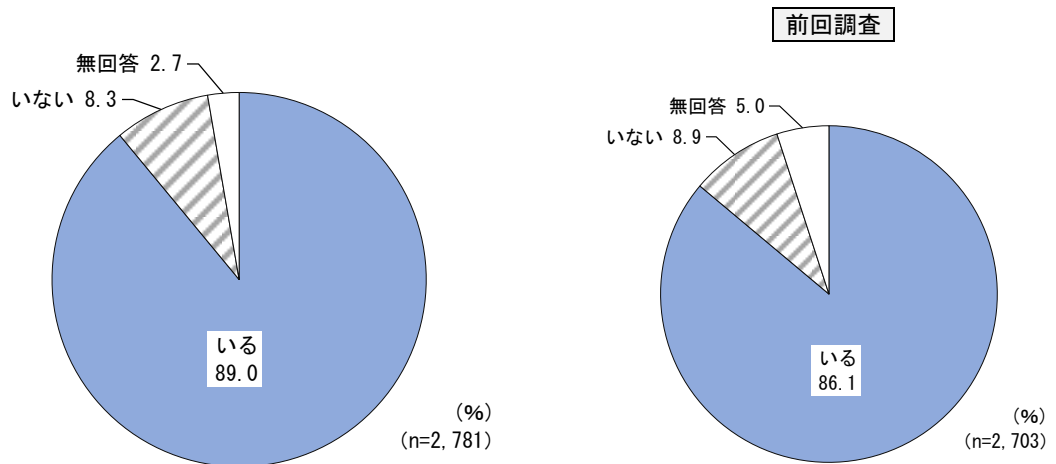


(7) かかりつけ医等の状況

①かかりつけ医の有無

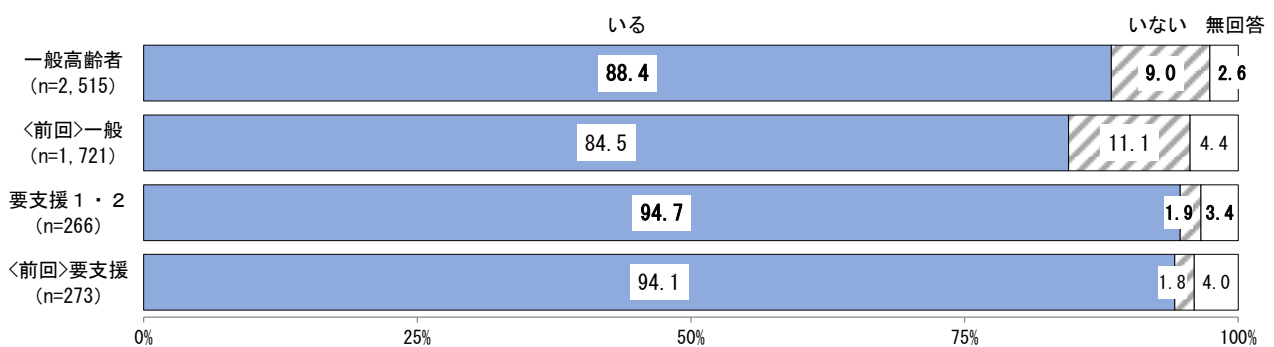
問 7(9) かかりつけ医はいますか

かかりつけ医がいるという割合は約 9 割 (89.0%) を占めており、前回調査 (86.1%) から 2.9 ポイント増えている。



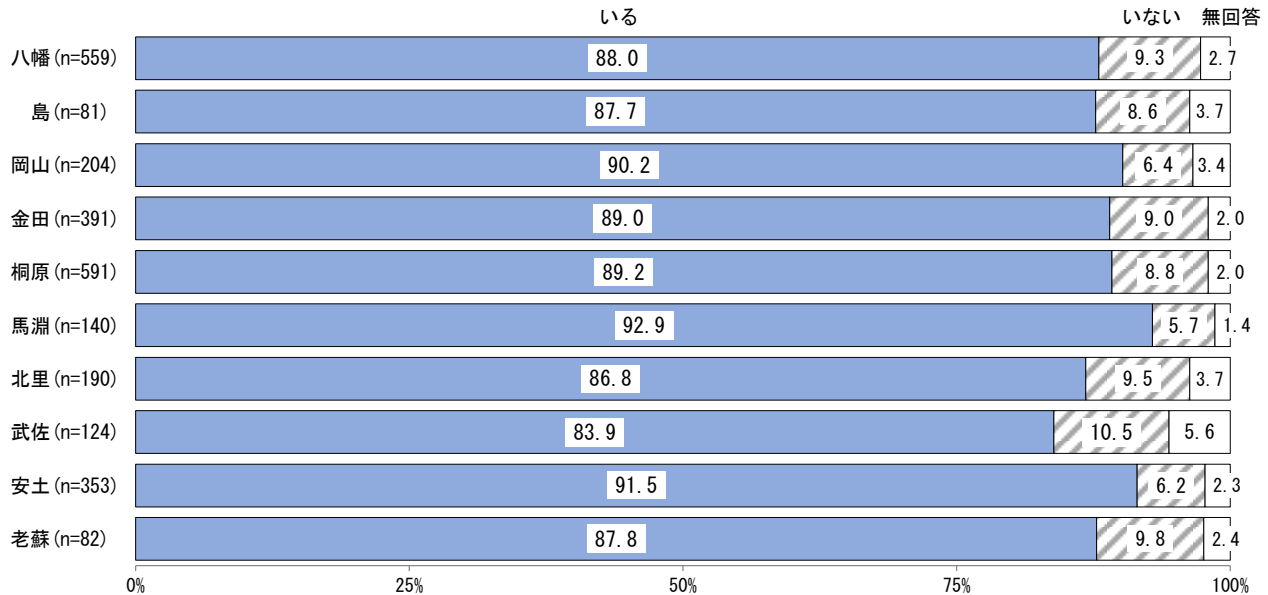
要介護認定別にみると、かかりつけ医がいるという割合が、一般高齢者で 88.4%に対し、要支援 1・2 では 94.7%と高くなっており、前回調査 (94.1%) と同程度となっている。

【要介護認定別 かかりつけ医の有無】



学区別にみると、かかりつけ医がいるという割合が、馬淵学区で 92.9%と最も高く、次いで安土学区で 91.5%、岡山学区で 90.2%となっており、武佐学区で 83.9%と最も低い。

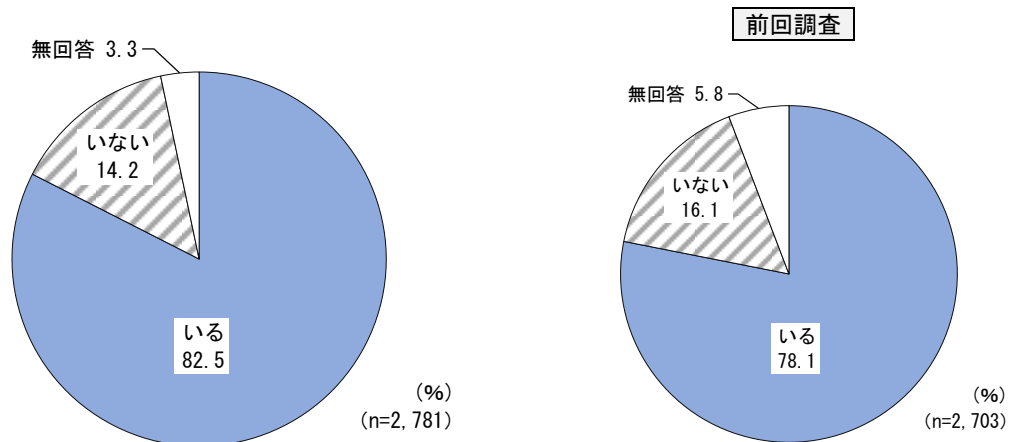
【学区別 かかりつけ医の有無】



②かかりつけ薬局の有無

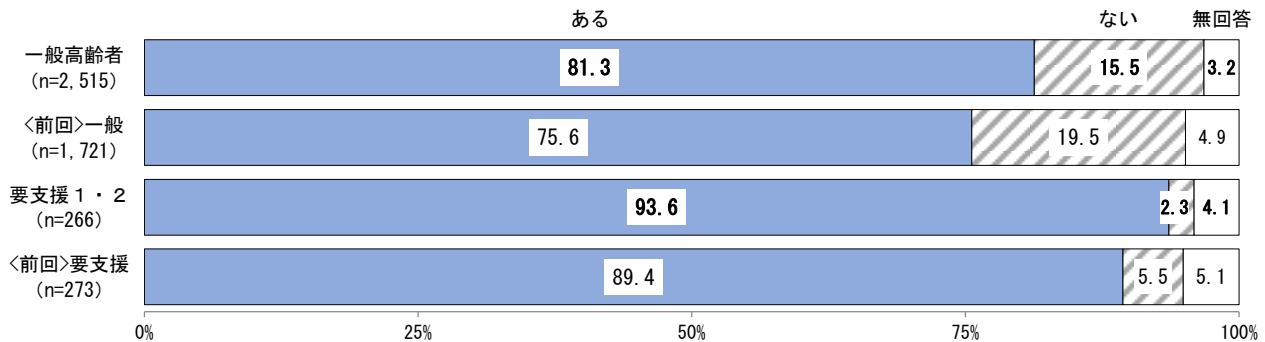
問 7(10) かかりつけ薬局はありますか

かかりつけ薬局があるという割合は8割台 (82.5%) を占めており、前回調査 (78.1%) から 4.4 ポイント増えている。



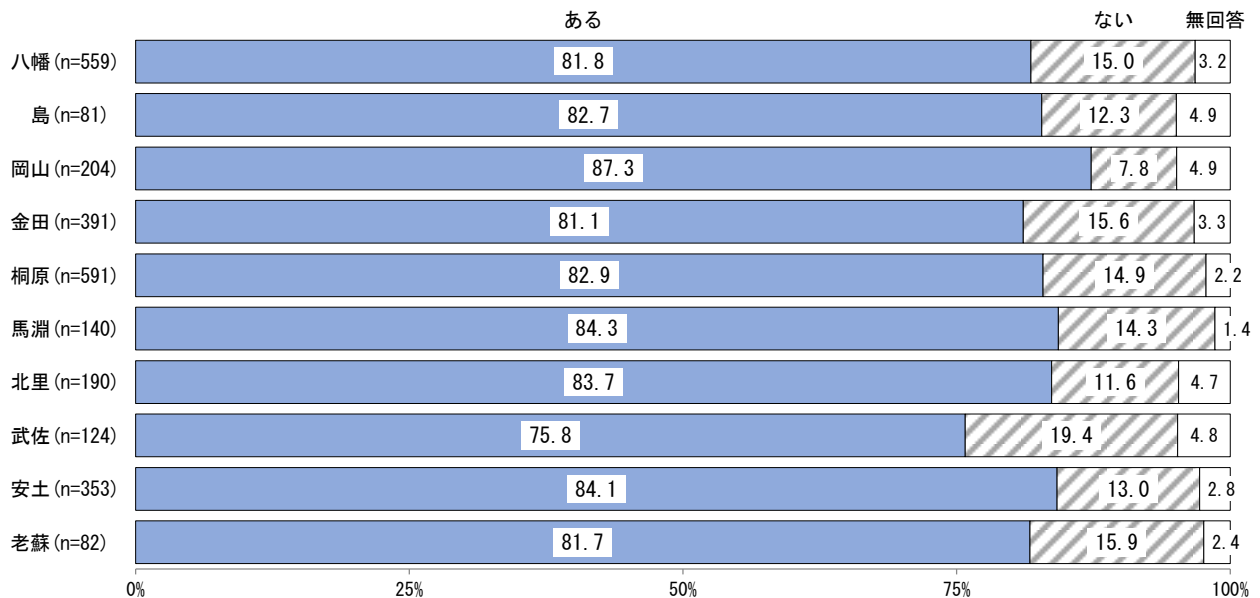
要介護認定別にみると、かかりつけ薬局があるという割合が、一般高齢者で 81.3%に対し、要支援 1・2 では 93.6%と高くなっており、前回調査（89.4%）から 4.2 ポイント増えている。

【要介護認定別 かかりつけ薬局の有無】



学区別にみると、かかりつけ薬局があるという割合が、岡山学区で 87.3%と最も高く、次いで馬淵学区で 84.3%、安土学区で 84.1%となっており、武佐学区で 75.8%と最も低い。

【学区別 かかりつけ薬局の有無】

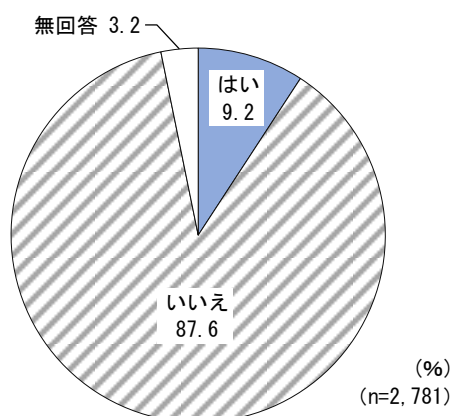


9 認知症について

(1) 認知症の症状の有無

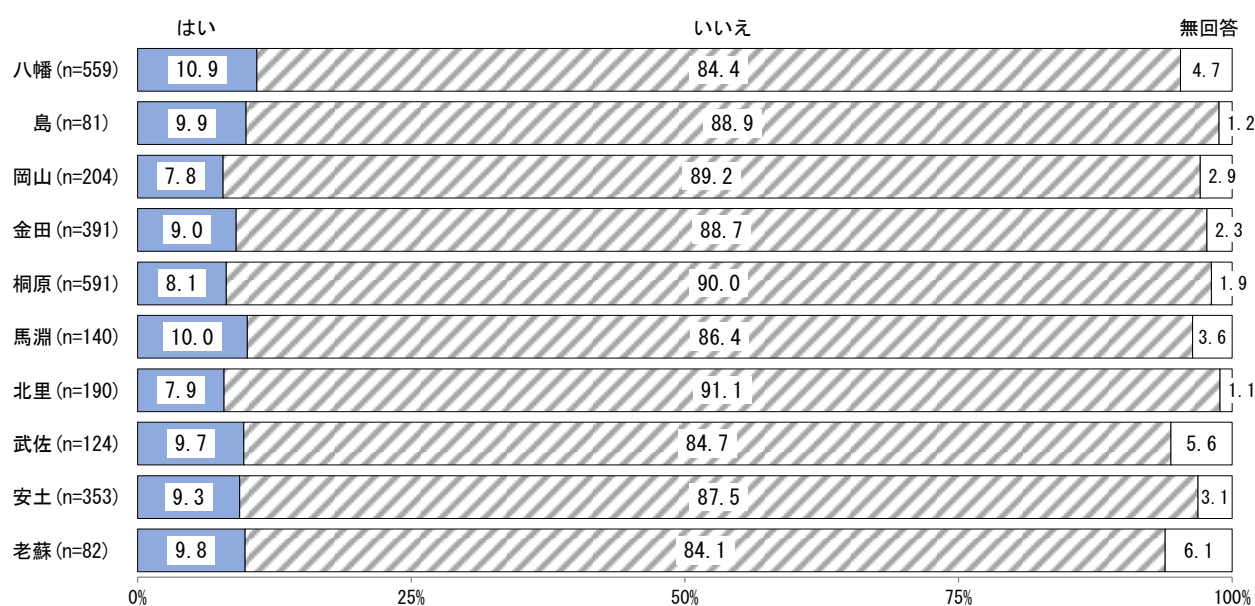
問 8(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

自身または家族に認知症の症状があるという割合（「はい」）は約 1 割（9.2%）となっている。



学区別にみると、自身または家族に認知症の症状があるという割合は、概ねいずれの学区も 1 割程度となっており、八幡学区で 10.9%、馬淵学区で 10.0%などとなっている。

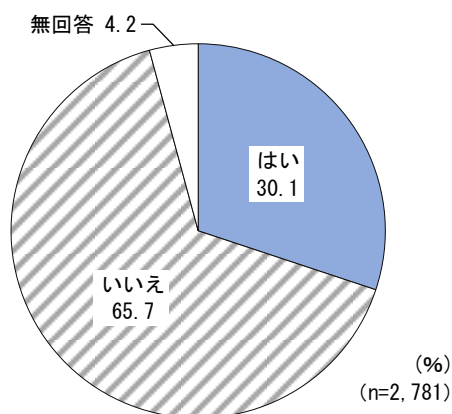
【学区別 認知症の症状の有無】



(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

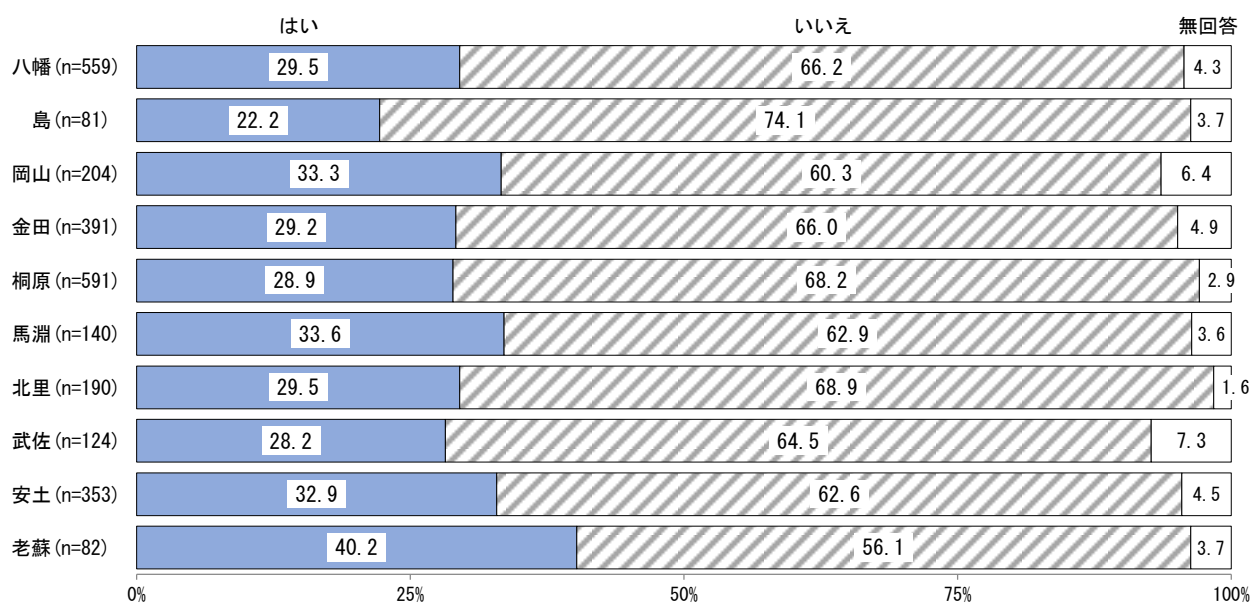
問 8(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口を知っているという割合（「はい」）は約3割（30.1%）となっている。



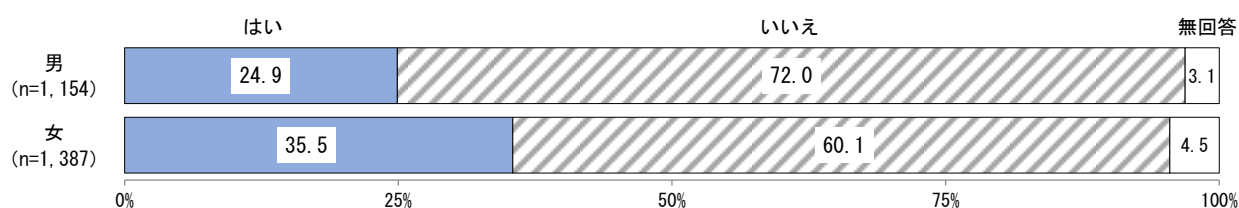
学区別にみると、相談窓口を知っているという割合が、老蘇学区で40.2%と最も高く、島学区で22.2%と最も低くなっている。

【学区別 認知症に関する相談窓口の認知度】



性別にみると、相談窓口を知っているという割合が、女性で35.5%に対し、男性では24.9%と低くなっている。

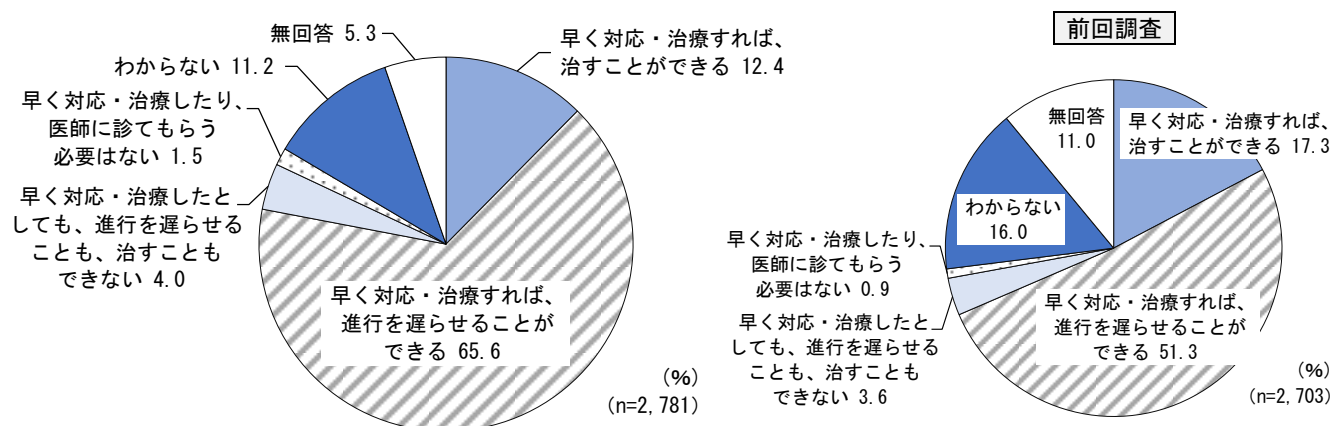
【性別 認知症に関する相談窓口の認知度】



(3) 認知症の対応・治療に関するイメージ

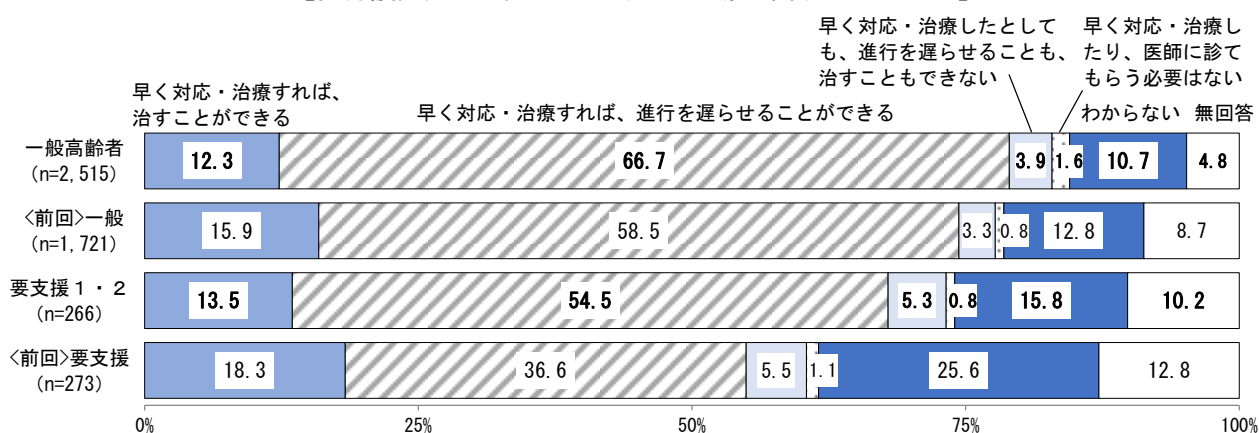
問 8(3) 認知症の対応・治療に関して、あなたのイメージに最も近いものをえらんでください

認知症の対応・治療に関するイメージとしては、「早く対応・治療すれば、進行を遅らせることができる」が6割台(65.6%)を占めており、前回調査(51.3%)から14.3ポイント増えている。一方、次いで多い「早く対応・治療すれば、治すことができる」(12.4%)は前回調査(17.3%)から4.9ポイント減っている。



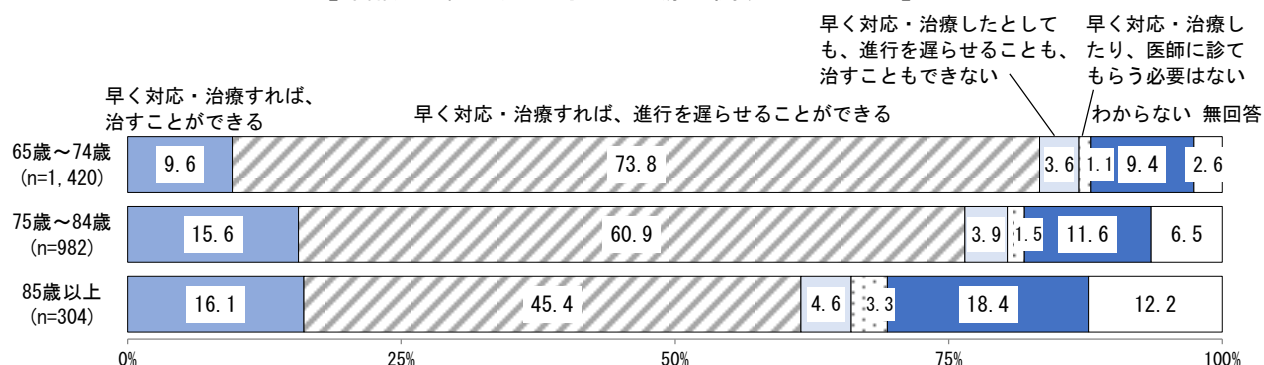
要介護認定別にみると、要支援1・2では、「早く対応・治療すれば、進行を遅らせることができる」が半数以上(54.5%)を占めており、前回調査(36.6%)から17.9ポイント増えている。

【要介護認定別 認知症の対応・治療に関するイメージ】



年齢別にみると、いずれも「早く対応・治療すれば、進行を遅らせることができる」が最も多いものの、65歳～84歳で6～7割台に対し、85歳以上では4割台と差がみられる。

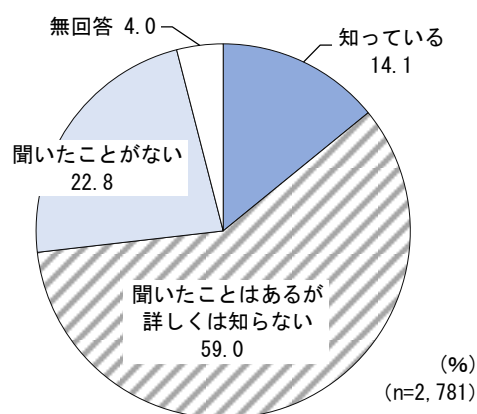
【年齢別 認知症の対応・治療に関するイメージ】



(4) 認知症の人への接し方の認知度

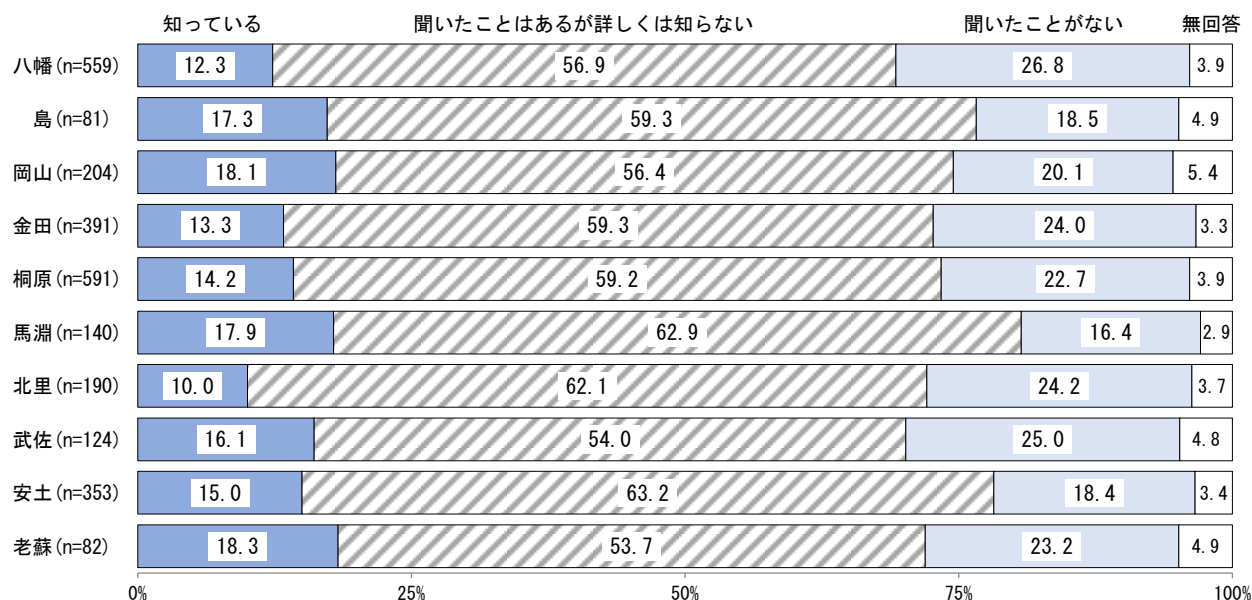
問 8(4) 認知症の人への適切な接し方を知っていますか

認知症の人への適切な接し方について、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が約 6 割 (59.0%) を占めており、「知っている」は 1 割台 (14.1%) となっている。



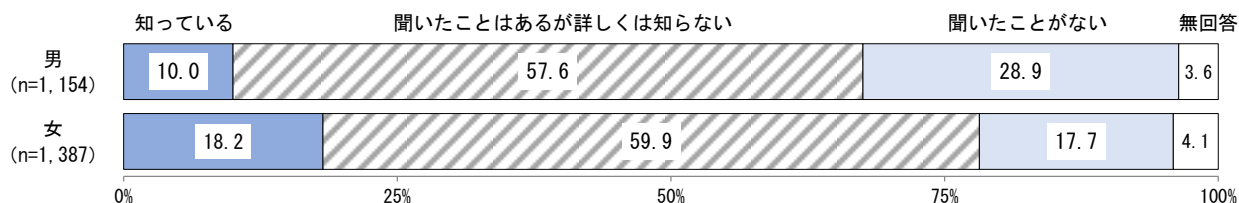
学区別にみると、適切な接し方を「知っている」が、老蘇学区で 18.3%、岡山学区で 18.1%、馬淵学区で 17.9%、島学区で 17.3%と高くなっており、北里学区で 10.0%と最も低い。

【学区別 認知症の人への接し方の認知度】



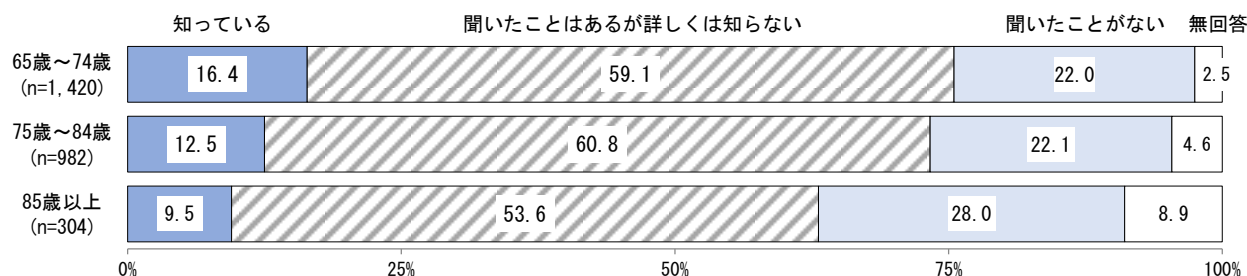
性別にみると、適切な接し方を「知っている」が、女性で 18.2%に対し、男性では 10.0%と低くなっている。

【性別 認知症の人への接し方の認知度】



年齢別にみると、適切な接し方を「知っている」が、65歳～74歳で 16.4%と最も高く、年齢が上がるにしたがって割合は低くなる傾向にあり、85歳以上では 9.5%となっている。

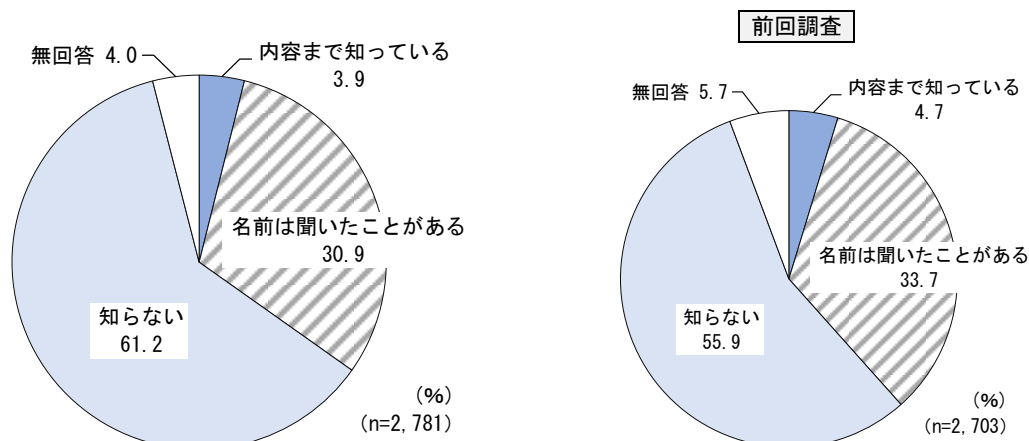
【年齢別 認知症の人への接し方の認知度】



(5) 軽度認知機能障害 (MCI) の認知度

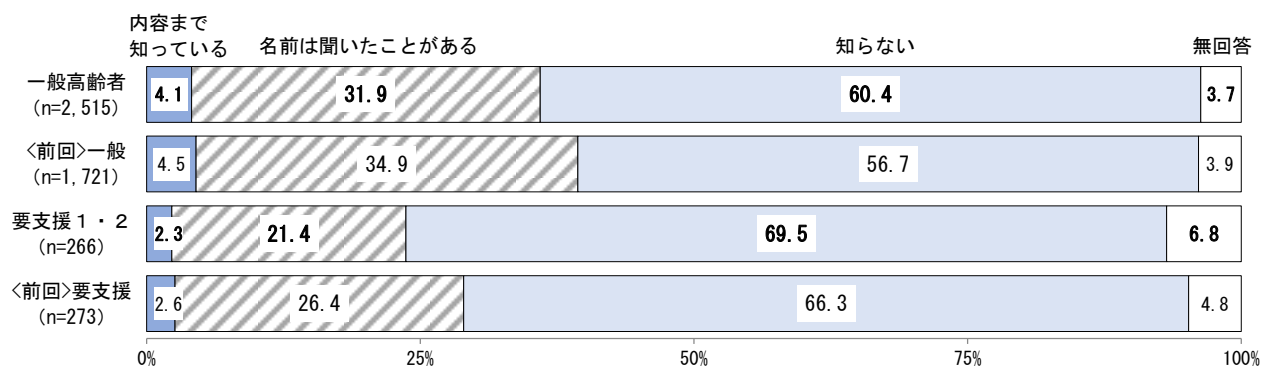
問 8(5) 健常者と認知症の中間にあたる軽度認知機能障害 (MCI) を知っていますか

軽度認知機能障害 (MCI) について、「知らない」が 6割台 (61.2%) を占めており、前回調査 (55.9%) から 5.3 ポイント増えている。一方、「内容まで知っている」は 3.9%にとどまっている。



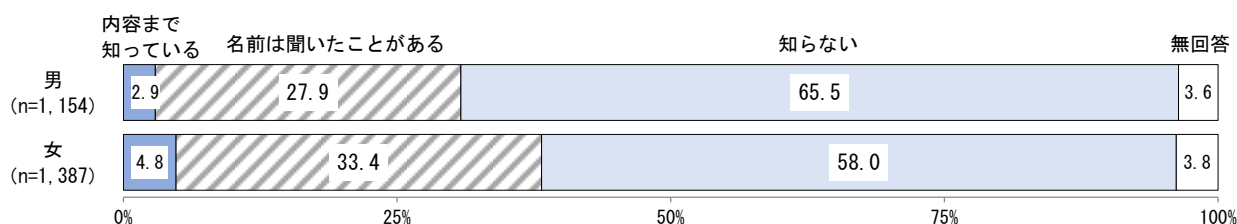
要介護認定別にみると、要支援1・2では、「知らない」が約7割（69.5%）を占めており、前回調査（66.3%）から3.2ポイント増えている。

【要介護認定別 軽度認知機能障害（MCI）の認知度】



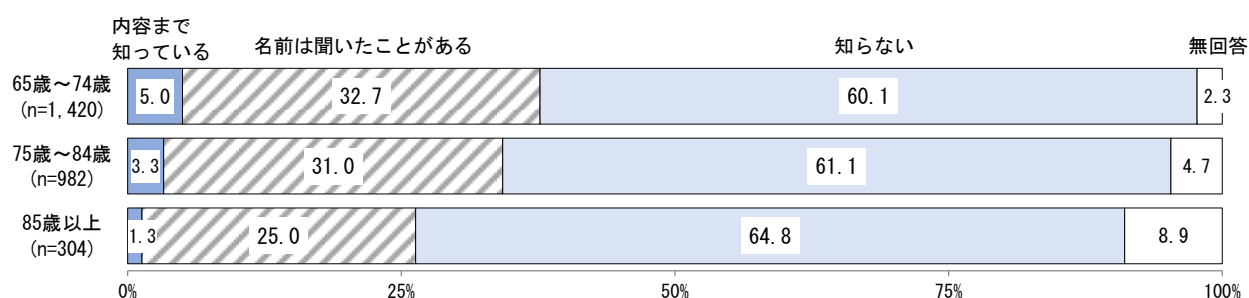
性別にみると、「知らない」が女性で58.0%に対し、男性では65.5%と高くなっている。

【性別 軽度認知機能障害（MCI）の認知度】



年齢別にみると、「内容まで知っている」及び「名前を聞いたことがある」は、ともに65歳～74歳で最も高く、年齢が上がるにしたがって割合は低くなる傾向にある。

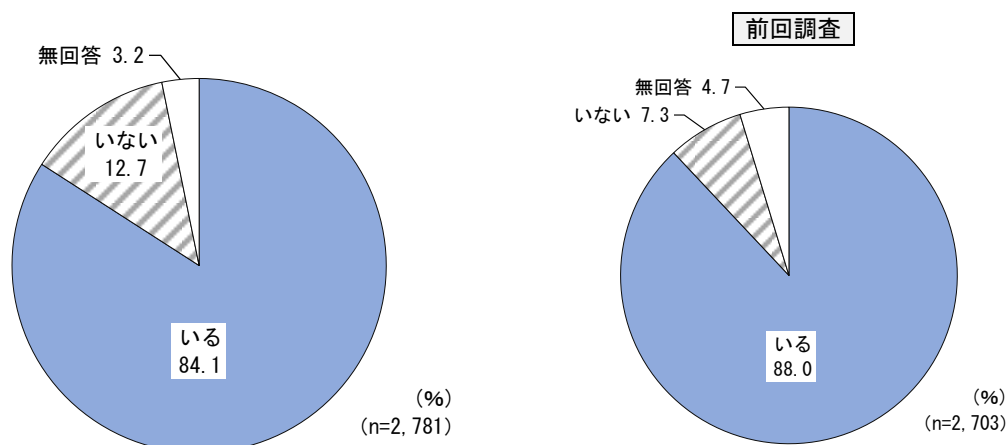
【年齢別 軽度認知機能障害（MCI）の認知度】



(6) 意思表示等が困難になった場合に手助けしてくれる人の有無

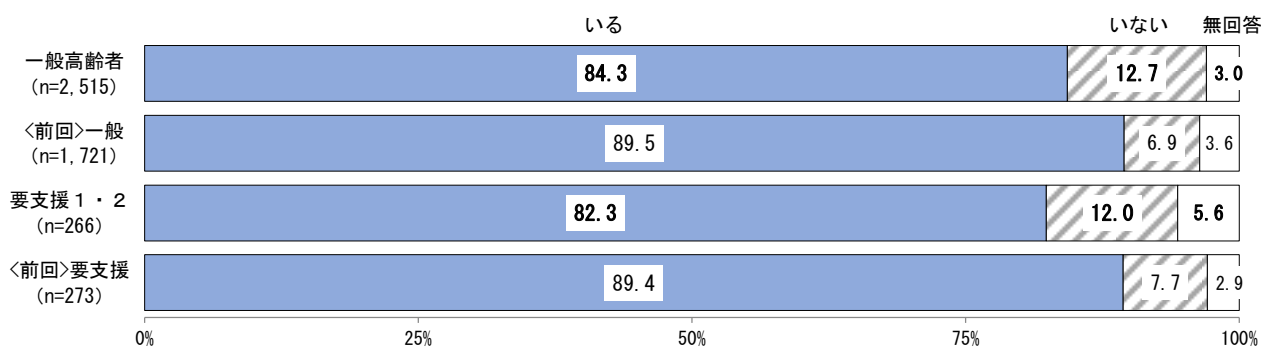
問 8(6) あなたが認知症や脳の障害により、意思表示や判断ができなくなったとき、入院の申し込みや介護保険の契約など身の上の手続きを手助けしてくれる人はいますか

自身が意思表示や判断ができなくなったとき、身の上の手続きを手助けしてくれる人が「いる」が8割台（84.1%）を占めているものの、前回調査（88.0%）から3.9ポイント減っている。



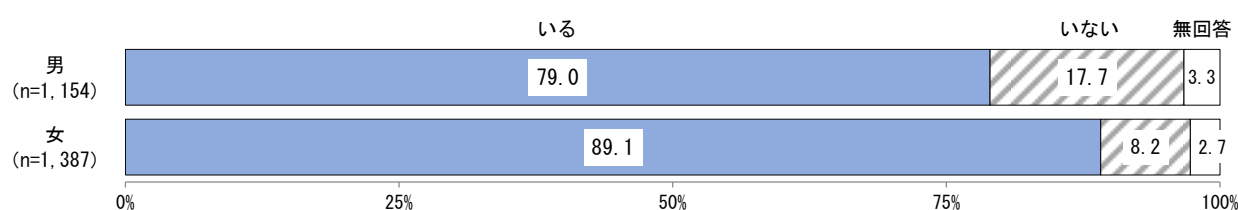
要介護認定別にみると、手助けしてくれる人が「いる」が、要支援1・2では8割台（82.3%）を占めているものの、前回調査（89.4%）から7.1ポイント減っている。

【要介護認定別 意思表示等が困難になった場合に手助けしてくれる人の有無】



性別にみると、手助けしてくれる人が「いる」が、女性で約9割（89.1%）を占めるのに対し、男性では約8割（79.0%）と低くなっている。

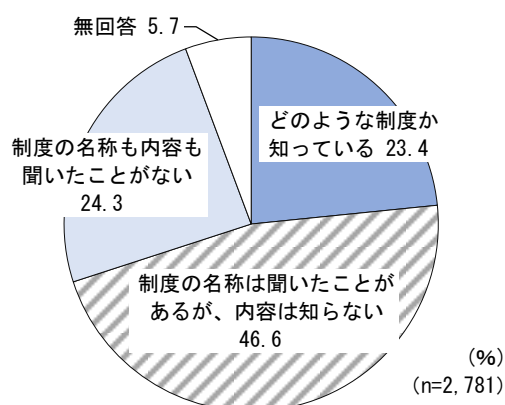
【性別 意思表示等が困難になった場合に手助けしてくれる人の有無】



(7) 成年後見制度の認知度

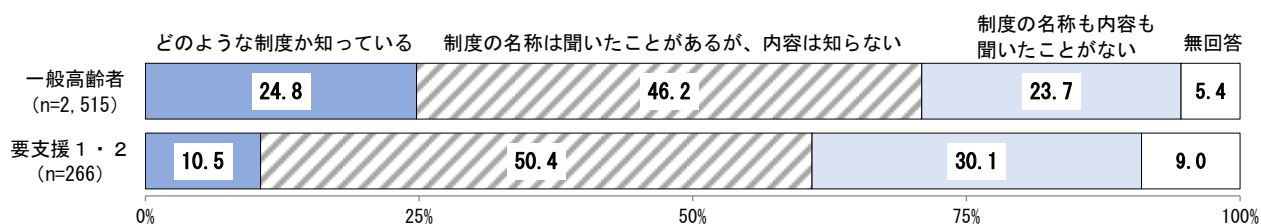
問 8(7) 成年後見制度について知っていますか

成年後見制度について、「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が4割台(46.6%)と最も多く、「どのような制度か知っている」は2割台(23.4%)となっている。



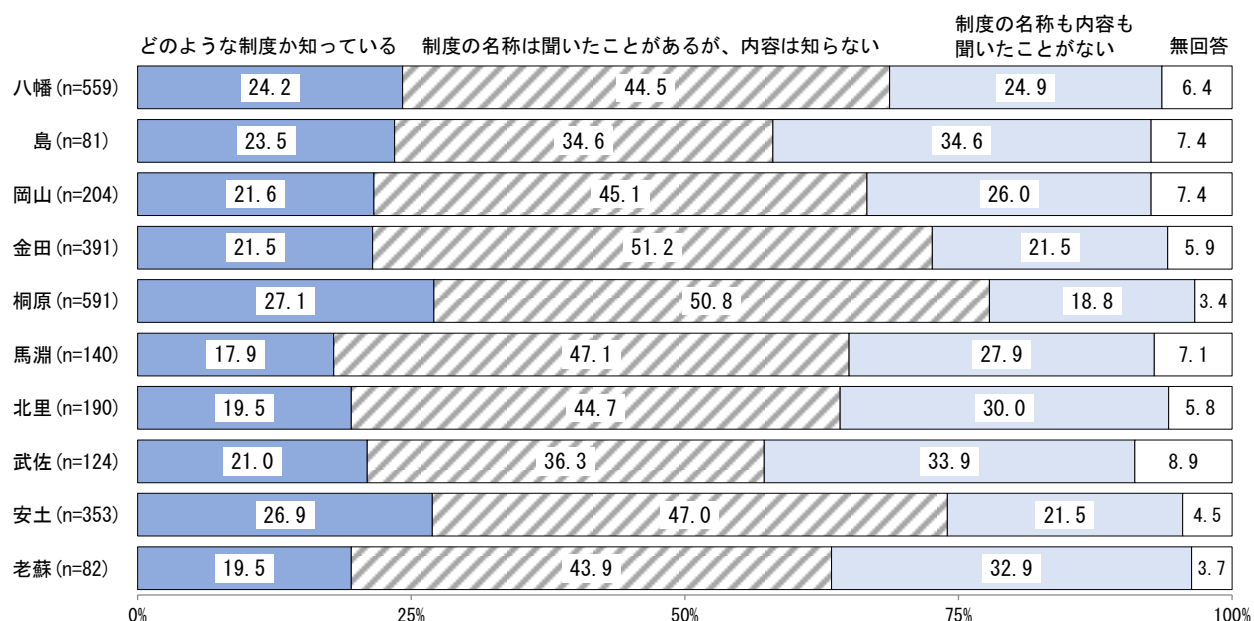
要介護認定別にみると、「どのような制度か知っている」が、一般高齢者で24.8%に対し、要支援1・2では10.5%と低くなっている。

【要介護認定別 成年後見制度の認知度】



学区別にみると、「どのような制度か知っている」が、桐原学区で27.1%、安土学区で26.9%と高くなっており、馬淵学区で17.9%と最も低い。

【学区別 成年後見制度の認知度】



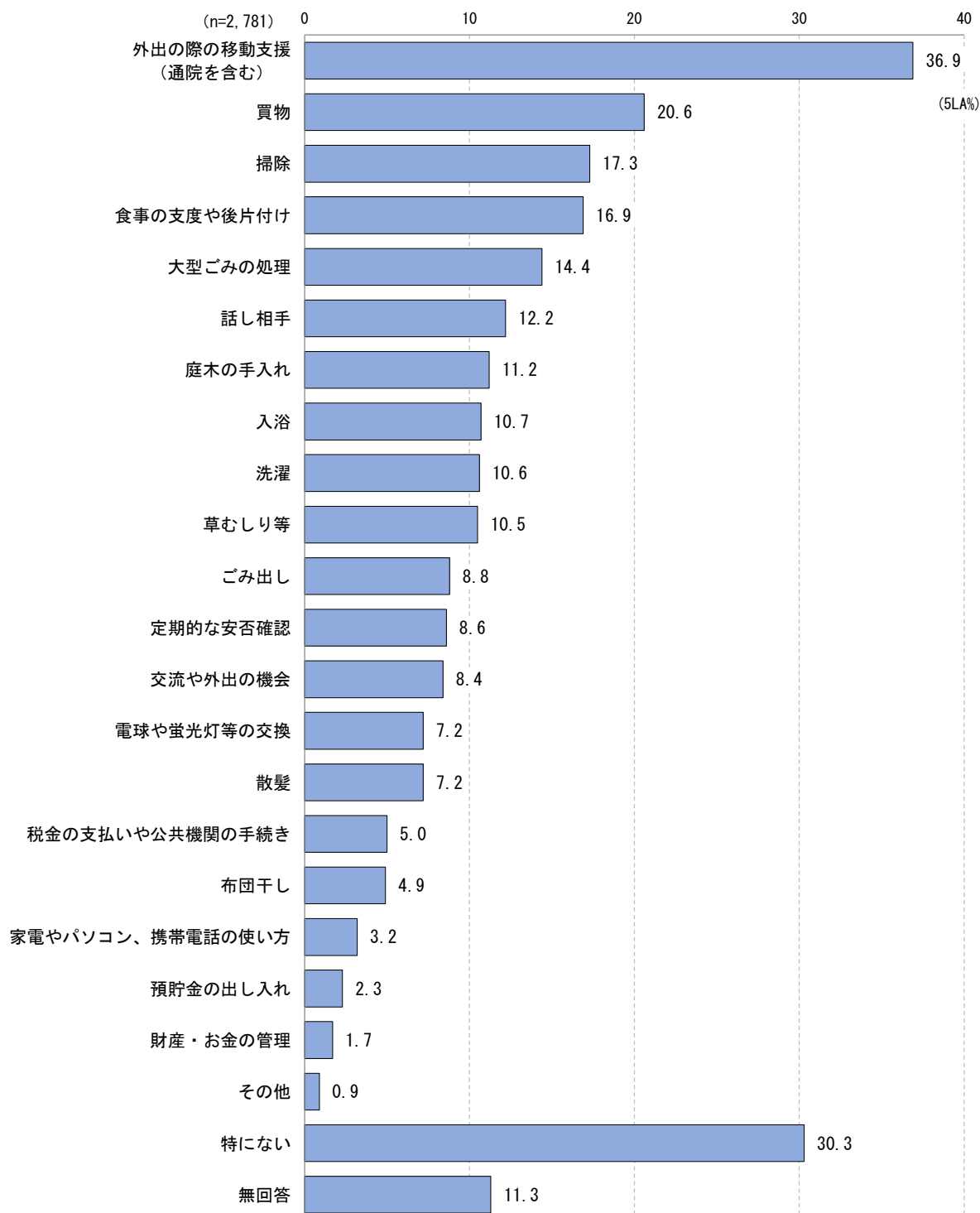
10 その他

(1) 在宅生活を続ける上で必要なサービス

①利用したいサービス

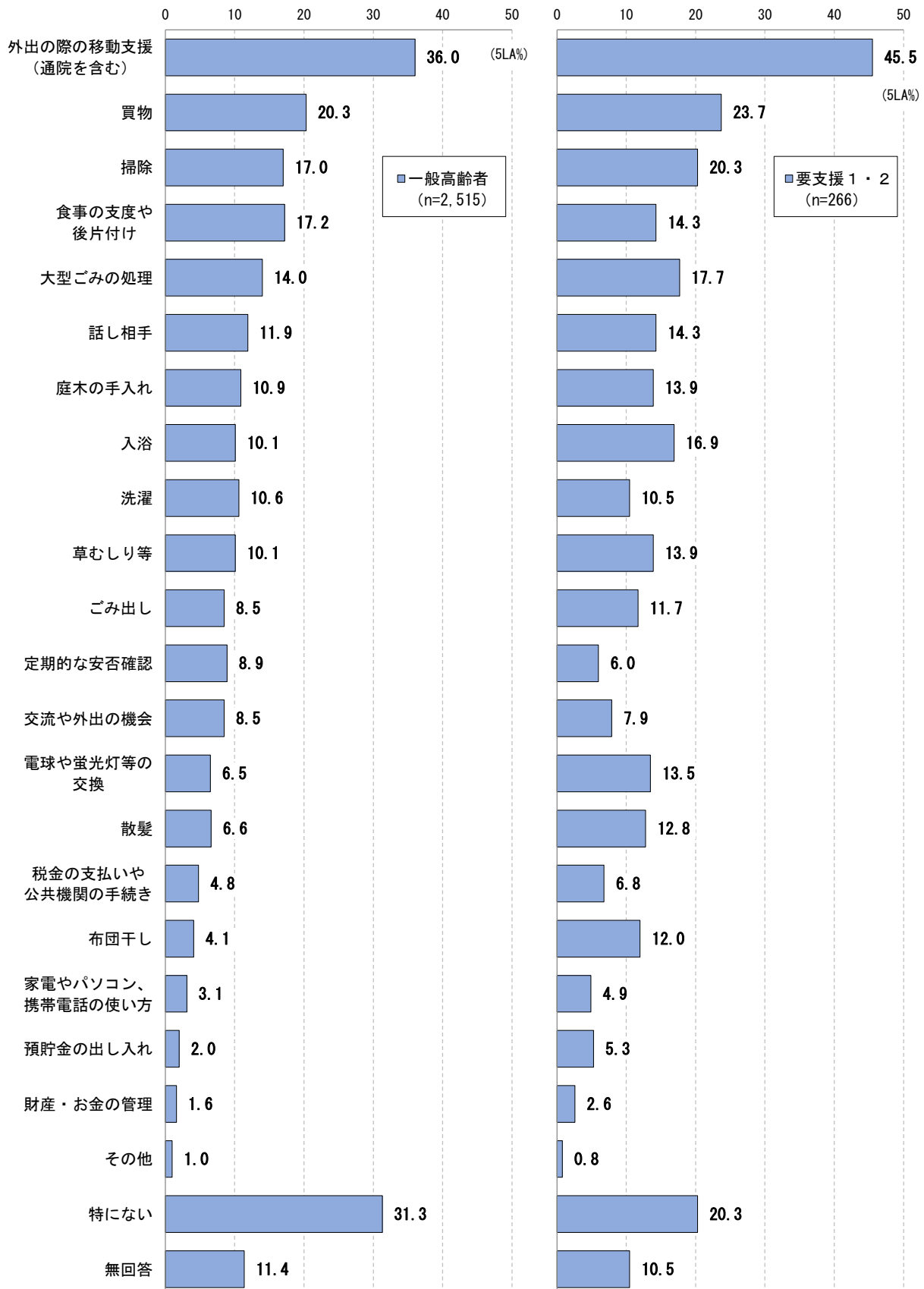
問9(1) 在宅生活を続ける上で、利用したいと考えるサービスはどれですか（あてはまるもの5つまでに○）

在宅生活を続ける上で、利用したいと考えるサービスとしては、「外出の際の移動支援（通院を含む）」が36.9%と最も多く、次いで「買物」が20.6%、「掃除」が17.3%、「食事の支度や後片付け」が16.9%、「大型ごみの処理」が14.4%となっている。一方、「特にない」は約3割（30.3%）みられる。



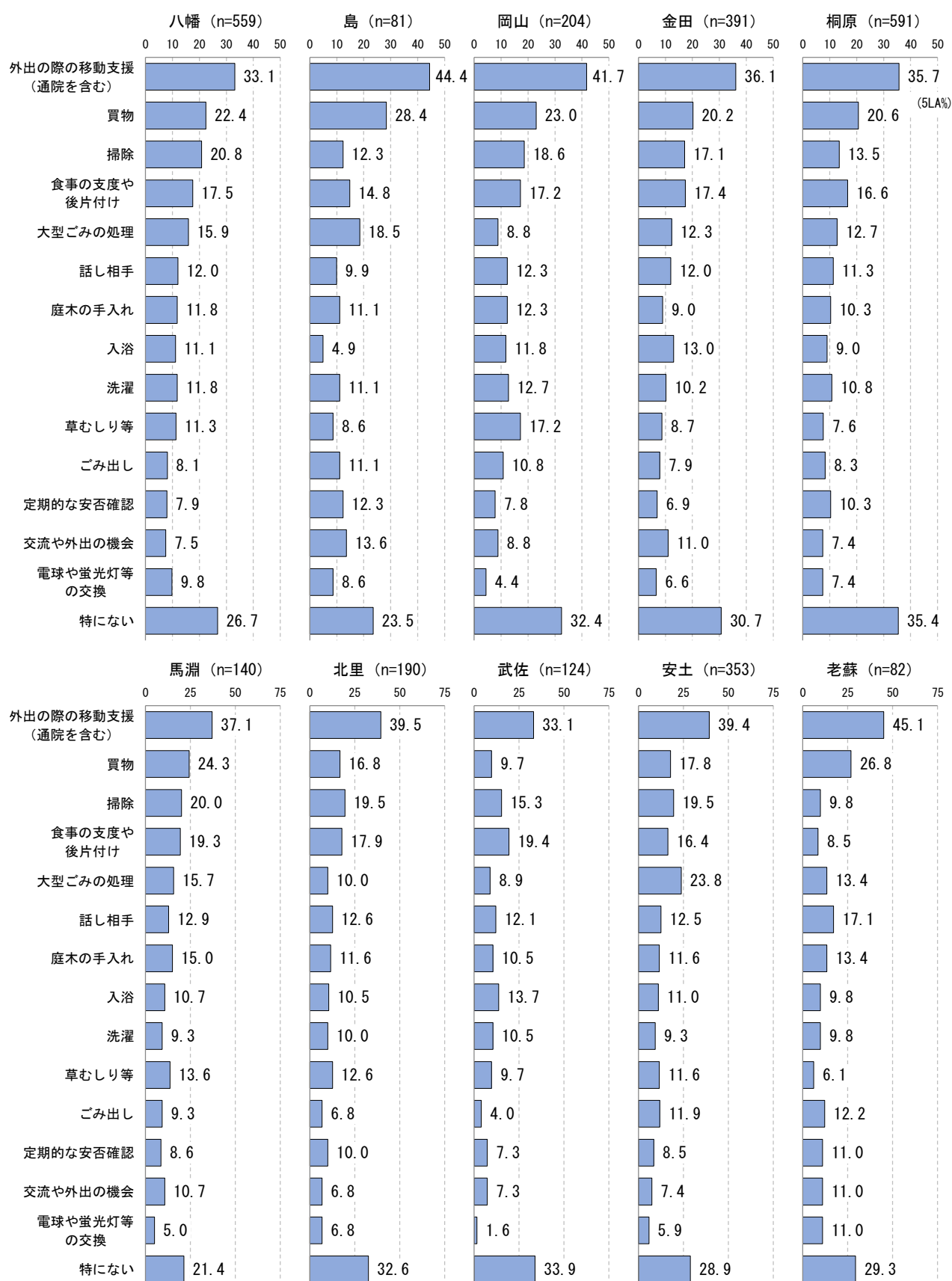
要介護認定別にみると、要支援1・2では、「外出の際の移動支援（通院を含む）」が45.5%と最も多く、次いで「買物」が23.7%、「掃除」が20.3%、「大型ごみの処理」が17.7%、「入浴」が16.9%となっている。

【要介護認定別 利用したいサービス】



学区別にみると、いずれの学区も「外出の際の移動支援（通院を含む）」が最も多く、特に、老蘇学区で45.1%、島学区で44.4%と高くなっている。

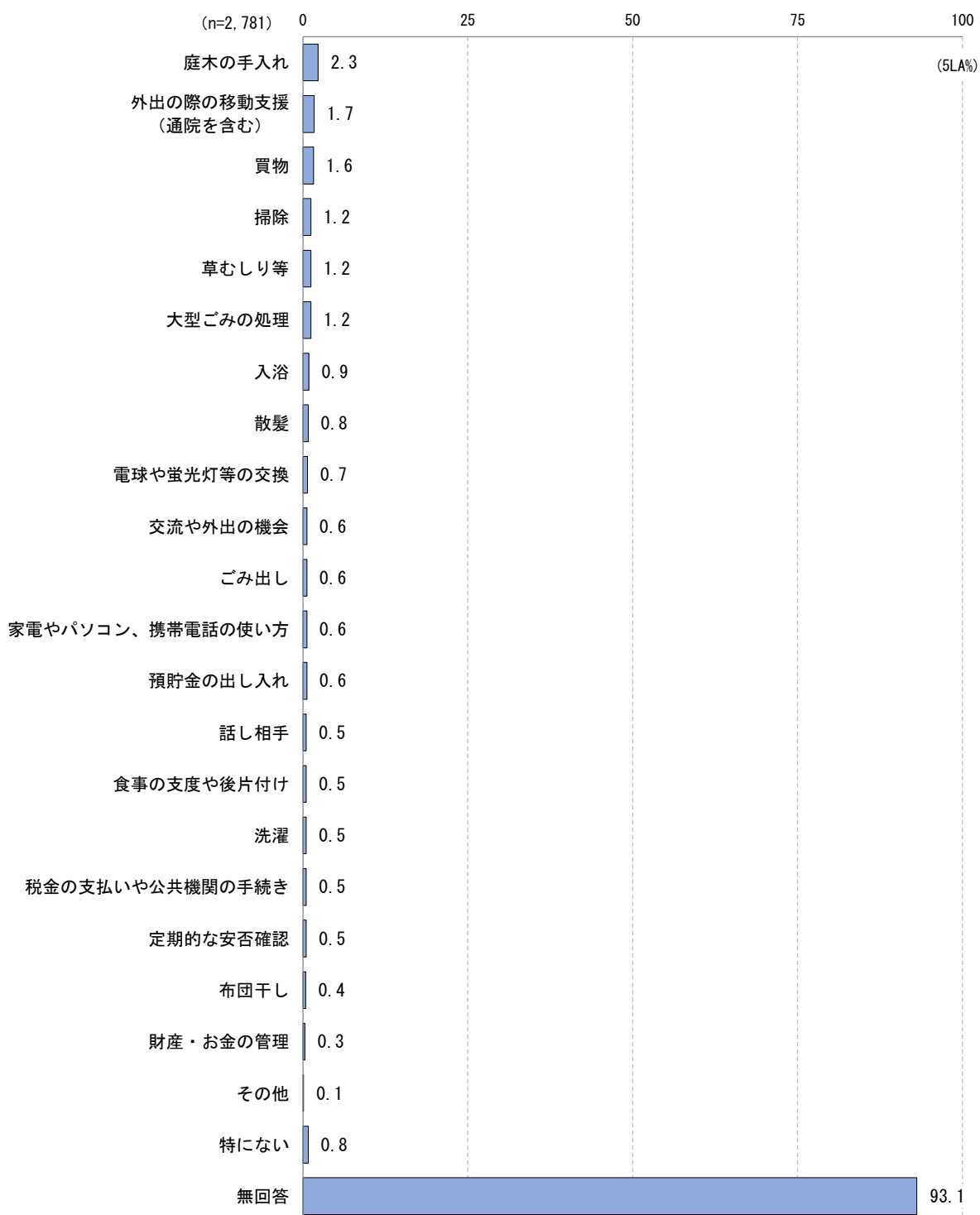
【学区別 利用したいサービス】



②利用したことがあるサービス

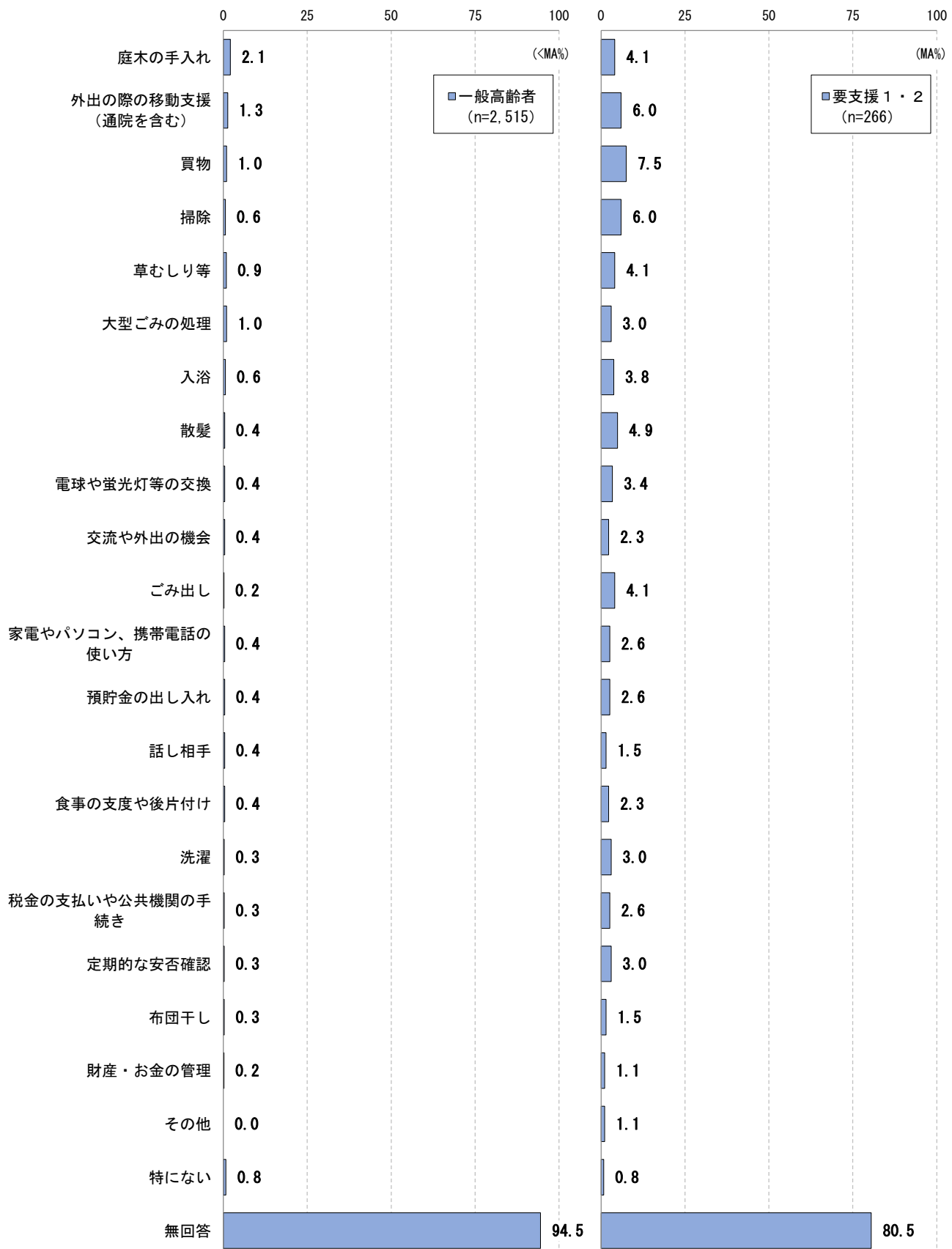
問9(2) (1)の各項目において、現在利用しているサービス、またはこれまで利用したことがあるものはどれですか（いくつでも）

いずれかのサービスを利用したことがあるという割合（「特になし」または無回答以外の人の割合）は、全体の6.0%となっている。



要介護認定別にみると、要支援1・2では、いずれかのサービスを利用したことがあるという割合は2割近く（18.8%）みられ、「買物」が7.5%、「外出の際の移動支援（通院を含む）」、「掃除」がともに6.0%などとなっている。

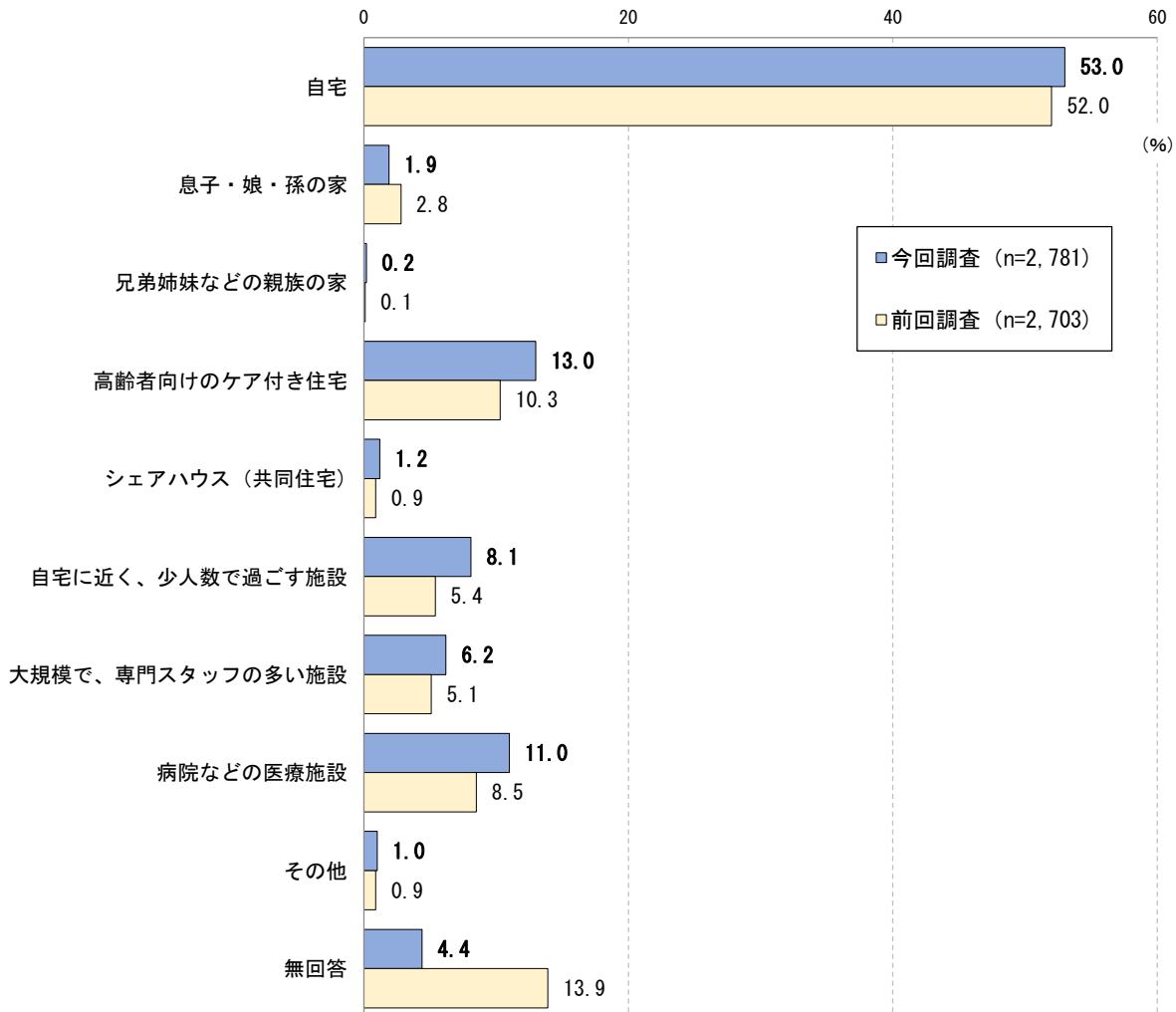
【要介護認定別 利用したことがあるサービス】



(2) 介護が必要になった場合に暮らす場所の希望

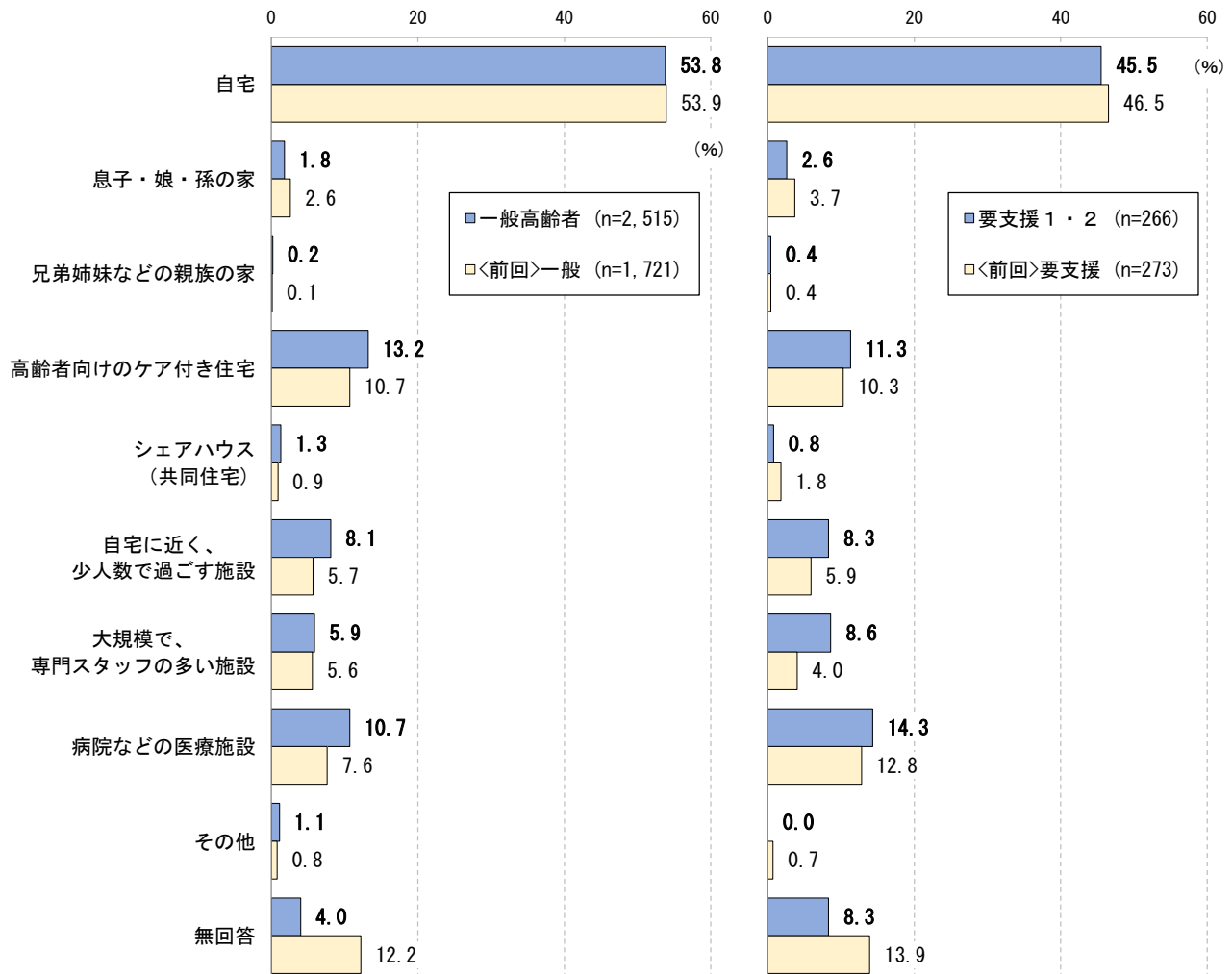
問9(3) 将来、仮に介護が必要になった時、どこで暮らしたいと思いますか

介護が必要になった場合にどこで暮らしたいと思うかたずねたところ、「自宅」が5割台(53.0%)と最も多く、次いで「高齢者向けのケア付き住宅」が13.0%、「病院などの医療施設」が11.0%となっており、前回調査と同じ傾向となっている。



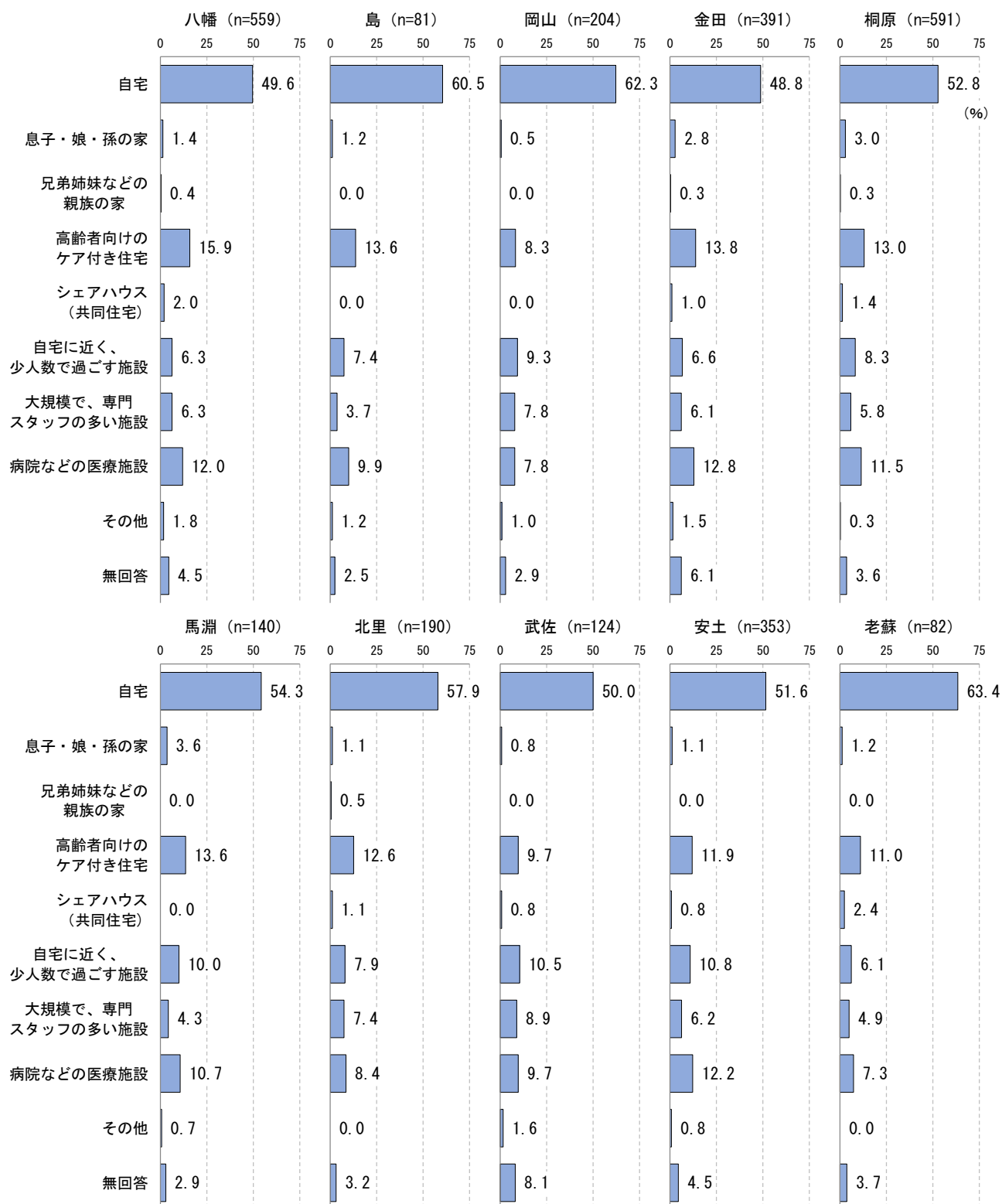
要介護認定別にみると、「自宅」は一般高齢者で 53.8%、要支援 1・2 で 45.5%となっており、ともに前回調査と同程度となっている。また、これに続くのが、一般高齢者では「高齢者向けのケア付き住宅」で 13.2%に対し、要支援では「病院などの医療施設」で 14.3%となっている。

【要介護認定別 介護が必要になった場合に暮らす場所の希望】



学区別にみると、「自宅」は老蘇学区で 63.4%、岡山学区で 62.3%、島学区で 60.5%と高くなっている。また、「高齢者向けのケア付き住宅」が八幡学区で 15.9%、「病院などの医療施設」が金田学区で 12.8%と、それぞれ最も高い。

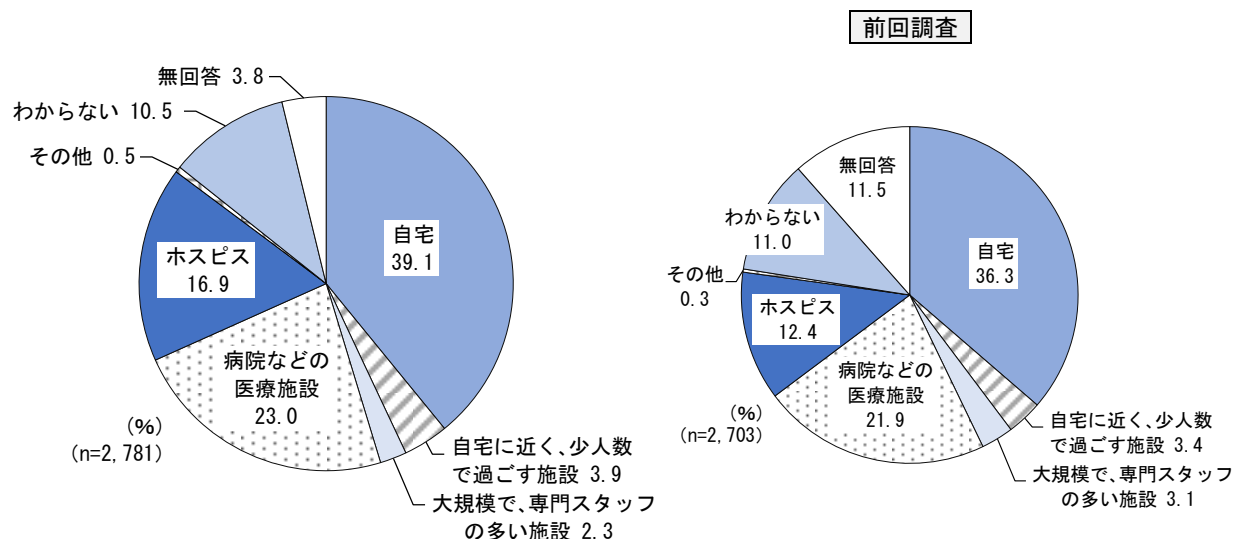
【学区別 介護が必要になった場合に暮らす場所の希望】



(3) 終末期における療養場所の希望

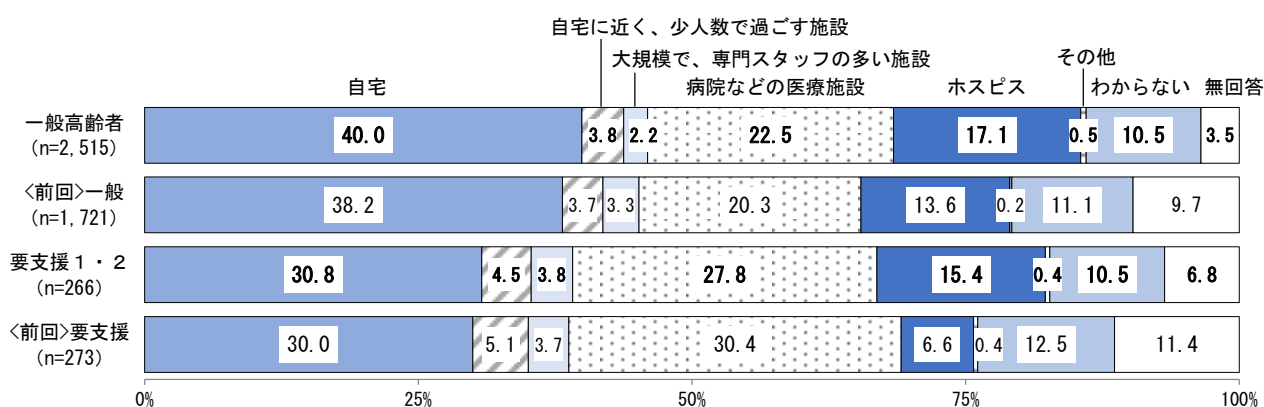
問 9(4) 将来、治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、どこで療養生活を望みますか

将来、治る見込みがないと告げられた場合、どこで療養生活を望むかたずねたところ、「自宅」が39.1%と最も多く、次いで「病院などの医療施設」が23.0%、「ホスピス」が16.9%となっており、前回調査と同じ傾向となっている。



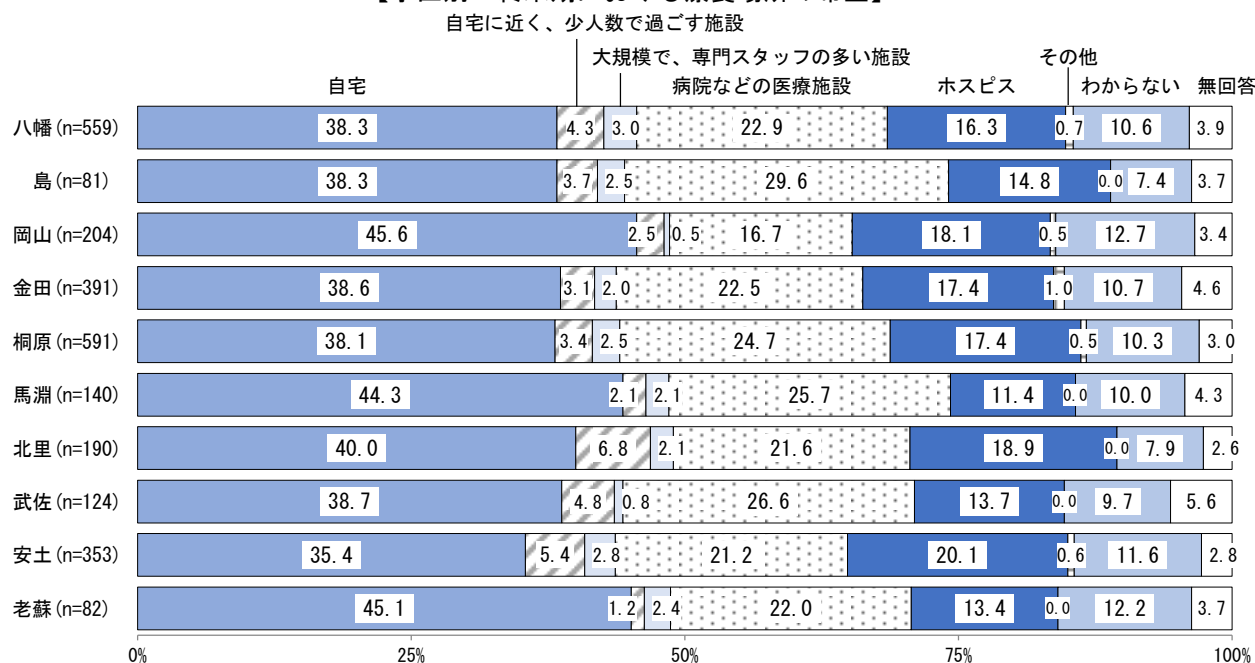
要介護認定別にみると、要支援1・2では、「自宅」は約3割（30.8%）と最も多く、次いで「病院などの医療施設」が27.8%となっている。また、「ホスピス」が15.4%と続いており、前回調査（6.6%）から8.8ポイント増えている。

【要介護認定別 終末期における療養場所の希望】



学区別にみると、「自宅」はいずれの学区も3～4割台となっており、岡山学区で45.6%、老蘇学区で45.1%、馬淵学区で44.3%と高い。一方、自宅以外を希望する人（「自宅」「わからない」及び無回答の人以外の割合）は、島学区で50.6%、安土学区で50.1%、北里学区で49.5%と高くなっており、「病院などの医療施設」が島学区で29.6%、「ホスピス」が安土学区で20.1%と、それぞれ学区間で最も高い。

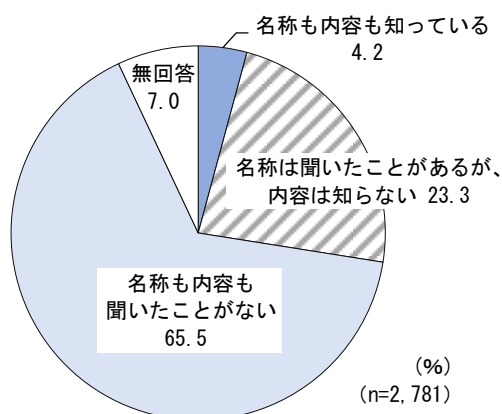
【学区別 終末期における療養場所の希望】



(4) ACP（人生会議）の認知度

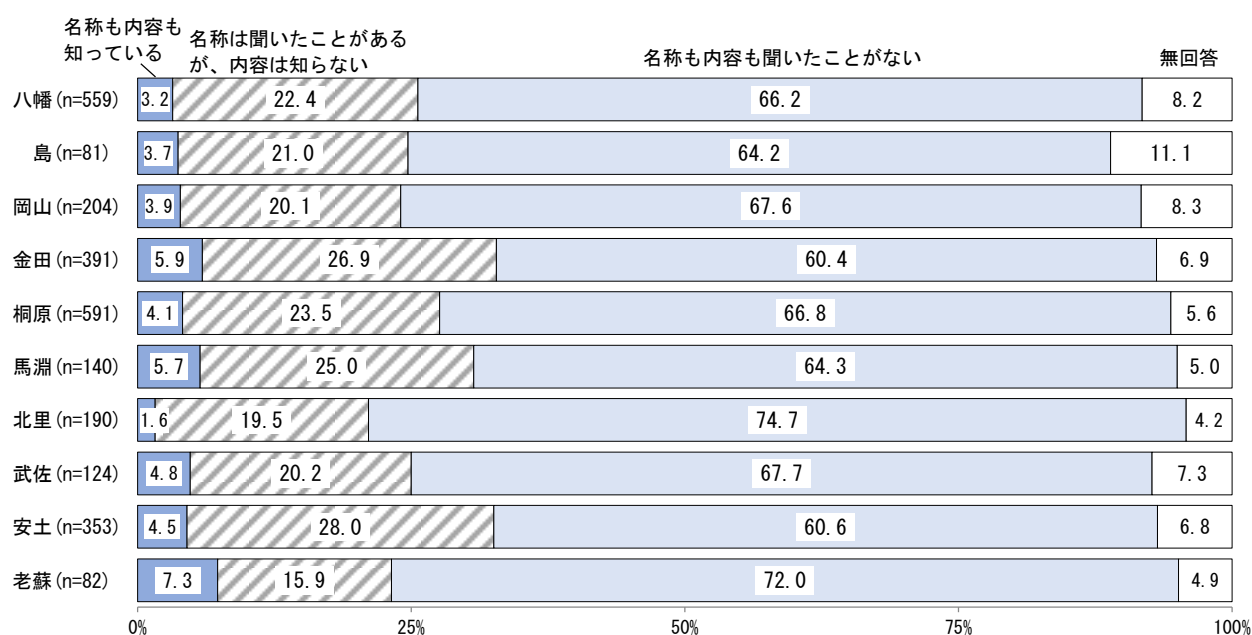
問9(5) ACP（アドバンス・ケア・プランニング＝「人生会議」）について知っていますか

ACP（人生会議）について、「名称も内容も聞いたことがない」が6割台（65.5%）を占めており、「名称も内容も知っている」は4.2%にとどまっている。



学区別にみると、「名称も内容も知っている」はいずれの学区も1割未満となっており、老蘇学区で7.3%、金田学区で5.9%、馬淵学区で5.7%などとなっている。一方、北里学区では1.6%と最も低く、「名前も内容も聞いたことがない」が74.7%と最も高い。

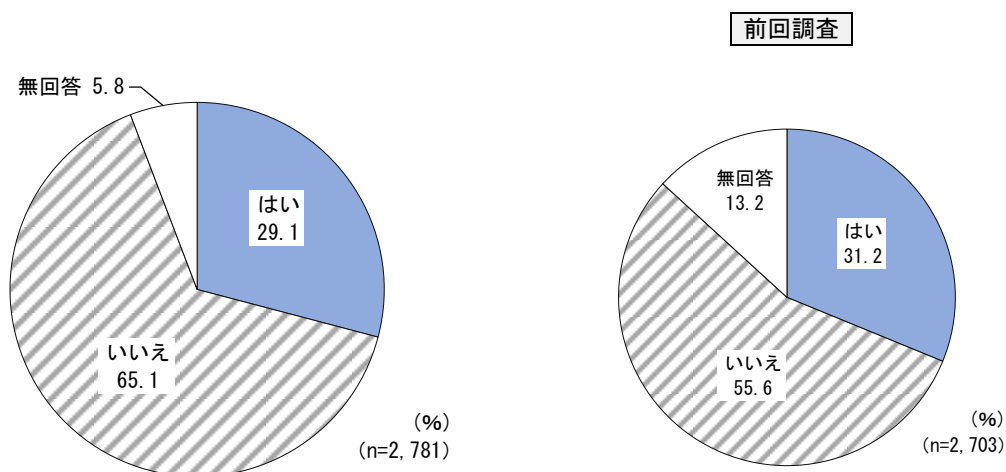
【学区別 ACP（人生会議）の認知度】



(5) 終末期の希望についての話し合いの有無

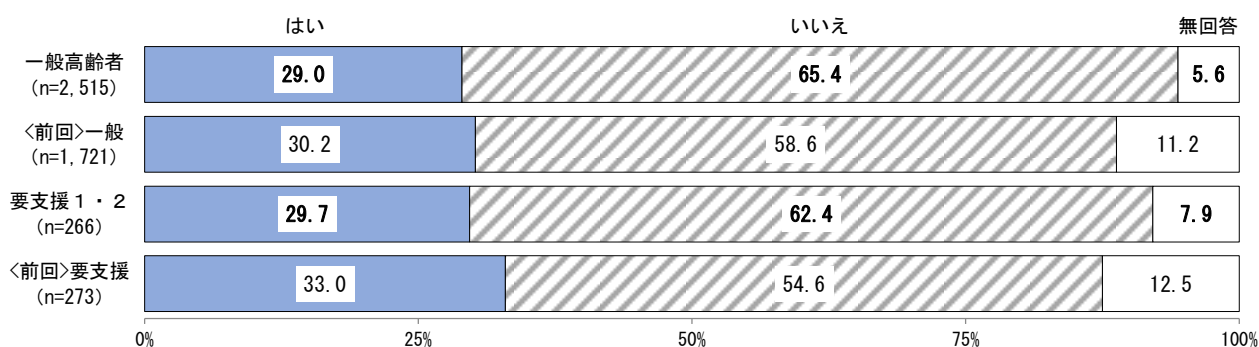
問 9(6) 自分の終末期の希望(治療や療養の場所等)について、家族に話したり伝えたりしたことがありますか

終末期の希望について、家族に話したりしたことがあるという割合(「はい」)は、約3割(29.1%)となっており、前回調査(31.2%)から2.1ポイント減っている。



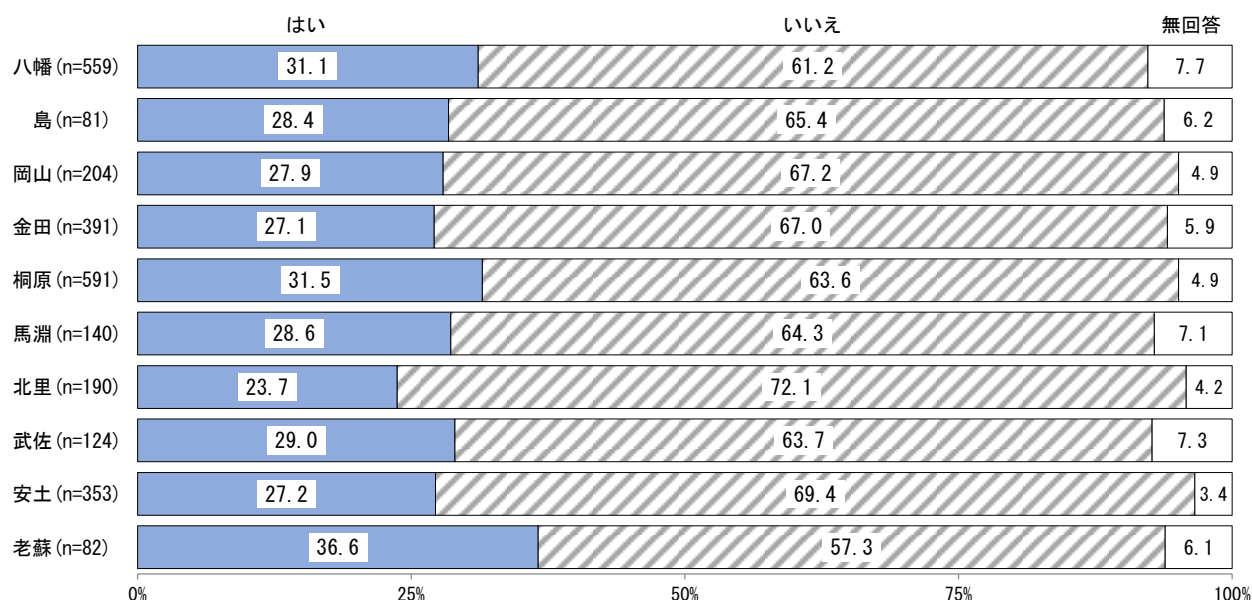
要介護認定別にみると、要支援1・2では、家族に話したりしたことがあるという割合が29.7%となっており、前回調査(33.0%)から3.3ポイント減っている。

【要介護認定別 終末期の希望についての話し合いの有無】



学区別にみると、家族に話したりしたことがあるという割合が、老蘇学区で 36.6%と最も高く、次いで桐原学区で 31.5%、八幡学区で 31.1%となっており、北里学区で 23.7%と最も低い。

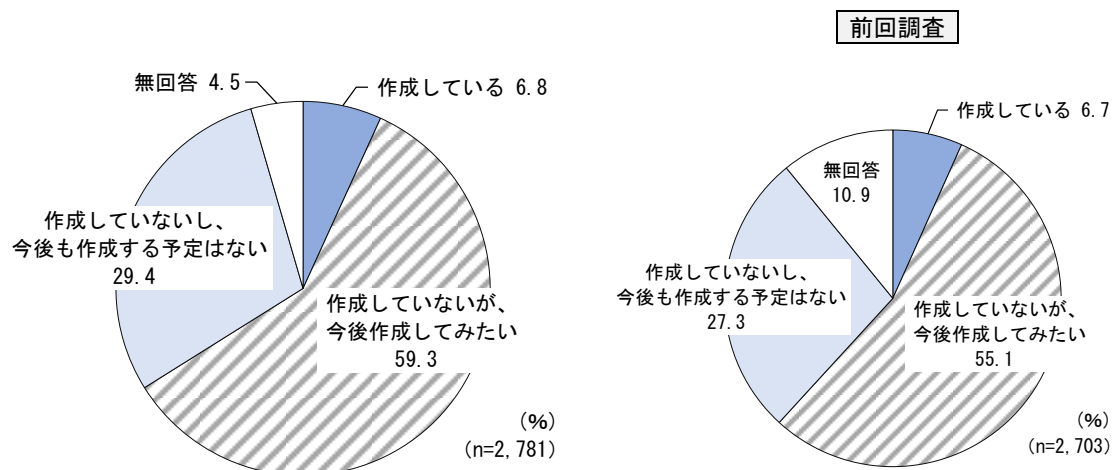
【学区別 終末期の希望についての話し合いの有無】



(6) エンディングノート等の作成状況

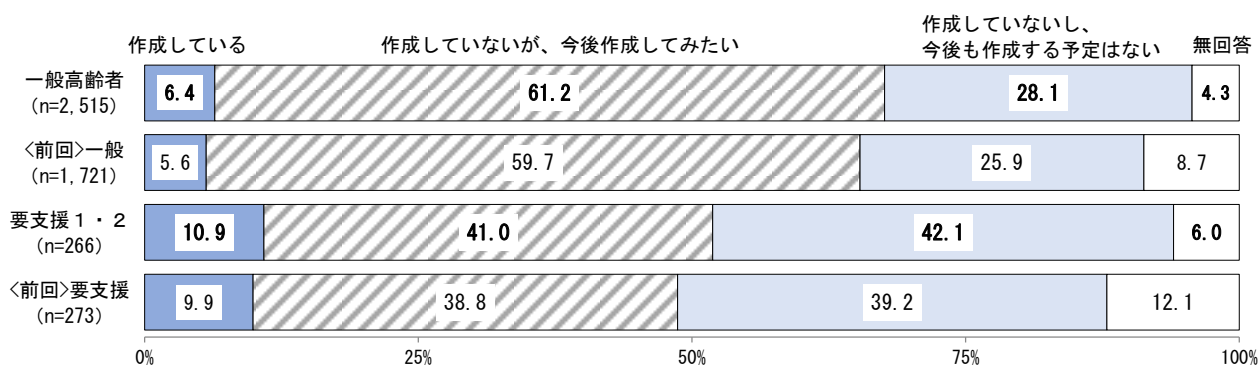
問 9(7) 自分にもしものことがあった時のために、伝えておきたいことをまとめておくノート（エンディングノートなど）を作成していますか

エンディングノート等について、「作成していないが、今後作成してみたい」が約 6 割（59.3%）を占めており、前回調査（55.1%）から 4.2 ポイント増えている。また、「作成している」（6.8%）を合わせると、作成意向があるという割合は 6 割台（66.1%）みられる。



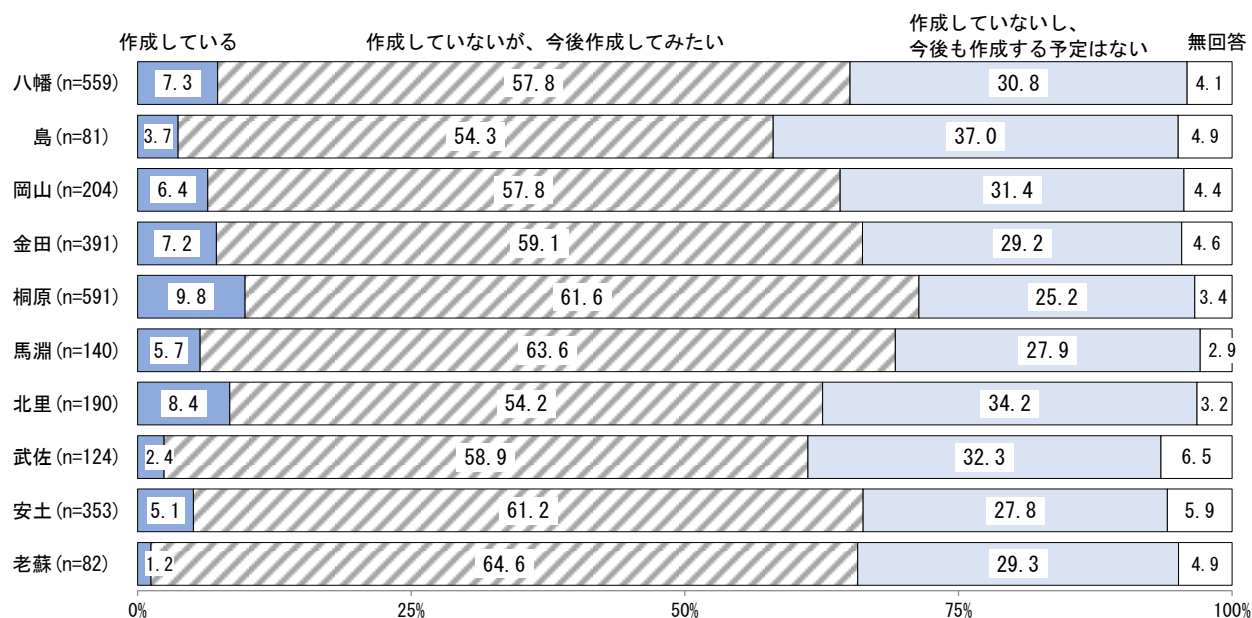
要介護認定別にみると、要支援１・２では、作成意向があるという割合は半数程度（51.9％）となっており、一般高齢者（67.6％）と比べると差がみられるものの、前回調査（48.7％）からは3.2ポイント増えている。

【要介護認定別 エンディングノート等の作成状況】



学区別にみると、作成意向があるという割合が、桐原学区で71.4％と最も高く、次いで馬淵学区で69.3％、安土学区で66.3％、金田学区で66.2％、老蘇学区で65.9％となっている。また、「作成している」についても桐原学区で9.8％と最も高い。

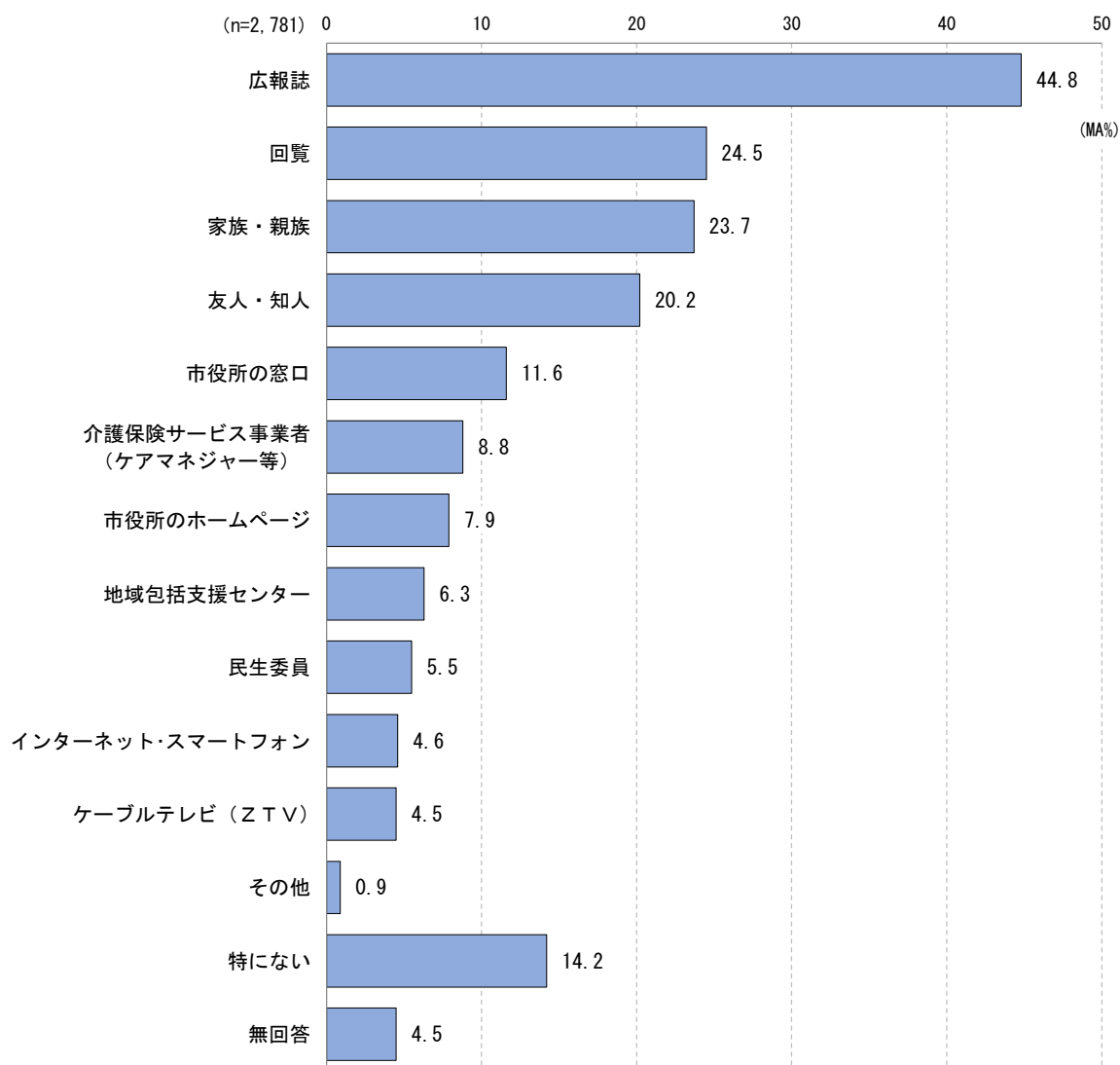
【学区別 エンディングノート等の作成状況】



(7) 市の福祉等に関する情報の入手先

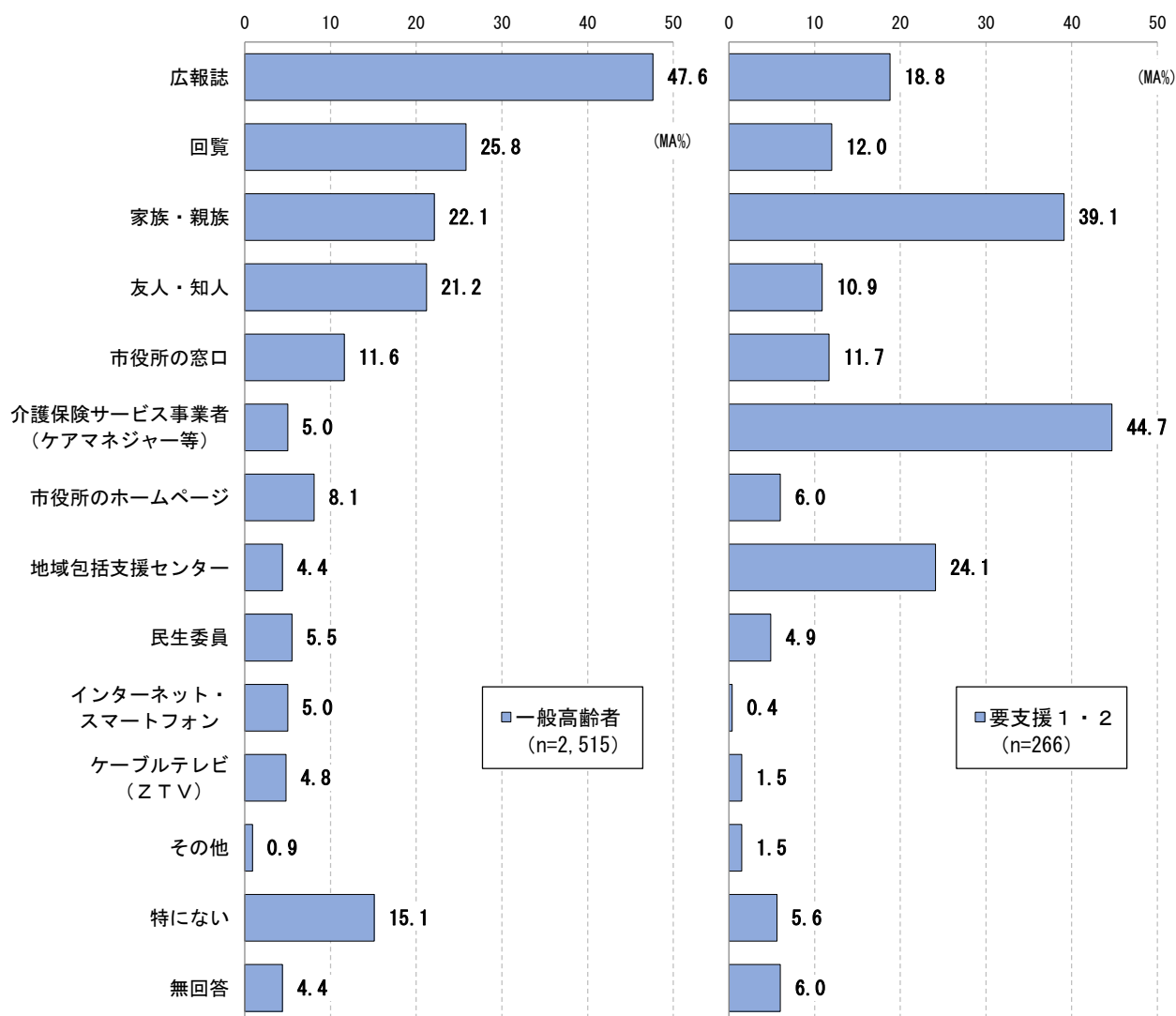
問 9(8) 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか（いくつでも）

市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報の入手先としては、「広報誌」が44.8%と最も多く、次いで「回覧」が24.5%、「家族・親族」が23.7%、「友人・知人」が20.2%となっている。



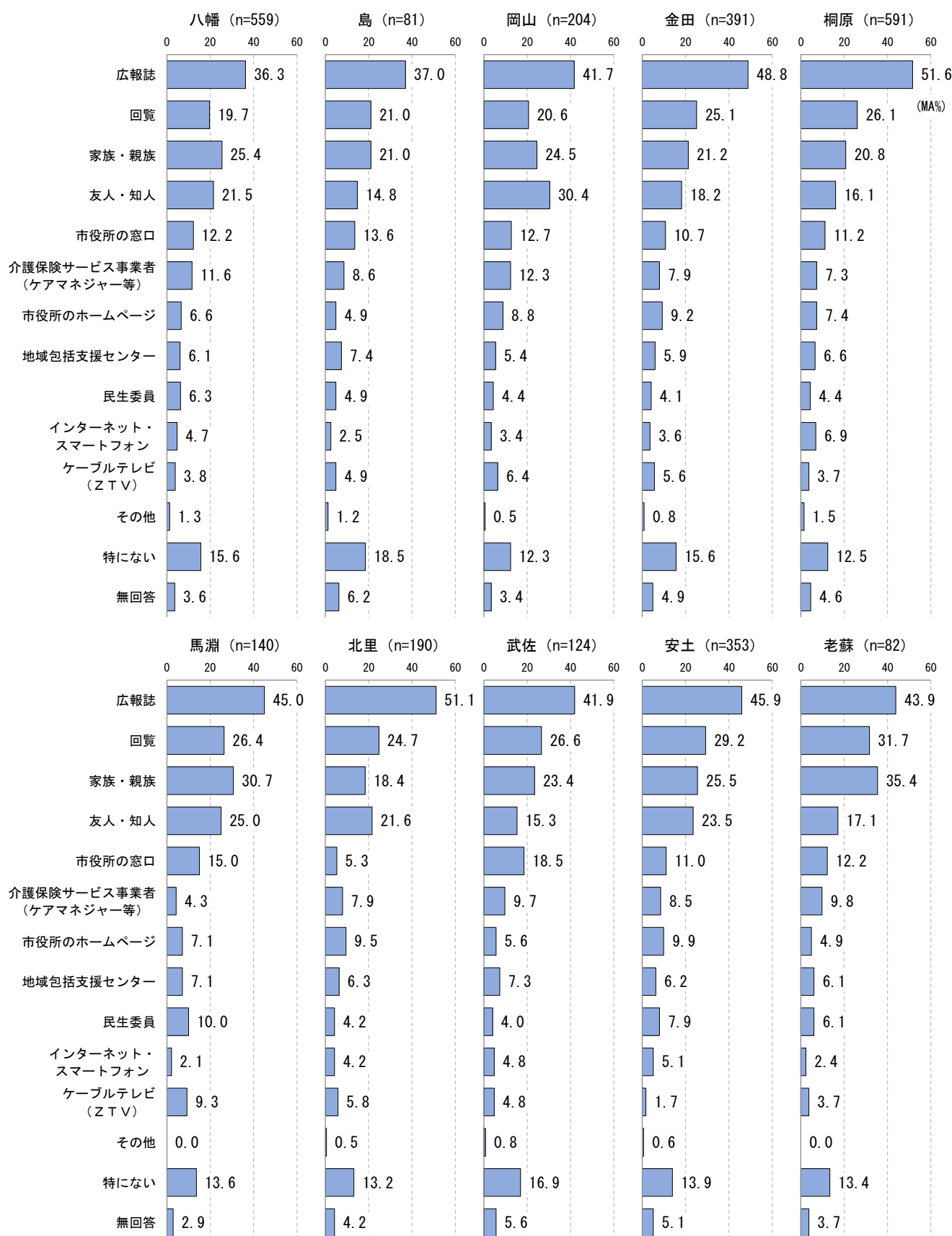
要介護認定別にみると、要支援1・2では、「介護保険サービス事業者（ケアマネジャー等）」が44.7%と最も多く、次いで「家族・親族」が39.1%、「地域包括支援センター」が24.1%となっている。

【要介護認定別 市の福祉等に関する情報の入手先】



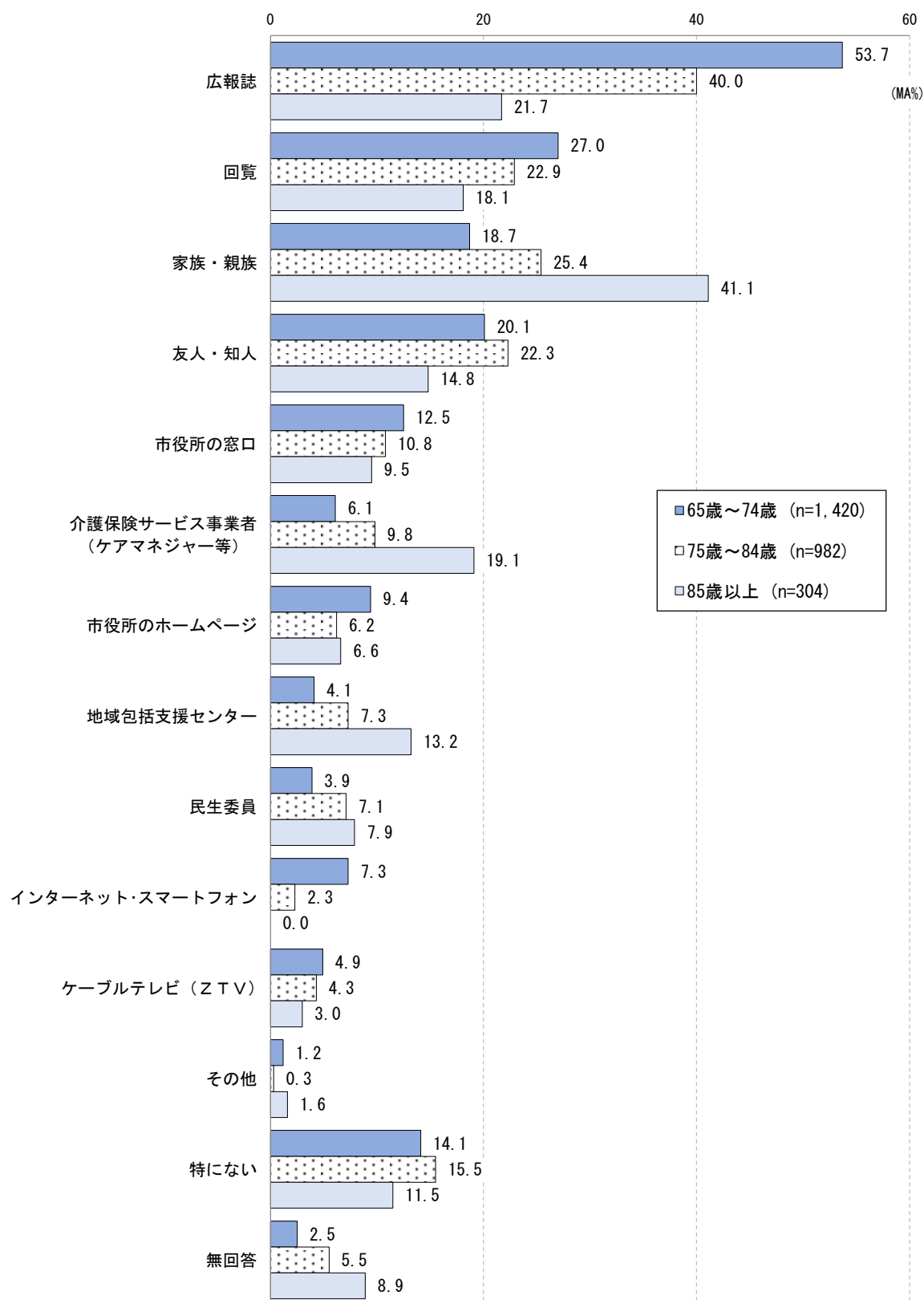
学区別にみると、いずれの学区も「広報誌」が最も多く、桐原学区で51.6%、北里学区で51.1%と高くなっている。一方、「特にない」が島学区で18.5%と最も高い。

【学区別 市の福祉等に関する情報の入手先】



年齢別にみると、「広報誌」が65歳～74歳で53.7%、75歳～84歳で40.0%と、ともに最も多くなっているのに対し、85歳以上では21.7%にとどまっており、「家族・親族」が41.1%と最も多い。

【年齢別 市の福祉等に関する情報の入手先】



Ⅱ-2 生活機能評価等に関する分析

本調査は、地域における高齢者の課題や必要な支援・サービス等をより的確に把握するため、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れており、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（IADL）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されている。

本報告書の『生活機能評価等に関する分析』では、これらの調査項目を使用し、各指標の判定・評価を行っている。

なお、該当設問が無回答により判定・評価困難な場合は、調査数（n数）から除外して集計している。また、住まい（学区）については、中学校区に再区分して集計している。

1 生活機能評価

（１）運動器の機能低下

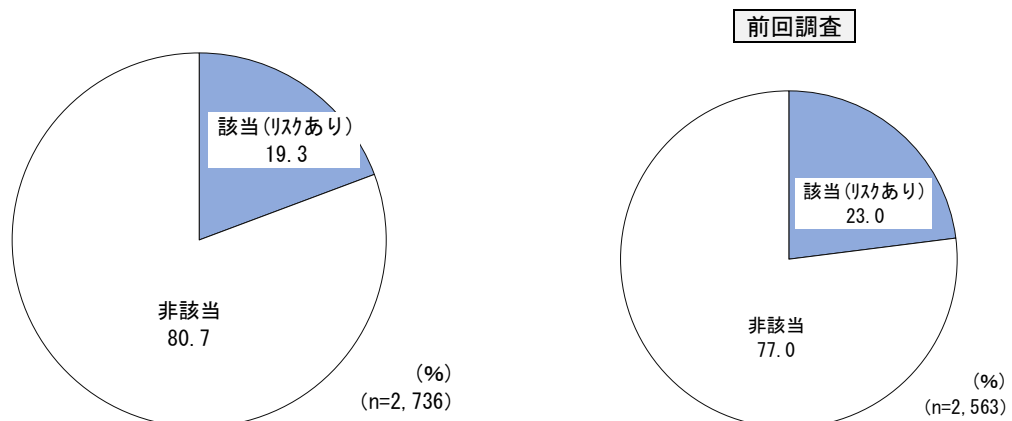
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定している。

《判定設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問 2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
	(3) 15分位続けて歩いていますか	3. できない
	(5) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
	(6) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

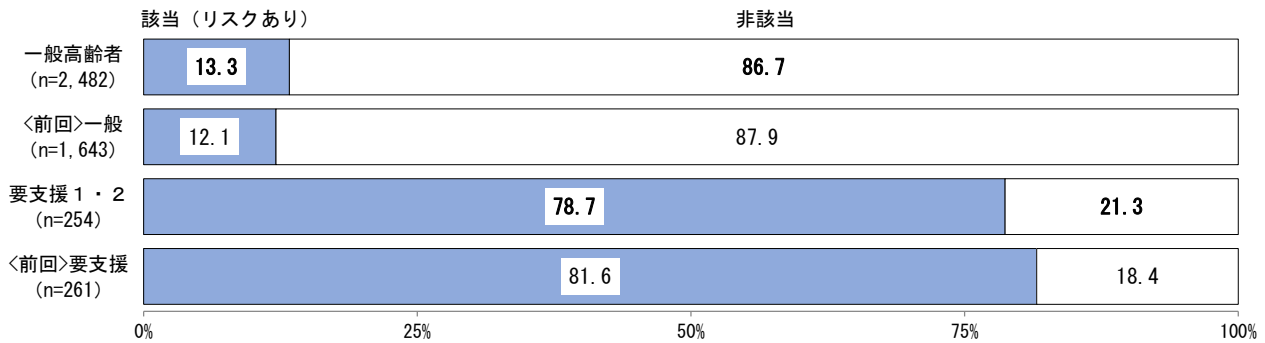
《リスク該当状況》

国の手引きに基づく『運動器の機能低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は約2割（19.3%）となっており、前回調査（23.0%）から3.7ポイント減っている。



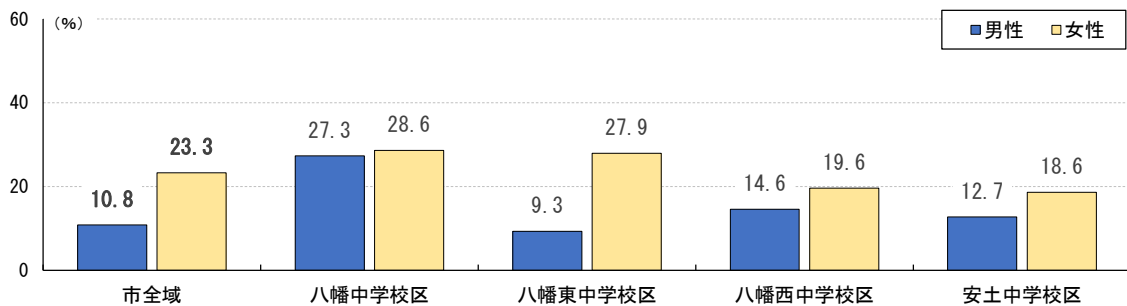
要介護認定別にみると、要支援１・２では、該当者（リスクあり）は 78.7%となっており、前回調査（81.6%）から 2.9 ポイント減っている。

【要介護認定別 生活機能評価『運動器の機能低下』】



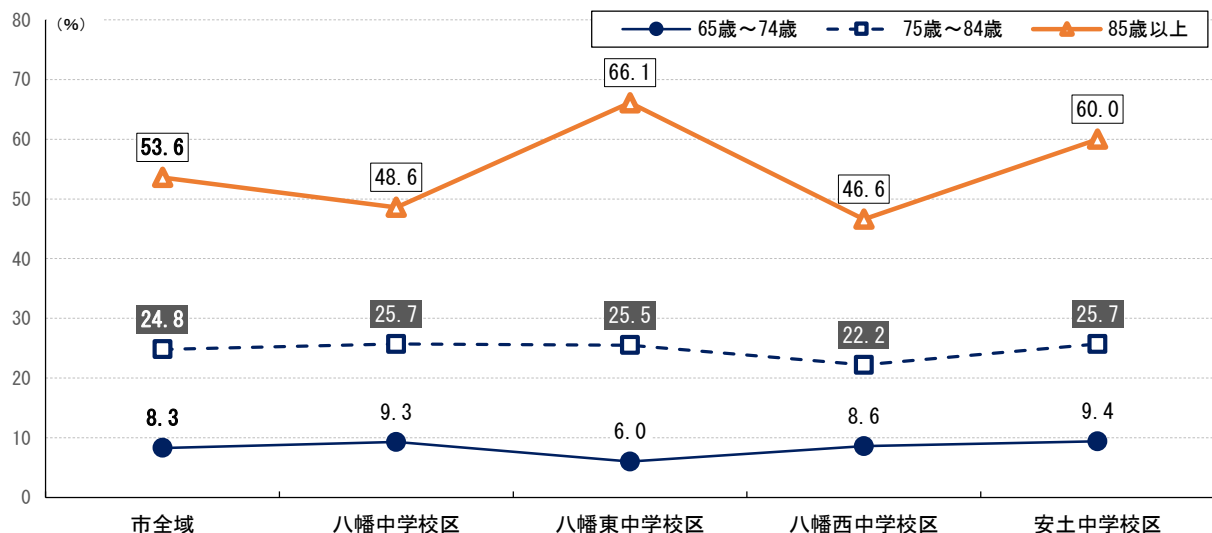
『運動器の機能低下』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・性別にみると、いずれの中学校区も女性のほうが高い割合となっているもの、八幡中学校区では男性が 27.3%と高い。

【学区(中学校区)・性別 生活機能評価『運動器の機能低下』】



『運動器の機能低下』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・年齢別にみると、85 歳以上の八幡東中学校区で 66.1%、安土中学校区で 60.0%と高く、他の中学校区でも 85 歳以上では 4 割～5 割台みられる。

【学区(中学校区)・年齢別 生活機能評価『運動器の機能低下』】



(2) 転倒リスク

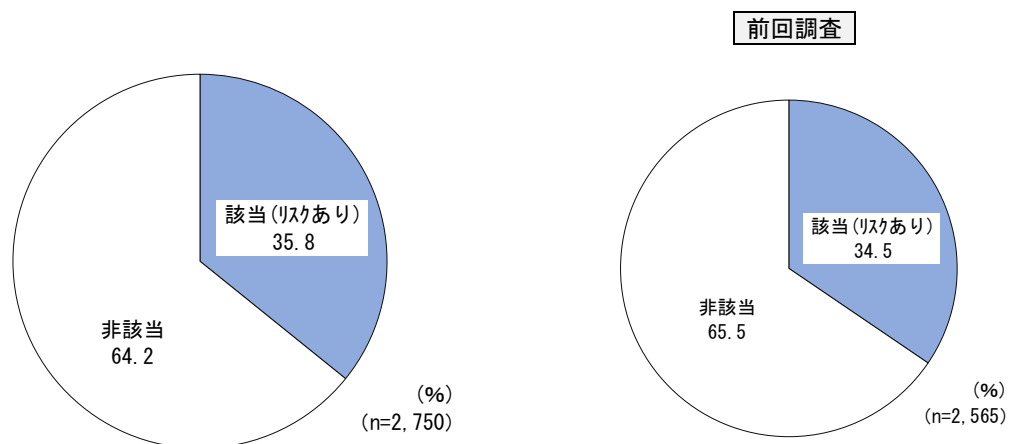
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『転倒リスク』の該当者と判定している。

《判定設問》

問番号		設問	該当する選択肢
問2	(5)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

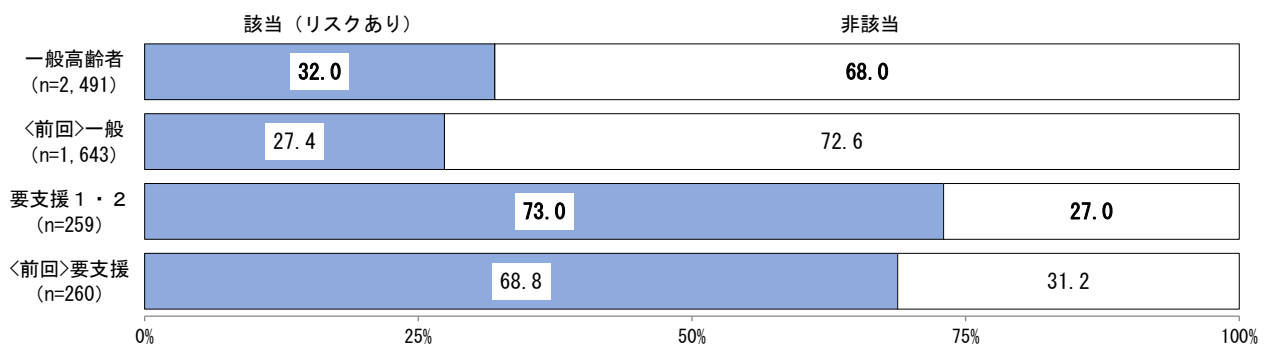
《リスク該当状況》

国の手引きに基づく『転倒リスク』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は3割台（35.8%）となっており、前回調査（34.5%）から1.3ポイント増えている。



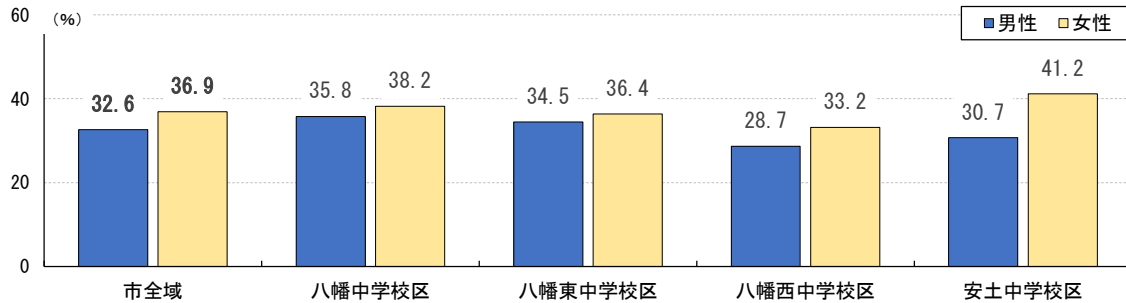
要介護認定別にみると、要支援1・2では、該当者（リスクあり）は73.0%となっており、前回調査（68.8%）から4.2ポイント増えている。

【要介護認定別 生活機能評価『転倒リスク』】



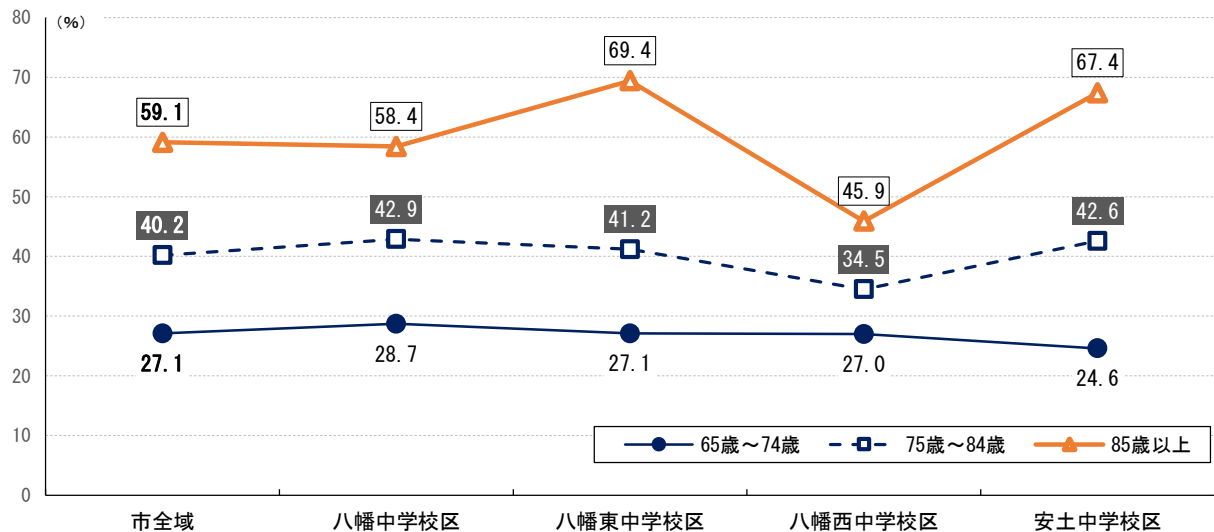
『転倒リスク』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・性別にみると、安土中学校区の女性で41.2%と、他の学区・性別に比べてやや高い割合となっている。

【学区(中学校区)・性別 生活機能評価『転倒リスク』】



『転倒リスク』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・年齢別にみると、85歳以上の八幡東中学校区で69.4%、安土中学校区で67.4%と高い。一方、八幡西中学校区において、85歳以上で45.9%、75歳～84歳で34.5%と、それぞれの他の学区に比べて低い割合となっている。。

【学区(中学校区)・年齢別 生活機能評価『転倒リスク』】



(3) 閉じこもり傾向

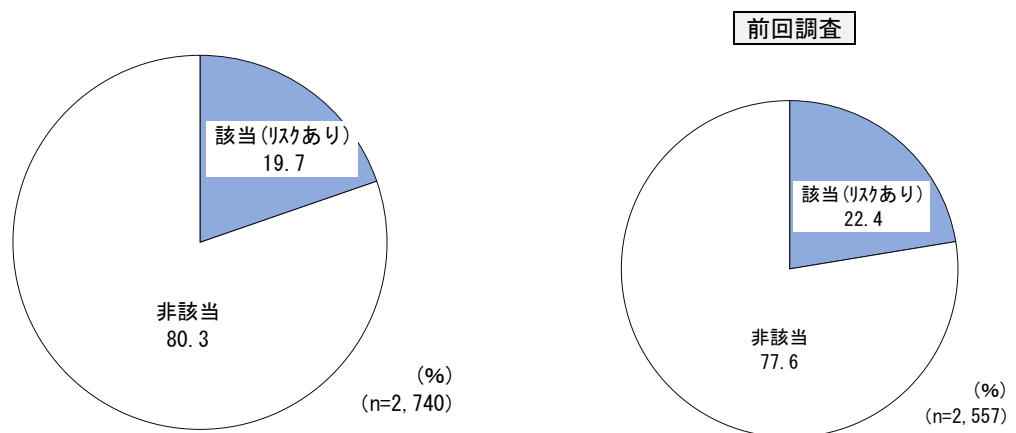
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『閉じこもり傾向』のリスク該当者と判定している。

《判定設問》

問番号		設問	該当する選択肢
問2	(7)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

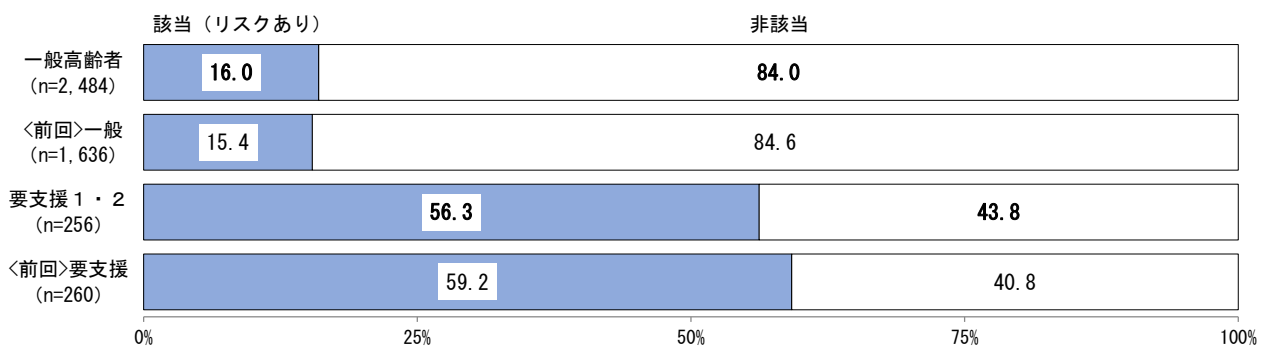
《リスク該当状況》

国の手引きに基づく『閉じこもり傾向』の判定結果をみると、該当者(リスクあり)は約2割(19.7%)となっており、前回調査(22.4%)から2.7ポイント減っている。

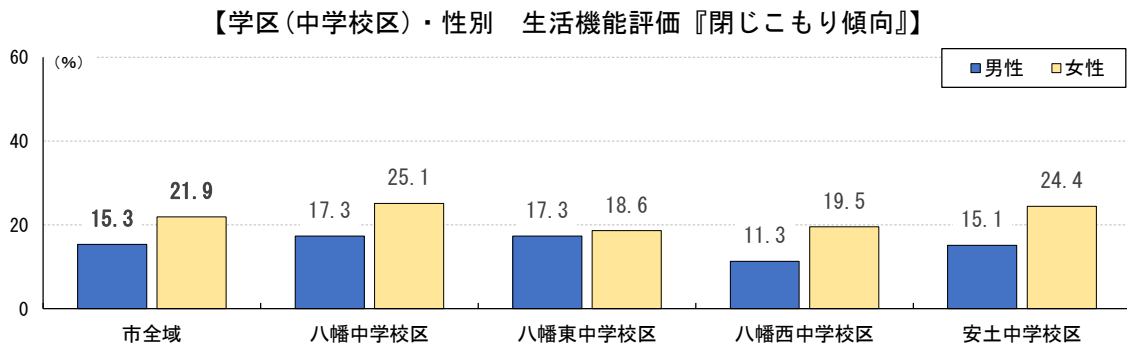


要介護認定別にみると、要支援1・2では、該当者(リスクあり)は56.3%となっており、前回調査(59.2%)から2.9ポイント減っている。

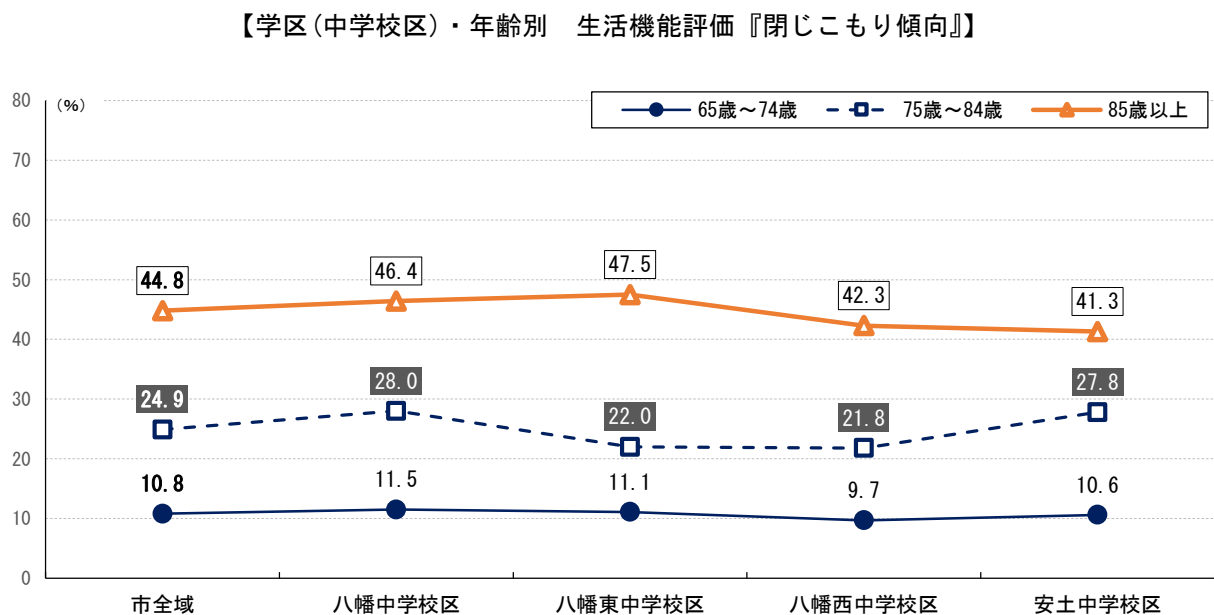
【要介護認定別 生活機能評価『閉じこもり傾向』】



『閉じこもり傾向』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・性別にみると、いずれの中学校区においても女性のほうが高い割合となっており、特に八幡中学校区で 25.1%、安土中学校区で 24.4%と高い。



『閉じこもり傾向』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・年齢別にみると、いずれの中学校区も、85 歳以上では 4 割台みられ、八幡東中学校区で 47.5%、八幡中学校区で 46.4%とやや高くなっている。



(4) 低栄養の傾向

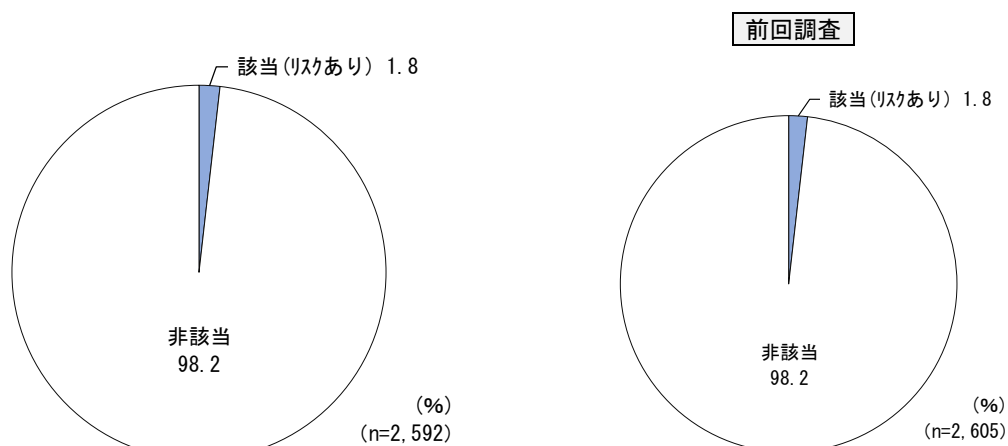
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する人を『低栄養の傾向』のリスク該当者と判定している。

《判定設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問 3	(1) 身長・体重を記入ください	BMI 18.5 未満
	(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

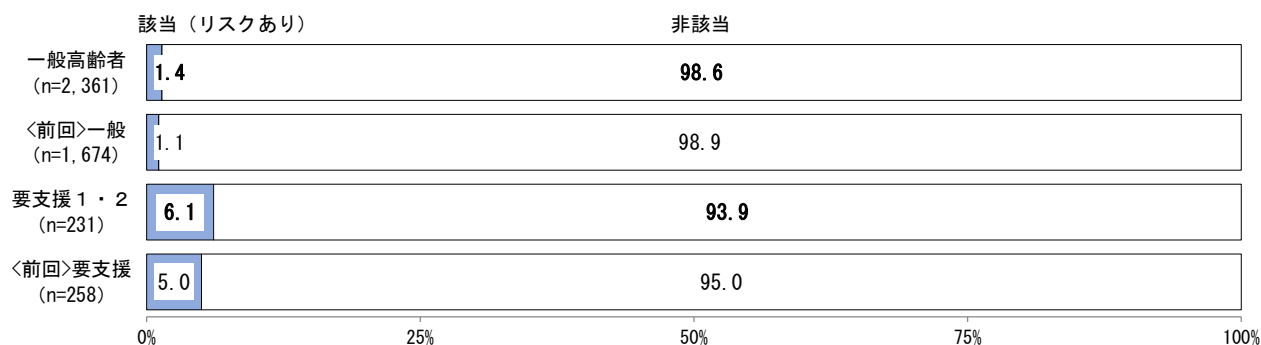
《リスク該当状況》

国の手引きに基づく『低栄養の傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は1.8%となっており、前回調査（1.8%）と同率となっている。



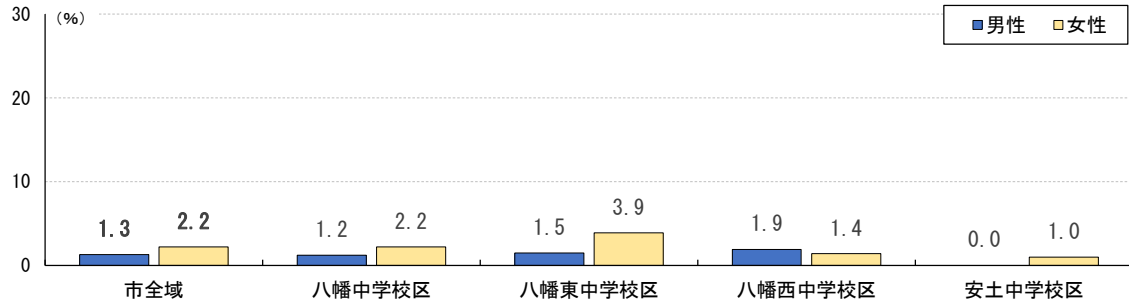
要介護認定別にみると、要支援1・2では、該当者（リスクあり）は6.1%となっており、前回調査（5.0%）から1.1ポイント増えている。

【要介護認定別 生活機能評価『低栄養の傾向』】



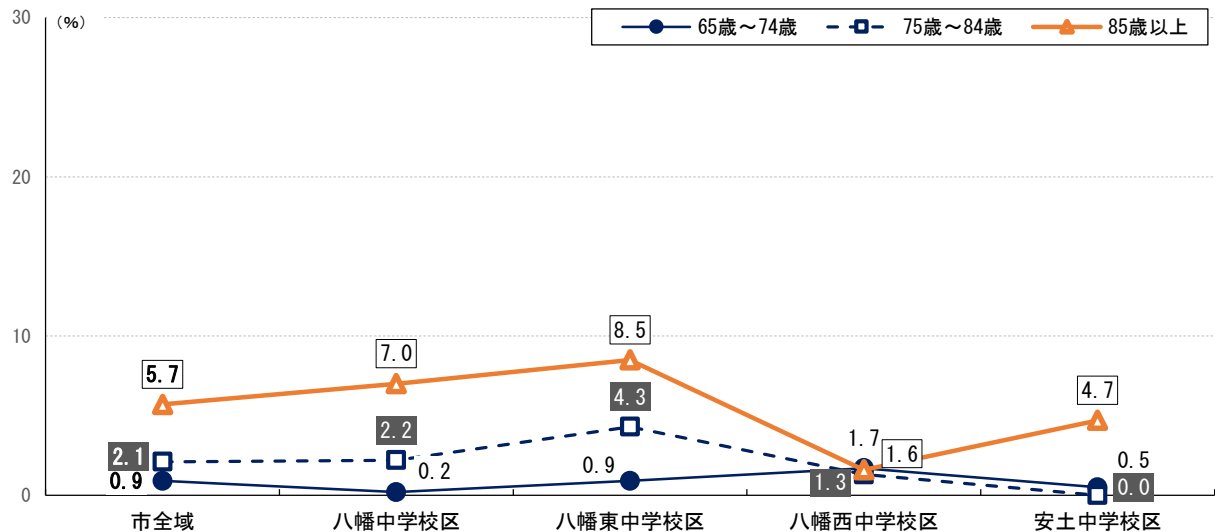
『低栄養の傾向』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・性別にみると、八幡東中学校区の女性で3.9%などとなっている。

【学区(中学校区)・性別 生活機能評価『低栄養の傾向』】



『低栄養の傾向』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・年齢別にみると、八幡東中学校区において、85歳以上で8.5%、75歳～84歳で4.3%と、それぞれ他の中学校区に比べて最も高い割合となっている。

【学区(中学校区)・年齢別 生活機能評価『低栄養の傾向』】



(5) 口腔機能の低下

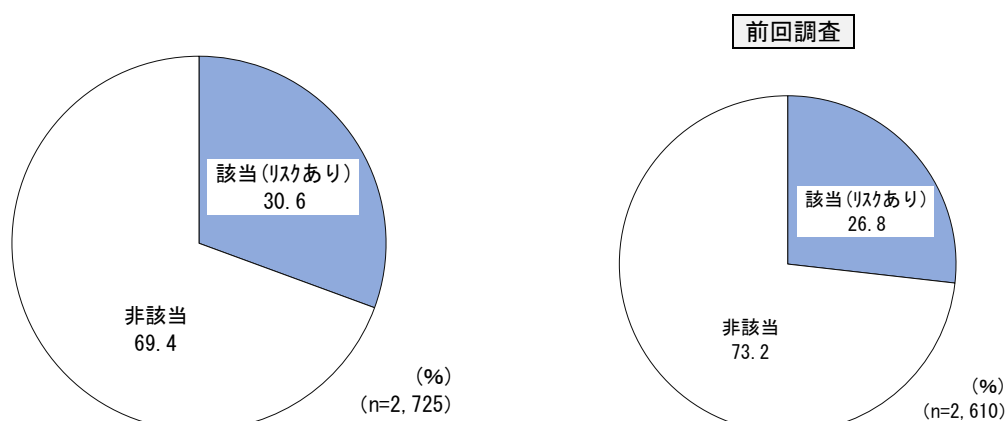
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を『口腔機能の低下』のリスク該当者と判定している。

《判定設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
	(4) 口の渇きが気になりますか	1. はい

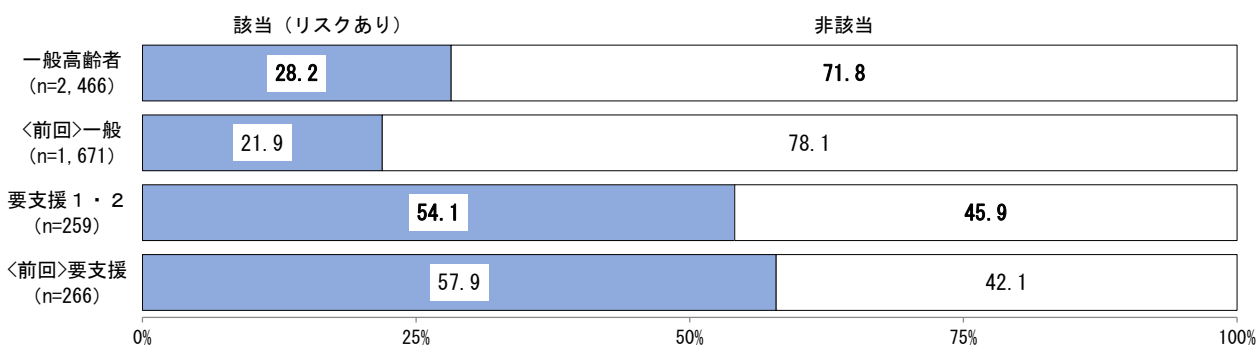
《リスク該当状況》

国の手引きに基づく『口腔機能の低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は約3割（30.6%）となっており、前回調査（26.8%）から3.8ポイント増えている。



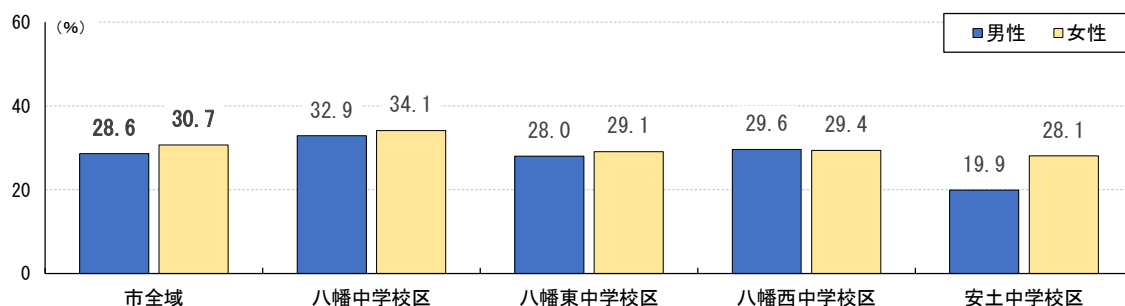
要介護認定別にみると、要支援1・2では、該当者（リスクあり）は54.1%となっており、前回調査（57.9%）から3.8ポイント減っている。

【要介護認定別 生活機能評価『口腔機能の低下』】



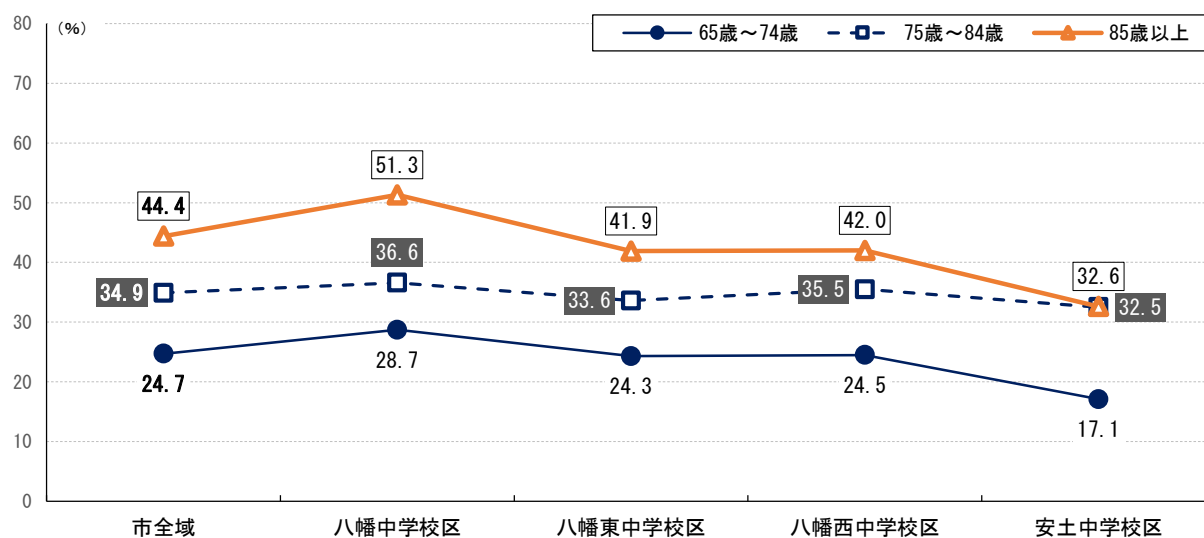
『口腔機能の低下』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・性別にみると、男女ともに八幡中学校区で最も高い割合となっており、男性で32.9%、女性で34.1%となっている。

【学区(中学校区)・性別 生活機能評価『口腔機能の低下』】



『口腔機能の低下』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・年齢別にみると、いずれの年齢層においても八幡中学校区で最も高い割合となっており、85歳以上では半数以上（51.3%）みられる。

【学区(中学校区)・年齢別 生活機能評価『口腔機能の低下』】



(6) 認知機能の低下

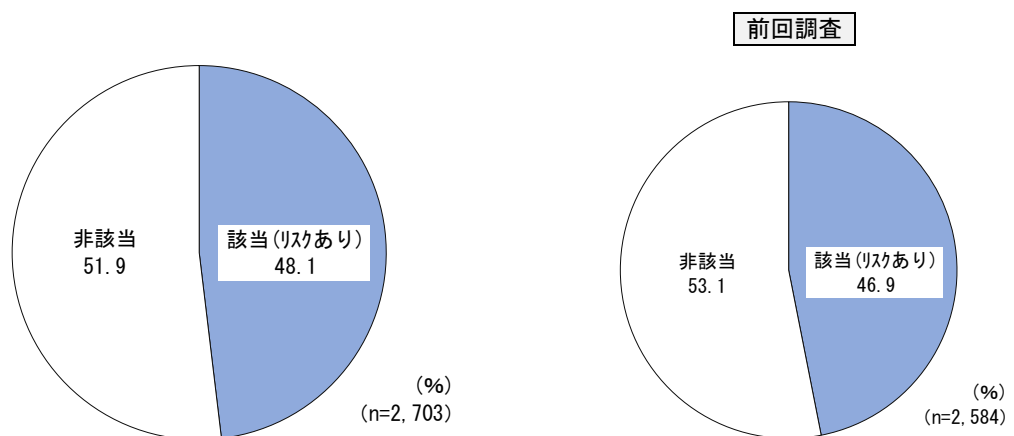
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『認知機能の低下』のリスク該当者と判定している。

《判定設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい

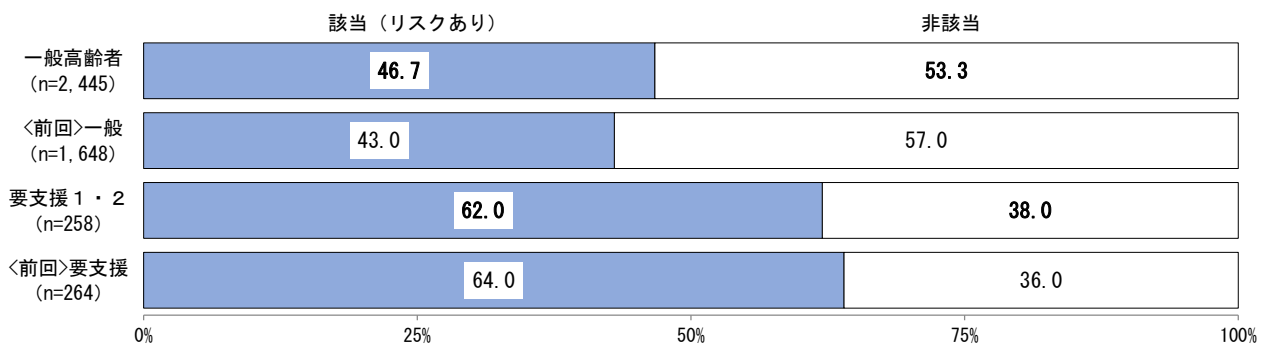
《リスク該当状況》

国の手引きに基づく『認知機能の低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は半数近く（48.1%）となっており、前回調査（46.9%）から1.2ポイント増えている。



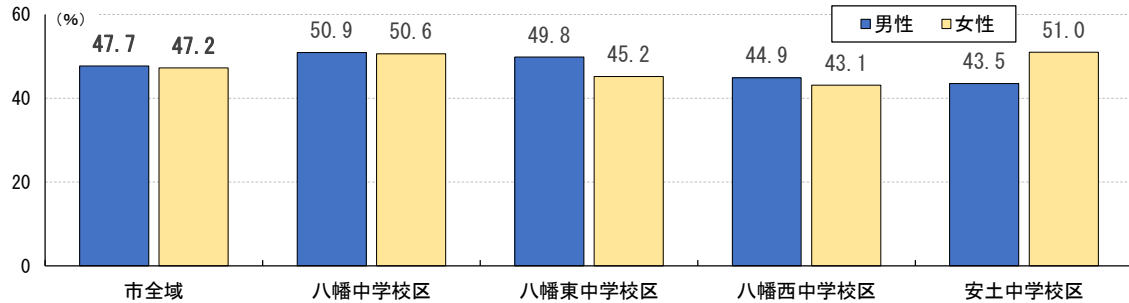
要介護認定別にみると、要支援1・2では、該当者（リスクあり）は62.0%となっており、前回調査（64.0%）から2ポイント減っている。

【要介護認定別 生活機能評価『認知機能の低下』】



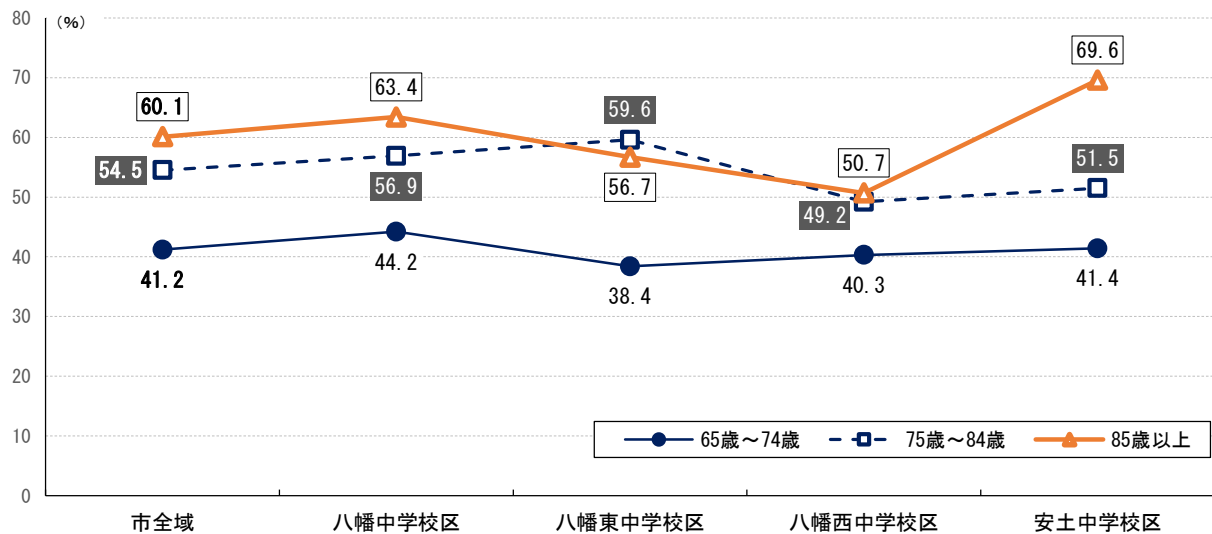
『認知機能の低下』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・性別にみると、八幡中学校区の男女、八幡東中学校区の男性、安土中学校区の女性で、それぞれ5割前後とやや高くなっている。

【学区(中学校区)・性別 生活機能評価『認知機能の低下』】



『認知機能の低下』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・年齢別にみると、安土中学校区の85歳以上で69.6%と最も高くなっている。また、75歳～84歳においては、八幡東中学校区で59.6%と高い。

【学区(中学校区)・年齢別 生活機能評価『認知機能の低下』】



(7) うつ傾向

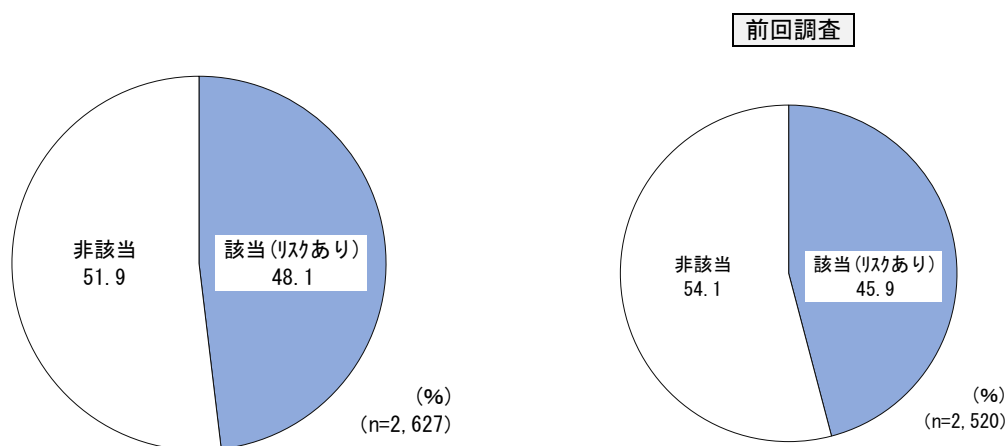
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『うつ傾向』のリスク該当者と判定している。

《判定設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問 7	(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
	(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

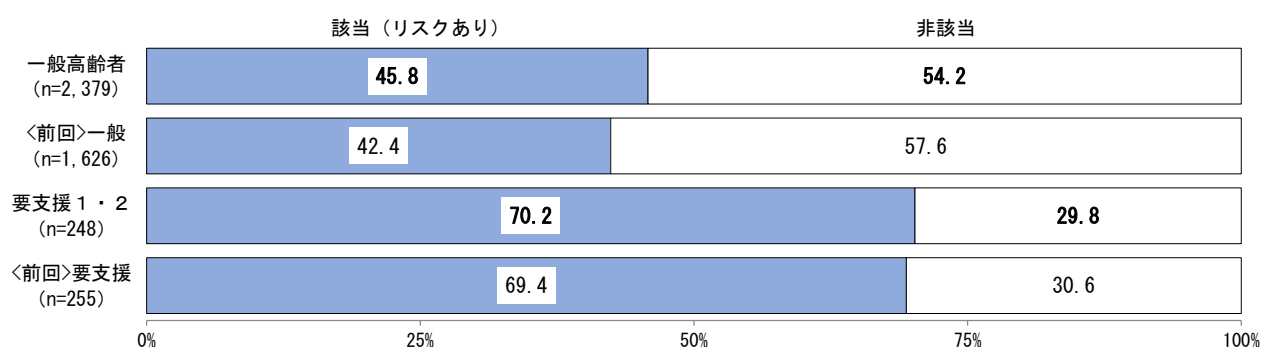
《リスク該当状況》

国の手引きに基づく『うつ傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は半数近く（48.1%）となっており、前回調査（45.9%）から2.2ポイント増えている。



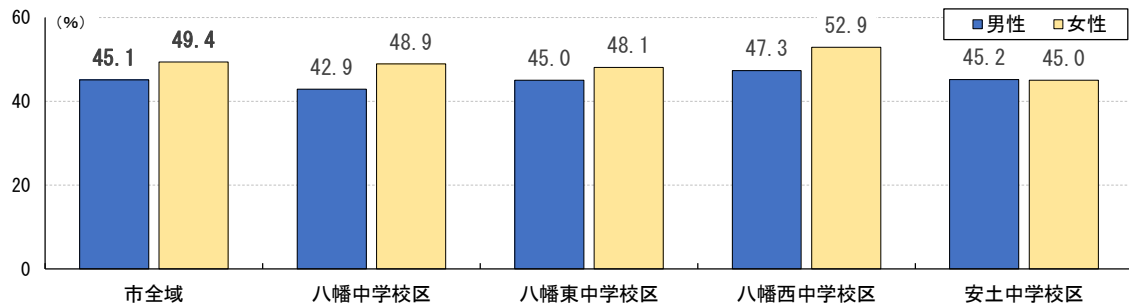
要介護認定別にみると、要支援1・2では、該当者（リスクあり）は70.2%となっており、前回調査（69.4%）と同程度となっている。

【要介護認定別 生活機能評価『うつ傾向』】



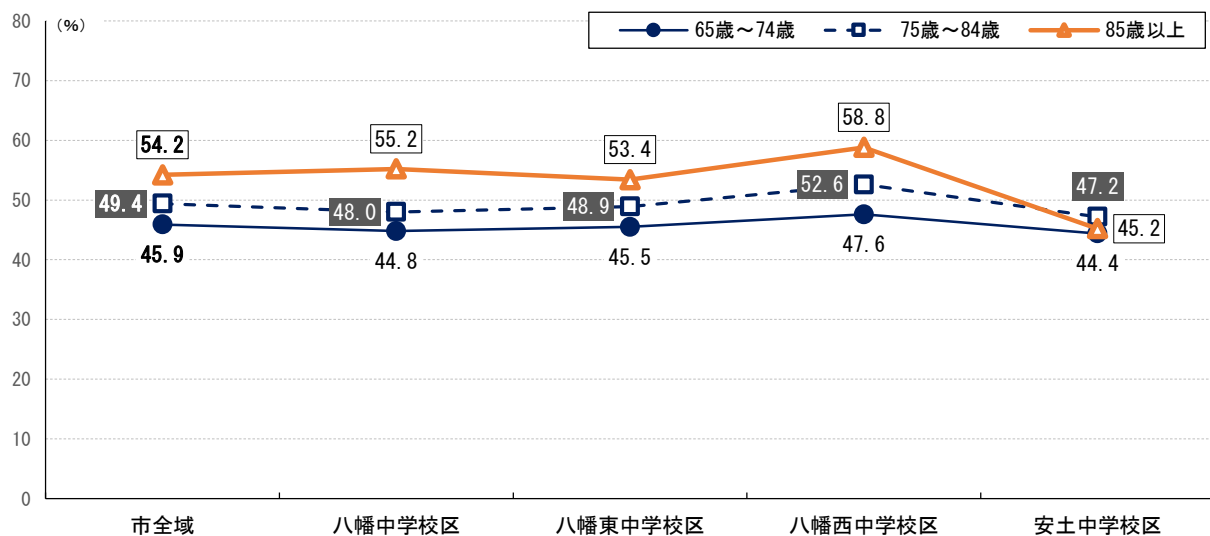
『うつ傾向』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・性別にみると、男女ともに八幡西中学校区で最も高い割合となっており、男性で47.3%、女性で52.9%となっている。

【学区(中学校区)・性別 生活機能評価『うつ傾向』】



『うつ傾向』の該当者（リスクあり）の割合について、学区・年齢別にみると、いずれの学区・年齢においても4～5割台みられ、八幡西中学校区の85歳以上で58.8%と最も高い。一方、いずれの年齢層も安土中学校区で最も低い割合となっている。

【学区(中学校区)・年齢別 生活機能評価『うつ傾向』】



2 日常生活評価

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能进行评估することができる老研式活動能力指標に準じた設問（5項目）に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）が低下している人の状況を把握する。

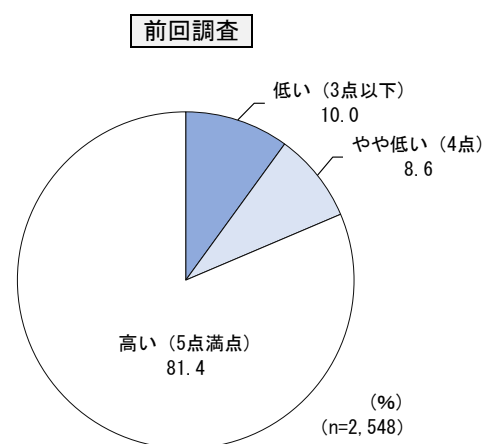
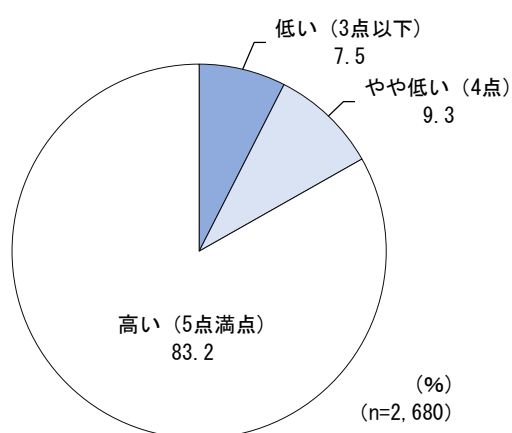
評価は、調査票の以下の設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を“1点”として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」（※4点以下を低下者）と評価している。

《評価設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問4	(4) バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(6) 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）

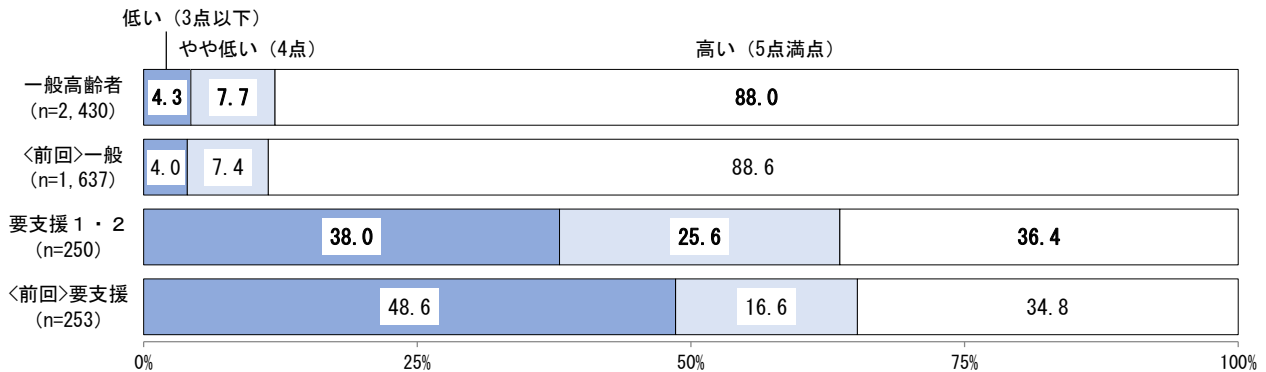
《該当状況》

老研式活動能力指標に基づく『手段的自立度（IADL）』の評価結果をみると、低下者（「低い」「やや低い」の計）は1割台（16.8%）となっており、前回調査（18.6%）から1.8ポイント減っている。



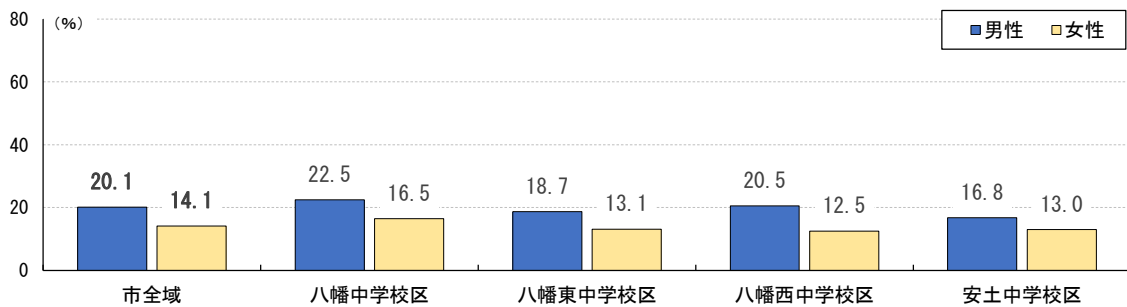
要介護認定別にみると、要支援１・２では、低下者の割合にさほど差はみられないものの、「低い（３点以下）」が 38.0%と、前回調査（48.6%）から 10.6 ポイント減っている。

【要介護認定別 日常生活評価『手段的自立度（IADL）』】



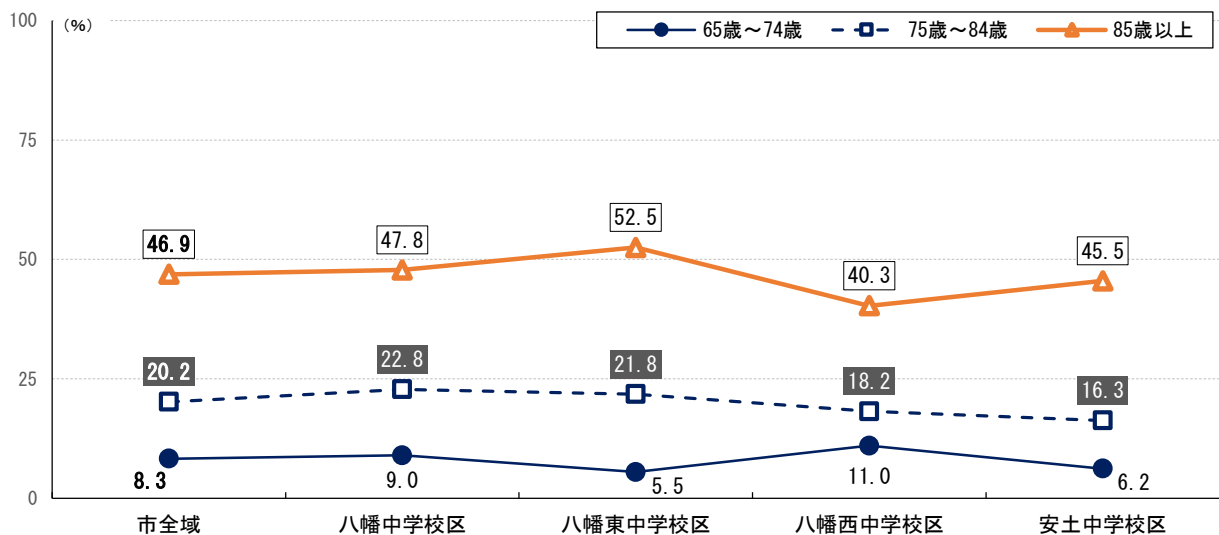
『手段的自立度（IADL）』の評価結果における低下者の割合について、学区・性別にみると、いずれの中学校区においても男性のほうが高い割合となっており、八幡中学校区で 22.5%と最も高い。

【学区(中学校区)・性別 日常生活評価『手段的自立度（IADL）』】



『手段的自立度（IADL）』の評価結果における低下者の割合について、学区・年齢別にみると、八幡東中学校区の 85 歳以上で 52.5%と最も高く、他の中学校区でも 85 歳以上では 4 割台みられる。

【学区(中学校区)・年齢別 日常生活評価『手段的自立度（IADL）』】



3 社会参加評価

(1) 知的能動性

老研式活動能力には、高齢者の余暇や創作など生活を楽しむ能力に関する設問が4問あり、『知的能動性』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握する。

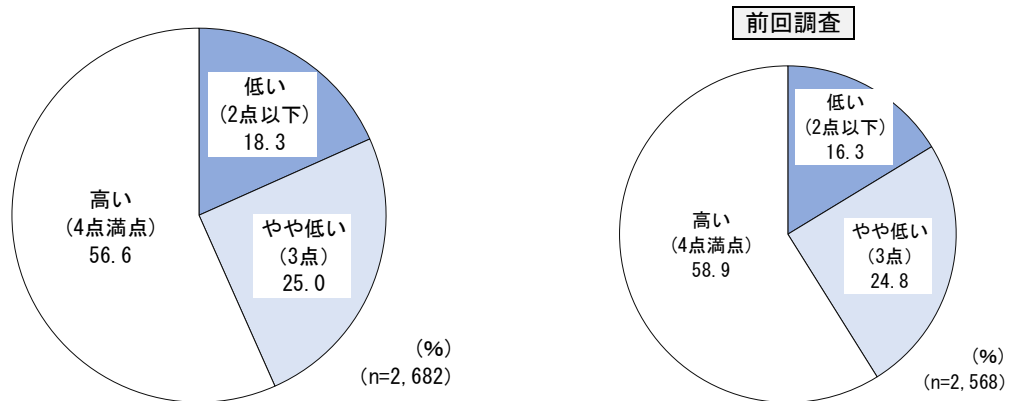
評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“1点”として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を低下者）と評価している。

《評価設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(9) 年金などの書類が書けますか	1. はい（1点）
	(10) 新聞を読んでいますか	1. はい（1点）
	(11) 本や雑誌を読んでいますか	1. はい（1点）
	(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい（1点）

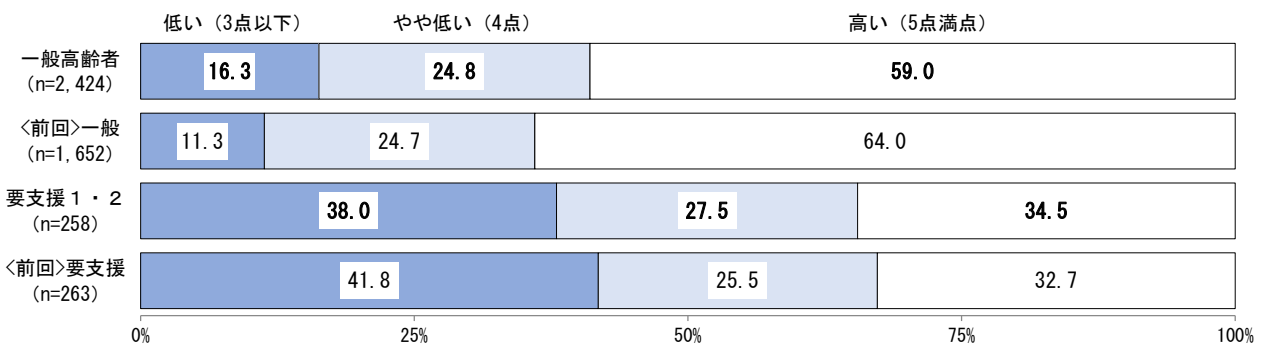
《該当状況》

老研式活動能力指標に基づく『知的能動性』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は4割台（43.4%）となっており、前回調査（41.1%）から2.3ポイント増えている。



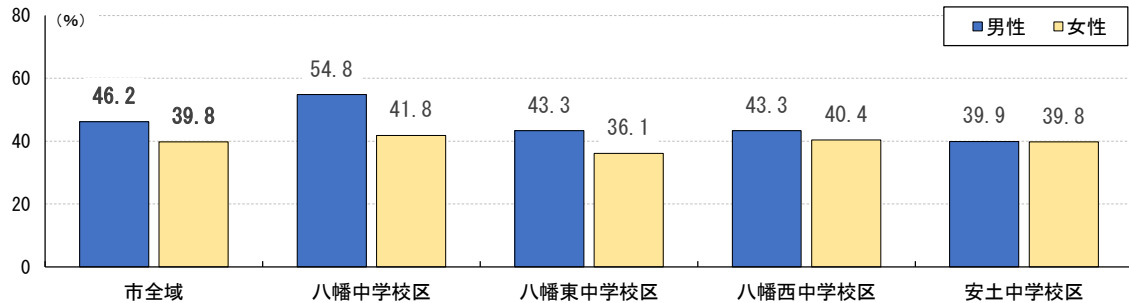
要介護認定別にみると、要支援1・2では、低下者の割合が65.5%と、前回調査（67.3%）から1.8ポイント減っている。

【要介護認定別 社会参加評価『知的能動性』】



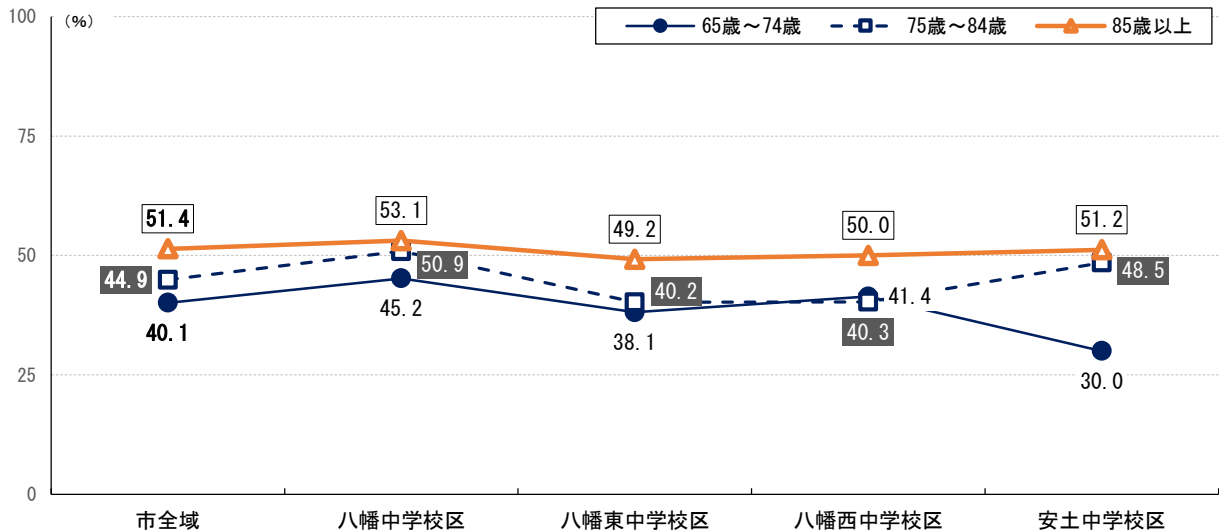
『知的能動性』の評価結果における低下者の割合について、学区・性別にみると、八幡中学校区の男性で54.8%と最も高くなっている。

【学区(中学校区)・性別 社会参加評価『知的能動性』】



『知的能動性』の評価結果における低下者の割合について、学区・年齢別にみると、概ねいずれの学区・年齢層においても4～5割台となっている。また、各年齢層において、それぞれ八幡中学校区で最も高い割合となっている。

【学区(中学校区)・年齢別 社会参加評価『知的能動性』】



(2) 社会的役割

老研式活動能力には、地域で社会的な役割を果たす能力に関する設問が4問あり、『社会的役割』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握する。

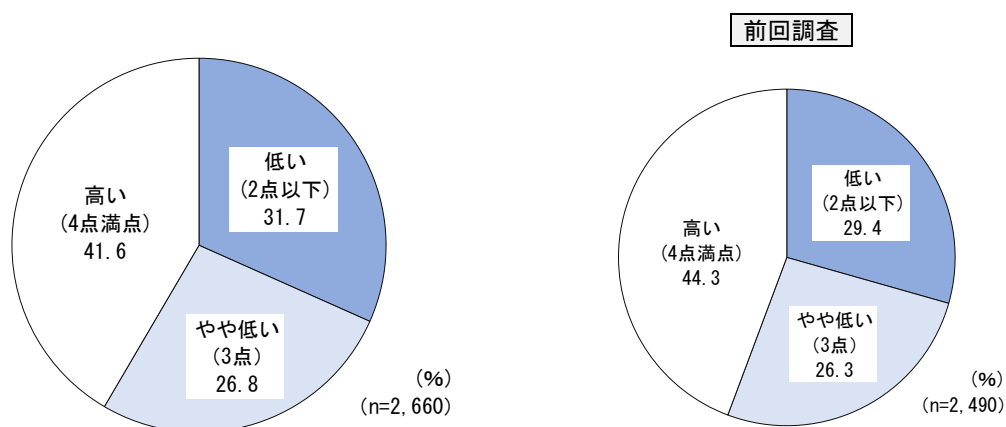
評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“1点”として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を低下者）と評価している。

《評価設問》

問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(13) 友人の家を訪ねていますか	1. はい（1点）
	(14) 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい（1点）
	(15) 病人を見舞うことができますか	1. はい（1点）
	(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい（1点）

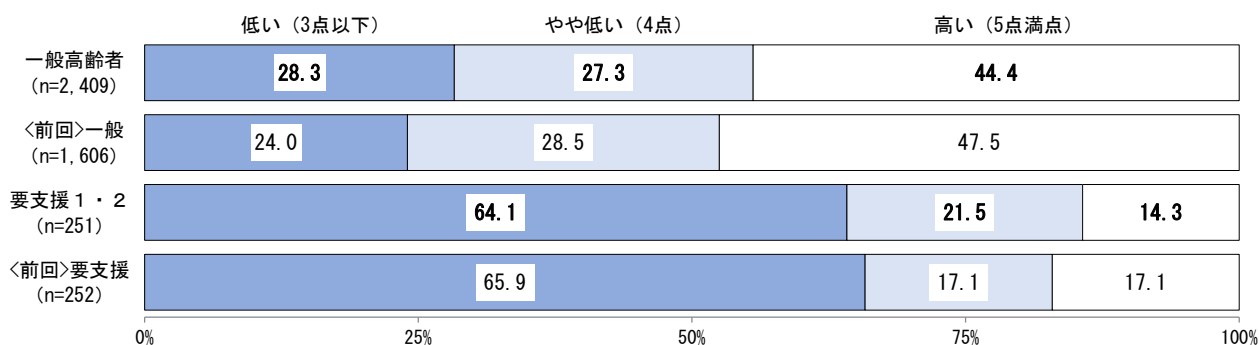
《該当状況》

老研式活動能力指標に基づく『社会的役割』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は6割近く（58.4%）となっており、前回調査（55.7%）から2.7ポイント増えている。



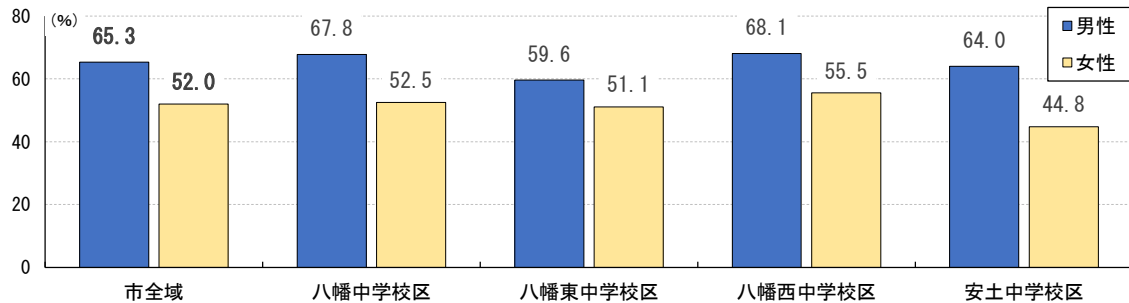
要介護認定別にみると、要支援1・2では、低下者の割合が85.7%と、前回調査（82.9%）から2.8ポイント増えている。

【要介護認定別 社会参加評価『社会的役割』】



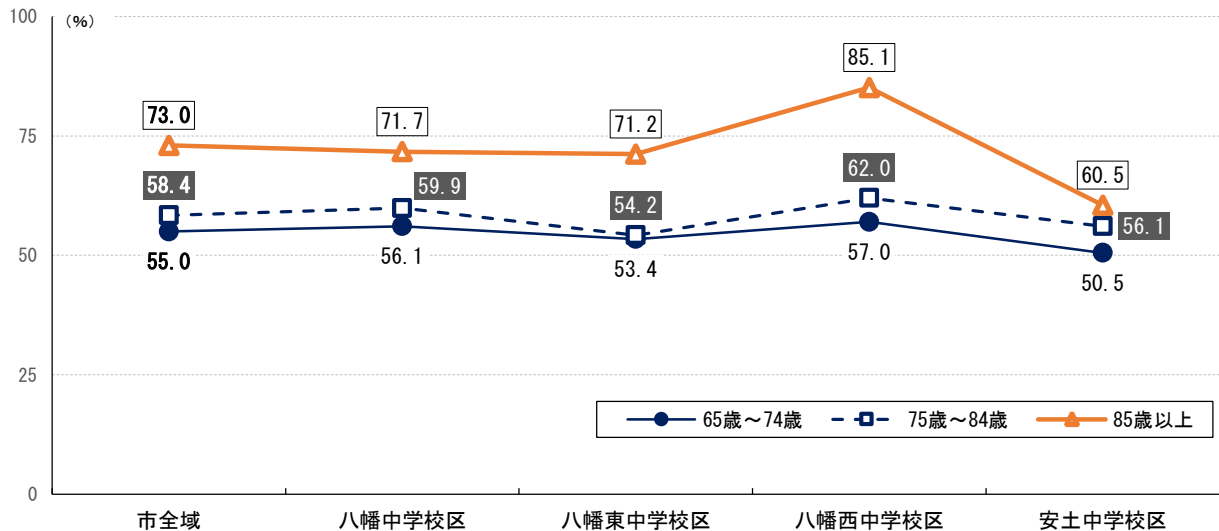
『社会的役割』の評価結果における低下者の割合について、学区・性別にみると、いずれの中学校区においても男性のほうが高い割合となっており、特に八幡西中学校区で 68.1%、八幡中学校区で 67.8%と高い。

【学区(中学校区)・性別 社会参加評価『社会的役割』】



『社会的役割』の評価結果における低下者の割合について、学区・年齢別にみると、八幡西中学校区の 85 歳以上で 85.1%と最も高く、75 歳～84 歳 (62.0%)、65 歳～74 歳 (57.0%) においても、他の中学校区に比べて最も高い割合となっている。

【学区(中学校区)・年齢別 社会参加評価『社会的役割』】



資料編

近江八幡市 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（令和元年度）

平素は、本市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「総合介護計画」の見直しを行い、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおります。

このたび、本市にお住まいの65歳以上の方（令和元年11月末日現在）から、無作為に選んだ皆様を対象に、現在の心身の状況や、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えをお聞かせいただくため、健康や日常生活に関する調査を実施します。調査結果は、令和2年度に策定する「第8期総合介護計画」の基礎資料として活用させていただきます。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

近江八幡市 福祉保険部 介護保険課

お問い合わせ
(平日8:30~17:15)

TEL 0748-33-3511
FAX 0748-31-2037

記入に際してのお願い

- ご回答にあたっては封筒のあて名ご本人様についてお答えいただきますが、ご家族等がご本人様の立場にたって回答されてもかまいません。
- この調査は無記名回答方式ですので、名前を記入いただく必要はありません。また、ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用いたしません。
- ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。数字を記入する欄は右詰め（例

--	--	--

g）でご記入ください。
- とくに断りの無い場合は選択肢の1つに○をつけてください。「いくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 調査票記入後は3つ折りにし同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、1月27日（月）までに投函してください。

○あて名のご本人様の情報を記入してください（それぞれ1つに○）

性 別	1. 男	2. 女
年 齢	1. 65歳～69歳 4. 80歳～84歳	2. 70歳～74歳 5. 85歳～89歳 3. 75歳～79歳 6. 90歳以上
要介護認定の有無	1. 要支援1	2. 要支援2 3. 認定を受けていない
お 住 ま い (学 区)	1. 八幡 3. 岡山 5. 桐原 7. 北里 9. 安土	2. 島 4. 金田 6. 馬淵 8. 武佐 10. 老蘇

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上） |
| 3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下） | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他（ ） | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【(2) において「2.」「3.」と回答した方にお伺いします】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

- | | | |
|---|------------------------------------|--|
| 1. 脳卒中（ <small>のうそっちゅう</small> 脳出血・ <small>のうしゅけつ</small> 脳梗塞等） | 2. 心臓病 | 3. がん（悪性新生物） |
| 4. 呼吸器の病気（ <small>はいきしゅ</small> 肺気腫・肺炎等） | 5. 関節の病気（リウマチ等） | 6. 認知症（ <small>にんちしょう</small> アルツハイマー病等） |
| 7. パーキンソン病 | 8. <small>とうにょうびょう</small> 糖尿病 | 9. 腎疾患（透析） |
| 10. 視覚・聴覚障害
<small>しかく ちょうかくしょうがい</small> | 11. <small>こっせつ てんとう</small> 骨折・転倒 | 12. <small>せきついせんしょう</small> 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱
<small>すいじゃく</small> | 14. その他（ ） | 15. 不明 |

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお伺いします】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | |
|---|---|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. 公営賃貸住宅
<small>こうえいちんたいじゅうたく</small> | 4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> |
| 5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | 6. 借家 |
| 7. その他（ ） | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15 分位続けて歩いていますか			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか			
1. はい	2. いいえ		
(5) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか			
1. 何度もある	2. 1 度ある	3. ない	
(6) 転倒に対する不安は大きいですか			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
(7) 週に 1 回以上は外出していますか			
1. ほとんど外出しない	2. 週 1 回	3. 週 2 ～ 5 回	4. 週 5 回以上
(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
(9) 外出を控えていますか			
1. はい	2. いいえ		
【(9) で「1. はい」(外出を控えている) と回答した方にお伺いします】			
① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)			
1. 病気	2. 障害 (脳卒中 ^{しょうがいのうそちゅう} の後遺症 ^{こういししょう} など)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)		
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない		
9. 交通手段がない	10. その他 ()		
【(9) で「9. 交通手段がない」(外出を控えている理由) と回答した方にお伺いします】			
② その理由は、次のどれですか (いくつでも)			
1. 公共の交通機関では、自分の行きたい所へ行けない		2. 公共の交通機関では、時間が合わない	
3. その他 ()			
(10) 外出する際の移動手段はなんですか (いくつでも)			
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	
13. その他 ()			
(11) タクシーを週 1 回利用する場合、1 回 (片道) いくらまで出費できますか			
1. 1,000 円まで	2. 2,000 円まで		
3. 3,000 円まで	4. 4,000 円以上		

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長

cm

体重

kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

① 噛み合わせは良いですか

1. はい 2. いいえ

【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお伺いします】

② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい 2. いいえ

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をとる機会がありますか（1つに○）

1. 毎日ある 2. 週に何度かある
3. 月に何度かある 4. 年に何度かある
5. ほとんどない

(9) 1日3食きちんと食べていますか

1. 毎日食べている 2. 週に4～6日は食べている
3. 週に1～3日は食べている 4. 食べていない

問 4

毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい 2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

1. はい 2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか

1. はい 2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか

1. はい 2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

1. はい 2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか

1. はい 2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか

1. はい 2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(17) 趣味はありますか	
1. 趣味あり (⇒ 具体的に: _____)	
2. 思いつかない	
(18) 生きがいがありますか	
1. 生きがいあり	2. 思いつかない
【(18) で「1. 生きがいあり」と回答した方にお伺いします】	
① あなたが生きがいを感じるのはどのような時ですか (いくつでも)	
1. 働いているとき	2. 趣味の会や文化サークルなどの活動
3. ハイキング、釣り、登山などのアウトドアレジャー	4. 体操、グラウンドゴルフ、水泳などのスポーツ活動
5. ボランティア活動	6. 旅行
7. 買い物、ウィンドウショッピング	8. 家族・親族、友人などの仲間内とのふれあい
9. 地域活動やご近所づきあいなど	10. その他 (_____)

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑨それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週 2～3回	週1回	月 1～3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 (いきいき百歳体操、地域サロン、コミュニティカフェなど)	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑨ その他 (_____)	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(4) 次の項目で、あなた自身が生活行為ができにくくなっている高齢者に対する手助けとして支援できる内容はどれですか（あてはまるもの5つまでに○）

- | | | |
|----------------------|--------------|---------------------|
| 1. 外出の際の移動支援（通院を含む） | 2. 交流や外出の機会 | 3. 話し相手 |
| 4. 食事の支度や後片付け | 5. 買物 | 6. 掃除 |
| 7. 洗濯 | 8. 布団干し | 9. ごみ出し |
| 10. 電球や蛍光灯等の交換 | 11. 庭木の手入れ | 12. 草むしり等 |
| 13. 大型ごみの処理 | 14. 散髪 | 15. 入浴 |
| 16. 家電やパソコン、携帯電話の使い方 | 17. 預貯金の出し入れ | 18. 税金の支払いや公共機関の手続き |
| 19. 財産・お金の管理 | 20. 定期的な安否確認 | |
| 21. その他（ ） | | 22. 特にない |

(5) (4) のような手助けとしての支援活動に参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(6) 身近に居場所・通い場はありますか

1. ある 2. ない

【(6) において「1. ある」と回答した方にお伺いします】

① それはどのような場ですか (いくつでも)

1. 趣味やサークル活動
2. 地域サロン
3. コミュニティカフェ
4. いきいき百歳体操
5. その他（ ）

(7) あなたは現在働いていますか

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 今後就労したいと考えている
4. 現在働いていない／今後就労する予定もない

【(7) において「1.」「2.」「3.」と回答した方にお伺いします】

① 働いている／今後就労したいと考える理由はなんですか（いくつでも）

1. 経済上の理由
2. 生きがい、社会参加のため
3. 時間に余裕があるから
4. 専門識や知識・技術を活かしたい
5. その他（ ）

問 6

たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(3) **あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）**

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をし**てあげる**人 (いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター
6. 市役所
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（同じ人には何度会っても1人と数えることとします）

1. 0人 (いない) 2. 1～2人 3. 3～5人
4. 6～9人 5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他（ ）
8. いない

問8 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 認知症の対応・治療に関して、あなたのイメージに最も近いものを選んでください（1つに○）

1. 早く対応・治療すれば、治すことができる
2. 早く対応・治療すれば、進行を遅らせることができる
3. 早く対応・治療したとしても、進行を遅らせることも、治すこともできない
4. 早く対応・治療したり、医師に診てもらう必要はない
5. わからない

(4) 認知症の人への適切な接し方を知っていますか

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない 3. 聞いたことがない

(5) 健常者と認知症の中間にあたる軽度認知機能障害 (MCI) を知っていますか

1. 内容まで知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

(6) あなたが認知症や脳の障害により、意思表示や判断ができなくなったとき、入院の申し込みや介護保険の契約など身の上の手続きを手助けしてくれる人はいますか

1. いる 2. いない

(7) 成年後見制度について知っていますか

1. どのような制度か知っている 2. 制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 制度の名称も内容も聞いたことがない

問9 その他

(1) 在宅生活を続ける上で、利用したいと考えるサービスはどれですか（あてはまるもの5つまでに○）

- | | | |
|----------------------|--------------|---------------------|
| 1. 外出の際の移動支援（通院を含む） | 2. 交流や外出の機会 | 3. 話し相手 |
| 4. 食事の支度や後片付け | 5. 買物 | 6. 掃除 |
| 7. 洗濯 | 8. 布団干し | 9. ごみ出し |
| 10. 電球や蛍光灯等の交換 | 11. 庭木の手入れ | 12. 草むしり等 |
| 13. 大型ごみの処理 | 14. 散髪 | 15. 入浴 |
| 16. 家電やパソコン、携帯電話の使い方 | 17. 預貯金の出し入れ | 18. 税金の支払いや公共機関の手続き |
| 19. 財産・お金の管理 | 20. 定期的な安否確認 | |
| 21. その他（ ） | | 22. 特にない |

(2) (1) の「1~21」の項目において、現在利用しているサービス、またはこれまで利用したことがあるものはどれですか（下欄にあてはまる番号をすべてお書きください）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	5
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---

(3) 将来、仮に介護が必要になった時、どこで暮らしたいと思いますか（最もあてはまるもの1つに○）		
1. 自宅	2. 息子・娘・孫の家	
3. 兄弟姉妹などの親族の家	4. 高齢者向けのケア付き住宅	
5. シェアハウス（共同住宅）	6. 自宅に近く、少人数で過ごす施設	
7. 大規模で、専門スタッフの多い施設	8. 病院などの医療施設	
9. その他（		）
(4) 将来、治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、どこで療養生活を望みますか（最もあてはまるもの1つに○）		
1. 自宅	2. 自宅に近く、少人数で過ごす施設	
3. 大規模で、専門スタッフの多い施設	4. 病院などの医療施設	
5. ホスピス	6. その他（	）
7. わからない		
(5) ACP※（アドバンス・ケア・プランニング＝「人生会議」）について知っていますか ※人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み		
1. 名称も内容も知っている	2. 名称は聞いたことがあるが、内容は知らない	
3. 名称も内容も聞いたことがない		
(6) 自分の終末期の希望（治療や療養の場所等）について、家族に話したり伝えたりしたことがありますか		
1. はい	2. いいえ	
(7) 自分にもしものことがあった時のために、伝えておきたいことをまとめておくノート（エンディングノートなど）を作成していますか		
1. 作成している	2. 作成していないが、今後作成してみたい	
3. 作成していないし、今後も作成する予定はない		
(8) 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか（いくつでも）		
1. 家族・親族	2. 友人・知人	3. 民生委員
4. 市役所の窓口	5. 市役所のホームページ	6. 広報誌
7. 地域包括支援センター	8. 介護保険サービス事業者（ケアマネジャー等）	
9. 回覧	10. ケーブルテレビ（ZTV）	11. インターネット・スマートフォン
12. その他（	）	13. 特になし

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

- ・長時間のご協力ありがとうございました。記入もれがないか、再度お確かめください。
- ・記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れて、1月27日（月）までに投函してください
- ・返信用封筒に、この調査票のみを入れてご投函ください

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

発行 近江八幡市 福祉保険部 介護保険課

〒523-0082

滋賀県近江八幡市土田町 1313

(総合福祉センターひまわり館 1 階)

電話 0748-33-3511

FAX 0748-31-2037

令和2年3月